

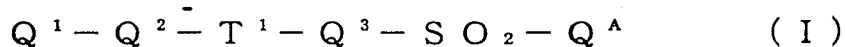


PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

<p>(51) 国際特許分類6 C07D 207/04, 213/56, 295/22, 209/44, 417/12, 409/04, 333/68, 401/04, 405/04, 239/48, 277/28, 307/85, 495/04, 491/048, 513/04, 498/04, 233/64, 211/34, 233/26, 217/26, 215/48, 235/08, 471/04, A61K 31/44, 31/495, 31/55, 31/505, 31/535, 31/445, 31/53, 31/54, 31/435, 31/415, 31/47</p>	<p>A1</p>	<p>(11) 国際公開番号 <b>WO00/09480</b></p> <p>(43) 国際公開日 2000年2月24日 (24.02.00)</p>
<p>(21) 国際出願番号 PCT/JP99/04344</p> <p>(22) 国際出願日 1999年8月11日 (11.08.99)</p> <p>(30) 優先権データ 特願平10/227449 1998年8月11日 (11.08.98) JP 特願平10/244175 1998年8月28日 (28.08.98) JP 特願平10/251674 1998年9月4日 (04.09.98) JP</p> <p>(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 第一製薬株式会社 (DAIICHI PHARMACEUTICAL CO., LTD.)[JP/JP] 〒103-8234 東京都中央区日本橋3丁目14番10号 Tokyo, (JP)</p> <p>(72) 発明者 ; および</p> <p>(75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 小林祥三(KOBAYASHI, Syozo)[JP/JP] 小森谷聡(KOMORIYA, Satoshi)[JP/JP] 萩野谷憲康(HAGINOYA, Noriyasu)[JP/JP] 鈴木正則(SUZUKI, Masanori)[JP/JP] 吉野利治(YOSHINO, Toshiharu)[JP/JP] 永原孝恭(NAGAHARA, Takayasu)[JP/JP] 永田 勉(NAGATA, Tsutomu)[JP/JP] 堀野治彦(HORINO, Haruhiko)[JP/JP]</p>		<p>伊藤昌之(ITO, Masayuki)[JP/JP] 望月明慶(MOCHIZUKI, Akiyoshi)[JP/JP] 〒134-8630 東京都江戸川区北葛西1丁目16-13 第一製薬株式会社 東京研究開発センター内 Tokyo, (JP)</p> <p>(74) 代理人 有賀三幸, 外(ARUGA, Mitsuyuki et al.) 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1丁目3番6号 共同ビル Tokyo, (JP)</p> <p>(81) 指定国 AE, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CU, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM)</p> <p>添付公開書類 国際調査報告書</p>
<p>(54)Title: <b>NOVEL SULFONYL DERIVATIVES</b></p> <p>(54)発明の名称 新規なスルホニル誘導体</p> <p>(57) Abstract Sulfonyl derivatives represented by the following general formula (I): <math>Q^1-Q^2-T^1-Q^3-SO_2-Q^A</math> and drugs containing the same (wherein <math>Q^1</math> is an optionally substituted, saturated or unsaturated, five- or six-membered cyclic hydrocarbon group, a five- or six-membered heterocyclic group, or the like; <math>Q^2</math> is a single bond, oxygen, sulfur, <math>C_1-C_6</math> alkylene or the like; <math>Q^A</math> is optionally substituted arylalkenyl, heteroarylalkenyl or the like; and <math>T^1</math> is carbonyl or the like). These compounds have potent FXa-inhibitory effects and promptly exert satisfactory and persistent antithrombotic effects through oral administration, thus being useful as anticoagulant agents little accompanied with side effects.</p>		

本発明は、一般式 (I)



[式中、 $Q^1$ は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、5～6員の複素環式基等を、 $Q^2$ は単結合、酸素原子、硫黄原子、炭素数1～6のアルキレン基等を、 $Q^A$ は置換基を有することもあるアリアルアルケニル基、ヘテロアリアルアルケニル基等を、 $T^1$ はカルボニル基等をそれぞれ意味する。]

で表されるスルホニル誘導体及びこれを含む医薬に関する。この化合物は、FXa阻害作用が強く、経口投与で速やかに十分且つ持続的な抗血栓効果が得られ、副作用の少ない抗凝固薬として有用である。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE	アラブ首長国連邦	DM	ドミニカ	KZ	カザフスタン	RU	ロシア
AL	アルバニア	EE	エストニア	LC	セントルシア	SD	スーダン
AM	アルメニア	ES	スペイン	LI	リヒテンシュタイン	SE	スウェーデン
AT	オーストリア	FI	フィンランド	LK	スリ・ランカ	SG	シンガポール
AU	オーストラリア	FR	フランス	LR	リベリア	SI	スロヴェニア
AZ	アゼルバイジャン	GA	ガボン	LS	レソト	SK	スロヴァキア
BA	ボスニア・ヘルツェゴビナ	GB	英国	LT	リトアニア	SL	シエラ・レオネ
BB	バルバドス	GD	グレナダ	LU	ルクセンブルグ	SN	セネガル
BE	ベルギー	GE	グルジア	LV	ラトヴィア	SZ	スワジランド
BF	ブルキナ・ファソ	GH	ガーナ	MA	モロッコ	TD	チャード
BG	ブルガリア	GM	ガンビア	MC	モナコ	TG	トーゴ
BJ	ベナン	GN	ギニア	MD	モルドヴァ	TJ	タジキスタン
BR	ブラジル	GW	ギニア・ビサウ	MG	マダガスカル	TZ	タンザニア
BY	ベラルーシ	GR	ギリシャ	MK	マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TM	トルクメニスタン
CA	カナダ	HR	クロアチア		共和国	TR	トルコ
CF	中央アフリカ	HU	ハンガリー	ML	マリ	TT	トリニダッド・トバゴ
CG	コンゴ	ID	インドネシア	MN	モンゴル	UA	ウクライナ
CH	スイス	IE	アイルランド	MR	モーリタニア	UG	ウガンダ
CI	コートジボワール	IL	イスラエル	MW	マラウイ	US	米国
CM	カメルーン	IN	インド	MX	メキシコ	UZ	ウズベキスタン
CN	中国	IS	アイスランド	NE	ニジェール	VN	ヴェトナム
CR	コスタ・リカ	IT	イタリア	NL	オランダ	YU	ユーゴスラビア
CU	キューバ	JP	日本	NO	ノルウェー	ZA	南アフリカ共和国
CY	キプロス	KE	ケニア	NZ	ニュー・ジーランド	ZW	ジンバブエ
CZ	チェッコ	KG	キルギスタン	PL	ポーランド		
DE	ドイツ	KP	北朝鮮	PT	ポルトガル		
DK	デンマーク	KR	韓国	RO	ルーマニア		

## 明 細 書

## 新規なスルホニル誘導体

## 技術分野

本発明は、活性化血液凝固第X因子（以下、F X a と略す）を阻害して強力な抗凝固作用を示す経口投与も可能な新規なスルホニル誘導体、その塩およびそれらを有効成分として含有する血液凝固抑制剤または血栓もしくは塞栓の予防および／または治療剤に関するものである。

## 背景技術

不安定狭心症、脳梗塞、脳塞栓、心筋梗塞、肺梗塞、肺塞栓、バージャー病、深部静脈血栓症、汎発性血管内凝固症候群、人工弁置換後の血栓形成、血行再建後の再閉塞および体外循環時の血栓形成は血液凝固能の亢進が重要な要因の一つであることから、用量反応性に優れ、持続性があり、出血の危険が低く、副作用の少ない、経口投与でも直ちに十分な効果が得られる優れた抗凝固薬が求められている（トロンボシス リサーチ；Thrombosis Research、68巻、507-512ページ、1992年）。

様々な作用機作に基づく抗凝固薬の研究の中から、F X a 阻害薬は優れた抗凝固薬となる可能性が示唆されている。血液凝固系は多段階の酵素反応による増幅過程を経て大量のトロンビンが産生され、不溶性のフィブリンを生成する一連の反応である。内因系においては接触因子の活性化に引き続き多段階の反応の後に、活性化第V I I I 因子、カルシウムイオンの存在下にリン脂質膜上で活性化第I X 因子が第X因子を活性化する。また、外因系においては組織因子の存在下に活性化V I I 因子が第X因子を活性化する。即ち、凝固系の中での第X因子のF X a への活性化がトロンビン生成において必須の反応である。両系において活

性化された第X因子（F X a）はプロトロンビン限定分解しトロンビンを生成する。生成したトロンビンは上流の凝固因子を活性化するため、トロンビンの生成はさらに増幅される。上記のようにF X aよりも上位の凝固系は内因系、外因系に分かれるため、F X aよりも上位の凝固系酵素を阻害したのではF X aの産生を十分に抑制し得ず、結果としてトロンビンを産生してしまうことになる。また、凝固系は自己増幅反応であることから、生成したトロンビンを阻害するよりも上位に位置するF X aの阻害により効率良く凝固系の抑制が達成され得る（トロンボシス リサーチ；Thrombosis Research、15巻、617-629ページ、1979年）。

F X a阻害薬の優れるもう一つの点は、血栓モデルで有効な用量と実験的出血モデルでの出血時間を延長させる用量との乖離の大きいこととであり、この実験結果よりF X a阻害薬は出血の危険の少ない抗凝固薬であると考えられる。

F X a阻害薬として様々な化合物が報告されているが、一般にアンチトロンビンIIIやアンチトロンビンIII依存性のペントサッカライドなどは、生体内で血栓形成に实际的役割を果たしているプロトロンビナーゼ複合体を阻害出来ないことが知られ（トロンボシス リサーチ；Thrombosis Research、68巻、507-512ページ、1992年、ジャーナル オブ クリニカル インベスティゲーション；Journal of Clinical Investigation、71巻、1383-1389ページ、1983年、メビオ；Mebio、8月号、92-97ページ）、さらに経口投与では有効性を示さない。吸血動物であるダニやヒルより単離されたチックアンチコアギュラントペプチド（TAP）（サイエンス；Science、248巻、593-596ページ、1990年。）およびアンチスタシン（AST）（ジャーナル オブ バイオロジカル ケミストリー；Journal of Biological Chemistry、263巻、10162-10167ページ、1988年）もF X aを阻害し静脈血栓モデルから動脈血栓モデルまで抗血栓効果を示すが、これらは高分子のペプチドであり経口投与では無効である。この様な観点か



ら、アンチトロンビンⅠⅠⅠ非依存性に凝固因子を直接阻害する低分子のF X a 阻害薬の開発が行われてきた。

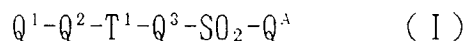
本発明の目的はF X a 阻害作用が強く、経口投与で速やかに十分且つ持続的な抗血栓効果を得られる副作用の少ない、優れた抗凝固薬としての新規なスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物を提供することにある。

#### 発明の開示

上記実状に鑑み、本発明者らは、新規な抗F X a 阻害剤の合成ならびに薬理作用の検討を鋭意実施した結果、新規なスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物が、強いF X a 阻害作用ならびに強い抗凝固作用を示し、経口投与においても強く即効的かつ持続的にF X a を阻害し、強力な抗凝固作用、抗血栓作用を示し安全性も高く、血栓・塞栓に基づく種々の疾病の予防並びに治療薬として有用であることを見だし本発明を完成した。

すなわち、本発明は、以下の一般式（Ⅰ）で表されるスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物を提供するものである。

一般式（Ⅰ）



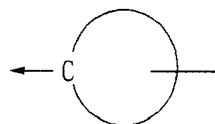
[式中、 $Q^1$  は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基を意味する。

$Q^2$  は単結合、酸素原子、硫黄原子、直鎖状もしくは分枝状の炭素数1～6のアルキレン基、直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルケニレン基、直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルキニレン基、  
基-N( $R^1$ )-CO-

(基中、 $R^1$  は水素原子またはアルキル基を意味する。)、

基—N(R<sup>2</sup>)—(CH<sup>2</sup>)<sub>m</sub>—

(基中、R<sup>2</sup> は水素原子またはアルキル基を意味し、mは0～6の整数を意味する。)、または基

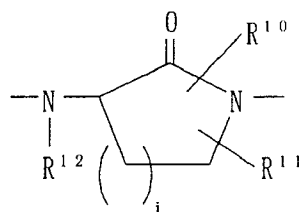
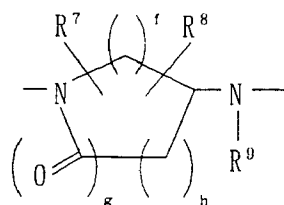
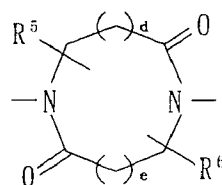
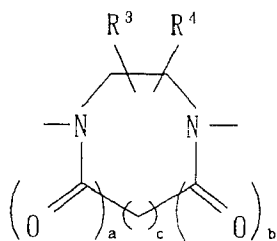


(この基は、置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、

置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基、または

置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基を意味する。←Cはこの基の炭素原子がQ<sup>1</sup>と結合することを示す。)を意味する。

Q<sup>3</sup> は以下のいずれかの基を意味する。



(これらの基中、R<sup>3</sup>、R<sup>4</sup>、R<sup>5</sup>、R<sup>6</sup>、R<sup>7</sup>、R<sup>8</sup>、R<sup>10</sup>およびR<sup>11</sup>が結合する炭素原子が窒素原子に隣り合わないときは、それぞれ独立して、水素原子、水酸基、アルキル基、

アルコキシル基、  
アルコキシアルキル基、  
アルコキシアルキルオキシ基、  
ヒドロキシアルキル基、  
ヒドロキシアルキルオキシ基、  
ヒドロキシアルキルカルボニル基、  
ヒドロキシアルキルスルホニル基、  
ホルミル基、  
ホルミルアルキル基、  
ホルミルアルキルカルボニル基、  
ホルミルアルキルスルホニル基、  
アルキルカルボニル基、  
アルキルスルホニル基、  
アルキルカルボニルアルキル基、  
アルキルスルホニルアルキル基、  
カルボキシル基、  
カルボキシアルキル基、  
カルボキシアルキルオキシ基、  
カルボキシアルキルカルボニル基、  
カルボキシアルキルスルホニル基、  
カルボキシアルキルカルボニルアルキル基、  
カルボキシアルキルスルホニルアルキル基、  
アルコシカルボニル基、  
アルコシカルボニルアルキル基、  
アルコシカルボニルアルキルオキシ基、  
アルコシカルボニルアルキルカルボニル基、

アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、  
置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニルオキシ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキルオキシ基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルキルスルホニルアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアリールスルホニルアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニルアルキル基、  
シアノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルコキシアルキルアミノカルボニルアルキル基、  
アルキルカルボニルオキシアルキル基または  
基 $A^1-B^1$ -(基中、 $A^1$ は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の

5～6員の複素環式基を意味する。 $B^1$ は単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、 $-O-C_1\sim C_6$ アルキレン基、 $-COO-C_1\sim C_6$ アルキレン基、基 $-NHCO-$ または基 $-NHCO-C_1\sim C_6$ アルキレン基を意味する。)を意味する。

また、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^{10}$ および $R^{11}$ が結合する炭素原子が窒素原子に隣り合うときはそれぞれ独立して、

水素原子、

アルキル基、

ヒドロキシアルキル基、

ヒドロキシアルキルカルボニル基、

ヒドロキシアルキルスルホニル基、

ホルミル基、

ホルミルアルキル基、

ホルミルアルキルカルボニル基、

ホルミルアルキルスルホニル基、

アルキルカルボニル基、

アルキルスルホニル基、

アルキルカルボニルアルキル基、

アルキルスルホニルアルキル基、

カルボキシル基、

カルボキシアルキル基、

カルボキシアルキルカルボニル基、

カルボキシアルキルスルホニル基、

カルボキシアルキルカルボニルアルキル基、

カルボキシアルキルスルホニルアルキル基、

アルコキシアルキル基、

アルコキシカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキル基、  
アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルキルスルホニルアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアリールスルホニルアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニルアルキル基、  
シアノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルコキシアルキルアミノカルボニルアルキル基、  
アルキルカルボニルオキシアルキル基、または  
基 $A^2-B^2-$ （基中、 $A^2$ は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基を意味する。 $B^2$ は単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、 $-O-C_1\sim C_6$ アルキレン基、 $-COO-C_1\sim C_6$ アルキレン基、基 $-NHCO-$ または基 $-NHCO-C_1\sim C_6$ アルキレン基を意味する。）を意味する。

また、 $R^3$  および  $R^4$ 、 $R^5$  および  $R^6$ 、 $R^7$  および  $R^8$ 、 $R^{10}$  および  $R^{11}$  は環を構成する炭素原子とともに一緒になって置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～7 員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～7 員の複素環式基を意味してもよく、 $R^9$  および  $R^{12}$  はそれぞれ独立して、

水素原子、

アルキル基、

ヒドロキシアルキル基、

ヒドロキシアルキルカルボニル基、

ヒドロキシアルキルスルホニル基、

アルコキシル基、

アルコキシアルキル基、

アルコキシアルキルカルボニル基、

アルコキシアルキルスルホニル基、

ホルミル基、

ホルミルアルキル基、

ホルミルアルキルカルボニル基、

ホルミルアルキルスルホニル基、

アルキルカルボニル基、

アルキルカルボニルアルキル基、

アルキルスルホニル基、

アルキルスルホニルアルキル基、

カルボキシアルキル基、

カルボキシアルキルカルボニル基、

カルボキシアルキルスルホニル基、

カルボキシアルキルカルボニルアルキル基、

カルボキシアルキルスルホニルアルキル基、  
アルコキシカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキル基、  
アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、  
置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルオキシアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルキルスルホニルアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアリールスルホニルアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニルアルキル基、  
シアノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルコキシアルキルアミノカルボ



ニルアルキル基または、

アルキルカルボニルオキシアルキル基を意味する。

また、 $R^9$  は  $R^7$  または  $R^8$  と一緒になって環を構成する炭素原子と  $R^9$  が結合する窒素原子とともに、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5 ～ 7 員の複素環式基を意味してもよい。

また、 $R^{12}$  は  $R^{10}$  または  $R^{11}$  と一緒になって環を構成する炭素原子と  $R^{12}$  が結合する窒素原子とともに、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5 ～ 7 員の複素環式基を意味してもよい。

a、b、d、e および g はそれぞれ独立して、0 または 1 の整数を意味する。c は 0 から 3 の整数を意味する。f、h および i はそれぞれ独立して、1 から 3 の整数を意味する。ただし、a と b と c の和は 2 または 3 の整数を意味し、d および e の和は 0 または 1 の整数を意味し、f と g と h の和は 3 から 5 の整数を意味する。)

$Q^A$  は置換基を有することもあるアリールアルケニル基、置換基を有することもあるヘテロアリールアルケニル基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 2 環性の縮合環基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 3 環性の縮合環基、基  $Ar-C(H)=N-$  (基中、Ar は置換基を有することもあるアリール基を意味する。) または基  $Het-C(H)=N-$  (基中、Het は置換基を有することもあるヘテロアリール基を意味する。) を意味する。

$T^1$  はカルボニル基、  
基  $-CH(R^{13})-$

(基中、 $R^{13}$  は水素原子、アルキル基、水酸基が保護されることもあるヒドロキシアルキル基、アルコキシアルキル基、カルボキシアルキル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アリール基、アラルキル基、ヘテロアリール基、ヘテロアリールアルキル基またはアミノ基部分に置換基(保護基)を有することもあるアミノアルキル基を意味する。)

基-C(=NOR<sup>14</sup>)-または基-C(=N-NHR<sup>14'</sup>)-

(基中、R<sup>14</sup>およびR<sup>14'</sup>はそれぞれ独立して水素原子、アルキル基、カルボキシアルキル基、アルコキシカルボニル基、アリール基、アラルキル基、ヘテロアリール基、ヘテロアリールアルキル基またはアミノ基部分に置換基を有することもあるアミノアルキル基を意味する。)を意味する。]

また、本発明は、上記一般式(I)で表されるスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物を有効成分とする医薬を提供するものである。

また、本発明は、上記一般式(I)で表されるスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物、及び薬学的に許容される担体を含有する医薬組成物を提供するものである。

さらに本発明は、上記一般式(I)で表されるスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物の医薬としての使用を提供するものである。

さらにまた、本発明は、上記一般式(I)で表されるスルホニル誘導体、その塩またはそれらの溶媒和物を投与することを特徴とするFXaに起因する疾患、血液凝固性疾患、血栓、塞栓に基づく種々の疾患の処置方法を提供するものである。

#### 発明を実施するための最良の形態

一般式(I)で表される本発明のスルホニル誘導体における置換基について説明する。

##### <基Q<sup>A</sup>について>

基Q<sup>A</sup>は置換基を有することもあるアリールアルケニル基、置換基を有することもあるヘテロアリールアルケニル基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基、基Ar-C(H)=N-(基中、Arは置換基を有することもあるアリール基を意味する。)または基Het-C(H)=N-(基中、Het

は置換基を有することもあるヘテロアリール基を意味する。)を意味する。

基Q<sup>A</sup>において、置換基を有することもあるアリールアルケニル基は、アリール基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～6のアルケニレン基とで構成する基を意味する。アリール基としては、例えば、フェニル基、ナフチル基、アントリル基、フェナントリル基等を挙げることができ、アリールアルケニル基としては、例えば、フェニルエテニル基等を挙げることができる。

置換基を有することもあるヘテロアリールアルケニル基は、ヘテロアリール基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～6のアルケニレン基とで構成する基を意味する。ヘテロアリール基は、少なくとも1個の異原子を含む芳香族性の1価の基を意味し、例えば、ピリジル基、フリル基、チエニル基等を挙げることができる。ヘテロアリールアルケニル基としては、例えば、ピリジリエテニル基等を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基、飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基は、①置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基が縮合したもの、②置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基と置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基とが縮合したもの、③置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基が縮合したものを意味する。

飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基は、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げる

ことができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジニル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

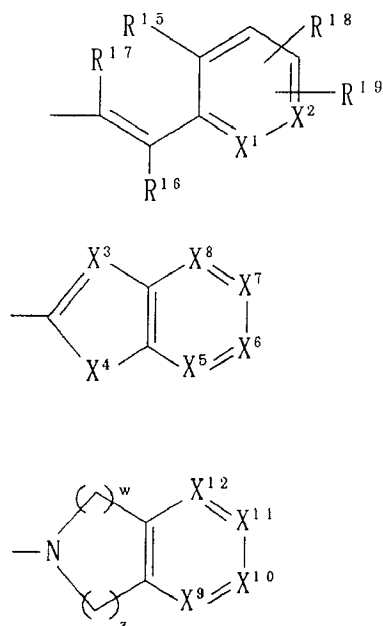
したがって、例えば、①のものとしては、インデニル基、インダニル基、ナフチル基、テトラヒドロナフチル基、アントリル基、フェナントリル基等を挙げることができる。②のものとしては、ベンゾフラニル基、ベンゾチエニル基、インドリル基、インドリニル基、キノリル基、ベンゾジアジニル基、テトラヒドロイソキノリル基、ベンゾチアゾリル基、テトラヒドロベンゾチアゾリル基、イソインドリル基等を挙げることができる。③のものとしては、ナフチリジニル基、テトラヒドロチエノピリジニル基、テトラヒドロチアゾロピリジニル基、テトラヒドロピリドピリジニル基、チアゾロピリダジニル基、テトラヒドロチアゾロピリダジニル基、ピロロピリジニル基、テトラヒドロピロロピリジニル基、ジヒドロピリドキナゾリニル基、ピリドピリミジニル基、テトラヒドロピリドピリミジニル基、ピラノチアゾリル基、ジヒドロピラノチアゾリル基、フロピリジニル基、テトラヒドロフロピリジニル基、オキサゾロピリジニル基、テトラヒドロオキサゾロピリジニル基等を挙げることができる。

基 $\text{Ar}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$ （基中、Arは置換基を有することもあるアリール基を意味する。）におけるアリール基としては、先に説明したものと同様のものを意味し、基 $\text{Ar}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$ としては、置換基を有することもあるフェニル基と基 $-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$ とで構成される基等を意味する。

また、基  $\text{Het}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$  (基中、 $\text{Het}$  は置換基を有することもあるヘテロアリール基を意味する。) におけるヘテロアリール基としては、先に説明したものと同様のものを意味し、基  $\text{Het}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$  としては、置換基を有することもあるピリジル基と基  $\text{Het}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$  とで構成される基等を意味する。

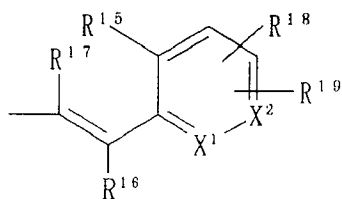
アリールアルケニル基、ヘテロアリールアルケニル基、飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基、飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基、基  $\text{Ar}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$ 、基  $\text{Het}-\text{C}(\text{H})=\text{N}-$  は、それぞれ置換基を1個～2個有することもあり、置換基としては、水酸基、フッ素原子、塩素原子、臭素原子、ヨウ素原子等のハロゲン原子、ハロゲン原子が1個から3個置換したハロゲノメチル基、アミノ基、シアノ基、アミノメチル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキル基 (例えば、メチル基、エチル基など)、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルコキシル基 (例えば、メトキシル基、エトキシル基など)、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～7のアルコキシカルボニルアミジノ基 (例えば、メトキシカルボニルアミジノ基、エトキシカルボニルアミジノ基など)、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～6のアルケニル基 (例えば、ビニル基、アリル基など)、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～6のアルキニル基 (例えば、エチニル基、プロピニル基など)、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～6のアルコキシカルボニル基 (例えば、メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基など) およびアミノカルボニル基等を挙げることができる。

基  $\text{Q}^{\text{A}}$  は、より具体的には、以下のいずれかの基を示すものである。



以下に、これらの基における置換基について説明を加える。

基



における $R^{15}$ は、水素原子、水酸基、ニトロ基、シアノ基、ハロゲン原子、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、アルコキシル基、アルコキシアルキル基、カルボキシル基、カルボキシアルキル基、アルキルカルボニル基、アルコキシカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アルキルカルボニルオキシ基、または基 $A^3-B^3-$

(基中、 $A^3$  は置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基を意味する。

B<sup>3</sup> は単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、カルボニルアルキルオキシ基、またはアルキレンカルボニルオキシ基を意味する。) を意味する。

R<sup>15</sup> において、ハロゲン原子としては、フッ素原子、塩素原子、臭素原子およびヨウ素原子等を挙げることができる。

アルキル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキル基を意味し、例えば、メチル基、エチル基、イソプロピル基、シクロプロピル基等を挙げることができる。

ヒドロキシアルキル基は、水酸基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、アルキレン基としては、メチレン基、エチレン基、トリメチレン基、プロピレン基、シクロヘキシレン基等を挙げることができる。ヒドロキシアルキル基としては、例えば、ヒドロキシメチル基、ヒドロキシエチル基等を挙げることができる。

アルコキシル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキル基と酸素原子で構成する基を意味し、例えば、メトキシル基、エトキシル基、イソプロポキシル基等を挙げることができる。

アルコキシアルキル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルコキシル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシメチル基、メトキシエチル基、エトキシメチル基等を挙げることができる。

カルボキシアルキル基は、カルボキシル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、カルボキシメチル基、カルボキシエチル基等を挙げることができる。

アルキルカルボニル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、メチルカルボニル基、エチルカルボニル基等を挙げることができる。

アルコキシカルボニル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルコキシ基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基等を挙げることができる。

アルコキシカルボニルアルキル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 2～7 のアルコキシカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシカルボニルエチル基、エトキシカルボニルメチル基等を挙げることができる。

アルキルカルボニルオキシ基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 2～7 のアルキルカルボニル基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、メチルカルボニルオキシ基、エチルカルボニルオキシ基、イソプロピルカルボニルオキシ基等を挙げることができる。

基  $A^3-B^3-$  において、 $A^3$  は置換基を 1 個もしくは 2 個有することもあるアミノ基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基を意味する。

したがって、 $A^3$  が置換基を 1 個もしくは 2 個有することもあるアミノ基を意味する場合、 $B^3$  が単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、カルボニルアルキルオキシ基またはアルキレンカルボニルオキシ基を意味することから、基  $A^3-B^3-$  は、例えば、以下の群 (A) に示すような基等を意味するものである。

群 (A) :

置換基を 1 個もしくは 2 個有することもあるアミノ基、

アミノ基部分に置換基を 1 個もしくは 2 個有することもあるアミノカルボニル基、

アミノ基部分に置換基を 1 個もしくは 2 個有することもあるアミノアルキル基、

アミノ基部分に置換基を 1 個もしくは 2 個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、



アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキルオキシ基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニルオキシ基等。

以下に、群(A)で示した基について説明する。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基は、置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基とカルボニル基とで構成する基を意味する。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基は、置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、アミノアルキル基としては、例えば、アミノメチル基、アミノエチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基は、上述の置換基を有することもあるアミノカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、アミノカルボニルアルキル基としては、例えば、アミノカルボニルメチル基、アミノカルボニルエチル基を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキルオキシ基は、上述の置換基を有することもあるアミノカルボニルアルキル基と酸素原子とで構成する基を意味し、アミノカルボニルアルキルオキシ基としては、例えば、アミノカルボニルメトキシ基、アミノカルボニルエトキシ基を意味する。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカ

ルボニル基は、上述の置換基を有することもあるアミノアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、アミノアルキルカルボニル基としては、例えば、アミノメチルカルボニル基、アミノエチルカルボニル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニルオキシ基は、上述の置換基を有することもあるアミノアルキルカルボニル基と酸素原子とで構成する基を意味し、アミノアルキルカルボニルオキシ基としては、例えば、アミノメチルカルボニルオキシ基、アミノエチルカルボニルオキシ基等を挙げることができる。

なお、アミノ基（部分）に置換し得る置換基としては、例えば、以下の群（1）のものを挙げることができる。

群（1）：

アルキル基、

アルケニル基、

ハロゲノアルキル基、

ハロゲノアルケニル基、

ヒドロキシアルキル基、

ヒドロキシアルキルカルボニル基、

ヒドロキシアルキルスルホニル基、

アルコキシル基、

アルコキシアルキル基、

アルコキシアルキルカルボニル基、

アルコキシアルキルスルホニル基、

ホルミル基、

ホルミルアルキル基、

ホルミルアルキルカルボニル基、

ホルミルアルキルスルホニル基、

アルキルカルボニル基、  
アルキルカルボニルアルキル基、  
アルキルスルホニル基、  
アルキルスルホニルアルキル基、  
カルボキシアルキル基、  
カルボキシアルキルカルボニル基、  
カルボキシアルキルスルホニル基、  
カルボキシアルキルカルボニルアルキル基、  
カルボキシアルキルスルホニルアルキル基、  
アルコキシカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキル基、  
アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、  
トリフルオロメチルスルフォニルオキシアルケニル基、および  
基  $a^3 - b^3 -$

(基中、 $a^3$  はハロゲン原子、水酸基、アミノ基、アルコキシ基、アルキル基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシ基、アルコキシカルボニル基およびアミノカルボニル基からなる群より選ばれる置換基を1個～3個有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基を意味する。

$b^3$  は単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、カルボニルアルキルオキシ基、アルキレンカルボニルオキシ基、アルキレンアミノカルボニル基、アルキレンアミノカルボニルアルキル基、アルキレンアミノスルホニル基またはアルキレンアミノスルホニルアルキル基を意味する。))。

ここで、群(1)における、アミノ基(部分)に置換し得る置換基について説明を加える。

アルキル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のものを意味する。

アルケニル基は、直鎖状、分枝状または環状の炭素数 2～6 のアルケニル基を意味し、例えば、ビニル基、アリル基等を挙げることができる。

ハロゲノアルキル基は、ハロゲン原子と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、クロロメチル基、ブromoエチル基等を挙げることができる。

ハロゲノアルケニル基とは、ハロゲン原子と直鎖状もしくは分枝状の炭素数 2～6 のアルケニレン基とで構成する基を意味し、例えば、クロロビニル基、ブromoアリル基等を挙げることができる。なお、二重結合の位置は特に限定されるものではない。

ヒドロキシアルキル基は、水酸基と直鎖状、分枝状、環状の炭素数 2～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、ヒドロキシエチル基、ヒドロキシプロピル基等を挙げることができる。

ヒドロキシアルキルカルボニル基は、上述のヒドロキシアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、ヒドロキシメチルカルボニル基、ヒドロキシエチルカルボニル基等を挙げることができる。

ヒドロキシアルキルスルホニル基は、上述のヒドロキシアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、ヒドロキシメチルスルホニル基、ヒドロキシエチルスルホニル基等を挙げることができる。アルコキシル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のものを意味する。

アルコキシアルキル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルコキシル基と直鎖状、分枝状、環状の炭素数 2～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシエチル基、エトキシエチル基、メトキシプロピル基等を挙げることができる。

アルコキシアルキルカルボニル基は、上述のアルコキシアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシエチルカルボニル基、エトキシ

メチルカルボニル基等を挙げることができる。

アルコキシアルキルスルホニル基は、上述のアルコキシアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシメチルスルホニル基、エトキシメチルスルホニル基等を挙げることができる。

ホルミルアルキル基は、ホルミル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、ホルミルメチル基、ホルミルエチル基等を挙げることができる。

ホルミルアルキルカルボニル基は、上述のホルミルアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、ホルミルメチルカルボニル基、ホルミルエチルカルボニル基等を挙げることができる。

ホルミルアルキルスルホニル基は、上述のホルミルアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、ホルミルメチルスルホニル基、ホルミルエチルスルホニル基等を挙げることができる。

アルキルカルボニル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、メチルカルボニル基、エチルカルボニル基等を挙げることができる。

アルキルカルボニルアルキル基は、上述のアルキルカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メチルカルボニルメチル基、エチルカルボニルメチル基等を挙げることができる。

アルキルスルホニル基は、上述のアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、メチルスルホニル基、エチルスルホニル基等を挙げることができる。

アルキルスルホニルアルキル基は、上述のアルキルスルホニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メチルスルホニルメチル基、エチルスルホニルメチル基等を挙げることがで

きる。

カルボキシアルキル基は、カルボキシル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味する。

カルボキシアルキルカルボニル基は、上述のカルボキシアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、カルボキシメチルカルボニル基、カルボキシエチルカルボニル基等を挙げることができる。

カルボキシアルキルスルホニル基は、上述のカルボキシアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、カルボキシメチルスルホニル基、カルボキシエチルスルホニル基等を挙げることができる。

カルボキシアルキルカルボニルアルキル基は、上述のカルボキシアルキルカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、カルボキシメチルカルボニルメチル基、カルボキシエチルカルボニルメチル基等を挙げることができる。

カルボキシアルキルスルホニルアルキル基は、上述のカルボキシアルキルスルホニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、カルボキシメチルスルホニルメチル基、カルボキシエチルスルホニルメチル基等を挙げることができる。

アルコキシカルボニル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルコキシル基とカルボニル基とで構成する基を意味する。

アルコキシカルボニルアルキル基は、上述のアルコキシカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数 1～6 のアルキレン基とで構成する基を意味する。

アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基は、上述のアルコキシカルボニルアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシカルボニルエチルカルボニル基、エトキシカルボニルメチルカルボニル基等を意味する。

アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基は、上述のアルコキシカルボニルアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシカルボニル

ルエチルスルホニル基、エトキシカルボニルメチルスルホニル基等を意味する。

トリフルオロメチルスルフォニルオキシアルケニル基は、トリフルオロメチルスルフォニルオキシ基と直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルケニレン基とで構成する基を意味し、例えば、トリフルオロメチルスルフォニルオキシビニル基、トリフルオロメチルスルフォニルオキシアリル基等を挙げることができる。

基  $a^3-b^3$  における、 $a^3$  はハロゲン原子等の置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基を意味するが、ここで、飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基は、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げることができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジニル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

$b^3$  は単結合やカルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、カルボニルアルキルオキシ基、アルキレンカルボニルオキシ基、アルキレンアミノカルボニル基、アルキレンアミノカルボニルアルキル基、アルキレンアミノスルホニ

ル基またはアルキレンアミノスルホニルアルキル基の2価の基を意味するが、アルキレン基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のものを意味する。

カルボニルアルキル基は、カルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、カルボニルメチル基、カルボニルエチル基等を挙げることができる。

カルボニルアルキルオキシ基は、上述のカルボニルアルキル基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、カルボニルメトキシ基、カルボニルエトキシ基等を挙げることができる。

アルキレンカルボニルオキシ基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とカルボニル基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、メチレンカルボニルオキシ基、エチレンカルボニルオキシ基等を挙げることができる。

アルキレンアミノカルボニル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とイミノ基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、メチレンアミノカルボニル基、エチレンアミノカルボニル基等を挙げることができる。

アルキレンアミノカルボニルアルキル基は、上述のアルキレンアミノカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メチレンアミノカルボニルメチル基、エチレンアミノカルボニルメチル基等を挙げることができる。

アルキレンアミノスルホニル基は、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とイミノ基とスルホニル基とで構成する基を意味し、例えば、メチレンアミノスルホニル基、エチレンアミノスルホニル基等を挙げることができる。

また、アルキレンアミノスルホニルアルキル基とは、上述のアルキレンアミノスルホニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで



構成する基を意味し、例えば、メチレンアミノスルホニルメチル基、エチレンアミノスルホニルメチル基等を挙げることができる。

上述の  $a^3$  としての飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基または飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基に置換し得る置換基について説明を加える。ハロゲン原子、アルコキシル基、アルキル基、アルコキシカルボニル基およびアミノカルボニル基は、先に説明したものと同様のものを意味する。

基  $a^3-b^3$  としては、 $a^3$  と  $b^3$  の組み合わせにより種々のものが存在し、例えば、以下のような基を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基とカルボニル基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基とアルキレン基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基とカルボニルアルキル基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基とカルボニルアルキルオキシ基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基とアルキレンカルボニルオキシ基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基とアルキレンアミノカルボニル基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基とアルキレンアミノカルボニルアルキル基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の環状炭化水素基とアルキレンアミノスルホニル基とで構成する基、および

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の 5～6 員の複素環式基とアルキ

レンアミノスルホニルアルキル基とで構成する基等。

アミノ基（部分）に置換し得る置換基としては、上述の群（１）のもののほかに以下の群（２）のものをも挙げることができる。

群（２）：

上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノ基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノアルキル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノカルボニル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノカルボニルアルキルカルボニル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノカルボニルアルキルスルホニル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノスルホニル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノスルホニルアルキル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノアルキルスルホニル基、

アミノ基部分に上述の群（１）から選ばれる置換基を１個もしくは２個有することもあるアミノスルホニルアルキルカルボニル基、および

アミノ基部分に上述の群(1)から選ばれる置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニルアルキルスルホニル基。

以下に、群(2)の置換基について説明を加える。

この群(2)におけるアミノアルキル基、アミノカルボニル基、アミノカルボニルアルキル基およびアミノアルキルカルボニル基は、先に説明したものと同一ものを意味する。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノアルキル基とは、先に説明した置換基を有することもあるアミノ基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数2～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、アミノアルキル基としては、例えば、アミノエチル基、アミノプロピル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノカルボニルアルキルカルボニル基とは、先に説明した置換基を有することもあるアミノカルボニルアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、アミノカルボニルアルキルカルボニル基としては、例えば、アミノカルボニルメチルカルボニル基、アミノカルボニルエチルカルボニル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノカルボニルアルキルスルホニル基とは、先に説明した置換基を有することもあるアミノカルボニルアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、アミノカルボニルアルキルスルホニル基としては、例えば、アミノカルボニルメチルスルホニル基、アミノカルボニルエチルスルホニル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノスルホニル基とは、先に説明した置換基を有することもあるアミノ基とスルホニル基とで構成する基を意味する。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノスルホニルアルキル基とは、上述の置換基を有することもあるアミノスルホニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、アミノスルホニル

アルキル基としては、例えば、アミノスルホニルメチル基、アミノスルホニルエチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノアルキルスルホニル基とは、先に説明した置換基を有することもあるアミノアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、アミノアルキルスルホニル基としては、例えば、アミノメチルスルホニル基、アミノエチルスルホニル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノスルホニルアルキルカルボニル基とは、上述の置換基を有することもあるアミノスルホニルアルキル基とカルボニル基とで構成する基を意味し、アミノスルホニルアルキルカルボニル基としては、例えば、アミノスルホニルメチルカルボニル基、アミノスルホニルエチルカルボニル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノスルホニルアルキルスルホニル基とは、上述の置換基を有することもあるアミノスルホニルアルキル基とスルホニル基とで構成する基を意味し、アミノスルホニルアルキルスルホニル基としては、例えば、アミノスルホニルメチルスルホニル基、アミノスルホニルエチルスルホニル基等を挙げることができる。

また、A<sup>3</sup> は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基をも意味するが、ここで、飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基とは、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げることができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリ

ニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジニル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

A<sup>3</sup> が置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基を意味する場合、B<sup>3</sup> が単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、カルボニルアルキルオキシ基またはアルキレンカルボニルオキシ基を意味することから、基A<sup>3</sup> - B<sup>3</sup> - は、例えば、以下の群(B)に示すような基等を意味するものである。

群(B) :

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とカルボニル基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とアルキレン基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とカルボニルとアルキレン基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とカルボニル基とアルキレン基と酸素原子とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とアルキレン基とカルボニル基とで構成する基、

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基ま

たは複素環式基とアルキレン基とカルボニル基と酸素原子とで構成する基等。

以下に、群（B）で示した基について説明する。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とカルボニル基とで構成する基における、環状炭化水素基とカルボニル基とで構成する基としては、例えば、シクロペンチルカルボニル基、フェニルカルボニル基等を挙げることができる。また、複素環式基とカルボニル基とで構成する基としては、例えば、フリルカルボニル基、チエニルカルボニル基、ピリジルカルボニル基等を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とアルキレン基とで構成する基における、環状炭化水素基とアルキレン基とで構成する基とは、上述の環状炭化水素基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、シクロヘキシルメチル基、ベンジル基等を挙げることができる。また、複素環式基とアルキレン基とで構成する基とは、上述の複素環式基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、フリルメチル基、チエニルエチル基、ピリジルプロピル基等を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とカルボニル基とアルキレン基とで構成する基における、環状炭化水素基とカルボニル基とアルキレン基とで構成する基とは、上述の環状炭化水素基とカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、シクロペンタジエニルカルボニルメチル基、フェニルカルボニルエチル基等を挙げることができる。また、複素環式基とカルボニル基とアルキレン基とで構成する基とは、上述の複素環式基とカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、フリルカルボニルメチル基、チエニルカルボニルエチル基、ピリジルカルボニルプロピル基等を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とカルボニル基とアルキレン基と酸素原子とで構成する基における、環状炭化水素基とカルボニル基とアルキレン基と酸素原子とで構成する基とは、上述の環状炭化水素基とカルボニル基とアルキレン基とで構成する基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、シクロペンチルカルボニルメトキシ基、フェニルカルボニルエトキシ基等を挙げることができる。また、複素環式基とカルボニル基とアルキレン基と酸素原子とで構成する基とは、上述の複素環式基とカルボニル基とアルキレン基とで構成する基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、フリルカルボニルメトキシ基、チエニルカルボニルエトキシ基、ピリジルカルボニルプロポキシ基等を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とアルキレン基とカルボニル基とで構成する基における、環状炭化水素基とアルキレン基とカルボニル基とで構成する基とは、上述の環状炭化水素基とアルキレン基とで構成する基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、シクロヘキシルメチルカルボニル基、フェニルエチルカルボニル基等を挙げることができる。また、複素環式基とアルキレン基とカルボニル基とで構成する基とは、上述の複素環式基とアルキレン基とで構成する基とカルボニル基とで構成する基を意味し、例えば、フリルメチルカルボニル基、チエニルエチルカルボニル基、ピリジルプロピルカルボニル基等を挙げることができる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基とアルキレン基とカルボニル基と酸素原子とで構成する基における、環状炭化水素基とアルキレン基とカルボニル基と酸素原子とで構成する基とは、上述の環状炭化水素基とアルキレン基とカルボニル基とで構成する基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、シクロヘキサジエニルメチルカルボニルオキシ基、フェニルエチルカルボニルオキシ基等を挙げることができる。また、複素環式基とアルキレン基とカルボニル基と酸素原子とで構成する基とは、上述

の複素環式基とアルキレン基とカルボニル基とで構成する基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、フリルメチルカルボニルオキシ基、チエニルエチルカルボニルオキシ基、ピリジルプロピルカルボニルオキシ基等を挙げることができる。

なお、飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基に、置換し得る置換基としては、以下の群(3)のものを挙げることができる。なお、置換し得る置換基の数は1～3個である。

群(3)：

水酸基、

アルキル基、

アルコキシル基、

ヒドロキシアルキル基、

アルコキシアルキル基、

ハロゲン原子、

シアノ基、

ニトロ基、

カルボキシル基、

アルコキシカルボニル基、

ホルミル基、

ヘテロアリール基、

ヘテロアリールアルキル基、

アルキルイミノ基、

アミジノ基、

ゲアニジノ基、

アミノ(ヒドロキシイミノ)アルキル基、

アミノ(アルコキシイミノ)アルキル基、



アミノ（アリーロキシイミノ）アルキル基、  
置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキルオキシ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシ基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニルオキシ基、および  
酸素原子。

以下に、群（3）における飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または複素環式基に、置換し得る置換基について説明を加える。

アルキル基、アルコキシル基、ヒドロキシアルキル基、アルコキシアルキル基、ハロゲン原子、アルコキシカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキルオキシ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニルオキシ基については、先に説明したものと同様のものを意味する。

ヘテロアリール基は、少なくとも1個の異原子を含む芳香族性の1価の基を意味し、例えば、ピリジル基、フリル基、チエニル基等を挙げることができる。

ヘテロアリールアルキル基は、上述のヘテロアリール基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、ピリジルメチル基、フリルエチル基、チエニルメチル基等を挙げることができる。

アルキルイミノ基とは、直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキル基と窒素原子とで構成する2価の基を意味し、例えば、メチルイミノ基、エチルイミノ基等を挙げることができる。

アミノ（ヒドロキシイミノ）アルキル基は、アミノ基とヒドロキシイミノ基が直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキル基の同一の炭素原子に結合した基を意味し、例えば、アミノ（ヒドロキシイミノ）メチル基、アミノ（ヒドロキシイミノ）エチル基等を挙げることができる。

アミノ（アルコキシイミノ）アルキル基は、アミノ基とアルコキシイミノ基が直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキル基の同一の炭素原子に結合した基を意味する。ここで、アルコキシイミノ基とは、先に説明したアルコキシル基とイミノ基とで構成する2価の基を意味する。アミノ（アルコキシイミノ）アルキル基としては、例えば、アミノ（メトキシイミノ）メチル基、アミノ（エトキシイミノ）メチル基等を挙げることができる。

アミノ（アリールオキシイミノ）アルキル基は、アミノ基とアリールオキシイミノ基が直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキル基の同一の炭素原子に結合した基を意味する。ここで、アリールオキシイミノ基とは、アリール基とイミノ基とで構成する2価の基を意味する。ここで、アリール基としては、例えば、フェニル基、ナフチル基、アントリル基、フェナントリル基等を挙げることができる。アミノ（アリールオキシイミノ）アルキル基としては、例えば、アミノ（フェノキシイミノ）メチル基、アミノ（ナフチルオキシイミノ）メチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシ基は、置換基を有するアミノ基と直鎖状、分枝状、環状の炭素数2～6のアルキレン基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、アミノアルキルオキシ基としては、アミノエチルオキシ基、アミノプロピルオキシ基等を挙げることができる。なお、アミノ基部分に置換し得る基としては、先に説明したものと同様のものを挙げることができる。

なお、酸素原子が置換基となり得るのは、環状炭化水素基の場合は、ケト化合物となる場合である。また、複素環式基または2環性もしくは3環性の縮合環基の場合は、環を構成する窒素原子または硫黄原子に酸素原子が結合して、N-オキシドまたはS-オキシドとなる場合と、ケト化合物となる場合である。

本発明においては、 $R^{15}$ が、 $R^{16}$ または $R^{17}$ と一緒に、炭素数1～3のアルキレン基またはアルケニレン基を意味しない場合、 $R^{15}$ としては、水素原子、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、基 $A^3-B^3$ が好ましい。

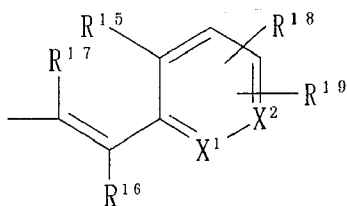
$R^{16}$ および $R^{17}$ において、ハロゲン原子としては、フッ素原子、塩素原子、臭素原子およびヨウ素原子等を挙げることができる。

アルキル基としては、直鎖状、分枝状あるいは環状の炭素数1～8のアルキル基を意味し、例えば、メチル基、エチル基、イソプロピル基、シクロプロピル基、ヘプチル基、オクチル基等を挙げることができる。

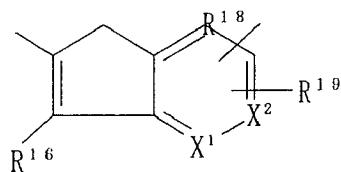
ヒドロキシアルキル基は、水酸基と直鎖状、分枝状あるいは環状の炭素数1～8のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、ヒドロキシメチル基、ヒドロキシエチル基を挙げることができる。

アルコキシアルキル基とは、上述のアルキル基と酸素原子と直鎖状、分枝状あるいは環状の炭素数1～8のアルキレン基とで構成する基を意味し、例えば、メトキシメチル基、メトキシエチル基、エトキシメチル基等を挙げることができる。

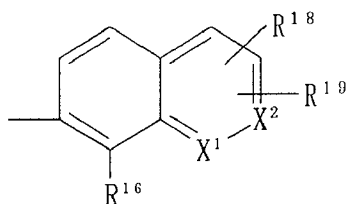
なお、 $R^{16}$ または $R^{17}$ は、 $R^{15}$ と一緒に、炭素数1～3のアルキレン基またはアルケニレン基を意味することがあるが、これは例えば、基



が、以下の基等を意味するものである。



または



本発明において、 $R^{16}$ または $R^{17}$ が、 $R^{15}$ と一緒に、炭素数1～3のアルキレン基またはアルケニレン基を意味しない場合、 $R^{16}$ および $R^{17}$ は水素原子またはアルキル基が好ましい。

本発明においては、 $R^{15}$ と $R^{16}$ または $R^{17}$ と一緒に、炭素数1～3のアルキレン基またはアルケニレン基を意味するものが好ましい。

$R^{18}$ および $R^{19}$ はそれぞれ独立して、水素原子、水酸基、ハロゲン原子、ハロゲノアルキル基、アルキル基、アルコキシ基、アルケニル基、保護基としてアルキルシリル基が置換することもあるアルキニル基、トリフルオロメチル基、シアノ基、アミノ基、アミノアルキル基、アルキルアミノアルキル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基またはアルコキシカルボニルアミジノ基を意味する（ただし、 $R^{18}$ および $R^{19}$ は同時に水素原子であることはない。）。

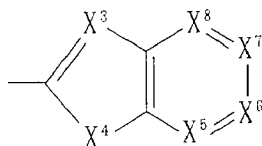
$R^{18}$ および $R^{19}$ において、ハロゲン原子、ハロゲノアルキル基、アルキル基、アルコキシ基、アルケニル基、アミノアルキル基は説明したものと同様のものを意味する。

アルキルアミノアルキル基は、アミノアルキル基のアミノ基に直鎖状、分枝状または環状のアルキル基が1個もしくは2個置換したものを意味し、例えば、-メチルアミノメチル基、エチルメチルアミノメチル基等を挙げることができる。

保護基としてアルキルシリル基が置換することもあるアルキニル基は、トリメチルシリル基、トリエチルシリル基、第三級ブチルジメチルシリル基、ジメチルフェニルシリル基等のアルキルシリル基が保護基として置換することもあるアルキニル基を意味する。

本発明においては、 $R^{18}$ および $R^{19}$ としては、ハロゲン原子、アルキニル基が好ましく、中でも塩素原子、臭素原子、エチニル基が好ましい。

基



における $X^3$ は、窒素原子または

基 $=C(R^{100})-$

(基中、 $R^{100}$ は水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニルアルキル基、アルコキシカルボニルアルキル基、ニトロ基、保護基を有することもあるアミノ基またはアミノ基部分に保護基を有することもあるアミノアルキル基を意味する。)を意味する。

$R^{100}$ における、ハロゲン原子、アルキル基、アルコキシカルボニル基、アリールオキシカルボニルアルキル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アリールオキシカルボニルアルキル基は、先に説明したものと同様のものを意味する。保護基を有することもあるアミノ基またはアミノ基部分に保護基を有することもあるアミノアルキル基は、通常知られた保護基を有することもあるアミノ基またはアミノアルキル基を意味する。

$X^4$ は酸素原子、硫黄原子または

基-N ( $R^{101}$ ) -

(基中、 $R^{101}$  は水素原子、アルキル基、アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アルキルスルホニル基またはアリールスルホニル基を意味する。) を意味する。

$R^{101}$  における、アルキル基、アルコキシカルボニル基、アラルキルオキシカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アルキルスルホニル基およびアリールスルホニル基は、先に説明したものと同様のものを意味する。

$X^5$  および  $X^8$  はそれぞれ独立して窒素原子または

基-C ( $R^{102}$ ) -

(基中、 $R^{102}$  は、水素原子またはハロゲン原子を意味する。) を意味し、 $R^{102}$  における、ハロゲン原子は先に説明したものと同様のものを意味する。

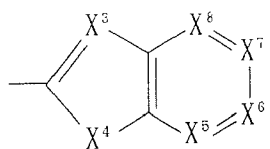
$X^6$  および  $X^7$  はそれぞれ独立して窒素原子または

基-C ( $R^{103}$ ) -

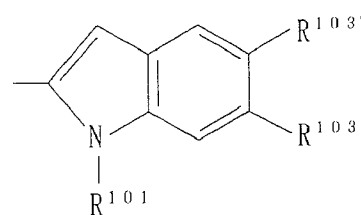
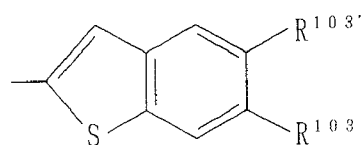
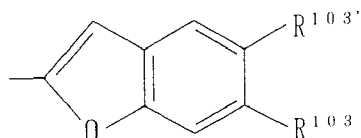
(基中、 $R^{103}$  は、水素原子、水酸基、ハロゲン原子、ハロゲノアルキル基、アルキル基、アルコキシル基、アルケニル基、保護基としてアルキルシリル基が置換することもあるアルキニル基、シアノ基、アミノ基、アミノアルキル基、アルキルアミノアルキル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基またはアルコキシカルボニルアミジノ基を意味する。) を意味する。

$R^{103}$  における、ハロゲン原子、ハロゲノアルキル基、アルキル基、アルコキシル基、アルケニル基、保護基としてアルキルシリル基が置換することもあるアルキニル基、アミノアルキル基、アルキルアミノアルキル基、アルコキシカルボニルアミジノ基は先に説明したものと同様のものを意味する。

基



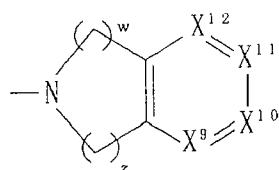
としては、



[上記基中、R<sup>101</sup> および R<sup>103</sup> は 前記に同じ。R<sup>103'</sup> は R<sup>103</sup> と同様のものを意味する。] のいずれかを意味する基が好ましい。

ここで、R<sup>101</sup>としては、水素原子が特に好ましい。また、R<sup>103</sup>およびR<sup>103'</sup>のどちらか一方が、ハロゲン原子、アルキニル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基、アルコキシカルボニルアミジノ基であるものが好ましく、中でもハロゲン原子、エチニル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基、メトキシカルボニルアミジノ基が特に好ましい。

基



における、 $X^9$  および  $X^{12}$  はそれぞれ独立して窒素原子または

基- $C(R^{104})$ -

(基中、 $R^{104}$  は、水素原子またはハロゲン原子を意味する。) を意味し、 $R^{104}$  におけるハロゲン原子は先に説明したものと同様のものを意味する。

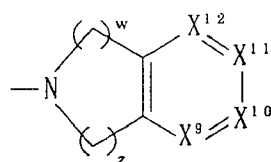
$X^{10}$  および  $X^{11}$  はそれぞれ独立して窒素原子または

基- $C(R^{105})$ -

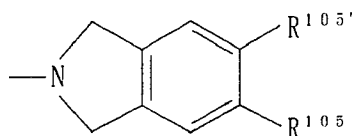
(基中、 $R^{105}$  は、水素原子、水酸基、ハロゲン原子、ハロゲノアルキル基、アルキル基、アルコキシ基、アルケニル基、保護基としてアルキルシリル基が置換することもあるアルキニル基、シアノ基、アミノ基、アミノアルキル基、アルキルアミノアルキル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基またはアルコキシカルボニルアミジノ基を意味する。) を意味する。

$R^{105}$  における、ハロゲン原子、ハロゲノアルキル基、アルキル基、アルコキシ基、アルケニル基、保護基としてアルキルシリル基が置換することもあるアルキニル基、アミノアルキル基、アルキルアミノアルキル基、アルコキシカルボニルアミジノ基は先に説明したものと同様のものを意味する。

基



としては、



[基中、 $R^{105}$  は前記に同じ。 $R^{105'}$  は  $R^{105}$  と同様のものを意味する。] を意味する基が好ましい。



ここで、 $R^{105}$  および  $R^{105'}$  のどちらか一方が、ハロゲン原子、アルキニル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基、アルコキシカルボニルアミジノ基であるものが好ましく、中でもハロゲン原子、エチニル基、アミジノ基、ヒドロキシアミジノ基、メトキシカルボニルアミジノ基が特に好ましい。

<基 $Q^1$  について>

$Q^1$  は、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基を意味する。

飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基は、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げることができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、ピラジニル基、テトラヒドロピラジニル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、チアゾリジニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジル基、ピリミジニル基、テトラヒドロピリミジニル基、ピリダジニル基、テトラヒドロピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、テトラジニル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性

がある場合は、それらはすべて含まれる。

置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基は、基Q<sup>A</sup>の項で説明したものと同一ものを意味し、より具体的には、①置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基が縮合したもの、②置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基と置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基とが縮合したもの、③置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基が縮合したものを意味する。例えば、①のものとしては、インデニル基、インダニル基、ナフチル基、テトラヒドロナフチル基、アントリル基、フェナントリル基等を挙げることができる。②のものとしては、ベンゾフラニル基、インドリル基、インドリニル基、キノリル基、ベンゾジアジニル基、テトラヒドロイソキノリル基、ベンゾチアゾリル基、テトラヒドロチアゾリル基、イソインドリル基等を挙げることができる。③のものとしては、ナフチリジニル基、フラノピリジニル基、チエノピリジニル基、テトラヒドロチエノピリジニル基、ピラゾロピリジニル基、チアゾロピリジニル基、テトラヒドロチアゾロピリジニル基、チアゾロピラジニル基、テトラヒドロチアゾロピラジニル基、チアゾロピリダジニル基、テトラヒドロピリドピリジニル基、チアゾロピリダジニル基、テトラヒドロチアゾロピリダジニル基、ピロロピリジニル基、テトラヒドロピロロピリジニル基、ジヒドロピリドキナゾリニル基、ピリドピリミジニル基、テトラヒドロピリドピリミジニル基、ピラノチアゾリル基、ジヒドロピラノチアゾリル基、フロピリジニル基、テトラヒドロフロピリジニル基、オキサゾロピリジニル基、テトラヒドロオキサゾロピリジニル基等を挙げることができる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基に置換し得る置換基、飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基及び飽和もしくは不飽和の3環性の縮合環基に置換し得る置換基としては、以下

の群（４）のものを挙げることができる。なお、置換し得る置換基の数は１～７個である。

群（４）：

水酸基、

アルキル基、

アルケニル基、

ハロゲノアルキル基、

ハロゲノアルケニル基、

アルコキシル基、

ヒドロキシアルキル基、

アルコキシアルキル基、

ハロゲン原子、

シアノ基、

ニトロ基、

カルボキシル基、

アルコキシカルボニル基、

ホルミル基、

ヘテロアリール基、

ヘテロアリールアルキル基、

アルキルイミノ基、

アルキルスルホニル基、

アミジノ基、

ゲアニジノ基、

アミノ（ヒドロキシイミノ）アルキル基、

アミノ（アルコキシイミノ）アルキル基、

アミノ（アリールオキシイミノ）アルキル基、

ヒドロキシイミノ基、

アルコキシイミノ基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノイミノ基、

置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルア

ルキル基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルア

ルキルオキシ基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニル基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキ

シ基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカル

ボニル基、

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカル

ボニルオキシ基、

酸素原子、

トリフルオロメチル基、

トリフルオロメチルスルフォニルオキシ基、

トリフルオロメチルスルフォニルオキシアルケニル基、

ホウ酸基 ( $-B(OH_2)$ )、

ハロゲン原子、水酸基、アミノ基、アルコキシル基、アルキル基、シアノ基、ニ

トロ基、カルボキシル基、アルコキシカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1

個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を

1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニル基、アミノ基部分に置換基

を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基およびトリフルオロメチル基からなる群より選ばれる置換基を1個～3個有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、および

ハロゲン原子、水酸基、アミノ基、アルコキシル基、アルキル基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、アルコキシカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基およびトリフルオロメチル基からなる群より選ばれる置換基を1個～3個有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基。

この群(4)の置換基については、基 $Q^A$ の項の群(1)～群(3)で説明したのものと同様のものを意味する。

本発明においては、 $Q^1$ としては、置換基を有することもあるシクロペンチル基、置換基を有することもあるシクロヘキシル基、置換基を有することもあるシクロペンテニル基、置換基を有することもあるシクロヘキセニル基、置換基を有することもあるフェニル基、置換基を有することもあるピロリジニル基、置換基を有することもあるピペリジニル基、置換基を有することもあるイミダゾリル基、置換基を有することもあるチアゾリル基、置換基を有することもあるチアジアゾリル基、置換基を有することもあるピリジニル基、置換基を有することもあるピリミジニル基、置換基を有することもあるピリダジニル基、置換基を有することもあるチアゾリジニル基、置換基を有することもあるモルホリニル基、置換基を有することもあるピペラジニル基、置換基を有することもあるチオモルホリニル基、置換基を有することもあるピロリル基、置換基を有することもあるチエニル基、置換基を有することもあるフラニル基、置換基を有することもあるテトラヒドロピリミジニル基、置換基を有することもあるテトラヒドロフラニル基、置換基を有することもあるテトラヒドロチエニル基、置換基を有することもあるスルホラ

ニル基、置換基を有することもあるイミダゾリニル基、置換基を有することもあるチアゾリニル基、置換基を有することもあるオキサゾリル基、置換基を有することもあるオキサジアジニル基、置換基を有することもあるトリアジニル基、置換基を有することもあるテトラジニル基、置換基を有することもあるピラジニル基、置換基を有することもあるピラゾリル基、置換基を有することもあるピラゾリニル基、置換基を有することもあるピラゾリジニル基、置換基を有することもあるチエノピリジル基、置換基を有することもあるテトラヒドロチエノピリジル基、置換基を有することもあるチアゾロピリジル基、置換基を有することもあるテトラヒドロチアゾロピリジル基、置換基を有することもあるピラノチアゾリル基、置換基を有することもあるジヒドロピラノチアゾリル基、置換基を有することもあるチアゾロピリダジニル基、置換基を有することもあるテトラヒドロチアゾロピリダジニル基、置換基を有することもあるフロピリジル基、置換基を有することもあるテトラヒドロフロピリジル基、置換基を有することもあるオキサゾロピリジル基、置換基を有することもあるテトラヒドロオキサゾロピリジル基が好ましい。

置換基としては、水酸基、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、ハロゲン原子、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、アルコキシカルボニル基、ホルミル基、アルキルスルホニル基、置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、酸素原子、トリフルオロメチル基、ハロゲン原子、水酸基、アミノ基、アルコキシシル基、アルキル基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシル基、アルコキシカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基およびトリフルオロメチル基からなる群より選ばれる置換基を1個～

3個有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、およびハロゲン原子、水酸基、アミノ基、アルコキシ基、アルキル基、シアノ基、ニトロ基、カルボキシ基、アルコキシカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基およびトリフルオロメチル基からなる群より選ばれる置換基を1個～3個有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基が好ましい。

<基Q<sup>2</sup>について>

基Q<sup>2</sup>は単結合、酸素原子、硫黄原子、直鎖状もしくは分枝状の炭素数1～6のアルキレン基、直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルケニレン基、直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルキニレン基、

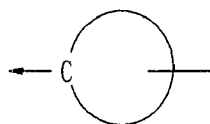
基-N(R<sup>1</sup>)-CO-

(基中、R<sup>1</sup>は水素原子またはアルキル基を意味する。)、

基-N(R<sup>2</sup>)-(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>-

(基中、R<sup>2</sup>は水素原子またはアルキル基を意味し、mは0～6の整数を意味する。)、または

基



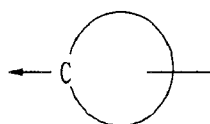
(この基は、置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基、または置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基を意味する。←Cはこの基の炭素原子がQ<sup>1</sup>と結合することを

示す。)を意味する。

基 $Q^2$ において、直鎖状もしくは分枝状の炭素数1～6のアルキレン基としては、例えば、メチレン基、エチレン基、トリメチレン基、プロピレン基、テトラメチレン基、ブチレン基、ペンタメチレン基、ヘキサメチレン基等を挙げることができる。

直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルケニレン基としては、例えば、ビニレン基、プロペニレン基、ブテニレン基およびペンテニレン基等を挙げることができる。なお、二重結合の位置は特に限定されるものではない。

直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルキニレン基としては、プロピニレン基、ブチニレン基、ペンチニレン基、ヘキシニレン基等を挙げることができる。



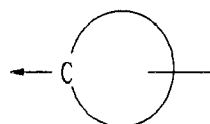
は、置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基、置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基、または置換基を有することもある2価の飽和もしくは不飽和の2環性の縮合環基を意味し、 $\leftarrow C$ はこの基の炭素原子と $Q^1$ との結合を示すものであり、例えば、チオフェン、フラン、ピラン、ピロール、ピロリジン、ピロリン、イミダゾール、イミダゾリン、イミダゾリジン、ピラゾール、ピラゾリジン、チアゾール、オキサゾール、オキサチオラン、ベンゼン、ピリジン、ピペリジン、ピペラジン、モルホリン、チオモルホリン、ピラジン、ピリミジン、ピリダジン、トリアジン、テトラジン、チアジアジン、ジチアジン、シクロペンタン、シクロペンテン、シクロペンタジエン、シクロヘキサン、シクロヘキセン、シクロヘキサジエン等から誘導される2価の基等を挙げることができ、これらは置換基を有す



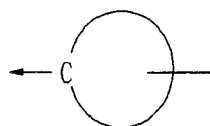
ることある。置換基としては、先の群(4)で挙げたものと同様のものを挙げることができる。

基 $-N(R^1)-CO-$ および基 $-N(R^2)-(CH_2)_m-$ における $R^1$ および $R^2$ のアルキル基としては、直鎖状、分枝状、もしくは環状の炭素数1~6のアルキル基を意味し、例えば、メチル基、エチル基、イソプロピル基、シクロプロピル基等を挙げることができる。基 $-N(R^1)-CO-$ としては、基 $\leftarrow N(R^1)-CO-$ ( $\leftarrow$ はこの基の窒素原子と $Q^1$ との結合を示す。)が好ましく、また基 $-N(R^2)-(CH_2)_m-$ としては、基 $\leftarrow N(R^2)-(CH_2)_m-$ ( $\leftarrow$ はこの基の窒素原子と $Q^1$ との結合を示す。)が好ましい。

本発明においては、 $Q^2$ としては、単結合、カルボニル基、基



で示されるものが好ましく、  
基



で示される基の中でも、ベンゼン、ピリミジン、テトラヒドロピリミジン、ピラジン、ピリダジン、トリアジン、テトラジン、イミダゾール、イミダゾリン、チアゾール、チアゾリン、フラン、チオフェン、ピロール、オキサゾール、オキサゾリン、チアジアゾール、シクロペンタン、シクロペンテン、シクロヘキサン、シクロヘキセンから誘導される2価の基が好ましい。

<基 $Q^3$  について>

$Q^3$  における置換基としての $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^{10}$ 、および $R^{11}$ における

アルキル基、アルコキシル基、アルコキシアルキル基、ヒドロキシアルキル基、ヒドロキシアルキルオキシ基、ヒドロキシアルキルカルボニル基、ヒドロキシアルキルスルホニル基、ホルミルアルキル基、ホルミルアルキルカルボニル基、ホルミルアルキルスルホニル基、アルキルカルボニル基、アルキルスルホニル基、アルキルカルボニルアルキル基、アルキルスルホニルアルキル基、カルボキシアルキル基、カルボキシアルキルカルボニル基、カルボキシアルキルスルホニル基、カルボキシアルキルカルボニルアルキル基、カルボキシアルキルスルホニルアルキル基、アルコキシカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニルオキシ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基およびアミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキルオキシ基は、先に基 $Q^4$  の項の $R^{15}$ において説明したものと同様のものを意味する。

アルコキシアルキルオキシ基は、先に説明したアルコキシアルキル基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、メトキシメチルオキシ基、メトキシエチルオキシ基、エトキシメチルオキシ基等を挙げることができる。

カルボキシアルキルオキシ基とは、上述のカルボキシアルキル基と酸素原子と

で構成する基を意味し、例えば、カルボキシメトキシル基、カルボキシエトキシル基等を挙げることができる。

アルコキシカルボニルアルキルオキシ基とは、先に説明したアルコキシカルボニルアルキル基と酸素原子とで構成する基を意味し、例えば、メトキシカルボニルエチル基、エトキシカルボニルエチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルキルスルホニルアミノカルボニルアルキル基とは、上述のアルキルスルホニル基と置換基を1個有することもあるイミノ基とカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成される基を意味し、例えば、メチルスルホニルアミノカルボニルメチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアリールスルホニルアミノカルボニルアルキル基とは、アリール基とスルホニル基と置換基を1個有することもあるイミノ基とカルボニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成される基を意味し、例えば、フェニルスルホニルアミノカルボニルメチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノスルホニルアルキル基とは、置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基とスルホニル基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成される基を意味する。例えば、アミノスルホニルメチル基等を挙げることができる。

シアノアルキル基とは、シアノ基と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成される基を意味する。

アルキルカルボニルオキシアルキル基とは、上述のアルキルカルボニル基と酸素原子と直鎖状、分枝状もしくは環状の炭素数1～6のアルキレン基とで構成される基を意味する。例えば、メチルカルボニルオキシエチル基等を挙げることができる。

アミノ基部分に置換基を1個有することもあるアルコキシアルキルアミノカル

ボニルアルキル基とは、上述のアルコキシアルキル基と置換基を1個有することもあるイミノ基とカルボニル基とで構成される基を意味し、例えば、エトキシメチルアミノカルボニルメチル基等を挙げることができる。

基 $A^1-B^1$ において、 $A^1$ は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基を意味するが、ここで、飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基は、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げることができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

$B^1$ は単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、 $-O-C_1\sim C_6$ アルキレン基、 $-COO-C_1\sim C_6$ アルキレン基、基 $-NHCO-$ または基 $-NHCO-C_1\sim C_6$ アルキレン基を意味する。

基 $A^1-B^1$ としては、例えば、以下のような基等を挙げることができる。置換基を有することもある飽和または不飽和の5～6員の環状炭化水素基、

置換基を有することもある飽和または不飽和の5～6員の複素環式基とカルボニル基とで構成する基、および

置換基を有することもある飽和または不飽和の5～6員の環状炭化水素基とアルキレン基とで構成する基。

また、 $R^3$  および  $R^4$ 、 $R^5$  および  $R^6$ 、 $R^7$  および  $R^8$ 、 $R^{10}$  および  $R^{11}$  は環を構成する炭素原子とともに一緒になって置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～7員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基を意味するが、ここで、飽和もしくは不飽和の5～7員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基は、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げることができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

$Q^3$  における置換基としての  $R^9$  および  $R^{12}$  におけるアルキル基、ヒドロキシアルキル基、アルコキシル基、ヒドロキシアルキルカルボニル基、ヒドロキシアルキルスルホニル基、アルコキシアルキル基、アルコキ

シアルキルカルボニル基、アルコキシアルキルスルホニル基、ホルミルアルキル基、ホルミルアルキルカルボニル基、ホルミルアルキルスルホニル基、アルキルカルボニル基、アルキルスルホニル基、アルキルカルボニルアルキル基、アルキルスルホニルアルキル基、カルボキシアルキルカルボニル基、カルボキシアルキルスルホニル基、カルボキシアルキルカルボニルアルキル基、カルボキシアルキルスルホニルアルキル基、アルコキシカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシ基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキルオキシカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニル基、アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルアルキル基およびアミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノカルボニルオキシアルキル基は、先に基  $Q^A$  の項において説明したものと同様のものを意味する。

基  $A^2-B^2-$  において、 $A^2$  は置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基または置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基を意味するが、ここで、飽和もしくは不飽和の5～6員の環状炭化水素基としては、例えば、シクロペンチル基、シクロペンテニル基、シクロペンタジエニル基、シクロヘキシル基、シクロヘキセニル基、シクロヘキサジエニル基およびフェニル基等を挙げることができる。なお、シクロペンテニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基は、少なくとも1個の異原子を含む環式基であり、異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げる

ことができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジニル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、テトラゾリル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

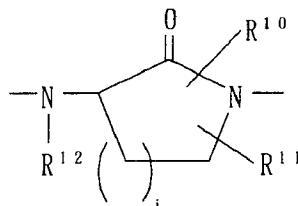
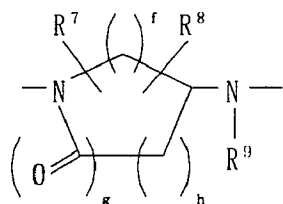
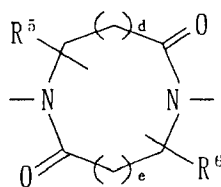
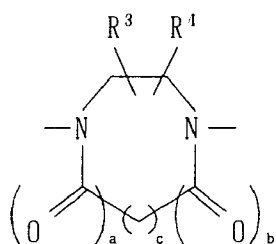
$B^2$  は単結合、カルボニル基、アルキレン基、カルボニルアルキル基、 $-O-C_1\sim C_6$ アルキレン基、 $-COO-C_1\sim C_6$ アルキレン基、基 $-NHCO-$ または基 $-NHCO-C_1\sim C_6$ アルキレン基を意味する。

基 $A^2-B^2-$ としては、例えば、以下のような基等を挙げることができる。  
置換基を有することもある飽和または不飽和の5～6員の複素環式基、  
置換基を有することもある飽和または不飽和の5～6員の環状炭化水素基とカルボニル基とで構成する基、および  
置換基を有することもある飽和または不飽和の5～6員の複素環式基とアルキレン基とで構成する基等。

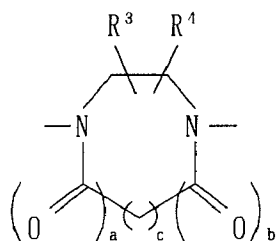
また、 $R^9$  および $R^7$ 、 $R^9$  および $R^8$ 、 $R^{12}$ および $R^{10}$ 、 $R^{12}$ および $R^{11}$ は、環を構成する炭素原子と $R^9$  または $R^{12}$ が結合する窒素原子とともに、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基を意味するが、ここで、飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基は、少なくとも1個の窒素原子を含む環式基であり、さらに異原子を含んでもよい。異原子としては酸素原子、窒素原子および硫黄原子等を挙げることができる。飽和もしくは不飽和の5～6員の複素環式基としては、例えば、フリル基、ピロリル基、チエニル基、ピラゾリル基、イミダゾリル基、ピラゾリニル基、オキサゾリル基、オキサゾリニル基、

チアゾリル基、チアゾリニル基、オキサトリアゾリル基、チアジアゾリル基、フラザニル基、ピラニル基、ピリジル基、ピリダジニル基、ピロリジニル基、ピペラジニル基、ピペリジニル基、オキサジニル基、オキサジアジニル基、モルホリニル基、チアジニル基、チアジアジニル基、チオモルホリニル基、トリアゾリル基およびトリアジニル基等を挙げることができる。なお、ピラニル基のように複数の構造異性がある場合は、それらはすべて含まれる。

本発明において、 $Q^3$  は以下の基



(これらの基中、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$ 、 $R^{10}$ 、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $c$ 、 $d$ 、 $e$ 、 $f$ 、 $g$ 、 $h$ および $i$ は前記に同じ。)を意味するが、中でも、 $Q^3$  としては、基



[基中、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $a$ 、 $b$ および $c$ は前記に同じ。]が好ましく、 $R^3$  および  $R^4$  はそれぞれ独立して、水素原子、



ヒドロキシアルキル基、  
シアノアルキル基、  
カルボキシル基  
カルボキシアルキル基、  
アルコキシカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキル基、  
カルボキシアルキルアミノカルボニル基、  
カルボキシアルキルアミノカルボニルアルキル基、  
アルコキシカルボニルアルキルアミノカルボニル基、  
アルコキシカルボニルアルキルアミノカルボニルアミノ基、  
カルバモイル基、  
モノアルキルカルバモイル基、  
ジアルキルカルバモイル基、  
カルバモイルアルキル基、  
モノアルキルカルバモイルアルキル基、  
ジアルキルカルバモイルアルキル基、  
モルホリニルカルボニル基、  
モルホリニルカルボニルアルキル基、  
テトラゾリルアミノカルボニル基、  
テトラゾリルアミノカルボニルアルキル基、  
テトラゾリルアルキル基、  
テトラゾリルアルキルアミノカルボニル基、  
テトラゾリルアルキルアミノカルボニルアルキル基、  
アミノ基部分に置換基を1個もしくは2個有することもあるアミノアルキル基、  
アルキルアミノスルホニルアルキル基、  
オキシピロリジニルアルキル基、

オキソピペリジニルアルキル基、または

オキソオキサゾリジニルアルキル基を意味し、

aが0を意味し、bが0を意味し、cが2を意味するものがさらに好ましい。

<基 $T^1$  について>

$T^1$  はカルボニル基、

基-CH( $R^{13}$ )-

( $R^{13}$ は水素原子、アルキル基、ヒドロキシアルキル基、アルコキシアルキル基、カルボキシアルキル基、アルコキシカルボニルアルキル基、アリール基、アラルキル基、ヘテロアリール基、ヘテロアリールアルキル基またはアミノ基部分に置換基を有することもあるアミノアルキル基を意味する。) または

基-C(=NOR $^{14}$ )-または基-C(=N-NHR $^{14'}$ )-

( $R^{14}$ および $R^{14'}$ はそれぞれ独立して水素原子、アルキル基、カルボキシアルキル基、アルコキシカルボニル基、アリール基、アラルキル基、ヘテロアリール基、ヘテロアリールアルキル基またはアミノ基部分に置換基を有することもあるアミノアルキル基を意味する。) を意味する。

ここで、 $R^{13}$ および $R^{14}$ におけるアルキル基、カルボキシアルキル基、アルコキシカルボニル基、アリール基、アラルキル基、ヘテロアリール基、ヘテロアリールアルキル基、アミノ基部分に置換基を有することもあるアミノアルキル基は、基 $Q^A$  において説明したものと同様のものを意味する。本発明においては、 $T^1$  として、カルボニル基が好ましい。

本発明のスルホニル誘導体には、不斉炭素原子に由来する光学異性体あるいは立体異性体が存在することもあるが、これらの光学異性体、立体異性体及びこれらの混合物のいずれも本発明に含まれる。

本発明のスルホニル誘導体の塩としては、医薬的に許容し得る塩であれば特に限定されないが、具体的には、塩酸塩、臭化水素酸塩、ヨウ化水素酸塩、磷酸塩、硝酸塩および硫酸塩等の鉱酸塩類、安息香酸塩、メタンスルホン酸塩、2-ヒド

ロキシエタンスルホン酸塩およびp-トルエンスルホン酸塩等の有機スルホン酸塩類、並びに酢酸塩、プロパン酸塩、シュウ酸塩、マロン酸塩、コハク酸塩、グルタル酸塩、アジピン酸塩、酒石酸塩、マレイン酸塩、リンゴ酸塩およびマンデル酸塩等の有機カルボン酸塩類等を挙げることができる。また、溶媒和物としては、医薬的に許容し得るものであれば特に限定されないが、具体的には、水和物、エタノール和物等を挙げることができる。

以下に、本発明のスルホニル誘導体における好ましい化合物の例を挙げる。

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[2-[(N,N-ジメチル)アミノ]エチル]-4-メチルチアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[2-[(N,N-ジメチル)アミノ]エチル]チアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[3-[(N,N-ジメチル)アミノ]プロピル]-4-メチルチアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[3-[(N,N-ジメチル)アミノ]プロピル]チアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[2-[(N,N-ジメチル)アミノ]エチル]-4-メチルチアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[2-[(N,N-ジメチル)アミノ]エチル]チアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[5-[3-

[(N, N-ジメチル) アミノ] プロピル] - 4 - メチルチアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [3 - [(N, N-ジメチル) アミノ] プロピル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [2 - [(N, N-ジメチル) アミノ] エチル] - 4 - メチルチアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [2 - [(N, N-ジメチル) アミノ] エチル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [3 - [(N, N-ジメチル) アミノ] プロピル] - 4 - メチルチアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [3 - [(N, N-ジメチル) アミノ] プロピル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1 - メチルピペリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1 - メチルピペリジン) - 3 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1 - メチルピペリジン) - 2 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 3-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 2-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (ピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (1-メチルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-カルバモイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-アセトイミドイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - (ピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - (1-メチルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-カルバモイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イ

ル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-アセトイミドイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1-メチル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(1-カルバモイル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(1-アセトイミドイル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(1-カルバモイル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] ピペラジ

ン

1 - [ [5 - [ (1 - アセトイミドイル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] - 4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [ (N - メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン - 4 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [ 2 - [ [4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] チアゾール - 5 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン - 3 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

3 - [ 2 - [ [4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] チアゾール - 5 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン - 2 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [ 2 - [ [4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] チアゾール - 5 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - [ (1 - メチルピペリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - [ (1 - メチルピペリジン) - 3 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - [ (1 - メチルピペリジン) - 2 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 3-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 2-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (ピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (1-メチルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-カルバモイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-アセトイミドイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - (ピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - (1-メチルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-カルバモイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イ



ル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-アセトイミドイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [(1-メチル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(1-カルバモイル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(1-アセトイミドイル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(1-カルバモイル-1, 2, 5, 6-テトラヒドロピリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] ピペラジ

ン

1 - [ [5 - [ (1 - アセトイミドイル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] - 4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [ (N - メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン - 4 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [ 2 - [ [4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] チアゾール - 5 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン - 3 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

3 - [ 2 - [ [4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] チアゾール - 5 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン - 2 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [ 2 - [ [4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] チアゾール - 5 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - [ (1 - メチルピペリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - [ (1 - メチルピペリジン) - 3 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - [ (1 - メチルピペリジン) - 2 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 4-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 3-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - [(1-メチルピペリジン) - 2-イル] チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (ピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (1-メチルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-カルバモイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [[5 - (1-アセトイミドイルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - (ピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチル) カルバモイル] - 1 - [[5 - (1-メチルピロリジン-3-イル) チアゾール-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ [5 - (1 - カルバモイルピロリジン - 3 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] - 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [ (N - メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [ [5 - (1 - アセトイミドイルピロリジン - 3 - イル) チアゾール - 2 - イル] カルボニル] - 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [ (N - メチル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (1 - メチル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ [5 - [ (1 - カルバモイル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] - 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [ [5 - [ (1 - アセトイミドイル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] - 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン

4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [ (N - メチル) カルバモイル] - 1 - [ [5 - (1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [ (N - メチル) カルバモイル] - 1 - [ [5 - (1 - メチル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン) - 4 - イル] チアゾール - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ [5 - [ (1 - カルバモイル - 1, 2, 5, 6 - テトラヒドロピリジン)

－４－イル] チアゾール－２－イル] カルボニル] －４－ [(６－クロロベンゾ  
[b] チエン－２－イル) スルホニル] －２－ [(N－メチル) カルバモイル]  
ピペラジン

１－ [[５－ [(１－アセトイミドイル－１， ２， ５， ６－テトラヒドロピリジ  
ン) －４－イル] チアゾール－２－イル] カルボニル] －４－ [(６－クロロベ  
ンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニル] －２－ [(N－メチル) カルバモイ  
ル] ピペラジン

１－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニル] －４－ [[５  
－ (ピリジン－４－イル) チアゾール－２－イル] カルボニル] ピペラジン

４－ [２－ [[４－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニ  
ル] ピペラジン－１－イル] カルボニル] チアゾール－５－イル] ピリジン N  
－オキシド

１－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニル] －４－ [[５  
－ (ピリジン－３－イル) チアゾール－２－イル] カルボニル] ピペラジン

３－ [２－ [[４－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニ  
ル] ピペラジン－１－イル] カルボニル] チアゾール－５－イル] ピリジン N  
－オキシド

１－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニル] －４－ [[５  
－ (ピリジン－２－イル) チアゾール－２－イル] カルボニル] ピペラジン

２－ [２－ [[４－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニ  
ル] ピペラジン－１－イル] カルボニル] チアゾール－５－イル] ピリジン N  
－オキシド

１－ [(６－クロロナフタレン－２－イル) スルホニル] －４－ [[１， ２－ジ  
ヒドロ－２－オキソ－６－ (ピリジン－４－イル) ピリジン－３－イル] カルボ  
ニル] ピペラジン

１－ [(６－クロロベンゾ [b] チエン－２－イル) スルホニル] －４－ [[１，

2-ジヒドロ-2-オキソ-6-(ピリジン-4-イル)ピリジン-3-イル]  
カルボニル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[1, 2-ジ  
ヒドロ-2-オキソ-6-(ピリジン-4-イル)ピリジン-3-イル]カルボ  
ニル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[6-(ピリ  
ジン-4-イル)-ピリダジン-3-イル]カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-4-[[6-  
(ピリジン-4-イル)-ピリダジン-3-イル]カルボニル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[6-(ピリ  
ジン-4-イル)-ピリダジン-3-イル]カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[3-(ピリ  
ジン-4-イル)-1, 2, 4-トリアジン-6-イル]カルボニル] ピペラジ  
ン

1-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-4-[[3-  
(ピリジン-4-イル)-1, 2, 4-トリアジン-6-イル]カルボニル]  
ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[3-(ピリ  
ジン-4-イル)-1, 2, 4-トリアジン-6-イル]カルボニル] ピペラジ  
ン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[2, 5-ジ  
ヒドロ-5-オキソ-6-(ピリジン-4-イル)-1, 2, 4-トリアジン-  
3-イル]カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[[6-(ピリ  
ジン-4-イル)-1, 2, 4-トリアジン-3-イル]カルボニル] ピペラジ  
ン

1 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル ] - 4 - [ [ 6 - (ピリジン - 4 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] カルボニル ]  
 ピペラジン

1 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル ] - 4 - [ [ 6 - (ピリジン - 4 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

4 - [ 3 - [ [ 4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] - 1, 2 - ジヒドロ - 2 - オキソピリジン - 6 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 3 - [ [ 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] - 1, 2 - ジヒドロ - 2 - オキソピリジン - 6 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 3 - [ [ 4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] - 1, 2 - ジヒドロ - 2 - オキソピリジン - 6 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 6 - [ [ 4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリダジン - 3 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 6 - [ [ 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリダジン - 3 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 6 - [ [ 4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリダジン - 3 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 6 - [ [ 4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] ピリジン N - オキシド

4 - [ 6 - [ [ 4 - [ (6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホ

ニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -1, 2, 4-トリアジン-3-イル] ピリジン N-オキシド

4- [6- [ [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -1, 2, 4-トリアジン-3-イル] ピリジン N-オキシド

4- [3- [ [4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-1, 2, 4-トリアジン-6-イル] ピリジン N-オキシド

4- [3- [ [4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -1, 2, 4-トリアジン-6-イル] ピリジン N-オキシド

4- [3- [ [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -1, 2, 4-トリアジン-6-イル] ピリジン N-オキシド

4- [3- [ [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -1, 2, 4-トリアジン-6-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2-ヒドロキシメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピ



ペラジン

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2-ヒドロキシメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2-ヒドロキシメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2, 6-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2, 6-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2, 6-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2, 3-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2, 3-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (2, 3-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (3-

メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(3-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(3-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(3-フルオロピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(3-フルオロピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2-フルオロピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2, 5-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2, 5-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(2, 5-ジメチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4- [2- [[4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-メチルピリジン N-オキシド

4- [2- [[4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニ

ル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-メチル  
ピリジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラ  
ジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-メチルピリジン  
N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラ  
ジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-ヒドロキシメチル  
ピリジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (6-クロロベンゾ [b] チェン-2-イル) スルホニ  
ル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-ヒドロ  
キシメチルピリジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラ  
ジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-ヒドロキシメチル  
ピリジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラ  
ジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 6-ジメチルピリ  
ジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (6-クロロベンゾ [b] チェン-2-イル) スルホニ  
ル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 6-ジ  
メチルピリジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラ  
ジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 6-ジメチルピリ  
ジン N-オキシド

4-[2-[ [4-[ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラ  
ジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 3-ジメチルピリ  
ジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 3-ジメチルピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 3-ジメチルピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -3-メチルピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -3-メチルピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -3-メチルピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -3-フルオロピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -3-フルオロピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2-フルオロピリジン N-オキシド

4- [2- [ [4- [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] -2, 5-ジメチルピリ

ジン N-オキシド

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2, 5 - ジメチルピリジン N-オキシド

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2, 5 - ジメチルピリジン N-オキシド

1 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 2 - ( ピリジン - 4 - イル ) - 3, 4, 5, 6 - テトラヒドロピリミジン - 5 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

1 - [ ( 6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 2 - ( ピリジン - 4 - イル ) - 3, 4, 5, 6 - テトラヒドロピリミジン - 5 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

1 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 2 - ( ピリジン - 4 - イル ) - 3, 4, 5, 6 - テトラヒドロピリミジン - 5 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

1 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5, 6 - ジヒドロ - 2 - ( ピリジン - 4 - イル ) オキサジン - 5 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

1 - [ ( 6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5, 6 - ジヒドロ - 2 - ( ピリジン - 4 - イル ) オキサジン - 5 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

1 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5, 6 - ジヒドロ - 2 - ( ピリジン - 4 - イル ) オキサジン - 5 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

3 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 6, 7 - ジヒドロキ

シ-8-[4-(ピリジン-4-イル)ベンゾイル]-3, 8-ジアザビシクロ  
[3. 2. 1]オクタン

4-[4-[ [ [3-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-6,  
7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ[3. 2. 1]オクタン]-8-イル]  
カルボニル]フェニル]ピリジン N-オキシド

3-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-6, 7-ジヒドロキシ-  
シ-8-[4-(ピリジン-4-イル)ベンゾイル]-3, 8-ジアザビシクロ  
[3. 2. 1]オクタン

4-[4-[ [ [3-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-6,  
7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ[3. 2. 1]オクタン]-8-イル]  
カルボニル]フェニル]ピリジン N-オキシド

3-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-6, 7-ジ  
ヒドロキシ-8-[4-(ピリジン-4-イル)ベンゾイル]-3, 8-ジア  
ザビシクロ[3. 2. 1]オクタン

4-[4-[ [ [3-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニ  
ル]-6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ[3. 2. 1]オクタ  
ン]-8-イル]カルボニル]フェニル]ピリジン N-オキシド

3-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-6, 7-ジヒドロキシ-  
シ-8-[ [5-(ピリジン-4-イル)ピリミジン-2-イル]カルボニル]  
-3, 8-ジアザビシクロ[3. 2. 1]オクタン

4-[2-[3-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-3, 8-  
-ジアザビシクロ[3. 2. 1]オクタン-8-イル]カルボニルピリミジン-  
5-イル]ピリジン N-オキシド

3-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-6, 7-ジヒドロキシ-  
シ-8-[ [2-(ピリジン-4-イル)ピリミジン-5-イル]カルボニル]  
-3, 8-ジアザビシクロ[3. 2. 1]オクタン

4 - [5 - [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-8 - [[5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン

4 - [5 - [3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-8 - [[2 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン

4 - [2 - [3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-8 - [[5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン

4 - [5 - [3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-8 - [[2 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン

4 - [2 - [3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8

ーイル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド  
 3- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-8- [[5-(ピリジン-4-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] -3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4- [5- [3- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシド  
 3- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-8- [[5-(ピリジン-4-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] -3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4- [5- [3- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシド  
 3- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-8- [[5-(ピリジン-4-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] -3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4- [5- [3- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシド  
 3- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-8- [[6-(ピリジン-4-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル] -3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4- [6- [3- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキシド  
 3- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -6, 7-ジヒドロキシ



シー 8 - [ [6 - (ピリジン-4-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル]  
 - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4 - [6 - [3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 6, 7-  
 ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル]  
 カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジ  
 ヒドロキシ-8 - [ [6 - (ピリジン-4-イル) ピリダジン-3-イル] カル  
 ボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4 - [6 - [3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]  
 - 6, 7-ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8  
 -イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキ  
 シ-8 - [ [6 - (ピリジン-4-イル) - 1, 2, 4-トリアジン-3-イ  
 ル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4 - [3 - [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 6, 7  
 -ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル]  
 カルボニル-1, 2, 4-トリアジン-6-イル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキ  
 シ-8 - [ [3 - (ピリジン-4-イル) - 1, 2, 4-トリアジン-6-イ  
 ル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン  
 4 - [6 - [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 6, 7  
 -ジヒドロキシ-3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン-8-イル]  
 カルボニル-1, 2, 4-トリアジン-3-イル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 6, 7-ジヒドロキ  
 シ-8 - [ [6 - (ピリジン-4-イル) - 1, 2, 4-トリアジン-3-イ  
 ル] カルボニル] - 3, 8-ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン

- 4 - [3 - [3 - [(5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン - 8 - イル] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル] ピリジン N - オキシド
- 3 - [(5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 8 - [[3 - (ピリジン - 4 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル] カルボニル] - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン
- 4 - [6 - [3 - [(5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン - 8 - イル] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル] ピリジン N - オキシド
- 3 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 8 - [[6 - (ピリジン - 4 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル] カルボニル] - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン
- 4 - [3 - [3 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン - 8 - イル] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル] ピリジン N - オキシド
- 3 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 8 - [[3 - (ピリジン - 4 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル] カルボニル] - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン
- 4 - [6 - [3 - [(6 - クロロベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル] - 6, 7 - ジヒドロキシ - 3, 8 - ジアザビシクロ [3. 2. 1] オクタン - 8 - イル] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル] ピリジン N - オキシド
- 1 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (ピリジン - 2 - イル) ピリミジン - 2 - イル] カルボニル] ピペラジン
- 2 - [2 - [4 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] ピペラジ

ン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド  
 1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[2-(ピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2- [5- [4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド  
 1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(ピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2- [2- [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド  
 1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[2-(ピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2- [5- [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド  
 1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(ピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2- [2- [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド  
 1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[2-(ピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2- [5- [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド  
 1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(ピリジン-2-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2- [5- [4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

ン-1-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(ピリジン-2-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [5- [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5-(ピリジン-2-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [5- [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[6-(ピリジン-2-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [6- [4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4- [[6-(ピリジン-2-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [6- [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[6-(ピリジン-2-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [6- [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[6-(ピリジン-2-イル) -1, 2, 4-トリアジン-3-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [ 3 - [ 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] ピリジン N - オキシド

1 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 3 - ( ピリジン - 2 - イル ) - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

2 - [ 6 - [ 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] ピリジン N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 6 - ( ピリジン - 2 - イル ) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

2 - [ 3 - [ 4 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] ピリジン N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 3 - ( ピリジン - 2 - イル ) - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

2 - [ 6 - [ 4 - [ ( 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] ピリジン N - オキシド

1 - [ ( 6 - クロロベンゾ [ b ] チェン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 6 - ( ピリジン - 2 - イル ) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] カルボニル ] ピペラジン

2 - [ 3 - [ 4 - [ ( 6 - クロロベンゾ [ b ] チェン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] ピリ

ジン N-オキシド

1 - [ (6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [ 3 - (ピリジン-2-イル) - 1, 2, 4-トリアジン-6-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [ 6 - [ 4 - [ (6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル-1, 2, 4-トリアジン-3-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ [ 5 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 4 - [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 2 - [ 4 - [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ [ 2 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 4 - [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 5 - [ 4 - [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ [ 5 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 4 - [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 2 - [ 4 - [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ [ 2 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イ

ル] カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [5 - [4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [[5 - [6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [2 - [4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [[2 - [6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [5 - [4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - (6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6-メチルピリジン N-

オキシド

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - (6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - (6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - (6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[4 - (4-メチルピリジン-2-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

2 - [4 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン



ン-1-イル] カルボニルフェニル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5-(4-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 4-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2-(4-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 4-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5-(4-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 4-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2-(4-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 4-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チェン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5-(4-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(6-クロロベンゾ [b] チェン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 4-メチルピリジ

ン N-オキシド

1 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - (4-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 4-メチルピリジン

ン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - [6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - [6 -

(ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [5- [4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] -6- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[5- [6- (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [2- [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] -6- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -4- [[2- [6- (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [5- [4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] -6- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[4- (ピリジン-2-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[4- (ピリジン-2-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

2- [4- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] ピリジン N-オキシド

2- [4- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-

- (ピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 1 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5  
 - (ピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2 - [2 - [4 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
 ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキ  
 シド  
 2 - [2 - [4 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
 ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキ  
 シド  
 1 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2  
 - (ピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン  
 1 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2  
 - (ピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2 - [5 - [4 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
 ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキ  
 シド  
 2 - [5 - [4 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
 ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキ  
 シド  
 1 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5  
 - (ピリジン-2-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 1 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5  
 - (ピリジン-2-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン  
 2 - [5 - [4 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
 ピペラジン-1-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシ  
 ド

2 - [5 - [4 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニルピラジン - 2 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[6 - (ピリジン - 2 - イル) ピリダジン - 3 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[6 - (ピリジン - 2 - イル) ピリダジン - 3 - イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [6 - [4 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニルピリダジン - 3 - イル] ピリジン N - オキシド

2 - [6 - [4 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニルピリダジン - 3 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[6 - (ピリジン - 2 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[6 - (ピリジン - 2 - イル) - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [3 - [4 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル] ピリジン N - オキシド

2 - [3 - [4 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] ピペラジン - 1 - イル] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[3

－（ピリジン－2－イル）－1，2，4－トリアジン－6－イル］カルボニル］  
ピペラジン

1－〔（6－クロロベンズイミダゾール－2－イル）スルホニル〕－4－〔〔3  
－（ピリジン－2－イル）－1，2，4－トリアジン－6－イル］カルボニル］  
ピペラジン

2－〔6－〔4－〔（5－クロロベンズイミダゾール－2－イル）スルホニル］  
ピペラジン－1－イル］カルボニル－1，2，4－トリアジン－3－イル］ピリ  
ジン N－オキシド

2－〔6－〔4－〔（6－クロロベンズイミダゾール－2－イル）スルホニル］  
ピペラジン－1－イル］カルボニル－1，2，4－トリアジン－3－イル］ピリ  
ジン N－オキシド

1－〔〔4－〔6－（アミノメチル）ピリジン－2－イル］フェニル］カルボニ  
ル〕－4－〔（5－クロロベンズイミダゾール－2－イル）スルホニル］ピペラ  
ジン

1－〔〔4－〔6－（アミノメチル）ピリジン－2－イル］フェニル］カルボニ  
ル〕－4－〔（6－クロロベンズイミダゾール－2－イル）スルホニル］ピペラ  
ジン

2－（アミノメチル）－6－〔4－〔4－〔（5－クロロベンズイミダゾール－  
2－イル）スルホニル］ピペラジン－1－イル］カルボニルフェニル］ピリジン  
N－オキシド

2－（アミノメチル）－6－〔4－〔4－〔（6－クロロベンズイミダゾール－  
2－イル）スルホニル］ピペラジン－1－イル］カルボニルフェニル］ピリジン  
N－オキシド

1－〔〔5－〔6－（アミノメチル）ピリジン－2－イル］ピリミジン－2－イ  
ル］カルボニル〕－4－〔（5－クロロベンズイミダゾール－2－イル）スルホ  
ニル］ピペラジン

1 - [ [ 5 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 2 - [ 4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 2 - [ 4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ [ 2 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [ [ 2 - [ 6 - (アミノメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 5 - [ 4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

2 - (アミノメチル) - 6 - [ 5 - [ 4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [ 4 - (6-メチルピリジン-2-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [ 4 - (6-メチルピリジン-2-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

2 - [ 4 - [ 4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

2- [4- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[5-  
(6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[5-  
(6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [2- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

2- [2- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[2-  
(6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[2-  
(6-メチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [5- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6-メチルピリジン N-オキシド



2 - [5 - [4 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル]  
ピペラジン - 1 - イル] カルボニルピリミジン - 2 - イル] - 6 - メチルピリジ  
ン N - オキシド

1 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[4  
- (4 - メチルピリジン - 2 - イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[4  
- (4 - メチルピリジン - 2 - イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

2 - [4 - [4 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル]  
ピペラジン - 1 - イル] カルボニルフェニル] - 4 - メチルピリジン N - オキ  
シド

2 - [4 - [4 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル]  
ピペラジン - 1 - イル] カルボニルフェニル] - 4 - メチルピリジン N - オキ  
シド

1 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5  
- (4 - メチルピリジン - 2 - イル) ピリミジン - 2 - イル] カルボニル] ピペ  
ラジン

1 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[5  
- (4 - メチルピリジン - 2 - イル) ピリミジン - 2 - イル] カルボニル] ピペ  
ラジン

2 - [2 - [4 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル]  
ピペラジン - 1 - イル] カルボニルピリミジン - 5 - イル] - 4 - メチルピリジ  
ン N - オキシド

2 - [2 - [4 - [(6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル]  
ピペラジン - 1 - イル] カルボニルピリミジン - 5 - イル] - 4 - メチルピリジ  
ン N - オキシド

1 - [(5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル) スルホニル] - 4 - [[2

ー (4-シメチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[2- (4-シメチルピリジン-2-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2- [5- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] -4-メチルピリジン N-オキシド

2- [5- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] -4-メチルピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[4- [6- (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] フェニル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[4- [6- (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] フェニル] カルボニル] ピペラジン

2- [4- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] -6- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

2- [4- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] -6- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[5- [6- (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5 - [6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [2 - [4 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

2 - [2 - [4 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - [6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[2 - [6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン-2-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

2 - [5 - [4 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

2 - [5 - [4 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] - 6 - (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[4 - (ピリジン-4-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [[4 - (ピリジン-4-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

4 - [4 - [4 - [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] ピリジン N-オキシド

4- [4- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-  
(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-  
(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4- [2- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキ  
シド

4- [2- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキ  
シド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[2-  
(ピリジン-4-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[2-  
(ピリジン-4-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

4- [5- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキ  
シド

4- [5- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキ  
シド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-  
(ピリジン-4-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[5-

ー (ピリジン-4-イル) ピラジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4- [5- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシ  
ド

4- [5- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピラジン-2-イル] ピリジン N-オキシ  
ド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[6  
- (ピリジン-4-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[6  
- (ピリジン-4-イル) ピリダジン-3-イル] カルボニル] ピペラジン

4- [6- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキ  
シド

4- [6- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニルピリダジン-3-イル] ピリジン N-オキ  
シド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[6  
- (ピリジン-4-イル) - 1, 2, 4-トリアジン-3-イル] カルボニル]  
ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4- [[6  
- (ピリジン-4-イル) - 1, 2, 4-トリアジン-3-イル] カルボニル]  
ピペラジン

4- [3- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]  
ピペラジン-1-イル] カルボニル-1, 2, 4-トリアジン-6-イル] ピリ  
ジン N-オキシド

4 - [ 3 - [ 4 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
 ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] ピリ  
 ジン N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 3  
 - ( ピリジン - 4 - イル ) - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] カルボニル ]  
 ピペラジン

1 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 3  
 - ( ピリジン - 4 - イル ) - 1, 2, 4 - トリアジン - 6 - イル ] カルボニル ]  
 ピペラジン

4 - [ 6 - [ 4 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
 ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] ピリ  
 ジン N - オキシド

4 - [ 6 - [ 4 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
 ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル - 1, 2, 4 - トリアジン - 3 - イル ] ピリ  
 ジン N - オキシド

1 - [ [ 4 - [ 2 - ( アミノメチル ) ピリジン - 4 - イル ] フェニル ] カルボニ  
 ル ] - 4 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラ  
 ジン

1 - [ [ 4 - [ 2 - ( アミノメチル ) ピリジン - 4 - イル ] フェニル ] カルボニ  
 ル ] - 4 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラ  
 ジン

2 - ( アミノメチル ) - 4 - [ 4 - [ 4 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール -  
 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニルフェニル ] ピリジン  
 N - オキシド

2 - ( アミノメチル ) - 4 - [ 4 - [ 4 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール -  
 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニルフェニル ] ピリジン

## N-オキシド

1 - [ [5 - [2 - (アミノメチル) ピリジン-4-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [ [5 - [2 - (アミノメチル) ピリジン-4-イル] ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 4 - [2 - [4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

2 - (アミノメチル) - 4 - [2 - [4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ [2 - [2 - (アミノメチル) ピリジン-4-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1 - [ [2 - [2 - (アミノメチル) ピリジン-4-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] - 4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

2 - (アミノメチル) - 4 - [5 - [4 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

2 - (アミノメチル) - 4 - [5 - [4 - [ (6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ (5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [4

— (2-メチルピリジン-4-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

1 — [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] — 4 — [[4-

— (2-メチルピリジン-4-イル) フェニル] カルボニル] ピペラジン

4 — [4 — [4 — [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] — 2-メチルピリジン N-オキシド

4 — [4 — [4 — [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルフェニル] — 2-メチルピリジン N-オキシド

1 — [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] — 4 — [[5-

— (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 — [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] — 4 — [[5-

— (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

4 — [2 — [4 — [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] — 2-メチルピリジン N-オキシド

4 — [2 — [4 — [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] — 2-メチルピリジン N-オキシド

1 — [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] — 4 — [[2-

— (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

1 — [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] — 4 — [[2-

— (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペ



ラジン

4 - [ 5 - [ 4 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
ピペラジン - 1 - イル ] カルボニルピリミジン - 2 - イル ] - 2 - メチルピリジ  
ン N - オキシド

4 - [ 5 - [ 4 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
ピペラジン - 1 - イル ] カルボニルピリミジン - 2 - イル ] - 2 - メチルピリジ  
ン N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 4  
- [ 2 - ( ハイドロキシメチル ) ピリジン - 4 - イル ] フェニル ] カルボニル ]  
ピペラジン

1 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 4  
- [ 2 - ( ハイドロキシメチル ) ピリジン - 4 - イル ] フェニル ] カルボニル ]  
ピペラジン

4 - [ 4 - [ 4 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
ピペラジン - 1 - イル ] カルボニルフェニル ] - 2 - ( ハイドロキシメチル ) ピ  
リジン N - オキシド

4 - [ 4 - [ 4 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]  
ピペラジン - 1 - イル ] カルボニルフェニル ] - 2 - ( ハイドロキシメチル ) ピ  
リジン N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5  
- [ 2 - ( ハイドロキシメチル ) ピリジン - 4 - イル ] ピリミジン - 2 - イル ]  
カルボニル ] ピペラジン

1 - [ ( 6 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5  
- [ 2 - ( ハイドロキシメチル ) ピリジン - 4 - イル ] ピリミジン - 2 - イル ]  
カルボニル ] ピペラジン

4 - [ 2 - [ 4 - [ ( 5 - クロロベンズイミダゾール - 2 - イル ) スルホニル ]

ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] -2- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

4- [2- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-5-イル] -2- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[2- [2- (ハイドロキシメチル) ピリジン-4-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] -4- [[2- [2- (ハイドロキシメチル) ピリジン-4-イル] ピリミジン-5-イル] カルボニル] ピペラジン

4- [5- [4- [(5-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] -2- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

4- [5- [4- [(6-クロロベンズイミダゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニルピリミジン-2-イル] -2- (ハイドロキシメチル) ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] -4- [4- (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] ピペラジン

4- [4- [[4- [(5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド

1- [(5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] -4- [4- (2-メチルピリジン-4-イル) ベンゾイル] ピペラジン

4- [4- [[4- [(5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル] -2-メチルピリジン N-オキシド

- 1 - [ (5 - クロロ - 1 - イソインドリノン - 2 - イル) スルホニル ] - 4 -  
[ 4 - (ピリジン - 4 - イル) ベンゾイル ] ピペラジン
- 4 - [ 4 - [ [ 4 - [ (5 - クロロイソインドリン - 2 - イル) スルホニル ] ピ  
ペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピリジン N - オキシド
- 1 - [ (5 - クロロ - 2 - イソインドリノン - 2 - イル) スルホニル ] - 4 -  
[ 4 - (2 - メチルピリジン - 4 - イル) ベンゾイル ] ピペラジン
- 4 - [ 4 - [ [ 4 - [ (5 - クロロ - 2 - イソインドリノン - 2 - イル) スルホ  
ニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] - 2 - メチルピリジン  
N - オキシド
- 1 - [ (1, 2, 3, 4 - テトラヒドロ - 5 - クロロイソキノリン - 2 - イル)  
スルホニル ] - 4 - [ 4 - (ピリジン - 4 - イル) ベンゾイル ] ピペラジン
- 4 - [ 4 - [ [ 4 - [ (1, 2, 3, 4 - テトラヒドロ - 5 - クロロイソキノリ  
ン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピ  
リジン N - オキシド
- 1 - [ (1, 2, 3, 4 - テトラヒドロ - 5 - クロロイソキノリン - 2 - イ  
ル) ] - 4 - [ 4 - (2 - メチルピリジン - 4 - イル) ベンゾイル ] ピペラジン
- 4 - [ 4 - [ [ 4 - [ (1, 2, 3, 4 - テトラヒドロ - 5 - クロロイソキノリ  
ン - 2 - イル) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] -  
2 - メチルピリジン N - オキシド
- 1 - [ (5 - クロロ - 3 - ヒドロキシインドル - 2 - イル) スルホニル ] - 4 -  
[ 4 - (ピリジン - 4 - イル) ベンゾイル ] ピペラジン
- 4 - [ 4 - [ [ 4 - [ (5 - クロロ - 3 - ヒドロキシインドル - 2 - イル) スル  
ホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピリジン N - オキシ  
ド
- 1 - [ (5 - クロロ - 3 - ヒドロキシインドル - 2 - イル) ] - 4 - [ 4 - (2  
- メチルピリジン - 4 - イル) ベンゾイル ] ピペラジン

4 - [ 4 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - ヒドロキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] - 2 - メチルピリジン  
N-オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 -  
[ 4 - ( ピリジン - 4 - イル ) ベンゾイル ] ピペラジン

4 - [ 4 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピリジン N-オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) ] - 4 - [ 4 - ( 2 -  
メチルピリジン - 4 - イル ) ベンゾイル ] ピペラジン

4 - [ 4 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] - 2 - メチルピリジン  
N-オキシド

1 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 -  
[ 4 - ( ピリジン - 4 - イル ) ベンゾイル ] ピペラジン

4 - [ 4 - [ [ 4 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピリジン N-オキシド

1 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) ] - 4 - [ 4 - ( 2 -  
メチルピリジン - 4 - イル ) ベンゾイル ] ピペラジン

4 - [ 4 - [ [ 4 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] - 2 - メチルピリジン  
N-オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 3 - ヒドロキシメチルインドール - 2 - イル ) スルホニル ]  
- 4 - [ 4 - ( ピリジン - 4 - イル ) ベンゾイル ] ピペラジン

4 - [ 4 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - ヒドロキシメチルインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピリジン N

ーオキシド

1-[(5-クロロ-3-ヒドロキシメチルインドール-2-イル)]-4-[4-(2-メチルピリジン-4-イル)ベンゾイル]ピペラジン

4-[4-[4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシメチルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]フェニル]-2-メチルピリジン N-オキシド

1-[(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[4-(ピリジン-4-イル)ベンゾイル]ピペラジン

4-[4-[4-[(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]フェニル]ピリジン N-オキシド

1-[(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)]-4-[4-(2-メチルピリジン-4-イル)ベンゾイル]ピペラジン

4-[4-[4-[(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]フェニル]-2-メチルピリジン N-オキシド

1-[(1-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[4-(ピリジン-4-イル)ベンゾイル]ピペラジン

4-[4-[4-[(1-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]フェニル]ピリジン N-オキシド

1-[(1-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)]-4-[4-(2-メチルピリジン-4-イル)ベンゾイル]ピペラジン

4-[4-[4-[(1-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]フェニル]-2-メチルピリジン

N-オキシド

1-[(5-クロロ-1-ホルミルインドール-2-イル)スルホニル]-4-

[4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] ピペラジン

4 - [4 - [ [4 - [ (5-クロロ-1-ホルミルインドル-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド  
1 - [ (5-クロロ-1-ホルミルインドル-2-イル) ] - 4 - [4 - (2-メチルピリジン-4-イル) ベンゾイル] ピペラジン

4 - [4 - [ [4 - [ (5-クロロ-1-ホルミルインドル-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル] - 2-メチルピリジン  
N-オキシド

1 - [ (5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピペラジン

4 - [2 - [ [4 - [ (5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ (5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピペラジン

4 - [2 - [ [4 - [ (5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] - 2-メチルピリジン  
N-オキシド

1 - [ (5-クロロ-1-イソインドリノン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ [5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピペラジン

4 - [2 - [ [4 - [ (5-クロロイソインドリン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド

1 - [ (5-クロロ-2-イソインドリノン-2-イル) スルホニル] - 4

－ [ [5－ (2－メチルピリジン－4－イル) ピリミジン－2－イル] カルボキシ] ピペラジン

4－ [2－ [ [4－ [ (5－クロロ－2－イソインドリノン－2－イル) スルホニル] ピペラジン－1－イル] カルボニル] ピリミジン－5－イル] － 2－メチルピリジン N－オキシド

1－ [ (1, 2, 3, 4－テトラヒドロ－5－クロロイソキノリン－2－イル) スルホニル] － 4－ [ [5－ (ピリジン－4－イル) ピリミジン－2－イル] カルボキシ] ピペラジン

4－ [2－ [ [4－ [ (1, 2, 3, 4－テトラヒドロ－5－クロロイソキノリン－2－イル) スルホニル] ピペラジン－1－イル] カルボニル] ピリミジン－5－イル] ピリジン N－オキシド

1－ [ (1, 2, 3, 4－テトラヒドロ－5－クロロイソキノリン－2－イル) ] － 4－ [ [5－ (2－メチルピリジン－4－イル) ピリミジン－2－イル] カルボキシ] ピペラジン

4－ [2－ [ [4－ [ (1, 2, 3, 4－テトラヒドロ－5－クロロイソキノリン－2－イル) スルホニル] ピペラジン－1－イル] カルボニル] ピリミジン－5－イル] － 2－メチルピリジン N－オキシド

1－ [ (5－クロロ－3－ヒドロキシインドル－2－イル) スルホニル] － 4－ [ [5－ (ピリジン－4－イル) ピリミジン－2－イル] カルボキシ] ピペラジン

4－ [2－ [ [4－ [ (5－クロロ－3－ヒドロキシインドル－2－イル) スルホニル] ピペラジン－1－イル] カルボニル] ピリミジン－5－イル] ピリジン N－オキシド

1－ [ (5－クロロ－3－ヒドロキシインドル－2－イル) ] － 4－ [ [5－ (2－メチルピリジン－4－イル) ピリミジン－2－イル] カルボキシ] ピペラジン

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - ヒドロキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2 - メチルピリジン N-オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5 - ( ピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジン

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] ピリジン N-オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) ] - 4 - [ [ 5 - ( 2 - メチルピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジン  
4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 3 - メトキシインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2 - メチルピリジン N-オキシド

1 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ [ 5 - ( ピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジン

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] ピリジン N-オキシド

1 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) ] - 4 - [ [ 5 - ( 2 - メチルピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジン

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 3 - アセトキシ - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2 - メチルピリジン N-オキシド



1 - [(5-クロロ-3-ヒドロキシメチルインドール-2-イル) スルホニル]  
 - 4 - [[5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピ  
 ペラジン

4 - [2 - [[4 - [(5-クロロ-3-ヒドロキシメチルインドール-2-イ  
 ル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル]  
 ピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロ-3-ヒドロキシメチルインドール-2-イル)] - 4 -  
 [[5 - (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキ  
 シ] ピペラジン

4 - [2 - [[4 - [(5-クロロ-3-ヒドロキシメチルインドール-2-イ  
 ル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル]  
 - 2-メチルピリジン N-オキシド

1 - [(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル) スルホニル] -  
 4 - [[5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピペ  
 ラジン

4 - [2 - [[4 - [(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)  
 スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] ピリ  
 ジン N-オキシド

1 - [(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)] - 4 - [[5  
 - (2-メチルピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピペ  
 ラジン

4 - [2 - [[4 - [(5-クロロ-3-メトキシメチルインドール-2-イル)  
 スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-5-イル] - 2  
 -メチルピリジン N-オキシド

1 - [(1-アセチル-5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 -  
 [[5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボキシ] ピペラジ

ン

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 1 - アセチル - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホ  
ニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] ピリジン  
N - オキシド

1 - [ ( 1 - アセチル - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) ] - 4 - [ [ 5 - ( 2  
- メチルピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジン  
4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 1 - アセチル - 5 - クロロインドール - 2 - イル ) スルホ  
ニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2 - メチ  
ルピリジン N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 1 - ホルミルインドール - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 -  
[ [ 5 - ( ピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジ  
ン

4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 1 - ホルミルインドール - 2 - イル ) スルホ  
ニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] ピリジン  
N - オキシド

1 - [ ( 5 - クロロ - 1 - ホルミルインドール - 2 - イル ) ] - 4 - [ [ 5 - ( 2  
- メチルピリジン - 4 - イル ) ピリミジン - 2 - イル ] カルボキシ ] ピペラジン  
4 - [ 2 - [ [ 4 - [ ( 5 - クロロ - 1 - ホルミルインドール - 2 - イル ) スルホ  
ニル ] ピペラジン - 1 - イル ] カルボニル ] ピリミジン - 5 - イル ] - 2 - メチ  
ルピリジン N - オキシド

2, 6 - ビス [ ( N - メチルカルバモイル ) メチル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフ  
タレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 1 - [ 5 - ( ピリジン - 4 - イル ) ピリミジ  
ン - 2 - イル ] ピペラジン

2, 6 - ビス [ ( N, N - ジメチルカルバモイル ) メチル ] - 4 - [ ( 6 - クロ  
ロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 1 - [ 5 - ( ピリジン - 4 - イル ) ピ  
リミジン - 2 - イル ] ピペラジン

2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

1- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] -4- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -4- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [5-(ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [5- (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [5- (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [5- (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [5- (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [5- (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4- [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [5- (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン

4- [5- [[2, 6-ビス (カルバモイルメチル) -4- (6-クロロナフタレン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [[2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4- (6-クロロナフタレン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [[2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4- (6-クロロナフタレン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カル

ボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -  
4- (6-クロロナフタレン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カ  
ルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4- (6-クロロナフタレ  
ン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2  
-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [4- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] ピ  
ペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキ  
シド

4- [5- [ [2, 6-ビス (カルバモイルメチル) -4- [(4-クロロ-2  
-ヒドロキシスチリル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリ  
ミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4-  
[(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] ピペラジン-1-イ  
ル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4  
- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] ピペラジン-1-イ  
ル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -  
4- [(4-クロロ-2-ヒドロキシスチリル) スルホニル] ピペラジン-1-  
イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4- [(4-クロロ-2-  
ヒドロキシスチリル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミ  
ジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4- [5- [ [2, 6-ビス (カルバモイルメチル) -4- (5-クロロインド

ール-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4-(5-クロロインドール-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4-(5-クロロインドール-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -4-(5-クロロインドール-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス (ヒドロキシエチル) -4-(5-クロロインドール-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス (カルバモイルメチル) -4-(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4-(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス [(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル] -4-(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4-[5-[ [2, 6-ビス [(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] -4-(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イルスルホニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] ピリミジン-2-イル] ピリジン N-オキシド

4 - [5 - [[2, 6 - ビス (ヒドロキシエチル) - 4 - (6 - クロロベンゾ  
[b] チェン - 2 - イルスルホニル) ピペラジン - 1 - イル] カルボニル] ピリ  
ミジン - 2 - イル] ピリジン N - オキシド

1 - [(4 - クロロ - 2 - ヒドロキシスチリル) スルホニル] - 4 - [5 - (2  
- ヒドロキシメチル - ピリジン - 4 - イル) ピリミジン - 2 - イル] ピペラジン  
1 - [(4 - クロロ - 2 - ヒドロキシスチリル) スルホニル] - 4 - [5 - (2  
- ジメチルアミノメチル - ピリジン - 4 - イル) ピリミジン - 2 - イル] ピペラ  
ジン

1 - [(4 - クロロ - 2 - ヒドロキシスチリル) スルホニル] - 4 - [5 - (2  
- カルバモイルピリジン - 4 - イル) ピリミジン - 2 - イル] ピペラジン

1 - [(4 - クロロ - 2 - ヒドロキシスチリル) スルホニル] - 4 - [4 - (2  
- ヒドロキシメチル - ピリジン - 4 - イル) ベンゾイル] ピペラジン

1 - [(4 - クロロ - 2 - ヒドロキシスチリル) スルホニル] - 4 - [4 - (2  
- ジメチルアミノメチル - ピリジン - 4 - イル) ベンゾイル] ピペラジン

1 - [(4 - クロロ - 2 - ヒドロキシスチリル) スルホニル] - 4 - [4 - (2  
- カルバモイルピリジン - 4 - イル) ベンゾイル] ピペラジン

4 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [(N - メチル  
カルバモイル) メチル] - 1 - [5 - (ピリジン - 4 - イル) ピリミジン - 2 -  
イル] ピペラジン

4 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [(N, N - ジ  
メチルカルバモイル) メチル] - 1 - [5 - (ピリジン - 4 - イル) ピリミジン  
- 2 - イル] ピペラジン

4 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [(モルホリン  
- 4 - イル) カルボニルメチル] - 1 - [5 - (ピリジン - 4 - イル) ピリミジ  
ン - 2 - イル] ピペラジン

4 - [(6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - ヒドロキシエチ

ルー 1 - [5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] ピペラジン  
 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ヒドロキシ-9  
 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3.  
 3. 1] ノナン  
 4 - [4 - [[ [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7  
 -ヒドロキシ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-イル] カ  
 ルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 7-ヒドロキシ-9  
 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3.  
 3. 1] ノナン  
 4 - [4 - [[ [3 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 7  
 -ヒドロキシ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-イル] カ  
 ルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 7-ヒドロ  
 キシ-9 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシク  
 ロ [3. 3. 1] ノナン  
 4 - [4 - [[ [3 - [(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニ  
 ル] - 7-ヒドロキシ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-  
 イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ヒドロキシ-9  
 - [[5 - (ピリジン-4-イル) ピリミジン-2-イル] カルボニル] - 3,  
 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン  
 4 - [2 - [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ヒ  
 ドロキシ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン 8-イル] カルボニル  
 ピリミジン-5-イル] ピリジン N-オキシド  
 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-メチルアミノ-



9 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン

4 - [4 - [ [ [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-メチルアミノ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド

3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ジメチルアミノ-9 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン

4 - [4 - [ [ [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ジメチルアミノ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド

3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ピペリジノ-9 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン

4 - [4 - [ [ [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-ピペリジノ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド

3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-モルホリノ-9 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン

4 - [4 - [ [ [3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-モルホリノ-3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン] - 9-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン N-オキシド

3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 7-(4-メチルピペラジン-1-イル) - 9 - [4 - (ピリジン-4-イル) ベンゾイル] - 3, 9-ジアザビシクロ [3. 3. 1] ノナン

- 4 - [ 4 - [ [ [ 3 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 7 - ( 4 - メチルピペラジン - 1 - イル ) - 3 , 9 - ジアザビシクロ [ 3 . 3 . 1 ] ノナン ] - 9 - イル ] カルボニル ] フェニル ] ピリジン N - オキシド
- 1 - [ [ ( 6 RS ) - 6 - アミノメチル - 5 , 6 , 7 , 8 - テトラヒドロナフタレン - 2 - イル ] カルボニル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ [ ( 6 RS ) - 6 - アミノメチル - 5 , 6 , 7 , 8 - テトラヒドロナフタレン - 2 - イル ] メチル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ [ ( 2 RS ) - 6 - アミノメチル - 1 , 2 , 3 , 4 - テトラヒドロナフタレン - 2 - イル ] メチル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ [ ( 2 RS ) - 6 - アミノメチル - 1 , 2 , 3 , 4 - テトラヒドロナフタレン - 2 - イル ] カルボニル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ ( 7 - アミノメチルナフタレン - 2 - イル ) カルボニル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ ( 7 - アミノメチルナフタレン - 2 - イル ) メチル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ ( 6 - アミノメチルナフタレン - 2 - イル ) カルボニル ] - 4 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] ピペラジン
- 1 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ ( イソキノリン - 7 - イル ) カルボニル ] ピペラジン
- 1 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ ( キノリル - 2 - イル ) カルボニル ] ピペラジン
- 1 - [ ( 6 - クロロナフタレン - 2 - イル ) スルホニル ] - 4 - [ ( 4 - ヒドロ

キシキノリン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(8-ヒドロキシキノリン-7-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(ベンツイミダゾール-5-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1-[(ベンツイミダゾール-5-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ホモピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(チアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(E)-4-クロロスチリルスルホニル]-4-[(チアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) メチル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[trans-3-(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) プロペノイル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[3-(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) プロピオニル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[3-(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) プロピル] ピペラジン

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[N-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) メチル]カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2-エトキシカルボニル-1 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-カルボキシ-4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(5-アミノヒドロキシイミノメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [N-(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [N-メチル-N-(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[5-(1-ピロリン-2-イル)-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-アミノヒドロキシイミノメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-

c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1- [(6-カルバモイル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[6-(1-ピロリン-2-イル) -4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [(6-ホルミル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- [[4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -6, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2- [[4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン N-オキシド

2-カルバモイル-4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-カルバモイル-4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -4- [[6-(2-

ヒドロキシエチル) - 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[6-(ピリジン-2-イル) メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[6-(ピリジン-3-イル) メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [[6-(ピリジン-4-イル) メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル] カルボニル] ピペラジン

1 - [(E) - 4-クロロスチリルスルホニル] - 4 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(E) - 4-クロロスチリルスルホニル] - 4 - [6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

(3S) - 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホンアミド] - 1 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) メチル] ピロリジン

(3S) - 3 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホンアミド] - 1 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピロリジン

(3S) - 1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 3 - [[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) メチル] アミノ] ピロリジン

(3S) - 3 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニルアミノ] - 1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペリジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ホモピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホンアミド] - 1 - [(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペリジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-アミノヒドロキシミノメチルベンゾフラン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(5-アミノヒドロキシミノメチルベンゾチオフェン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(1, 2, 3, 4-テトラヒドロイソキノリン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(2-メチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロイソキノリン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

6 - [[4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 2, 2-ジメチル-1, 2, 3, 4-テトラヒドロイソキノリニウム 沃化物

1 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ

- [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(N-メチルカルバモイル)-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [2, 3-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(5-クロロベンゾ [b] フラン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(6-クロロベンゾ [b] フラン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(5-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(5, 6, 7, 8-テトラヒドロ-1, 6-ナフチリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-5, 6, 7, 8-テトラヒドロ-1, 6-ナフチリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-1H-ピロロ [3, 2-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-1H-ピロロ [3, 2-c] ピリジン-2-



イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(5-エチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-1H-ピロロ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(1-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-1H-ピロロ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(1, 5-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-1H-ピロロ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロフロ[2, 3-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(3-ヒドロキシ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロフロ[2, 3-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(5-メチル-3-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ-1H-ピロロ[3, 2-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ[4, 5-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス(カルバモイルメチル) - 4 - [(5-クロロインドール-2-イ

ル) スルホニル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ  
チアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

c i s - 2, 6-ビス (カルバモイルメチル) - 4 - [(5-クロロインドール  
- 2-イル) スルホニル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テト  
ラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4 - [(5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチ  
ルカルバモイル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ  
ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - [4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1  
-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化  
物

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチ  
ル) カルバモイル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチア  
ゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル  
- 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル] - 2 - [[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラ  
ジン

N - [[4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6  
-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2  
-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] カルボニル] グリシン エチルエ  
ステル

4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル  
- 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル] - 2 - [N- (モルホリン-4-イル) カルバモイル] ピペラジン

N' - [[4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 -

[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] カルボニル] ヒドラジノ酢酸 エチルエステル

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[N-[(モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] カルバモイル] ピペラジン

4-[[4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] カルボニル] モルホリン

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-2-(エトキシカルボニル)-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

[4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] 酢酸 メチルエステル

2-[[N-(tert-ブトキシ) アミノ] カルボニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

[4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] アセトアミド

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-2-[(N-イソプロピル) カルバモイル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-2-[[[(ピペリジン-1-イル)カルボニル]メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-2-[[N-(2-メトキシベンジル)]カルバモイル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-2-[[N-(2-メトキシエチル)]カルバモイル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-カルボン酸

N'-[[4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル)カルボニル]ヒドラジノ酢酸

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[[N-(テトラヒドロピラン-2-イルオキシ)]カルバモイル]ピペラジン

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-ヒドロオキサム酸

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-2-[[N-(2-

ヒドロキシベンジル) ] カルバモイル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-ブROMONAFタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [7- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [6- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

1 - [ (7- [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6- [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-エチルナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル

ル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-ブロモインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

1 - [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 4 -

[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[[6-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4-[(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[[4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[4-[(5-ブロモインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[2-(カルバモイル)-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[2-(カルバモイルメチル)-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[2, 6-ビス(カルバモイルメチル)-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[2-[[[(テトラゾール-5-イルメチル)アミノ]カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-メチルチアゾロ[5, 4-c]ピリジニウム 沃化物

2-[[2-[[2-(テトラゾール-5-イル)エチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]カルボニル]-6-



ーメチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2- [[2- [(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル]

ー6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2- (カルバモイルメチル) -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- (N, N-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [[ (テトラゾール-5-イル) アミノ] カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [[ (テトラゾール-5-イルメチル) アミノ] カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [[ (テトラゾール-5-イルアミノ) カルボニル] メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [[ [(テトラゾール-5-イルメチル) アミノ] カルボニル] メチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - (テトラゾール-5-イルメチル) ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-エチニルイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (カルバモイルメチル) - 4 - [(5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (カルバモイルメチル) - 4 - [(5-エチニルイソインドール-2-イル)

ル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - (N, N-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン

4 - [(5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4 - [(5-ブロモイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - (モルホリノカルボニルメチル) ピペラジン

4 - [(5-エチニルイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

1 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [4, 5-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカ

ルバモイルメチル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (モルホリノカルボニルメチル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (モルホリノカルボニルメチル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4 - [(5-ブロモインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (モルホリノカルボニルメチル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2, 6-ビス (カルバモイルメチル) - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2, 6-ビス (カルバモイルメチル) - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン  
 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [[(エトキシカルボニルメチル) アミノカルボニル] メチル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [[(エトキシカルボニルメチル) アミノカルボニル] メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5,

6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[ (カルボキシメチル) アミノカルボニル] メチル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[ (カルボキシメチル) アミノカルボニル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [[ [(テトラゾール-5-イル) メチル] アミノカルボニル] メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [[ [(テトラゾール-5-イル) メチル] アミノカルボニル] メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-

イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(2-オキソピロリジン-1-イル) メチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(2-オキソピロリジン-1-イル) メチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (2-オキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (2-オキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(4-ヒドロキシ-2-オキソピロリジン-1-イル) メチル] - 1 - [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(4-ヒドロキシ-2-オキソピロリジン-1-イル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4,

5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2- [2-(4-ヒドロキシ-2-オキソピロリジン-1-イル) エチル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2- [2-(4-ヒドロキシ-2-オキソピロリジン-1-イル) エチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [2-(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [2-(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

2, 6-ビス [2-(4-ヒドロキシ-2-オキソピロリジン-1-イル) エチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス [2-(2-オキソピロリジン-1-イル) エチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス [(テトラゾール-5-イル) メチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス [(N-メチルカルバモイル) メチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス [(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) メチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2, 6-ビス [2-(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) エチル] -4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6, 7-ジメチル



ル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[7-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(7-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(6-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチ

ル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [[6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5- [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6- [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4- [(6-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] -4- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4 - [ [6 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [6 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4 - [ (5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4 - [ [5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-カルボン酸

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-カルボン酸

4 - [ (7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6 - アミジノナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] 4 - [[7 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン - 2 - イル] スルホニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン - 2 - イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(7 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5 - アミジノインドール - 2 - イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6 - アミジノインドール - 2 - イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール - 2 -

イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-

2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[5-[ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

ル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン  
1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(6-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [[6-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-

5-イル) メチル] ピペラジン

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5-(N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-アミジノベンゾ [b] チェン-2-イル) スルホニル] -4- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チェン-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チェン-2-イル] スルホニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4- [[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチア



ゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

4 - [[5 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン

2 - [[4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2 - [[4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(テトラゾール-5-イル) メチル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4 - [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチア

ゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 2 - [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2-(テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [[5 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ

ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

2 - [[4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン1-イル] カルボニル] - 6 - メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2 - [[4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン1-イル] カルボニル] - 6 - メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4 - [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [(6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)

ル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン

4 - [ (5 - アミジノベンゾ [b] チエン - 2 - イル) スルホニル ] - 1 -  
[ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジ  
ン - 2 - イル) カルボニル ] - 2 - [ N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチ  
ル ] カルバモイル ] ピペラジン

4 - [ [ 5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル ] ベンゾ [b] チエン -  
2 - イル ] スルホニル ] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロ  
チアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル ] - 2 - [ N - [ (テ  
トラゾール - 5 - イル) メチル ] カルバモイル ] ピペラジン

1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピ  
リジン - 2 - イル) カルボニル ] - 4 - [ [ 5 - [ N - (メトキシカルボニル)  
アミジノ ] ベンゾ [b] チエン - 2 - イル ] スルホニル ] - 2 - [ N - [ (テト  
ラゾール - 5 - イル) メチル ] カルバモイル ] ピペラジン

4 - [ (5 - アミジノイソインドール - 2 - イル) スルホニル ] - 1 - [ (6 -  
メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 -  
イル) カルボニル ] - 2 - [ N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチル ] カルバ  
モイル ] ピペラジン

4 - [ [ 5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル ] イソインドール - 2 -  
イル ] スルホニル ] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチア  
ゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル ] - 2 - [ N - [ (テトラ  
ゾール - 5 - イル) メチル ] カルバモイル ] ピペラジン

4 - [ [ 5 - [ N - (メトキシカルボニル) アミジノ ] イソインドール - 2 - イ  
ル ] スルホニル ] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾ  
ロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル ] - 2 - [ N - [ (テトラゾ  
ール - 5 - イル) メチル ] カルバモイル ] ピペラジン

2 - [ [ 4 - [ (6 - クロロナフタレン - 2 - イル) スルホニル ] - 2 - [ N -  
[ (テトラゾール - 5 - イル) メチル ] カルバモイル ] ピペラジン 1 - イル ]

カルボニル] - 6 - メチルチアゾロ [5, 4 - c] ピリジニウム 沃化物

2 - [ [4 - [ (5 - クロロインドール - 2 - イル) スルホニル] - 2 - [N -  
[ (テトラゾール - 5 - イル) メチル] カルバモイル] ピペラジン 1 - イル]

カルボニル] - 6 - メチルチアゾロ [5, 4 - c] ピリジニウム 沃化物

4 - [ (7 - アミジノナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] - 2 - [N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ (6 - アミジノナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] - 2 - [N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] - 4 - [ [6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン - 2 - イル] スルホニル] - 2 - [N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ (6 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン - 2 - イル) スルホニル] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] - 2 - [N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ (5 - エチニルインドール - 2 - イル) スルホニル] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル) カルボニル] - 2 - [N - [ (テトラゾール - 5 - イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ (5 - アミジノインドール - 2 - イル) スルホニル] - 1 - [ (6 - メチル - 4, 5, 6, 7 - テトラヒドロチアゾロ [5, 4 - c] ピリジン - 2 - イル)

ル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノベンゾ [b] チェン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N - [(テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン



4 - [ [5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ (5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ [5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

4 - [ [5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン

2 - [ [4 - [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2 - [ [4 - [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [N- [ (テトラゾール-5-イル) メチル] カルバモイルメチル] ピペラジン1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4 - [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カ

ルボニル] ピペラジン

4 - [ [ 6 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 4 - [ [ 5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 4 - [ [ 6 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [ (5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [ [ 5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 4 - [ [ 5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [ (5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (エトキシカルボニルメチル) - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチ

アゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] -2- (エトキシカルボニルメチル) -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- (エトキシカルボニルメチル) -4- [[5- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- [[4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -2- (エトキシカルボニルメチル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] -6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2- [[4- [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2- (エトキシカルボニルメチル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] -6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4- [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸

4- [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸

1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-酢酸

4- [(6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ

ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [[6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5- (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-酢酸  
 1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-酢酸  
 4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン

－2－イル] スルホニル] －1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－2－イル) カルボニル] ピペラジン－2－酢酸

1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－2－イル) カルボニル] －4－ [[5－ [N－ (メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン－2－イル] スルホニル] ピペラジン－2－酢酸  
4－ [(5－アミジノイソインドール－2－イル) スルホニル] －1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－2－イル) カルボニル] ピペラジン－2－酢酸

4－ [[5－ [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール－2－イル] スルホニル] －1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－2－イル) カルボニル] ピペラジン－2－酢酸  
4－ [[5－ [N－ (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール－2－イル] スルホニル] －1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－2－イル) カルボニル] ピペラジン－2－酢酸

2－ [[2－ (カルボキシメチル) －4－ [(6－クロロナフタレン－2－イル) スルホニル] ピペラジン－1－イル] カルボニル] －6－メチルチアゾロ [5, 4－c] ピリジニウム 沃化物

2－ [[2－ (カルボキシメチル) －4－ [(5－クロロインドール－2－イル) スルホニル] ピペラジン－1－イル] カルボニル] －6－メチルチアゾロ [5, 4－c] ピリジニウム 沃化物

4－ [(7－アミジノナフタレン－2－イル) スルホニル] －2－ [(N－メチルカルバモイル) メチル] －1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－2－イル) カルボニル] ピペラジン

4－ [(6－アミジノナフタレン－2－イル) スルホニル] －2－ [(N－メチルカルバモイル) メチル] －1－ [(6－メチル－4, 5, 6, 7－テトラヒド

ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2- [(N-メチルカルバモイル) メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6,  
7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -  
4- [[6- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル]  
スルホニル] ピペラジン  
4- [(6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イ  
ル) スルホニル] -2- [(N-メチルカルバモイル) メチル] -1- [(6-  
メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-  
イル) カルボニル] ピペラジン  
4- [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -2- [(N-メチ  
ルカルバモイル) メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4- [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -2- [(N-メチ  
ルカルバモイル) メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4- [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -2- [(N-メチ  
ルカルバモイル) メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イ  
ル] スルホニル] -2- [(N-メチルカルバモイル) メチル] -1- [(6-  
メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-  
イル) カルボニル] ピペラジン  
4- [[6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イ  
ル] スルホニル] -2- [(N-メチルカルバモイル) メチル] -1- [(6-  
メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-  
イル) カルボニル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] - 4 - [[5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [(N-メチルカルバモイル) メチル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2



－イル) カルボニル] ピペラジン

2－ [(N－メチルカルバモイル) メチル] － 4－ [[5－ [N－ (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール－ 2－イル] スルホニル] － 1－ [(6－メチル－ 4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－ 2－イル) カルボニル] ピペラジン

2－ [[2－ [(N－メチルカルバモイル) メチル] － 4－ [(6－クロロナフタレン－ 2－イル) スルホニル] ピペラジン－ 1－イル] カルボニル] － 6－メチルチアゾロ [5, 4－c] ピリジニウム 沃化物

2－ [[2－ [(N－メチルカルバモイル) メチル] － 4－ [(5－クロロインドール－ 2－イル) スルホニル] ピペラジン－ 1－イル] カルボニル] － 6－メチルチアゾロ [5, 4－c] ピリジニウム 沃化物

4－ [(7－アミジノナフタレン－ 2－イル) スルホニル] － 2－ [[N－ (エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] － 4－ [(6－メチル－ 4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－ 2－イル) カルボニル] ピペラジン

4－ [(6－アミジノナフタレン－ 2－イル) スルホニル] － 2－ [[N－ (エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] － 4－ [(6－メチル－ 4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－ 2－イル) カルボニル] ピペラジン

2－ [[N－ (エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] － 1－ [(6－メチル－ 4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5, 4－c] ピリジン－ 2－イル) カルボニル] － 4－ [[6－ [N－ (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン－ 2－イル] スルホニル] ピペラジン

4－ [(6－ [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン－ 2－イル) スルホニル] － 2－ [[N－ (エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] － 1－ [(6－メチル－ 4, 5, 6, 7－テトラヒドロチアゾロ [5,

4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5-(N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1-

[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4- [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4- [(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[5-[(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] -2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- [[N-(エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] -4- [[5-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ

- ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 2- [[4- [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] -2- [[N- (エトキシカルボニルメチル) カルバモイル] メチル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] -6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物
- 4- [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] -2- [[N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -4- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4- [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] -2- [[N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -4- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 2- [[N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6- [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] ピペラジン
- 4- [(6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] -2- [[N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 2- [[N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -4- [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4- [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6,

7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[5- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -2- [[N-(カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [[6- [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] -2- [[N-(カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2- [[N-(カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[5-(N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

2- [[N-(カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -4- [[6-[N-(メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4- [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -2- [[N-(カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] -1- [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [ [5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チェン-2-イル] スルホニル] - 2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [ [5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チェン-2-イル] スルホニル] ピペラジン

4 - [ (5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [ [5 - [ (アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 4 - [ [5 - [N- (メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2 - [ [2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 4 - [ (6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2 - [ [2 - [ [N- (カルボキシメチル) カルバモイル] メチル] - 4 - [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4 - [(7-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノナフタレン-2-イル) スルホニル] - 4 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ナフタレン-2-イル] スルホニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ナフタレン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(6-アミジノインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)

ル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [[6 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] インドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - (N-メトキシカルボニルアミジノ) インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[6 - [N - (メトキシカルボニル) アミジノ] インドール-2-イル] スルホニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン



1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [[5 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] ベンゾ [b] チエン-2-イル] スルホニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [(5-アミジノイソインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [[5 - [(アミノ) (ヒドロキシイミノ) メチル] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4 - [[5 - [N-(メトキシカルボニル) アミジノ] イソインドール-2-イル] スルホニル] - 1 - [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

2 - [[4 - [(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

2 - [[4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [(モルフォリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン-1-イル] カルボニル] - 6-メチルチアゾロ [5, 4-c] ピリジニウム 沃化物

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(7-シアノ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2-(2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

1 - [(7-カルバモイル-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [2 - (2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(7-ジメチルアミノ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (2, 5-ジオキソピロリジン-1-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(7-シアノ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

1 - [(7-カルバモイル-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(7-ジメチルアミノ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [2 - (テトラゾール-5-イル) エチル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 1 - [(7-シアノ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 2 - [[[(エトキシカルボニル) メチル] アミノ] カルボニル] メチル] ピペラジン

1 - [(7-カルバモイル-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] - 4 - [(5-クロロイン

ドール-2-イル) スルホニル] -2- [ [ [ (エトキシカルボニル) メチル  
] アミノ] カルボニル] メチル] ピペラジン

4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [ (7-ジメチル  
アミノ-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c]  
ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [ [ [ (エトキシカルボニル) メチル  
] アミノ] カルボニル] メチル] ピペラジン

2- [ [ [ (カルボキシメチル) アミノ] カルボニル] メチル] -4- [ (5-  
クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [ (7-シアノ-6-メチル  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル] ピペラジン

1- [ (7-カルバモイル-6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ  
ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2- [ [ [ (カルボキシ  
メチル) アミノ] カルボニル] メチル] -4- [ (5-クロロインドール-2-  
イル) スルホニル] ピペラジン

2- [ [ [ (カルボキシメチル) アミノ] カルボニル] メチル] -4- [ (5-  
クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [ (7-ジメチルアミノ-6  
-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2  
-イル) カルボニル] ピペラジン

4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [7- [ (ジメ  
チルアミノ) メチル] ベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] -2- (N-  
メチルカルバモイル) ピペラジン

4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [7- [ (ジメ  
チルアミノメチル) メチル] チアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カル  
ボニル] -2- (N-メチルカルバモイル) ピペラジン

4- [ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1- [7- [ (ジメ  
チルアミノ) メチル] -4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-

イル) カルボニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [7 - [(モルホリン-4-イル) メチル] ベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [6 - (モルホリン-4-イル) - 4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [7 - (ピペリジン-1-イル) ベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4 - [(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] - 2 - (N-メチルカルバモイル) - 1 - [6 - (ピペリジン-1-イル) - 4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-4-[(2-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-4-[(2-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-1-[(6-メトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル]-1-[(6-スルフォ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルフォニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(6-スルフォ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5,

4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.  
1-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]

ル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホ

ニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリ  
ダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
ル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
ル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
ル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
ル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]  
ピペラジン.

1-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ  
-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
ル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチ  
ル)-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジ  
ン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホ  
ニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリ  
ジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.



4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(5, 6-ジメチル

-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル)メチル]-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(6-エチニルベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[[*(モルホリン-4-イル)カルボニル*]メチル]ピペラジン.

4-[(6-エチニルベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボ

ニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-[(N, N-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(5, 6-ジヒドロベンゾ [f] イソキノリン-8-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(5, 6-ジヒドロピリド [4, 3-f] キナゾリン-3-イル) カルボニル] ピペラジン

8-[[1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-4-イル] カルボニル]-5, 6-ジヒドロベンゾ [f] イソキノリン N-オキシド

3-[[1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン-4-

イル]カルボニル]-5, 6-ジヒドロピリド [4, 3-*f*]キナゾリン *N*-オキシド  
1-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-4-[(6-メタンスル  
ホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カル  
ボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メタンスル  
ホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カル  
ボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メタンスル  
ホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カル  
ボニル]-2-(モルホリン-4-イルカルボニルメチル)ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチ  
ル)-1-[(6-メタンスルホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]  
ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-  
4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [4, 5-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニ  
ル]ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-4-[(6-メタンスル  
ホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カ  
ルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メタンスル  
ホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カ  
ルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メタンスル  
ホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カ  
ルボニル]-2-(モルホリン-4-イルカルボニルメチル)ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*]チエン-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチ

ル)-1-[(6-メタンスルホニル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(2-ジメチルアミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チオフェン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チオフェン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チオフェン-2-イル) スルホニル]-1-[(5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チオフェン-2-イル) スルホニル]-1-[(5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル) カルボニルメチル] ピペラジン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(N-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]

ル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル)-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル]-2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル) メチル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(6-エチニルベンゾ [b] チエン-2-イル ) スルホニル] ピペラジン.

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(2-メチル-

4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(2-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(2-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(2-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-5-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルフォニル]-4-[(5-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロピロロ [3, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルフォニル]-1-[(6-メトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン



4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルフォニル]-1-[(6-メトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルフォニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]-1-[(6-スルフォ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルフォニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(6-スルフォ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルフォニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]-1-[(6-スルフォ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルフォニル]-1-[(6-スルフォ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-

2-[(モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル)メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル)メチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル)メチル]-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-[(*N,N*-ジメチルカルバモイル)メチル]-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-1-[(5,6-ジメチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-

2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[(*N*, *N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-[(*N*, *N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イ

ル) カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル) カルボニル] メチル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[(*N*, *N*-ジメチルカルバモイル) メチル] ピペラジン.

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル)メチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイ

ル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル] ピペラジン.

4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル] ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル] ピペラジン.

2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル] ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル] ピペラジン

2-[(*N, N*-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル] ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-1-[(5, 6-ジメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリダジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]ピペラジン.

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[[ (モルホリン-4-イル)カルボニル]メチル]ピペラジン.

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン.

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]



ル] ピペラジン.

4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[ (6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-(2-シアノエチル)-4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[ (6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[ (N, N-ジメチルカルバモイル) メチル]-1-[ (6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

2-[ (N, N-ジメチルカルバモイル) メチル]-4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[ (6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン.

1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[ (5, 6-ジヒドロベンゾ [f] イソキノリン-8-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (5, 6-ジヒドロベンゾ [f] イソキノリン-8-イル) カルボニル]-4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[ (5, 6-ジヒドロピリド [4, 3-f] キナゾリン-3-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (5, 6-ジヒドロピリド [4, 3-f] キナゾリン-3-イル) カルボニル]-4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

8-[ [1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-4-イル] カルボニル]-5, 6-ジヒドロベンゾ [f] イソキノリン N-オキシド

8-[ [1-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-4-イル] カルボニル]-5, 6-ジヒドロベンゾ [f] イソキノリン N-オキシド

3-[ [1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-4-イル]

カルボニル]-5, 6-ジヒドロピリド [4, 3-*f*] キナゾリン *N*-オキシド  
3-[[1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン-4-イル]カルボニル]-5, 6-ジヒドロピリド [4, 3-*f*] キナゾリン *N*-オキシド  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [4, 5-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [4, 5-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシイミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-エチレンジオキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] フラン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
1-[(6-アセトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン  
1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル) カルボニル] ピペラジン

ン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-ジメチルアミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[[6-(ピロリジン-1-yl)-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(6-アセチルアミノ-1-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(6-エチレンジオキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]フラン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(6-アセトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン  
 1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-メトキシ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(6-アミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

1-[(6-ジメチルアミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[[6-(ピロリジン-1-yl)-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル]カルボニル]ピペラジン

1-[(6-アセチルアミノ-1-4, 5, 6, 7-テトラヒドロベンゾチアゾール-2-イル)カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]-1-[(5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[(モルホリン-4-イ

ル)カルボニルメチル]-1-[(5-オキソ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾ  
ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラヒ  
ドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4-メチル-4, 5, 6, 7-  
テトラヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(チエノ [3, 2-b] ピリ  
ジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-[[4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イル]  
カルボニル]チエノ [3, 2-b] ピリジン N-オキシド

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4, 5, 6, 7-テトラ  
ヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(4-メチル-  
4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピ  
ペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(チエノ [3, 2-b] ピ  
リジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-[[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン-1-イ  
ル]カルボニル]チエノ [3, 2-b] ピリジン N-オキシド

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-  
[(4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル)カルボニル]  
ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-  
[(4-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル)カ  
ルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-

[(チエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[ [4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2-(2-シアノエチル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] チエノ [3, 2-b] ピリジン N-オキシド

4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -2-(2-シアノエチル)-1-[ (4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -2-(2-シアノエチル)-1-[ (4-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -2-(2-シアノエチル)-1-[ (チエノ [3, 2-b] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[ [4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -2-(シアノエチル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] チエノ [3, 2-b] ピリジン N-オキシド

1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4-[ (4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4, -c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -4-[ (4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4, -c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4-[ (4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4, -c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -4-[ (4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4, -c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -4-[ (2-ジメチルアミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-6-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[ (2-ジメチルアミノ-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジ

ン-6-イル) カルボニル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(モルホリン-4-イルカルボニルメチル) ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル) ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(モルホリン-4-イルカルボニルメチル) ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(モルホリン-4-イルカルボニルメチル)ピペラジン

2-(2-シアノエチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチルスルホニル 4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*] チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-ピロリジン-1-イル)エチル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*] チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-1, 3-オキサゾラン-3-イル)エチル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*] チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-ピロリジン-1-イル)エチル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*] チエン-2-イル)スルホニル]-2-[2-[(クマリン-7-イル)オキシ]エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [*b*] チエン-2-イル)スルホニル]-2-[2-[(クマリン-7-イル)オキシ]エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサ



ゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [a] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-[(シクロプロ  
 ピルカルボニル) アミノ] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒ  
 ドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [a] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-[(シクロプロ  
 ピルカルボニル) アミノ] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒ  
 ドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [a] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[ (シクロプロ  
 ピルカルボニル) アミノ] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
 ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [a] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[ (シクロプロ  
 ピルカルボニル) アミノ] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
 ロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチ  
 ル)-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-  
 イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチ  
 ル)-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン  
 -2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N*-シアノメチ  
 ル-*N*-メチルカルバモイル) メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
 ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(*N*-シアノメチ  
 ル-*N*-メチルカルバモイル) メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
 ロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-(3-ブチニル)-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-

4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-(3-ブチニル)-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[[N, N-ビス-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[[N, N-ビス-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[[N, N-ビス-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-1-[(6-クロ

ロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[[N, N-ビス-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-1-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-ヒドロキシエチル)-N-メチルカルバモイル] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-ヒドロキシエチル)-N-メチルカルバモイル] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[[N-ベンジル-N-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[[N-ベンジル-N-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-[(モルフォリン-4-イル) カルボニル] エチル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(ジメチルアミノカルボニル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ

ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-  
 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
 ル]-2-[2-[(ピロリジン-1-イル) カルボニル] エチル] ピペラジン  
 2-[2-(アミノスルホニル) エチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イ  
 ル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c]  
 ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-  
 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
 ル]-2-[2-[(モルフォリン-4-イル) スルホニル] エチル] ピペラジン  
 2-[2-[(*t*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニル] エチル]-4-[(6-クロ  
 ロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テト  
 ラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[2-[(*n*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニル] エチル]-4-[(6-クロ  
 ロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テト  
 ラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(エトキシカ  
 ルボニルアミノ) スルホニル] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒ  
 ドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[2-(アセチルアミノ) スルホニル] エチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チ  
 エン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ  
 ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-(アミノスルホニルメチル)-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル)  
 スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピ  
 リジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-

4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルフォリン-4-イル) スルホニルメチル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(ピロリジン-1-イル) スルホニルメチル] ピペラジン

2-[(*l*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[(*n*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[(エトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[(アセチルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[3-[(4*H*-5-アセトキシ-4-オキソ) ピラン-2-イル] プロピル]-4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン -2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[3-[(4*H*-5-ヒドロキシ-4-オキソ) ピラン-2-イル] プロピル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[3-[(4*H*-5-メトキシ-4-オキソ) ピラン-2-イル] プロピル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テ

ラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
*N*-メチル-*N*-[[4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
 カルボニル] ピペラジン-2-イル] アセチル] メタンスルホンアミド

*N*-[[4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル  
 -4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]  
 ピペラジン-2-イル] アセチル] ベンゼンスルホンアミド

*N*-[2-[4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1-[(6-メチ  
 ル -4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン -2-イル) カルボ  
 ニル] ピペラジン-2-イル] エチル] トリフルオロメタンスルホンアミド  
*N*-メチル-*N*-[2-[4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-  
 1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イ  
 ル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] エチル] トリフルオロメタンスルホ  
 ンアミド

*N*-[[4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル] -1-[(6-メチル  
 -4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
 ル] ピペラジン-2-イル] アセチル]-*N'*-メタンスルホニルヒドラジン  
 4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒド  
 ロ-5-オキソ-4*H*-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチ  
 ル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
 ル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒド  
 ロ-5-オキソ-4*H*-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチ  
 ル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボ  
 ニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2-オキソ-3H-1, 2, 3, 5-オキサチアジアゾール-4-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2-オキソ-3H-1, 2, 3, 5-オキサチアジアゾール-4-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4H-1, 2, 4-チアジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4H-1, 2, 4-チアジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-チオキソ-4H-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-チオキソ-4H-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-

- (2-オキソ-1, 3-オキサゾラン-3-イル) エチル] ピペラジン
- 4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-1, 3-オキサゾラン-3-イル) エチル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-1, 3-オキサゾラン-3-イル) エチル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-(2-オキソピロリジン 1-イル) エチル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-(2-オキソピロリジン 1-イル) エチル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-[(クマリン-7-イル) オキシ] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-[(クマリン-7-イル) オキシ] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-[(シクロプロピルカルボニル) アミノ] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-[(シクロプロピルカルボニル) アミノ] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン
- 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[(シクロプロピルカ



ルボニル) アミノ] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチア  
ゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[ (シクロプロピルカ  
ルボニル) アミノ] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキ  
サゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[2-(アミノスルホニル) エチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) ス  
ルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリ  
ジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-  
テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[2-  
[(モルホリン4-イル) スルホニル] エチル] ピペラジン  
2-[2-[(*l*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニル] エチル]-4-[(5-クロ  
ロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[2-[(*h*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニル] エチル]-4-[(5-クロ  
ロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒド  
ロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-(エトキシカルボ  
ニルアミノ) スルホニル] エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ  
チアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[2-(アセチルアミノ) スルホニル] エチル]-4-[(5-クロロインドール-  
2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5,  
4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[2-(アミノスルホニル) エチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)  
スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピ  
リジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-[(モルホリン4-イル)スルホニル]エチル]ピペラジン

2-[2-[(*l*-ブトキシカルボニルアミノ)スルホニル]エチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-[2-[(*n*-ブトキシカルボニルアミノ)スルホニル]エチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-[2-(エトキシカルボニルアミノ)スルホニル]エチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-[2-(アセチルアミノ)スルホニル]エチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

2-(アミノスルホニルメチル)-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン4-イル)スルホニルメチル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(ピロリジン-1-イル)スルホニルメチル]ピペラジン

2-[(*l*-ブトキシカルボニルアミノ)スルホニルメチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチ

アゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[(*n*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(5-クロロイン  
 ドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチ  
 アゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[(エトキシカルボニ  
 ルアミノ) スルホニルメチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチ  
 アゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[(アセチルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(5-クロロインドール-2-  
 イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5,  
 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-(アミノスルホニルメチル)-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スル  
 ホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジ  
 ン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-  
 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
 ル]-2-[(モルホリン4-イル) スルホニルメチル] ピペラジン  
 4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-  
 4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニ  
 ル]-2-[(ピロリジン-1-イル) スルホニルメチル] ピペラジン  
 2-[(*t*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(5-エチニル  
 インドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ  
 チアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[(*n*-ブトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(5-エチニル  
 インドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロ  
 チアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
 2-[(エトキシカルボニルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(5-エチニルイ

ンドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[(アセチルアミノ) スルホニルメチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[3-[(4*H*-5-アセトキシ-4-オキソ) ピラン-2-イル] プロピル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[3-[(4*H*-5-ヒドロキシ-4-オキソ) ピラン-2-イル] プロピル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[3-[(4*H*-5-メトキシ-4-オキソ) ピラン-2-イル] プロピル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

*N*-[[4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] アセチル]-*N*-メチルメタンスルホンアミド

*N*-[[4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] アセチル] ベンゼンスルホンアミド

*N*-[2-[4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン-2-イル] エチル] トリフルオロメタンスルホンアミド

*N*-[2-[4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル]

ピペラジン-2-イル]エチル]-*N*-メチルトリフルオロメタンスルホンアミド

*N*-[[4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル]アセチル]-*N'*-メタンスルホニルヒドラジン  
2-[3-[(4*H*-5-アセトキシ-4-オキソ)ピラン-2-イル]プロピル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン  
4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[3-[(4*H*-5-ヒドロキシ-4-オキソ)ピラン-2-イル]プロピル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン  
4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[3-[(4*H*-5-メトキシ-4-オキソ)ピラン-2-イル]プロピル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン  
*N*-メチル-*N*-[[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル]アセチル]メタンスルホンアミド  
*N*-[[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル]アセチル]ベンゼンスルホンアミド  
*N*-[2-[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル]エチル]トリフルオロメタンスルホンアミド  
*N*-[2-[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル]エチル]-*N*-メチルトリフルオロメタンスルホンア

ミド

*N*-[[4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン-2-イル]アセチル]-*N'*-メタンズルホニルヒドラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4*H*-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル)エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4*H*-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル)エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4*H*-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル)エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4*H*-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル)エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-3*H*-1, 2, 3, 5-オキサチアジアゾール-4-イル)エチル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ[5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-(2-オキソ-3*H*-1, 2, 3, 5-オキサチアジアゾール-4-イル)エチル]

ル] ピペラジン

4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -1-[ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2-[2-(2-オキソ-3H-1, 2, 3, 5-オキサチアジアゾール-4-イル) エチル] ピペラジン

4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -1-[ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] -2-[2-(2-オキソ-3H-1, 2, 3, 5-オキサチアジアゾール-4-イル) エチル] ピペラジン

4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4H-1, 2, 4-チアジアゾール-3-イル) エチル] -1-[ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4H-1, 2, 4-チアジアゾール-3-イル) エチル] -4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -1-[ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4H-1, 2, 4-チアジアゾール-3-イル) エチル] -1-[ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-オキソ-4H-1, 2, 4-チアジアゾール-3-イル) エチル] -4-[ (5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル] -1-[ (6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] -2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-

チオキソ-4H-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-チオキソ-4H-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-チオキソ-4H-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル) スルホニル]-2-[2-(2, 5-ジヒドロ-5-チオキソ-4H-1, 2, 4-オキサジアゾール-3-イル) エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[[N, N-ビス-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

2-[[N, N-ビス-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[N-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾ



ロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[*N*-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[[*N, N*-ビス-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[[*N, N*-ビス-(2-メトキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[*N*-(2-ヒドロキシエチル)-*N*-メチルカルバモイル] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-[[*N*-(2-ヒドロキシエチル)-*N*-メチルカルバモイル] メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[[*N*-ベンジル-*N*-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
2-[[*N*-ベンジル-*N*-(2-ヒドロキシエチル) カルバモイル] メチル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン  
ン  
4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-2-(2-シアノエチル)-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[(*N*-シアノメチル-*N*-メチルカルバモイル)メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[(*N*-シアノメチル-*N*-メチルカルバモイル)メチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-[(モルホリン4-イル)カルボニル]エチル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-2-[2-(ジメチルアミノカルボニル)エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-[(ピロリジン-1-イル)カルボニル]エチル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-[(モルホリン4-イル)カルボニル]エチル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-2-[2-(ジメチルアミノカルボニル)エチル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン

4-[(5-エチニルインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[2-[(ピロリジン-1-イル)カルボニル]エチル]ピペラジン

2-(3-ブチニル)-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カル

ボニル] ピペラジン

2-(3-ブチニル)-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル]-4-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル] ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-ヒドロキシベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-ヒドロキシベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-ヒドロキシベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-ヒドロキシベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-ヒドロキシベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-ヒドロキシベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン

4-[(3-アセチル-6-クロロベンゾ [*b*] チエン-2-イル) スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン

4-[(3-アセチル-6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-  
[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジ  
ン

4-[(3-アセチル-6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-  
[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン

4-[(3-アセチル-6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-  
[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン

4-[(3-アセチル-6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-  
[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン

4-[(3-アセチル-6-クロロベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホニル]-1-  
[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)  
カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(ヒドロキシメチル) シベンゾ [b] チエン-2-イル) スル  
ホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジ  
ン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピ  
ペラジン

4-[(6-クロロ-3-(ヒドロキシメチル) ベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホ  
ニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジ  
ン-2-イル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピ  
ペラジン

4-[(6-クロロ-3-(ヒドロキシメチル) ベンゾ [b] チエン-2-イル) スルホ  
ニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-

2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン  
 4-[(6-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イル)スルホ  
 ニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジ  
 ン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラ  
 ジン

4-[(6-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イル)スルホ  
 ニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-  
 2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イル)スルホ  
 ニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジ  
 ン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イ  
 ル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]  
 ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メ  
 チル]ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イ  
 ル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-  
*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)  
 メチル]ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イ  
 ル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]  
 ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)  
 ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)ベンゾ[*b*]チエン-2-イ  
 ル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-  
*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチ

ル) ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(シアノメチル)シベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(シアノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(シアノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(シアノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(シアノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(シアノメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-

2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(カルバモイルメチル)シベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(カルバモイルメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(カルバモイルメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(カルバモイルメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(カルバモイルメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(6-クロロ-3-(カルバモイルメチル)ベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

#### slindo

4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-c]ピリジン-2-イル)カル

ボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン  
4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン  
4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-ヒドロキシメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン  
1-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-4-[(6-ヒドロキシメチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]ピペラジン  
4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン  
4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン  
4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン  
4-[(5-クロロ-3-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン  
4-[(3-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン



4-[(3-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(3-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(3-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(3-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(3-アセチル-5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)インドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)インドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)インドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)インドール-2-イル)スルホニル]-  
1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イ  
ル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)インドール-2-イル)スルホニル]-  
1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イ  
ル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(ヒドロキシメチル)インドール-2-イル)スルホニル]-  
1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジン-2-イ  
ル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)インドール-2-イル)スル  
ホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリ  
ジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]  
ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)インドール-2-イル)スル  
ホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジ  
ン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピ  
ペラジン

4-[(5-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)インドール-2-イル)スル  
ホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロオキサゾロ[5,4-*c*]ピリ  
ジン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペ  
ラジン

4-[(5-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)インドール-2-イル)スル  
ホニル]-1-[(6-メチル-4,5,6,7-テトラヒドロチアゾロ[5,4-*c*]ピリジ  
ン-2-イル)カルボニル]-2-(*N,N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラ  
ジン

4-[(5-クロロ-3-(*N,N*-ジメチルアミノメチル)インドール-2-イル)スル

ホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリ  
 ジン-2-イル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(*N, N*-ジメチルアミノメチル) インドール-2-イル) スル  
 ホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジ  
 ン-2-イル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(シアノメチル) インドール-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イ  
 ル) カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジ  
 ン  
 4-[(5-クロロ-3-(シアノメチル) インドール-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)  
 カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル) メチル] ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(シアノメチル) インドール-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イ  
 ル) カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(シアノメチル) インドール-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)  
 カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル) ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(シアノメチル) インドール-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イ  
 ル) カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(シアノメチル) インドール-2-イル) スルホニル]-1-  
 [(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-2-イル)  
 カルボニル]-2-(2-シアノエチル) ピペラジン  
 4-[(5-クロロ-3-(カルバモイルメチル) インドール-2-イル) スルホニ  
 ル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*] ピリジン-

2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペ  
ラジン

4-[(5-クロロ-3-(カルバモイルメチル)インドール-2-イル)スルホニ  
ル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-  
イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イルカルボニル)メチル]ピペラ  
ジン

4-[(5-クロロ-3-(カルバモイルメチル)インドール-2-イル)スルホニ  
ル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-  
2-イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(カルバモイルメチル)インドール-2-イル)スルホニ  
ル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-  
イル)カルボニル]-2-(*N, N*-ジメチルカルバモイルメチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(カルバモイルメチル)インドール-2-イル)スルホニ  
ル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-  
2-イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-3-(カルバモイルメチル)インドール-2-イル)スルホニ  
ル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-  
イル)カルボニル]-2-(2-シアノエチル)ピペラジン

4-[(5-クロロ-1-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メ  
チル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボ  
ニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン

4-[(5-クロロ-1-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メ  
チル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カル  
ボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン

4-[(5-クロロ-1-メトキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチ  
ル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-*c*]ピリジン-2-イル)カルボニ

ル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン  
4-[(5-クロロ-1-メトキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン  
4-[4-[(6-クロロ-1-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン  
4-[4-[(6-クロロ-1-ヒドロキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン  
4-[4-[(6-クロロ-1-メトキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロチアゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン  
4-[4-[(6-クロロ-1-メトキシインドール-2-イル)スルホニル]-1-[(6-メチル-4, 5, 6, 7-テトラヒドロオキサゾロ [5, 4-c] ピリジン-2-イル)カルボニル]-2-[(モルホリン-4-イル)カルボニルメチル]ピペラジン

本発明においては、上記の化合物のみならず、上記化合物の塩、それらの溶媒和物も好ましいものとして挙げることができる。

以下に、本発明のスルホニル誘導体の製造方法について説明する。

本発明のスルホニル誘導体、その塩およびそれらの溶媒和物は、既知の一般的な化学的な製造方法の組み合わせにより製造することができ、以下に代表的な合成法を説明する。

なお、本発明のスルホニル誘導体を合成する際に、窒素原子、水酸基、カルボキシル基等の置換基を保護する必要がある場合には、従来より知られている必要な時に除去出来る一般的な保護基により保護されていても良く、これらの保護基は必要な時に以下の製造方法に示す有機化学的一般的な方法により除去できる。

また、本発明のスルホニル誘導体を合成するために必要となる原料は、有機化学の一般的合成法により得ることができ、代表的な原料の製造方法を参考例に示す。さらに、本発明のスルホニル誘導体の原料は参考例に例示した方法を応用することにより合成することができる。

以下に、窒素原子、水酸基、カルボキシル基等の置換基の保護基および脱保護の方法について述べる。

アミノ基、アルキルアミノ基における窒素原子の適当な保護基としては、通常のアシル型保護基、すなわちアセチル基のごときアルカノイル基、もしくはメトキシカルボニル基、エトキシカルボニル基、第三級ブトキシカルボニル基のごときアルコキシカルボニル基、もしくはベンジルオキシカルボニル基、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基、パラ（オルト）ニトロベンジルオキシカルボニル基のごときアリールメトキシカルボニル基、ベンジル基、トリフェニルメチル基のごときアリールメチル基もしくはベンゾイル基のごときアロイル基が適当である。これら保護基の脱保護の方法は、採用された保護基の化学的性質により異なり、例えば、アルカノイル基、アルコキシカルボニル基あるいはアロイル基のようなアシル型保護基では、水酸化リチウム、水酸化ナトリウムもしくは水酸化

カリウムのような水酸化アルカリ金属等の適当な塩基を使うことにより加水分解し脱保護できる。

また、第三級ブトキシカルボニル基もしくはパラメトキシベンジルオキシカルボニル基のような置換メトキシカルボニル型保護基は、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去できる。また、ベンジルオキシカルボニル基、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基、パラ（オルト）ニトロベンジルオキシカルボニル基のようなアリールメトキシカルボニル基ならびベンジル基のごときアリールメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができる。また、ベンジル基は、液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元によりベンジル基の除去を行い、窒素－水素結合に変換できる。トリフェニルメチル基は、適当な酸、例えばギ酸、酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去できる。また、液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元により除去することができ、パラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することもできる。

その他のアミノ基の保護基としては、1級アミノ基の場合フタロイル基型に保護することができ、ヒドラジン、ジメチルアミノプロピルアミンなどにより除去できる。インドールの窒素原子、フェニルスルホニル基、トルエンスルホニル基、アセチル基、トリフルオロアセチル基等で保護することができ、水酸化ナトリウム、水酸化リチウム、水酸化カリウムのような水酸化アルカリ金属等の適当な塩基を使うことにより加水分解し脱保護できる。

水酸基の適当な保護基としてはアシル型保護基、エーテル型保護基、が挙げられる。アシル型保護基としては、アセチル基などのアルカノイル基、ベンゾイル基などのアロイル基が適当であり、エーテル型保護基としてはベンジル基などのアリールメチル基、第三ブチルジメチルシリル基などのシリルエーテル基、メト

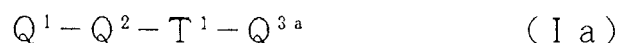
キシメチル基、テトラヒドロピラニル基などが挙げられる。これらの保護基の除去は採用された保護基の化学的性質により異なる。例えば、アルカノイル基およびアロイル基などのアシル基は水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムなどの水酸化アルカリ金属などの適当な塩基で加水分解することにより除去できる。アリールメチル型保護基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、第三級ブチルジメチルシリル基などのシリル基は、テトラブチルアンモニウムフルオリド等の弗化水素酸塩により除去できる。また、メトキシメチル基、テトラヒドロピラニル基などは酢酸、塩酸などにより除去できる。また、アリール基に置換した水酸基はメチル基により保護でき、塩化アルミニウム、三臭化硼素、三臭化磷のようなルイス酸、トリメチルシリルヨード、臭化水素などにより除去できる。

カルボキシ基はエステル化することにより保護することができる。メチル、エチルエステルなどでは水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムなどの水酸化アルカリ金属などの適当な塩基で加水分解することにより、第三ブチルエステルではトリフルオロ酢酸あるいは塩酸で処理することにより第三ブチル基を除去できる。また、ベンジル基などのアリールメチル基型エステルではパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解によりアリールメチル基を除去することができる。

アセチレンの保護基としては、トリメチルシリル基、第三ブチルジメチルシリル基、第三ブチルジフェニルシリル基等のアルキルシリル基が利用でき、水酸化ナトリウム、水酸化リチウム、水酸化カリウムのような水酸化アルカリ金属等の適当な塩基、あるいはテトラブチルアンモニウムフルオリド、弗化水素ピリジン等の弗化水素酸塩により脱保護できる。

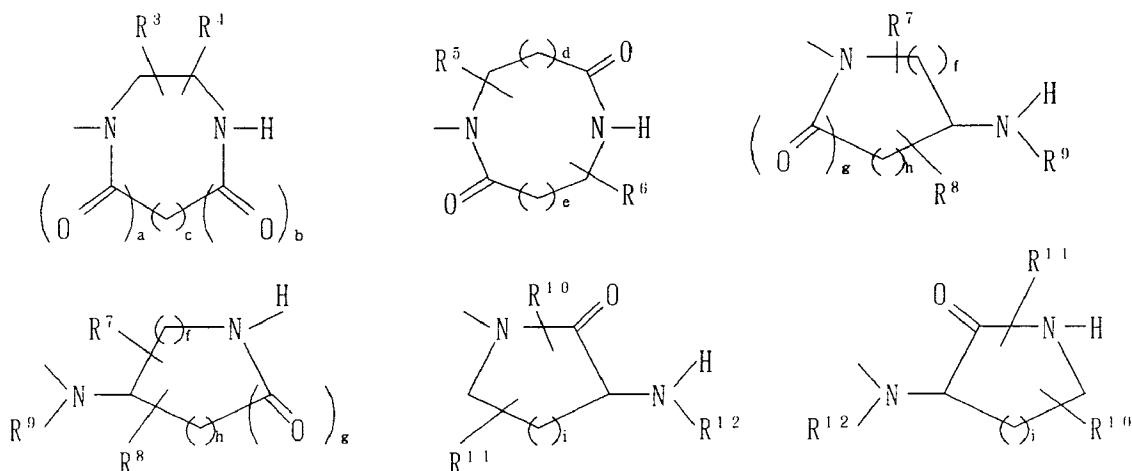
#### [製造方法－１]

一般式（I a）で示される化合物





[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$  および  $T^1$  は前記に同じ。 $Q^{3a}$ は下記の基のいずれかを意味する。



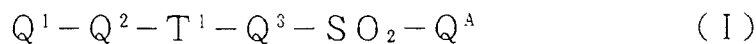
(基中、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$ 、 $R^{10}$ 、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $c$ 、 $d$ 、 $e$ 、 $f$ 、 $g$ 、 $h$ および  $i$  は前記に同じ。)

の $Q^{3a}$ の窒素原子を一般式 (I I a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物



[式中、 $Q^A$  は前記に同じ。Haloは塩素、臭素、ヨウ素等のハロゲン原子を意味する。]

でスルホニル化することにより、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体



[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^A$  および  $T^1$  は前記に同じ。] を製造する方法。

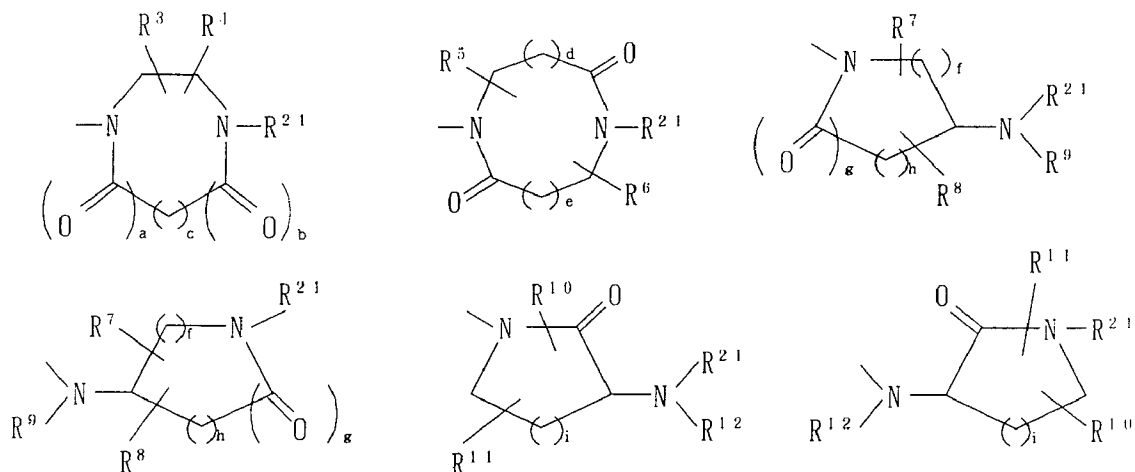
<一般式 (I a) で示される化合物の合成>

一般式 (I a) で示される化合物は既知の技術による一連の操作により合成できる。

例えば、既知の方法あるいは既知の方法を応用して合成できる一般式 (I I I a) で示される化合物

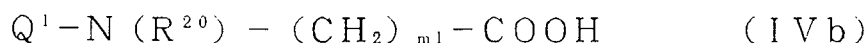


[ $Q^{3b}$ は下記の基のいずれかを意味する。

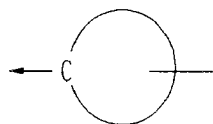


(基中の $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$ 、 $R^{10}$ 、 $R^{11}$ 、 $R^{12}$ 、 $a$ 、 $b$ 、 $c$ 、 $d$ 、 $e$ 、 $f$ 、 $g$ 、 $h$ および $i$ は前記に同じ。 $R^{21}$ は第三級ブトキシカルボニル基、ベンジルオキシカルボニル基、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基、パラニトロベンジルオキシカルボニル基、ベンジル基などの一般的窒素保護基を意味する。)]

において、 $Q^{3b}$ の水素原子が結合する窒素原子を既知技術の応用で合成できる以下の一般式(IVa)～(IVd)で示されるカルボン酸の活性化物



[上記式中、 $Q^1$ は前記に同じ。 $R^{20}$ は直鎖、もしくは分枝のアルキルキレン基または第三級ブトキシカルボニル基、ベンジルオキシカルボニル基、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基、パラニトロベンジルオキシカルボニル基、ベンジル基などの一般的窒素保護基を意味する。 $Q^{2b}$ は単結合、直鎖状もしくは分枝状の炭素数1～6のアルキレン基、直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルケニレン基、直鎖状もしくは分枝状の炭素数2～6のアルキニレン基、または



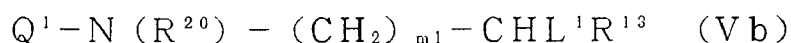
を意味する（この基は前記と同じものを意味する。）。 $m_1$ は1～6の整数を意味する。］によりアシル化して一般式（I b）で示される化合物類



〔式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^{3b}$ および $T^1$ は前記に同じ。〕

を合成することができる。

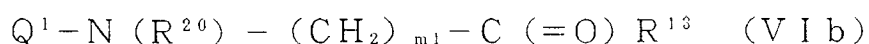
また、一般式（I I I a）で示される化合物の $Q^{3b}$ の窒素原子がアミド結合を形成する窒素原子である場合、一般式（I I I a）で示される化合物の $Q^{3b}$ の窒素原子を、以下の一般式（V a）～（V d）で示される化合物

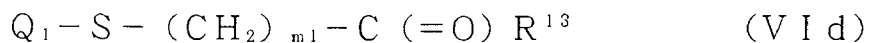
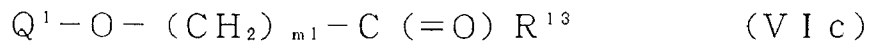


〔上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{13}$ 、 $R^{20}$ および $m_1$ は前記に同じ。 $L^1$ は塩素、臭素、沃素、メチルスルホニルオキシ基、パラトルエンスルホニルオキシ基などの有機化学的に多用される脱離基を意味する。〕

によりアルキル化する方法で一般式（I b）で示される化合物類を合成することができる。

また、一般式（I I I a）で示される化合物の $Q^{3b}$ の窒素原子が一級あるいは二級のアミンである場合、以下の一般式（V I a）～（V I d）で示されるカルボニル化合物

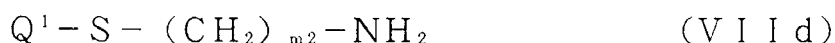
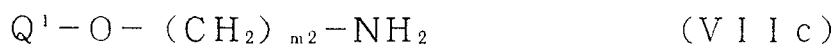
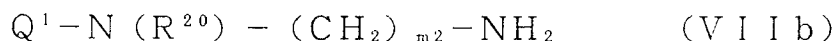




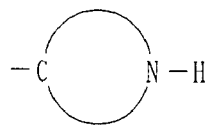
[上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{13}$ 、 $R^{20}$ および $m1$ は前記に同じ。]

とイミンを形成させ、還元する還元的アルキル化反応、

一般式 (IIIa) で示される化合物とホスゲン、トリホスゲン、1, 1'-カルボニルジイミダゾールなどの試薬ならびに既知技術の応用で合成できる以下の一般式 (VIIa) ~ (VIId) で示される一級あるいは一般式 (VIIe) で示される二級アミンのある化合物



[上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ および $R^{20}$ は前記に同じ。 $m2$ は2~6の整数を意味する。基



は置換基を有することもある5~6員の複素環式基を意味する。)]

とを反応させ、尿素誘導体を形成する反応、またイソシアナート誘導体あるいは一般式 (IVa) ~ (IVd) で示されるカルボン酸より生成させたイソシアナートを一般式 (IIIa) で示されるアミンに反応させることなどの方法により

一般式 (I b) で示される化合物類を製造することができる。

一般式 (I b) で示される化合物の  $Q^1$  の構造にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基か、またはハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル基が存在する場合には、遷移金属触媒を用い、硼酸基の置換したアリール化合物とカップリング反応させることができる。

一般式 (I b) で示される化合物の  $Q^1$  の構造にアルケニル基または硼酸基の置換したアルケニル基が存在すれば、遷移金属触媒を用い、ハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基とカップリングさせることが可能である。

同様に、一般式 (I b) で示される化合物の  $Q^1$  の構造に硼酸基の置換したアリール基がある場合には、ハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール化合物またはハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル化合物とカップリング反応させることができ、一般式 (I b) で示される化合物の  $Q^1$  の構造中にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基があれば、アルケニル化合物と遷移金属触媒を用いてカップリングさせ、一般式 (I b) で示される化合物類を得ることが可能である。このようにして得られた一般式 (I b) で示される化合物は、 $Q^{3b}$  の窒素原子が保護されていれば、必要に応じて脱保護することにより、一般式 (I a) で示される化合物が得られる。

例えば、一般式 (IV a) ~ (IV d) で示されるカルボン酸の適当な活性化物としては、一般式 (IV a) ~ (IV d) で示されるカルボン酸をクロロギ酸イソブチルのようなクロロギ酸エステルと反応させ、無水物とすることで得られるような混合酸無水物、塩化チオニルのごとき酸ハロゲン化物を用いて製造したアシルクロリドのような酸ハロゲン化物、パラニトロフェノールのようなフェノール類、ペンタフルオロフェニルトリフルオロアセテートなどと反応させて得

た活性エステル類、N-ヒドロキシベンズトリアゾールあるいはN-ヒドロキシスクシンイミドと反応させて得た活性エステル、通常、アミノ酸のペプチド合成に使用されるような1-ベンズトリアゾリルオキシ-（ピロリジノ）-ホスホニウム、ヘキサフルオロホスファイト、N, N'-ジシクロヘキシルカルボジイミドあるいはN-（3-ジメチルアミノプロピル）-N'-エチルカルボジイミド塩酸塩との反応生成物、シアノホスホン酸ジエチルとの反応生成物（塩入法）、トリフェニルホスフィンおよび2, 2'-ジピリジルジスルフィッドとの反応生成物（向山法）などが挙げられる。

このようにして得られたカルボン酸の活性化物と一般式（I I I a）で示される化合物あるいはその塩を、通常、適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、零下78℃～150℃で反応させることにより、一般式（I b）で示される化合物を得る。

具体的な塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようないアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようないジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス（トリメチルシリル）アミドのようないビスシリルアミンの有機金属塩基、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5. 4. 0]ウンデク-7-エン（DBU）のようない有機塩基などを挙げることができる。

不活性の溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリ

ジン-2-オンなどのアミド系溶媒あげられ、これらに加えて適当であればジメチルスルホキシド、スルホランなどのスルホキシド系溶媒、アセトン、メチルエチルケトンなどのケトン系溶媒などを挙げることができる。

一般式 (I I I a) で示される化合物の  $Q^{3b}$  の窒素原子がアミド結合を形成する窒素原子である場合、一般式 (V a) ~ (V d) で示される化合物と適当な塩基存在下、不活性溶媒中、零下 78 °C から 150 °C で反応させ、窒素原子のアルキル化を行い、一般式 (I b) で示される化合物を得ることができる。具体的な塩基としては、例えば、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムなどのアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属のアルコキシド、または水素化物、または *n*-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはジアザビシクロ[5.4.0]ウンデクー-7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げることができる。

不活性な溶媒としては、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、N,N-ジメチルホルムアミド等のアミド系溶媒などが好ましい。

例えば、一般式 (I I I a) で示される化合物の  $Q^{3b}$  の窒素原子が一級あるいは二級のアミンである場合、通常、不活性溶媒中、必要であれば酢酸等の有機酸、塩酸等の鉱酸あるいは塩化アルミニウム等のルイス酸の存在下、零下 20 °C から 150 °C で、一般式 (V I a) ~ (V I d) で示されるカルボニル化合物とイミンを形成させ、このイミンを不活性溶媒中、水素化ホウ素ナトリウム、シアノ水素化ホウ素ナトリウム、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウムなどの水素化ホウ素還元剤、あるいはパラジウム炭素触媒などの接触還元触媒により、10 °C から 110 °C で水素化することで、一般式 (I b) で示される化合物を得ることができる。

不活性溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、トルエン等のベンゼン系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン等のアミド系溶媒が好適である。

一般式 (I I I a) で示される化合物の Q<sup>3b</sup> の窒素原子が一級または二級のアミンであれば、一般式 (V I I a) ~ (V I I d) で示される一級あるいは一般式 (V I I e) で示される二級アミンのある化合物とホスゲン、トリホスゲンあるいは 1, 1'-カルボニルジイミダゾールなどの試薬の反応物を用いて、尿素誘導体に導くことが可能である。反応はホスゲン、トリホスゲン、1, 1'-カルボニルジイミダゾールなどの試薬に、一般式 (V I I a) ~ (V I I d) で示される一級アミンあるいは一般式 (V I I e) で示される二級アミンおよび一般式 (I I I a) で示される化合物を、必要ならば塩基存在下、不活性な溶媒中順番に反応させることにより尿素誘導体を合成できる。

不活性な溶媒としては、例えばジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン系溶媒、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、トルエン等のベンゼン系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン等のアミド系溶媒を挙げることができる。好ましくはジクロロメタン、テトラヒドロフラン、トルエンである。

塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU) のような有機塩基などを挙げることができる。反応は零下 70℃ から 110℃ の範囲で行えばよ



い。

一般式 (I I I a) で示される化合物の  $Q^{3b}$  の窒素原子が一級あるいは二級のアミンである場合には、一般式 (I b) で示される化合物は、一般式 (I I I a) で示される化合物とイソシアネート誘導体を不活性溶媒中、零下 20℃から 100℃で反応させることによって得ることができる。

イソシアネート誘導体は、一般式 (I V a) で示されるカルボン酸をテトラヒドロフラン、クロロホルムあるいはトルエン等不活性溶媒中、零下 20℃から 110℃で、塩化チオニルあるいはオキザリルクロリド等の酸ハロゲン化物により酸ハロゲン化物とし、ついでテトラヒドロフラン、クロロホルムあるいはトルエン等の不活性溶媒中、0℃から 80℃の範囲でアジ化ナトリウムと反応させた後、20℃から 100℃で加熱する方法、一般式 (I V a) で示されるカルボン酸をクロロギ酸イソブチルのようなクロロギ酸エステル類とテトラヒドロフラン、クロロホルムあるいはトルエン等の不活性溶媒中、零下 20℃から 110℃で反応させ混合酸無水物とし、0℃から 80℃の範囲でアジ化ナトリウムと反応させた後、20℃から 100℃で加熱する方法、あるいは一般式 (I V a) で示されるカルボン酸をテトラヒドロフラン、クロロホルムあるいはトルエン等の不活性溶媒中、零下 20℃から 110℃でエステル経由でヒドラジドに導き、さらに亜硝酸またはそのアルキルエステルを反応させてアシルアジドに導き、クロロホルム、ジクロロエタン、トルエン、キシレン、N, N-ジメチルホルムアミド等の溶媒中、20℃から 150℃で加熱する方法によって合成することができる。

一般式 (I V a) で示されるカルボン酸をトリエチルアミン等の塩基存在下、クロロホルム、テトラヒドロフラン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド等の不活性溶媒中、ジフェニルホスホリルアジドと 10℃から 140℃の範囲で反応させ、ついで一般式 (I I I a) で示されるアミンに反応させることによって一般式 (I b) で示される化合物を製造することができる。

一般式 (I b) で示される化合物の  $Q^1$  の構造にハロゲン原子またはトリフル

オロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基か、またはハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル基が存在する場合には、ベンゼン-水、トルエン-水などの2相系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系溶媒、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタンなどのエーテル系溶媒中、必要ならば、炭酸ナトリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化バリウム、燐酸カリウム、炭酸セシウム、弗化セシウムなどの存在下、テトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)などの遷移金属触媒を用いて、20℃から150℃の範囲で、硼酸基の置換したアリール誘導体と0.5時間から120時間カップリング反応させることができる。

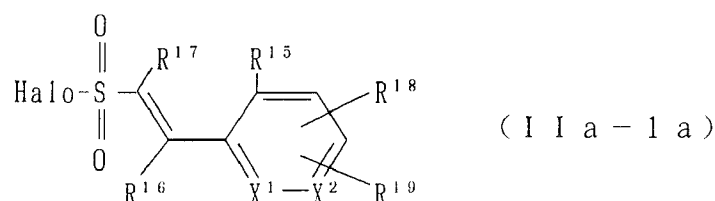
一般式(I b)で示される化合物の $Q^1$ の構造にアルケニル基または硼酸基の置換したアルケニル基が存在すれば、酢酸パラジウムなどの遷移金属触媒を用い、必要ならば、適当な塩基あるいは弗化セシウムなどの存在下、ハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基とN, N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系溶媒中、20℃から150℃の範囲で、0.5から120時間カップリング反応させることができる。同様に、一般式(I b)で示される化合物の $Q^1$ の構造に硼酸基の置換したアリール基のある場合には、ハロゲン原子、トリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール誘導体、ハロゲン原子、トリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル誘導体とカップリング反応させることができ、化合物の $Q^1$ の構造にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基が存在すれば、アルケニル化合物と遷移金属触媒を用いてカップリングさせ、一般式(I b)で示される化合物類を得ることが可能である。

このようにして得られた一般式(I b)で示される化合物の $Q^{3b}$ の窒素原子が保護されていれば、必要に応じて脱保護することにより、一般式(I a)で示される化合物が得られる。

<一般式(I I a)で示される化合物の合成>

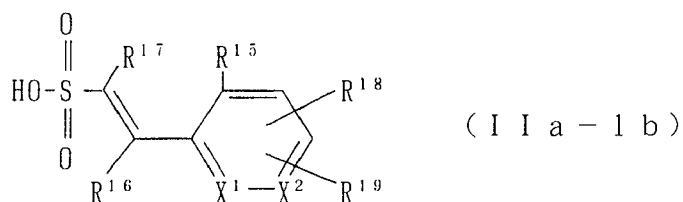
一般式 (I I a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物は既知の方法、あるいは既知の方法を応用することにより合成できる。以下に、一般的な合成方法を示す。

一般式 (I I a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物の内、一般式 (I I a - 1 a)



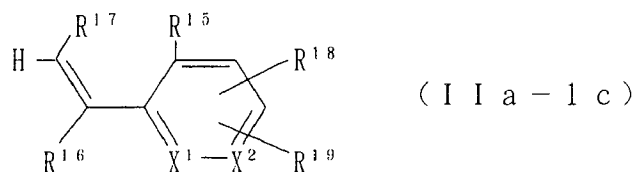
[式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$ 、 $X^2$  および  $Halo$  は前記に同じ。]

で示されるスルホン酸ハロゲン化物は、一般式 (I I a - 1 b)



[式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$  および  $X^2$  は前記に同じ。]

で示されるスルホン酸のハロゲン化、あるいは一般式 (I I a - 1 c)



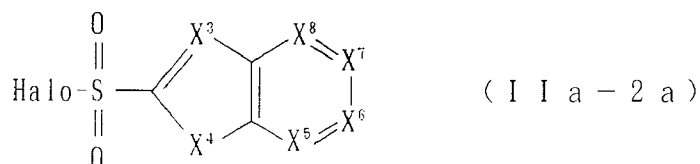
[式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$  および  $X^2$  は前記に同じ。]

で示される不飽和結合のクロルスルホニル化などの従来より報告されている種々の方法 (The Chemistry of Sulfonic Acids Esters and their Derivatives. Edited by S. Patai and Z. Rappoport, 1991 John Wiley & Sons Ltd) により合成することができる。

例えば、一般式 (I I a - 1 b) で示されるスルホン酸を、N, N-ジメチルホルムアミド存在下、ハロゲン化チオニルと 0℃から 150℃の温度で、0.5 時間から 24 時間反応させることにより、一般式 (I I a - 1 a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物を合成することができる。この時、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホラン等の不活性溶媒で反応系を希釈してもよい。

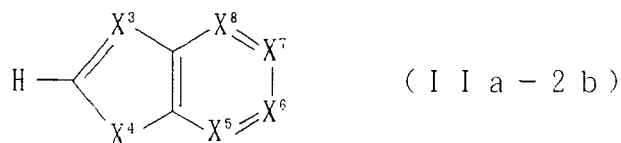
また、不飽和結合を持つ一般式 (I I a - 1 c) で示される化合物をN, N-ジメチルホルムアミドなどの不活性溶媒中でハロゲン化チオニルあるいはクロロスルホン酸と 0℃から 150℃の温度で 0.5 時間から 24 時間反応させることにより、一般式 (I I a - 1 a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物を合成することができる。

また、一般式 (I I a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物の内、一般式 (I I a - 2 a)



[式中、X<sup>3</sup>、X<sup>4</sup>、X<sup>5</sup>、X<sup>6</sup>、X<sup>7</sup>、X<sup>8</sup> およびH a l oは前記に同じ。]

で示されるスルホン酸ハロゲン化物は、一般式 (I I a - 2 b)



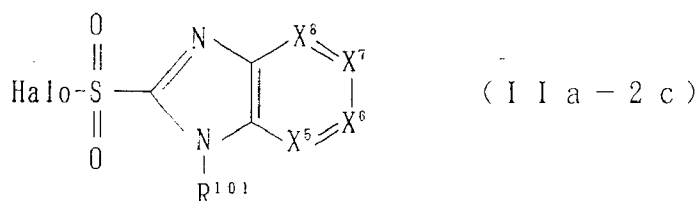
[式中、X<sup>3</sup>、X<sup>4</sup>、X<sup>5</sup>、X<sup>6</sup>、X<sup>7</sup> およびX<sup>8</sup> は前記に同じ。]

で示される縮合複素環を塩基、次いで二酸化硫黄を反応させた後、ハロゲン化剤を反応させる方法等、従来より報告されている方法（特開昭 60

－ 2 0 4 7 6 0 号公報、特開昭 6 2 － 1 1 6 5 7 5 号公報、特開平 4 － 1 2 8 2 6 6 号公報）、あるいはこれらを応用することにより合成することができる。

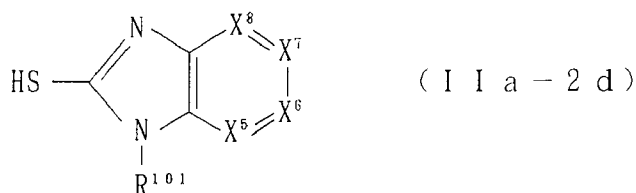
例えば、一般式（I I a－2 b）で示される縮合複素環を、エーテル型の不活性溶媒中、零下 7 8℃から 0℃で適当な塩基と反応させ、次いで零下 7 8℃から 0℃で二酸化硫黄を反応させた後、ハロゲン化アルキル型の不活性溶媒中、零下 5 0℃から 5 0℃でハロゲン化剤と反応させることにより、一般式（I I a－2 b）の化合物を得る。具体的な塩基としては、例えば、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムなどのアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属のアルコキシド、または水素化物、またはn－ブチルリチウム、t－ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス（トリメチルシリル）アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基などが挙げられ、エーテル型の不活性な溶媒としては、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、1，2－ジメトキシエタン、ジオキサン等が挙げられる。ハロゲン化剤としては、塩素、臭素、五塩化磷、塩化チオニル、N－クロロスクシンイミドあるいはN－ブロモスクシンイミドが好ましく、ハロゲン化アルキル型の不活性溶媒としてはジクロロメタン、クロロホルム、テトラクロロエタン等が好ましい。

また、一般式（I I a－2 a）で示される化合物の内、一般式（I I a－2 c）



[式中、 $R^{101}$ 、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$ 、 $X^8$  およびHal oは前記に同じ。]

で示される化合物は、一般式 (I I a - 2 d)



[式中、 $R^{101}$ 、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$  および $X^8$  は前記に同じ。]

で示される化合物を、水あるいは水および酢酸等の有機カルボン酸の混合溶媒中、 $0^{\circ}\text{C} \sim 30^{\circ}\text{C}$ で塩素ガスなどのハロゲンを用いて10分から6時間反応させることにより、対応するスルホニルクロリドが生成する。

一般式 (I I a - 2 d) で示される化合物とハロゲンとの反応は、必要ならば、塩化第二鉄などのルイス酸を触媒として、通常、水あるいは10～90%の酢酸水溶液中、 $0^{\circ}\text{C}$ から $20^{\circ}\text{C}$ で行われ、ハロゲンとしては塩素ガスが用いられる。

<一般式 (I a) で示される化合物と一般式 (I I a) で示される化合物の反応>

先に説明した方法等により合成した一般式 (I a) で示される化合物を、通常、適当な塩基存在下、先に説明した方法等により合成した一般式 (I I a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物と、不活性溶媒中、零下 $78^{\circ}\text{C} \sim 150^{\circ}\text{C}$ で反応させることにより、一般式 (I) の化合物を得ることができる。

得られた一般式 (I) で示される化合物については、必要に応じて保護基の除去、置換基の化学変換を行うことができる。

具体的な塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムの

ようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス（トリメチルシリル）アミドのようなビスシリルアミンなどの有機金属塩基、またはピリジン、2，6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデクー7-エン（DBU）のような有機塩基などを挙げる事ができる。

不活性溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1，2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N，N-ジメチルホルムアミド、N，N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホランあるいはこれらの混合溶媒などを挙げる事ができる。

#### [製造方法-1-(1)]

スルホン化される一般式(Ia)中の $Q^{3a}$ の窒素原子が一級あるいは二級のアミンである場合には、塩基として、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2，6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデクー7-エン（DBU）のような有機塩基などが好適であり、溶媒としては、不活性溶媒の他に水、エタノール、ブタノール等のアルコール系溶媒、酢酸エチルエステルなどのエステル系溶媒も使用できる。

#### [製造方法-1-(2)]

スルホン化される一般式(Ia)中の $Q^{3a}$ の窒素原子がアミド基を構成する窒素原子である場合には、塩基としては、例えば、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムなどのアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属のアルコキシド、または水素化物、またはn-ブチルリチウ

ムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス（トリメチルシリルアミド）のようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはジアザビシクロ〔5.4.0〕ウンデク-7-エン（DBU）のような有機塩基などを挙げることができる。不活性な溶媒としては、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、ジオキサン、N,N-ジメチルホルムアミドなどを挙げることができる。

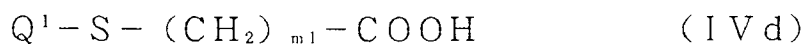
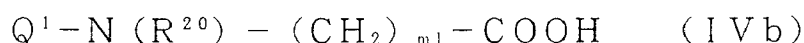
#### [製造方法-2]

一般式 (VII Ia)



[式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。]

で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子を、従来より報告されているあるいは化学的に一般的な方法により得られる、以下の一般式 (IV a) ~ (IV d) で示されるカルボン酸またはそれらの活性化物でアシル化することにより、スルホニル誘導体 (I) を製造する方法。



[上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{20}$ および $m1$ は前記に同じ。]

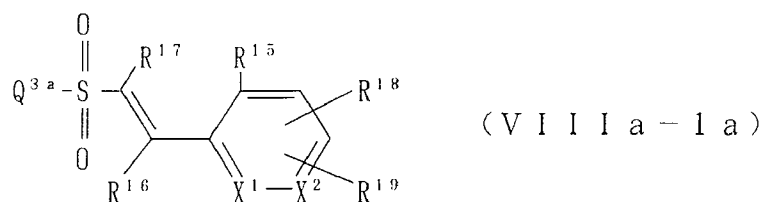
一般式 (VII Ia) で示される化合物は、種々の方法により合成することができる。以下に、いくつかの合成法を示す。

<<一般式 (VII Ia) で示される化合物の合成法>>

<一般式 (VII Ia-1 a) で示される化合物の合成>

一般式 (VII Ia) で示される化合物の内、一般式 (VII Ia-1 a)





[式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$ 、 $X^2$  および  $Q^{3a}$  は前記に同じ。]

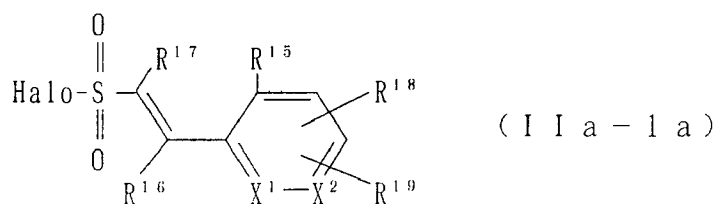
で示される化合物は以下のように合成することができる。

すなわち、一般式 (III a) で示される化合物



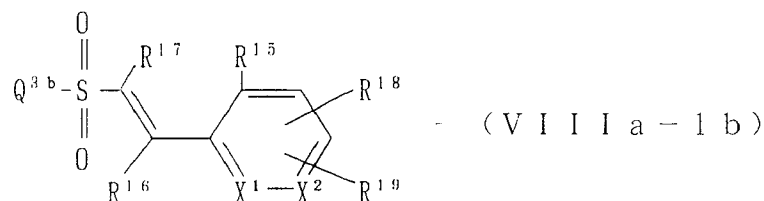
[式中、 $Q^{3b}$  は前記に同じ。]

の一級あるいは二級アミンあるいはアミドの窒素原子を、適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、一般式 (II a-1 a)



[式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$ 、 $X^2$  および  $Halo$  は前記に同じ。]

で示される化合物により零下  $78^{\circ}C \sim 150^{\circ}C$  でスルホニル化することにより、一般式 (VIII a-1 b)



[式中、 $R^{15}$ 、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$ 、 $X^2$  および  $Q^{3b}$  は前記に同じ。]

で示される化合物を得ることができる。

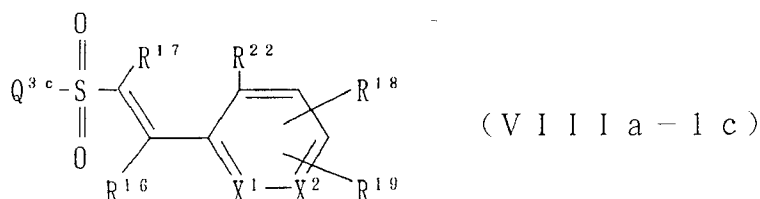
具体的な塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5. 4. 0]ウンデカ-7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げることができる。

不活性な溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホラン、アセトンなどが挙げられる。

このようにして得られた一般式(VIII a-1 b)で示される化合物の $Q^{3b}$ の窒素原子が保護されていれば、必要に応じて脱保護することにより、一般式(VIII a-1 a)で示される化合物が得られる。

また、一般式(VIII a-1 a)で示される化合物は、以下に示す方法により得られる一般式(VIII a-1 c)

で示される化合物の窒素の保護基を適当な方法により除去することにより得られる。



[式中、 $R^{16}$ 、 $R^{17}$ 、 $R^{18}$ 、 $R^{19}$ 、 $X^1$  および  $X^2$  は前記に同じ。 $R^{22}$ は水素原子、

アルキル基、

メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で保護した水酸基、

メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で水酸基を保護したヒドロキシアルキル基、

アルコキシル基、

アルコキシアルキル基、

ジアルコキシアルキル基、

ジアルキルアミノ基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノ基、

ジアルキルアミノアルキル基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル基、

ジアルキルアミノカルボニル基、

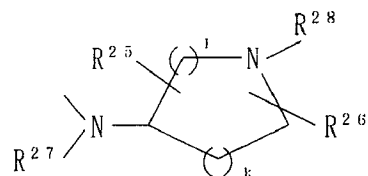
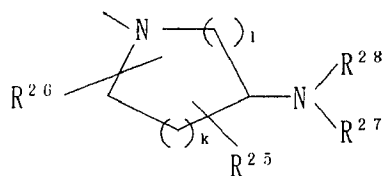
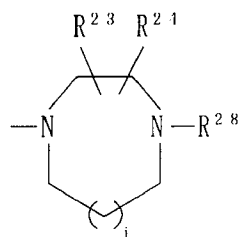
ジアルキルアミノカルボニルアルキル基、

ジアルキルアミノアルキルオキシ基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキルオキシ基、または

ジアルキルアミノカルボニルアルキルオキシ基等を意味する。

$Q^{3c}$ は下記の基のいずれかを意味する。



(基中、 $R^{23}$ 、 $R^{24}$ 、 $R^{25}$ および $R^{26}$ の結合する炭素原子が窒素原子に隣り合わない時はそれぞれ独立して、

水素原子、

アルキル基、

メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で保護した水酸基、

メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で水酸基を保護したヒドロキシアルキル基、

アルコキシル基、

アルコキシアルキル基、

ジアルコキシアルキル基、

ジアルキルアミノ基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノ基、

ジアルキルアミノアルキル基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル基、

ジアルキルアミノカルボニル基、

ジアルキルアミノカルボニルアルキル基、

ジアルキルアミノアルキルオキシ基、  
第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル  
オキシ基、または  
ジアルキルアミノカルボニルアルキルオキシ基等を意味する。  
 $R^{23}$ 、 $R^{24}$ 、 $R^{25}$ および $R^{26}$ の結合する炭素原子が窒素原子に隣り合う時はそれ  
ぞれ独立して、  
水素原子、  
アルキル基、  
メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で水酸基を保護したヒドロ  
キシアルキル基、  
アルコキシアルキル基、  
ジアルコキシアルキル基、  
ジアルキルアミノアルキル基、  
第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル  
基、  
ジアルキルアミノカルボニル基、  
ジアルキルアミノカルボニルアルキル基、または  
ジアルキルアミノアルキルオキシ基等を意味する。

また、 $R^{23}$ および $R^{24}$ 、 $R^{25}$ および $R^{26}$ は一緒になって、置換基を有すること  
もある飽和もしくは不飽和の5～7員の環状炭化水素または置換基を有すること  
もある飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基を意味してもよく、

$R^{27}$ は

アルキル基、  
水酸基を保護したヒドロキシアルキル基、  
水酸基を保護したヒドロキシアルキルカルボニル基、  
水酸基を保護したヒドロキシアルキルスルホニル基、

アルコキシアルキル基、  
 アルコキシアルキルカルボニル基、  
 アルコキシアルキルスルホニル基、  
 アルキルカルボニル基、  
 アルキルカルボニルアルキル基、  
 アルキルスルホニル基、  
 アルキルスルホニルアルキル基、  
 アルコキシカルボニル基、  
 アルコキシカルボニルアルキル基、  
 アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、  
 アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、  
 ジアルキルアミノアルキル基、  
 第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル  
 基、  
 ジアルキルアミノカルボニル基、  
 ジアルキルアミノカルボニルアルキル基等を意味する。

$R^{25}$ と $R^{27}$ あるいは $R^{26}$ と $R^{27}$ は一緒になって、置換基を有することもある飽和  
 もしくは不飽和の5～7員の複素環式基を意味しても良い。

$R^{28}$ は第三級ブトキシカルボニル基、ベンジル基またはトリフェニルメチル基  
 等の窒素原子の保護基を意味する。jおよびkは0または1の整数を意味する。  
 lは1から3の整数を意味する。ただし、kとlの和は1から4の整数を意味す  
 る。) ]

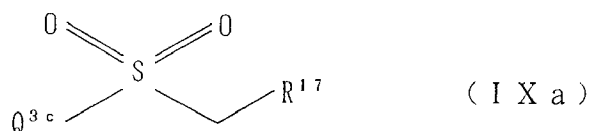
既知の方法あるいはその応用により得られる一般式 (I I I b)



[式中、 $Q^{3^{\circ}}$ は前記に同じ。]

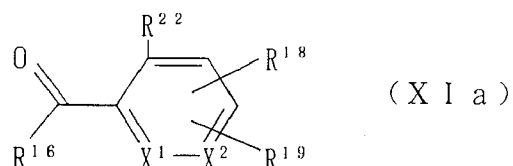
で示されるアミノ化合物

を適当な塩基存在下、アルキルスルホン酸ハロゲン化物と反応させ、得られた一般式 (IXa)



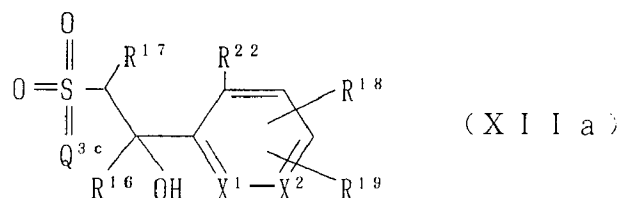
[式中、 $\text{R}^{17}$ および $\text{Q}^{3c}$ は前記に同じ。]

で示されるスルホンアミドを不活性溶媒中、適当な塩基存在下、一般式 (XIa)



[式中、 $\text{R}^{16}$ 、 $\text{R}^{18}$ 、 $\text{R}^{19}$ 、 $\text{R}^{22}$ 、 $\text{X}^1$  および $\text{X}^2$  は前記に同じ。]

で示されるカルボニル化合物と反応させ、一般式 (XIIa)



[式中、 $\text{R}^{16}$ 、 $\text{R}^{17}$ 、 $\text{R}^{18}$ 、 $\text{R}^{19}$ 、 $\text{R}^{22}$ 、 $\text{Q}^{3c}$ 、 $\text{X}^1$  および $\text{X}^2$  は前記に同じ。]

で示されるアルコール体を得、さらに一般式 (XIIa) で示されるアルコール体のアルコールを適当な塩基存在下、メタンスルホニルオキシ基等に変換する方法、あるいはハロゲン化燐もしくはトリフェニルホスフィン／四ハロゲン化炭素によりハロゲン原子に変換する方法により脱離基とし、適当な塩基存在下、メタンスルホン酸あるいはハロゲン化水素を脱離させることにより、一般式 (VII Ia-1c) で示される化合物を得ることができる。

一般式 (I I I b) で示される既知の方法あるいはその応用により得られるアミノ化合物を適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、置換基を有しても良いアルキルスルホン酸ハロゲン化物と零下 78℃～150℃で反応させることにより、一般式 (I X a) で示されるスルホンアミド化合物を得ることができる。

塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ [5. 4. 0] ウンデクー 7-エン (DBU) のような有機塩基などを挙げるができる。

また、不活性な溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン等を挙げることができ、使用する塩基の種類によってはジメチルスルホキシド、スルホラン、アセトンなども使用することができる。

一般式 (I X a) で示されるスルホンアミドを適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、一般式 (X I a) で示されるカルボニル化合物と零下 78℃～110℃で反応させることにより、一般式 (X I I a) で示されるアルコール化合物を得ることができる。

塩基としては、例えば、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムビス (トリメチルシリル) アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基などを挙げるができる。不活性な溶媒としては、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン等を挙げることができる。

一般式 (X I I a) で示されるアルコール体の水酸基を、必要ならば炭酸ナト



リウム、炭酸カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデクー 7-エン (DBU) のような有機塩基などの適当な塩基存在下、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド等の溶媒中、零下 20 °C から 110 °C で五塩化燐等のハロゲン化燐あるいはトリフェニルホスフィン ジブロミドのごときトリフェニルホスフィン-ハロゲン複合体により処理してハロゲン化物とし、得られるハロゲン化物より塩基性の条件下、ハロゲン化水素を脱離させることにより、例えばジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド中、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなジアルキルアミンの有機金属塩基、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデクー 7-エン (DBU) のような有機塩基で、零下 78 °C から 150 °C で処理することにより、一般式 (VIII a-1 c) で示される化合物を得る。

また、一般式 (XI a) で示されるアルコール体の水酸基を、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、ま

たはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5. 4. 0]ウンデカ-7-エン(DBU)のような有機塩基などの適当な塩基存在下、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド等の溶媒中、零下20℃から110℃で、メタンスルホン酸クロリドのようなアルキルあるいはアリールスルホン酸クロリドと処理し、アルキルあるいはアリールスルホン酸エステル誘導体とし、得られたアルキルあるいはアリールスルホン酸エステル誘導体より塩基性の条件下、アルキルあるいはアリールスルホン酸を脱離させることにより、一般式(VII Ia-1c)で示される化合物を得ることができる。

すなわち、例えばジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド中、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5. 4. 0]ウンデカ-7-エン(DBU)のような有機塩基で零下78℃から150℃で処理することで、一般式(VII Ia-1c)で示される化合物を得る。

また、一般式(VII Ia-1c)で示される化合物は、一般式(IXa)で

示されるスルホンアミドを適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、トリメチルシリルクロリド等のシリルハロゲン化物によりシリル化合物とし、更に塩基存在下、不活性の溶媒中、一般式 (X I a) で示されるカルボニル化合物と反応させ、ついで酸性から塩基性の水性条件下処理することによっても得ることができる（ピーターソン反応）。

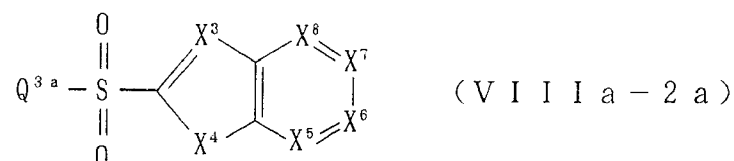
すなわち、一般式 (I X a) で示されるスルホンアミドを、零下 78℃～110℃で、例えば、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン等の溶媒中、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の水素化物、または *n*-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基などの存在下、トリメチルシリルクロリド等のアルキルシリルクロリドによりシリル化合物とし、ついで同様の条件下、一般式 (X I a) で示されるカルボニル化合物と縮合し、酸性から塩基性の水性条件下に処理することにより、一般式 (V I I I a-1 c) で示される化合物を得ることができる。

一般式 (V I I I a-1 c) で示される化合物の窒素原子の保護基の除去は、通常用いられる方法により、除去することができる。すなわち、第三級ブトキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去することができる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、トリフェニルメチル基は、適当な酸、例えばギ酸、酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去できる。また、トリフェニルメチル基は、液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元により除去することができ、パラジウム

炭素触媒を用いる加水素分解により除去することもでき、一般式 (V I I I a - 1 c) で示される化合物を得ることができる。

<一般式 (V I I I a - 2 a で示される化合物の合成>

一般式 (V I I I a) で示される化合物の内、一般式 (V I I I a - 2 a)



[式中、 $\text{X}^3$ 、 $\text{X}^4$ 、 $\text{X}^5$ 、 $\text{X}^6$ 、 $\text{X}^7$ 、 $\text{X}^8$  および  $\text{Q}^{3a}$  は前記と同じ。]

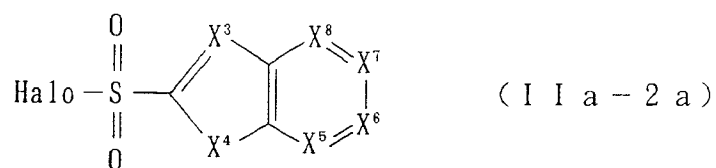
で示される化合物は、以下の方法により合成することができる。

すなわち、一般式 (I I I a) で示される化合物



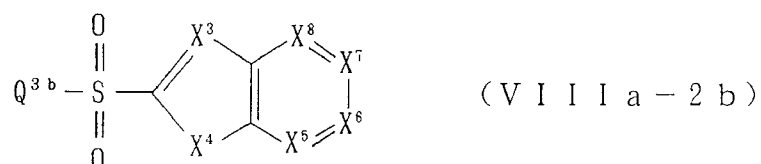
[式中、 $\text{Q}^{3b}$  は前記に同じ。]

の一级あるいは二级アミンあるいはアミドの窒素原子を、適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、一般式 (I I a - 2 a) で示されるスルホン酸ハロゲン化物



[式中、 $\text{X}^3$ 、 $\text{X}^4$ 、 $\text{X}^5$ 、 $\text{X}^6$ 、 $\text{X}^7$ 、 $\text{X}^8$  および  $\text{HalO}$  は前記に同じ。]

により零下78度～150度でスルホニル化することにより、一般式 (V I I I a - 2 b) で示される化合物を得ることができる。



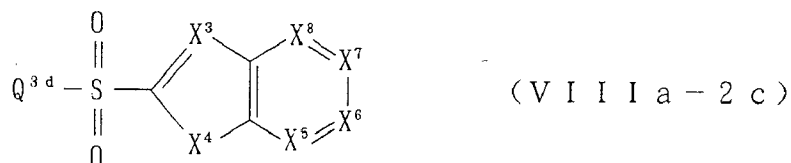
[式中、 $X^3$ 、 $X^4$ 、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$ 、 $X^8$  および  $Q^{3b}$  は前記に同じ。]

具体的な塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、または  $n$ -ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、 $N$ -メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5. 4. 0]ウンデクー7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げるができる。

不活性な溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、 $N$ ,  $N$ -ジメチルホルムアミド、 $N$ ,  $N$ -ジメチルアセトアミド、 $N$ -メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホラン、アセトンなどが挙げられる。

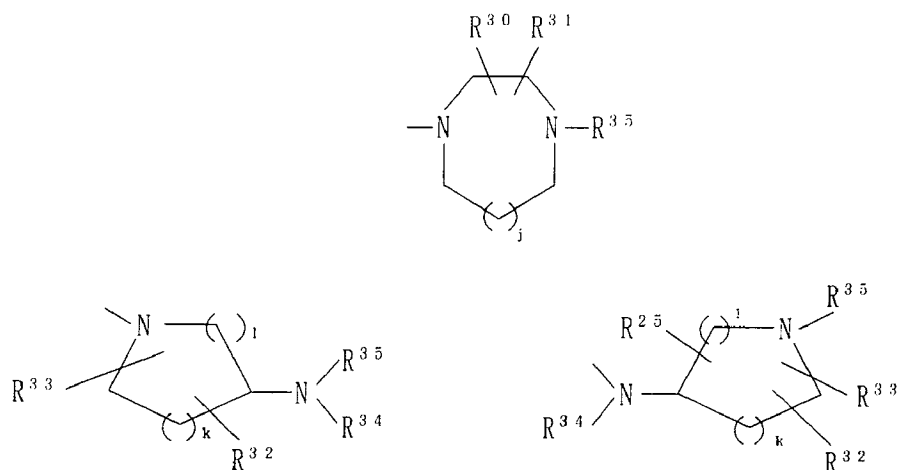
このようにして得られた一般式(V I I I a-2 b)で示される化合物の $Q^{3b}$ の窒素原子が保護されていれば、必要に応じて脱保護することにより、一般式(V I I I a-2 a)で示される化合物が得られる。

また、一般式(V I I I a-2 a)で示される化合物は、以下に述べる製造方法により得られる、以下の一般式(V I I I a-2 c)で示される化合物の $Q^{3d}$ の窒素の保護基を必要に応じて適当な方法により除去することにより得られる。



[式中、 $X^3$ 、 $X^4$ 、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$  および  $X^8$  は前記に同じ。 $Q^{3d}$  は下記の

基のいずれかを意味する。



(基中、 $R^{30}$ 、 $R^{31}$ 、 $R^{32}$ および $R^{33}$ は、 $R^{30}$ 、 $R^{31}$ 、 $R^{32}$ および $R^{33}$ の結合する炭素原子が窒素原子に隣り合わない時はそれぞれ独立して、

水素原子、

アルキル基、

水酸基、

メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で保護した水酸基、

ヒドロキシアルキル基、

メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で水酸基を保護したヒドロキシアルキル基、

アルコキシル基、

アルコキシアルキル基、

ジアルコキシアルキル基、

ジアルキルアミノ基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノ基、

ジアルキルアミノアルキル基、

第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル基、

ジアルキルアミノカルボニル基、  
ジアルキルアミノカルボニルアルキル基、  
ジアルキルアミノアルキルオキシ基、  
第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル  
オキシ基、  
第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノカルボニ  
ルアルキルオキシ基、  
ジアルキルアミノカルボニルアルキルオキシ基、  
ジアルキルアミノアルキルオキシ基、  
第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル  
オキシ基、  
カルバモイル基、  
モノアルキルカルバモイル基、  
ジアルキルカルバモイル基、  
カルバモイルアルキル基、  
モノアルキルカルバモイルアルキル基、  
ジアルキルカルバモイルアルキル基、  
ピロリジノカルボニル基、  
ピロリジノカルボニルアルキル基、  
ピペリジノカルボニル基、  
ピペリジノカルボニルアルキル基、  
モルホリノカルボニル基、  
モルホリノカルボニルアルキル基、  
または  
ジアルキルアミノカルボニルアルキルオキシ基等を意味する。

$R^{30}$ 、 $R^{31}$ 、 $R^{32}$ および $R^{33}$ の結合する炭素原子が窒素原子に隣り合う時はそ

れぞれ独立して、  
水素原子、  
アルキル基、  
メトキシメチル基あるいはテトラヒドロピラニル基等で水酸基を保護したヒドロキシアルキル基、  
アルコキシアルキル基、  
ジアルコキシアルキル基、  
ジアルキルアミノアルキル基、  
第三級ブトシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル基、  
ジアルキルアミノカルボニル基、  
ジアルキルアミノカルボニルアルキル基、  
カルバモイル基、  
モノアルキルカルバモイル基、  
カルバモイルアルキル基、  
モノアルキルカルバモイルアルキル基、  
ピロリジノカルボニル基、  
ピロリジノカルボニルアルキル基、  
ピペリジノカルボニル基、  
ピペリジノカルボニルアルキル基、  
モルホリノカルボニル基、  
モルホリノカルボニルアルキル基、  
または  
ジアルキルアミノアルキルオキシアルキル基等を意味する。

また、 $R^{30}$ および $R^{31}$ 、 $R^{32}$ および $R^{33}$ は一緒になって、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～7員の環状炭化水素または置換基を有すること



もある飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基を意味してもよく、

$R^{34}$ は

アルキル基、

水酸基を保護したヒドロキシアルキル基、

水酸基を保護したヒドロキシアルキルカルボニル基、

水酸基を保護したヒドロキシアルキルスルホニル基、

アルコキシアルキル基、

アルコキシアルキルカルボニル基、

アルコキシアルキルスルホニル基、

アルキルカルボニル基、

アルキルカルボニルアルキル基、

アルキルスルホニル基、

アルキルスルホニルアルキル基、

アルコキシカルボニル基、

アルコキシカルボニルアルキル基、

アルコキシカルボニルアルキルカルボニル基、

アルコキシカルボニルアルキルスルホニル基、

ジアルキルアミノアルキル基、

第三級ブトキシカルボニル基でアミノ基を保護したモノアルキルアミノアルキル基、

ジアルキルアミノカルボニル基、

ジアルキルアミノカルボニルアルキル基等を意味する。

$R^{32}$ と $R^{34}$ あるいは $R^{33}$ と $R^{34}$ は一緒になって、置換基を有することもある飽和もしくは不飽和の5～7員の複素環式基を意味しても良い。

$R^{35}$ は第三級ブトキシカルボニル基、ベンジル基またはトリフェニルメチル基等の一般的窒素原子の保護基を意味する。jおよびkは0または1の整数を意味

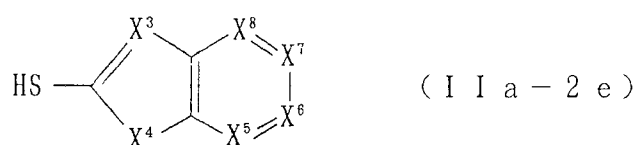
する。1は1から3の整数を意味する。ただし、kと1の和は1から4の整数を意味する。)]

既知の方法あるいはその応用により得られる一般式 (I I I c)



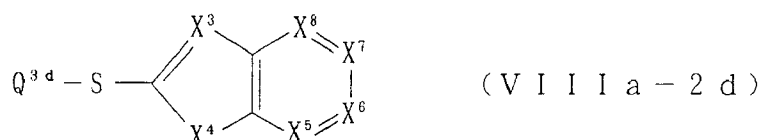
[式中、 $Q^{3d}$ は前記に同じ。]

で示されるアミノ化合物を適当な塩基ならびに酸化剤存在下、一般式 (I I a - 2 e)



[式中、 $X^3$ 、 $X^4$ 、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$  および  $X^8$  は前記に同じ。]

で示される縮合複素環のチオール体と反応させることにより、一般式 (V I I I a - 2 d)



[式中、 $X^3$ 、 $X^4$ 、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$ 、 $X^8$  及び  $Q^{3d}$ は前記に同じ。]

で示される化合物を得ることができる。

得られた一般式 (V I I I a - 2 d) で示される化合物を不活性溶媒中、適当な塩基存在下、酸化することにより一般式 (V I I I a - 2 c) で示される化合物を得ることができる。

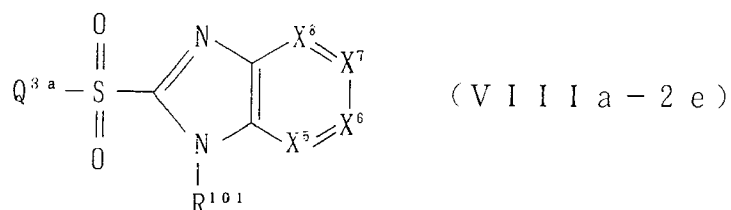
一般式 (I I I c) で示される既知の方法あるいはその応用により得られるアミノ化合物を適当な塩基ならびに酸化剤存在下、水、アルコール類、ジオキサンあるいはこれらの混合溶媒中、一般式 (I I a - 2 e) で示されるチオールを零

下10℃から50℃で反応させることにより、一般式(VII Ia-2d)で示される化合物を得ることができる。

塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物などを挙げることができる。酸化剤としては酸素、塩素、臭素、沃素、次亜塩素酸などが挙げられる。得られた一般式(VII Ia-2d)で示される化合物を適当な塩基存在下、水、アルコールあるいはこれらの混合溶媒中、零下30℃から60℃で、過マンガン酸カリウム、過酸化水素などの無機酸化剤あるいは3-クロロ過安息香酸などの有機酸化剤を反応させることにより、一般式(VII Ia-2c)で示される化合物が得られる。

一般式(VII Ia-2c)で示される化合物の窒素原子の保護基の除去は、通常用いられる方法により、除去することができる。すなわち、第三級ブトキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去することができる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、トリフェニルメチル基は、適当な酸、例えばギ酸、酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去できる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基は液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元により除去することができ、パラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することもでき、一般式(VII Ia-2a)で示される化合物を得ることができる。

また、一般式(VII Ia-2a)で示される化合物の内、一般式(VII Ia-2e)



[式中、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$ 、 $X^8$ 、 $R^{101}$  および  $Q^{3a}$  は前記に同じ。]

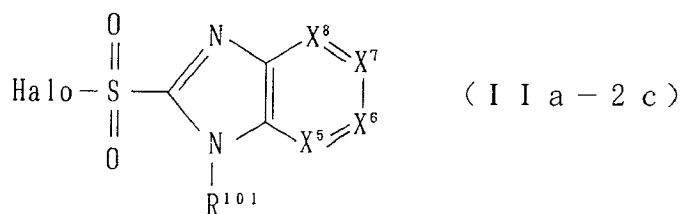
で示される化合物は、以下に述べる製造方法によって得られる一般式 (VII Ia-2f) で示される化合物の  $Q^{3d}$  の窒素の保護基を除去することによっても得られる。

すなわち、既知の方法あるいはその応用により得られる一般式 (III c)



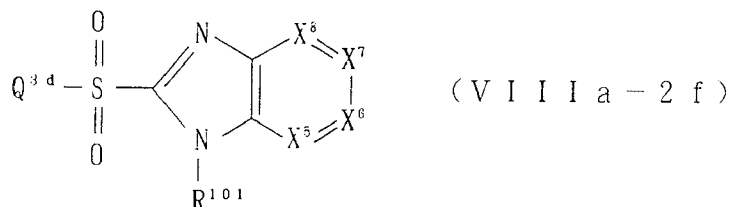
[式中、 $Q^{3d}$  は前記に同じ。]

で示されるアミノ化合物を、一般式 (II a-2c)



[式中、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$ 、 $X^8$ 、 $R^{101}$  および  $Hal o$  は前記に同じ。]

で示される酸ハロゲン化物と反応させることにより、一般式 (VII Ia-2f)



[式中、 $X^5$ 、 $X^6$ 、 $X^7$ 、 $X^8$ 、 $R^{101}$  および  $Q^{3d}$  は前記に同じ。] で示される化合物を得ることができる。

一般式 (II a-2d) で示される化合物を水あるいは水および酢酸等の有機カルボン酸の混合溶媒中、 $0^{\circ}\text{C}$  から  $30^{\circ}\text{C}$  で塩素ガスなどのハロゲンを用いて10分から6時間反応させることにより、対応するスルホニルクロリドが生成する。生成したスルホニルクロリドを、適当な溶媒に溶解した一般式 (III c) で示されるアミノ化合物に、零下  $50^{\circ}\text{C}$  から  $40^{\circ}\text{C}$  で加えることにより一般式 (VII Ia-2f) で示される化合物を得ることができる。

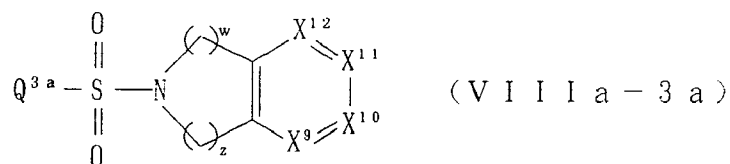
一般式 (II a-2d) で示される化合物とハロゲンとの反応は、必要ならば塩化第二鉄などのルイス酸を触媒として、通常、水あるいは10～90%の酢酸水溶液中、 $0^{\circ}\text{C}$  から  $20^{\circ}\text{C}$  で行われ、ハロゲンとしては塩素ガスが用いられる。生成した酸塩化物 (II a-2c) と一般式 (III c) で示されるアミンの反応は、水、エタノールなどのアルコール溶媒、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン系溶媒、アセトン等の溶媒あるいはこれらの混合溶媒中、零下  $20^{\circ}\text{C}$  から  $50^{\circ}\text{C}$  で、必要ならば塩基存在下に行い、一般式 (VII Ia-2f) で示される化合物を得ることができる。塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2,6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ

[5. 4. 0] ウンデクー７－エン（DBU）のような有機塩基などを挙げることができる。

一般式（VII Ia-2 f）で示される化合物の窒素原子の保護基の除去は、通常用いられる方法により、除去することができる。すなわち、第三級ブトキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、燐酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去することができる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、トリフェニルメチル基は、適当な酸、例えばギ酸、酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、燐酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去できる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基は液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元により除去することができ、パラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することもでき、一般式（VII Ia-2 e）で示される化合物を得ることができる。

<一般式（VII Ia-3 a）で示される化合物の合成>

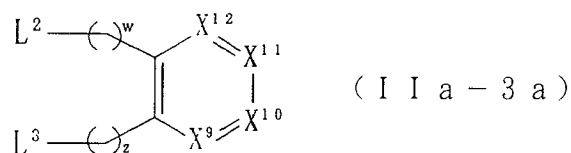
一般式（VII Ia）で示される化合物の内、一般式（VII Ia-3 a）



[式中、 $\text{X}^9$ 、 $\text{X}^{10}$ 、 $\text{X}^{11}$ 、 $\text{X}^{12}$ 、 $\text{Q}^{3a}$ 、 $w$ および $z$ は前記に同じ。]

で示される化合物は、以下に述べる製造方法によって得られる一般式（VII Ia-3 b）





[式中、 $\text{X}^9$ 、 $\text{X}^{10}$ 、 $\text{X}^{11}$ 、 $\text{X}^{12}$ 、 $w$ および $z$ は前記に同じ。 $\text{L}^2$ および $\text{L}^3$ は各々独立して、塩素、臭素、沃素、メチルスルホニルオキシ基、パラトルエンスルホニルオキシ基などの有機化学的に多用される脱離基を意味する。]

で示される化合物と反応させることにより、一般式(V I I I a - 3 b)で示される化合物を合成することができる。

一般式(I I I c)と一般式(X I I I)の反応は、塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムまたはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5. 4. 0]ウンデクー7-エン(DBU)のような有機塩基などが使用でき、溶媒としては、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン系溶媒、ベンゼン、トルエン、アセトン等の溶媒あるいはこれらの混合溶媒中、零下70℃から100℃で行い、一般式(X I V)で示される化合物を合成できる。

一般式(X I V)で示される化合物の窒素原子上の保護基の除去は、第三級ブトキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、燐酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去することができる。また、ベンジルオキシカルボニル基、パラニトロベンジルオキシカルボニル基またはパラメトキシベンジルオキシカルボニル基のごときアリアルメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、燐酸、トリフルオロ酢



酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去でき、一般式 (XV) で示される化合物を得ることができる。

一般式 (XV) で示される化合物と一般式 (I Ia-3a) で示される化合物の反応は、エタノールなどのアルコール溶媒、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン系溶媒、アセトン等の溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、アセトアミドあるいはこれらの混— 媒中、塩基存在下、零下20℃から150℃で行い、一般式 (VII Ia-3b) で示される化合物を得ることができる。塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムまたはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU) のような有機塩基などを挙げることができる。

一般式 (VII Ia-3b) で示される化合物の窒素原子の保護基の除去は、通常用いられる方法により、除去することができる。すなわち、第三級ブトキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去することができる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、トリフェニルメチル基は、適当な酸、例えばギ酸、酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去できる。また、ベンジル基のごときアリールメチル基は液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元により除去することができ、パラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することもでき、一般式 (VII Ia-3a) で示される化合物を得ることができる。

<<一般式 (IV a) ~ (IV d) で示される化合物と一般式 (VII Ia) で

示される化合物の反応>>

例えば、一般式 (IVa) ~ (IVd) で示されるカルボン酸の適当な活性化物としては、一般式 (IVa) ~ (IVd) で示されるカルボン酸を、クロロギ酸イソブチルのようなクロロギ酸エステルと反応させ、無水物とすることで得られるような混合酸無水物、塩化チオニルのごとき無機酸ハロゲン化物を用いて製造したアシルクロリドのような酸ハロゲン化物、パラニトロフェノールのようなフェノール類、ペンタフルオロフェニルトリフルオロアセテートと反応させた活性エステル類、N-ヒドロキシベンズotリアゾールあるいはN-ヒドロキシスクシンイミドと反応させた活性エステル、通常のアミノ酸合成で使用されるようなN, N'-ジシクロヘキシルカルボジイミドまたはN-(3-ジメチルアミノプロピル)-N'-エチルカルボジイミド塩酸塩との反応生成物、シアノホスホン酸ジエチルとの反応生成物(塩入法)、トリフェニルホスフィンおよび2, 2'-ジピリジルジスルフィッドとの反応生成物(向山法)などを挙げることができる。

このようにして得られたカルボン酸の活性化物と、一般式 (VIIa) で示される化合物を、通常適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、零下78℃から150℃で反応させることにより、一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。

塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリ

ン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ [5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU) のような有機塩基などを挙げることができる。

不活性な溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホランなどを挙げることができる。

[製造方法-2-(1)]

アシル化される一般式 (V I I I a)



[式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。]

で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子が一級または二級のアミンである場合には、塩基として、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ [5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU) のような有機塩基などが好適であり、溶媒としては、不活性溶媒の他にエタノール、ブタノール等のアルコール系溶媒、酢酸エチルエステルなどのエステル系溶媒も使用できる。

[製造方法-2-(2)]

アシル化される一般式 (V I I I a)



[式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。]

で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子がアミド結合を形成する窒素原子である場合には、塩基としては、例えば、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムなどのアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属のアルコキシド、または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキル

リチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス（トリメチルシリル）アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはジアザビシクロ〔5．4．0〕ウンデケー７－エン（DBU）のような有機塩基などを挙げる事ができる。また、不活性な溶媒としては、テトラヒドロフラン、１，２－ジメトキシエタン、ジオキサン、N，N－ジメチルホルムアミドなどが好ましい。

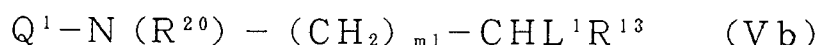
〔製造方法－３〕

一般式（V I I I a）



〔式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。〕

で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子がアミドを構成する窒素原子である場合、一般式（V I I I a）で示される化合物の窒素原子を、以下の一般式（V a）～（V d）で示される化合物



〔上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{13}$ 、 $R^{20}$ 、 $m1$ および $L^1$ は前記に同じ。〕

によりアルキル化して、本発明のスルホニル誘導体を製造する方法。

一般式（V I I I a）で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子がアミド結合の窒素原子である場合、一般式（V I I I a）で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子を一般式（V a）～（V d）で示される化合物によりアルキル化することで、一般式（I）で示されるスルホニル誘導体を合成することができる。すなわち、一般式（V I I I a）で示される化合物を適当な塩基存在下、不活性溶媒中、零下78℃から150℃で、一般式（V a）～（V d）で示される化合物と0.5時間から120時間反応させ、窒素原子のアルキル化を行い、一般式（I）で示される

スルホニル誘導体を得ることができる。

塩基としては、例えば、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水素化ナトリウム、水素化カリウムなどのアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属のアルコキシド、または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはジアザビシクロ[5.4.0]ウンデクー7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げることができ、不活性な溶媒としては、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、トルエン、ジオキサン、N,N-ジメチルホルムアミドなどが好ましい。

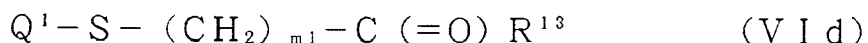
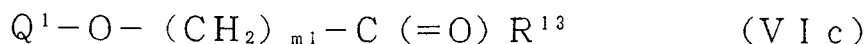
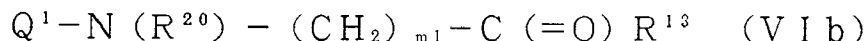
[製造方法-4]

一般式(VII Ia)



[式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。]

で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子が一級または二級のアミンである場合、以下の一般式(VI a)～(VI d)で示されるカルボニル化合物



[上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{13}$ 、 $R^{20}$ および $m1$ は前記に同じ。]

とイミンを形成させ還元することによりスルホニル誘導体(I)を製造する方法。

一般式(VII Ia)で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子がアミンである場合、一般式(VII Ia)で示される化合物と一般式(VI a)～(VI d)で示されるカルボニル化合物を、通常、不活性溶媒中、必要であれば酢酸等の有機酸、塩酸等の鉱酸あるいは塩化アルミニウム等のルイス酸の存在下、零下20℃から

150℃で、0.5時間から120時間、イミンを形成させ、生成したイミンを不活性溶媒中、水素化ホウ素ナトリウム、シアノ水素化ホウ素ナトリウム、トリアセトキシ水素ホウ素ナトリウムなどの水素化ホウ素還元剤、あるいはパラジウム炭素触媒などの接触還元触媒により、0.5時間から120時間、10℃から110℃で水素化することにより一般式(I)で示されるスルホン誘導体を得ることができる。

不活性溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミド、N,N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホラン等が好適である。

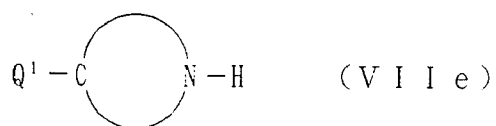
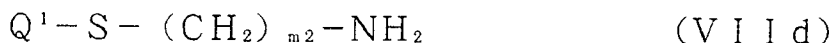
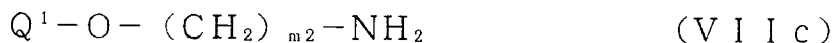
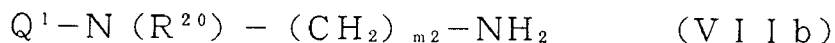
#### [製造方法-5]

一般式(VII Ia)

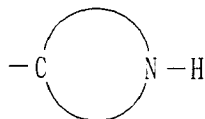


[式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。]

で示される化合物の $Q^{3a}$ が一級あるいは二級のアミンである場合、一般式(VII Ia)で示される化合物をホスゲン、トリホスゲンまたはカルボニルジイミダゾールなどの試薬を用いて、一般式(VII a)~(VII d)で示される一級アミンあるいは一般式(VII e)で示される二級アミンのある化合物



[上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{20}$ 、 $m2$ および  
基



は前記に同じ。]

と反応させ尿素誘導体を形成する反応を用いる方法。

一般式(VII a)で示される化合物の $Q^{3a}$ がアミンであれば、一般式(VII a)～(VII d)で示される一級あるいは一般式(VII e)で示される二級アミンの化合物およびホスゲン、トリホスゲン、1, 1'-カルボニルジイミダゾールなどの試薬を作用させ、尿素誘導体となる一般式(I)で表される本発明のスルホニル誘導体に導くことが可能である。

反応はホスゲン、トリホスゲン、1, 1'-カルボニルジイミダゾールなどの試薬に、一般式(VII a)～(VII d)で示される一級アミンあるいは一般式(VII e)で示される二級アミンのある化合物および一般式(VII a)で示される化合物を、必要ならば塩基存在下、不活性な溶媒中、順次に反応させることにより合成できる。不活性な溶媒としては、例えば、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサン、トルエン、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、ジメチルスルホキシド、スルホラン等を挙げることができ、好ましくはジクロロメタン、テトラヒドロフラン、トルエンである。

塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジ

ン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ [5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU) のような有機塩基などを挙げることができ、反応は零下70℃から110℃の範囲で行えばよい。

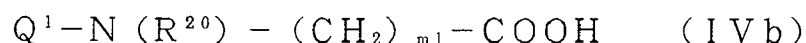
[製造方法-6]

一般式 (VII Ia)



[式中、 $Q^{3a}$ および $Q^A$ は前記に同じ。]

で示される化合物の $Q^{3a}$ の窒素原子が一級または二級のアミンである場合、既知のイソシアナート誘導体 ( $Q^1-Q^{2b}-N=C=O$ ) [式中、 $Q^1$  および $Q^{2b}$ は前記に同じ。] あるいは一般式 (IV a) ~ (IV d) で示されるカルボン酸



[上記式中、 $Q^1$ 、 $Q^{2b}$ 、 $R^{20}$ および $m1$ は前記に同じ。]

より生成させたイソシアナートを、一般式 (VII Ia) で示されるアミンに反応させることによって、尿素基を有する一般式 (I) で示されるスルホン誘導体を製造する方法。

一般式 (VII Ia) で示される化合物の $Q^{3a}$ がアミンである場合には、一般式 (I) で示されるスルホン誘導体は、一般式 (VII Ia) で示される化合物と既知のイソシアナート誘導体を、不活性溶媒中、零下20℃から100℃で0.5時間から120時間反応させることにより得ることができる。

イソシアネート誘導体は、一般式 (IV a) ~ (IV d) で示されるカルボン酸より合成することもできる。すなわち、一般式 (IV a) ~ (IV d) で示されるカルボン酸を、塩化チオニルあるいはオキザリルクロリド等で酸ハロゲン化物とし、不活性溶媒中、0℃から60℃の範囲でアジ化ナトリウムと反応させた



後加熱する方法、一般式 (I V a) で示されるカルボン酸をクロロギ酸イソブチルのようなクロロギ酸エステル類と反応させ混合酸無水物とし、アジ化ナトリウムと反応させた後、加熱する方法あるいは一般式 (I V a) ~ (I V d) で示されるカルボン酸をテトラヒドロフラン、クロロホルムあるいはトルエン等の不活性溶媒中、零下 20 °C から 110 °C でエステル経由でヒドラジドに導き、さらに亜硝酸またはそのアルキルエステルを反応させてアシルアジドに導き、クロロホルム、ジクロロエタン、トルエン、キシレン、N, N-ジメチルホルムアミド等の溶媒中、20 °C から 150 °C で加熱する方法によっても合成できる。

一般式 (I V a) ~ (I V d) で示されるカルボン酸をトリエチルアミン等の塩基存在下、不活性溶媒中、ジフェニルホスホリルアジドと 10 °C から 100 °C の範囲で反応させ、次いで一般式 (V I I I a) で示されるアミンに反応させることによっても、一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を製造することができる。

#### [製造方法-7]

スルホニル化される一般式 (I a)



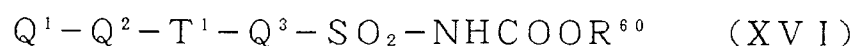
[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^{3a}$ および $T^1$ は前記に同じ。]

で示される化合物中の $Q^{3a}$ の窒素原子が一級あるいは二級のアミンである場合には、適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、クロロスルホニルイソシアナートとアルコールより得られる一般式 (X I I I)



[式中、 $R^{60}$ は前記に同じ。]

で示される化合物を反応させることにより、一般式 (X V I)



[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $R^{60}$ および $T^1$ は前記に同じ。]

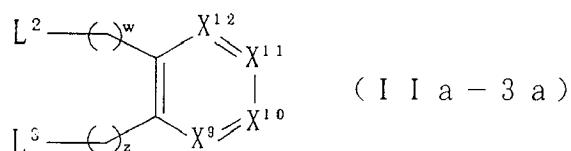
で示される化合物を合成することができる。

一般式 (X V I) で示される化合物の窒素原子上の保護基の除去を行い、一般式 (X V I I)



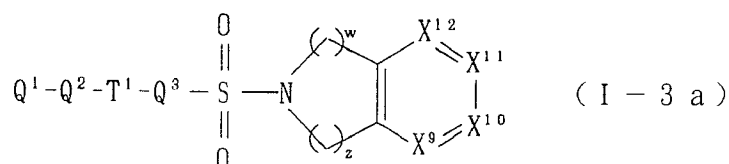
[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$  および  $T^1$  は前記に同じ。]

で示される化合物が得られ、得られた一般式 (X V I I) で示される化合物を適当な塩基存在下、不活性の溶媒中、一般式 (I I a - 3 a)



[式中、 $X^9$ 、 $X^{10}$ 、 $X^{11}$ 、 $X^{12}$ 、 $L^2$ 、 $L^3$ 、 $w$  および  $z$  は前記に同じ。]

で示される化合物と反応させることにより、一般式 (I) で示される化合物の内、以下の一般式 (I - 3 a) で示される化合物を合成することができる。



[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $T^1$ 、 $X^9$ 、 $X^{10}$ 、 $X^{11}$ 、 $X^{12}$ 、 $w$  および  $z$  は前記に同じ。]

一般式 (I a) で示される化合物と一般式 (X I I I) で示される化合物の反応は、塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウムまたはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ [5. 4. 0] ウンデクー7-エン (DBU) のような有機塩基などが使用でき、溶媒としては、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン系溶媒、ベ

ンゼン、トルエン、アセトン等の溶媒あるいはこれらの混合溶媒中、零下7.0℃から100℃で行い、一般式(XVI)で示される化合物を合成できる。

一般式(XVI)で示される化合物の窒素原子上の保護基の除去は、第三級ブトキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去することができる。また、ベンジルオキシカルボニル基、パラニトロベンジルオキシカルボニル基またはパラメトキシベンジルオキシカルボニル基のごときアリールメチル基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基の場合には、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより除去でき、一般式(XVII)で示される化合物を得ることができる。

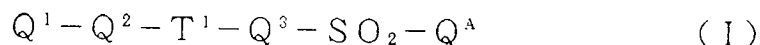
一般式(XVII)で示される化合物と一般式(IIa-3a)で示される化合物の反応は、エタノールなどのアルコール溶媒、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン、ジオキサン等のエーテル系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルムなどのハロゲン系溶媒、アセトン等の溶媒、N,N-ジメチルホルムアミド、N-メチルピロリジン-2-オン、アセトアミドあるいはこれらの混合溶媒中、塩基存在下、零下20℃から150℃で行い、一般式(I)で示される化合物の内、一般式(I-3a)で示される化合物を得ることができる。

塩基としては、例えば、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、またはピリジン、2,6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げることができる。

一般式(I-3a)で示される化合物は必要であれば、一般的方法により保護基の除去を行うことができる。

[製造方法-8]

遷移金属触媒を用いるカップリング反応により、一般式 (I)



[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q$ 、 $Q^A$  および  $T^1$  は前記に同じ。]

で示されるスルホニル誘導体を合成する方法。

一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体の  $Q^1$  の構造にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基か、またはハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル基が存在する場合には、遷移金属触媒を用い、硼酸基の置換したアリール化合物とカップリング反応させることができる。

一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体の  $Q^1$  の構造にアルケニル基が存在すれば、遷移金属触媒を用いハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基とカップリングさせることが可能である。

同様に一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体の  $Q^1$  の構造に硼酸基の置換したアリール基がある場合には、ハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール化合物またはハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル化合物とカップリング反応させることができる。

一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体の  $Q^1$  の構造中にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基があれば、アルケニル化合物と遷移金属触媒を用いてカップリングさせ、一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得ることが可能である。このようにして得られた一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体は、必要に応じて脱保護すればよい。

一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体の  $Q^1$  の構造にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基か、またはハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル基が存在する場合には、ベンゼン-水、トルエン-水などの 2 相系溶媒、N, N-ジ

メチルホルムアミドなどのアミド系溶媒、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタンなどのエーテル系溶媒中、炭酸ナトリウム、水酸化ナトリウム、水酸化バリウム、磷酸カリウム、炭酸セシウムなどの塩基または弗化セシウム等の中性塩存在下、テトラキス（トリフェニルホスフィン）パラジウム（0）などの遷移金属触媒を用いて、20℃から150℃の範囲で硼酸基の置換したアリール誘導体と0.5時間から120時間カップリング反応させることができる。

一般式（I）で示されるスルホニル誘導体の $Q^1$ の構造に硼酸基の置換したアリール基がある場合には、同様にハロゲン原子、またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール化合物、ハロゲン原子、またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル誘導体とカップリング反応させることができる。

また、一般式（I）で示されるスルホニル誘導体の $Q^1$ の構造にアルケニル基または硼酸基の置換したアルケニル基が存在すれば、酢酸パラジウムなどの遷移金属触媒を用い、適当な塩基存在下、ハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基とN,N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系溶媒中、20℃から150℃の範囲で0.5時間から120時間カップリング反応させることができる。

同様に一般式（I）で示されるスルホニル誘導体の $Q^1$ の構造に硼酸基の置換したアリール基のある場合には、ハロゲン原子、トリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール誘導体、ハロゲン原子、トリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアルケニル誘導体とカップリング反応させることができる。

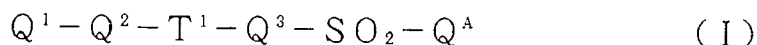
一般式（I）で示されるスルホニル誘導体の $Q^1$ の構造にハロゲン原子またはトリフルオロメタンスルホニルオキシ基の置換したアリール基が存在すれば、アルケニル化合物と遷移金属触媒を用いてカップリングさせ、一般式（I）で示されるスルホニル誘導体を得ることが可能である。このようにして得られた一般式

(I) で示されるスルホニル誘導体は、必要に応じて脱保護することにより、置換基を変換した一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。

[製造方法-9]

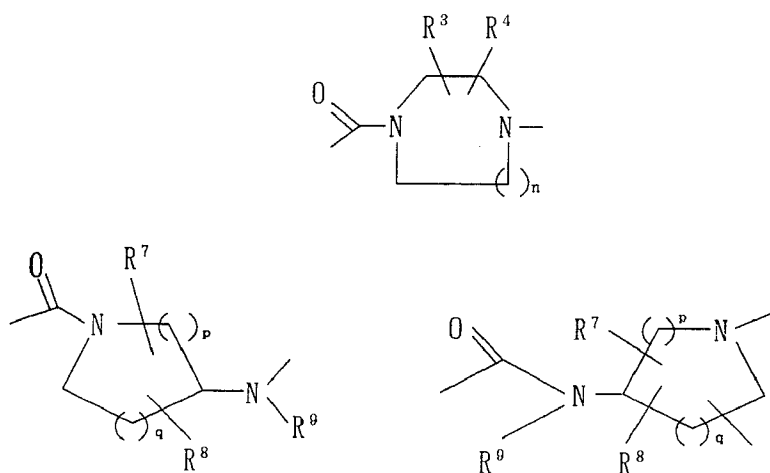
チオアミド型スルホンアミド誘導体、アミドオキシム型スルホンアミド体およびヒドラゾノ型スルホンアミド体の製造方法

一般式 (I)



[式中、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^A$  および  $T^1$  は前記に同じ。]

で示されるスルホニル誘導体の  $T^1-Q^3$  が、



[式中、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^7$ 、 $R^8$  および  $R^9$  は前記に同じ。  $n$  は 1 または 2 の整数を意味する。  $p$  は 1 から 3 の整数を意味する。  $q$  は 0 から 3 の整数を意味する。ただし、 $p$  および  $q$  の和は 3 または 4 の整数を意味する。] を意味し、一般式 (I) における  $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$  における  $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  およびこれらに置換できる置換基上にアミン、アルキルアミン、アミド、水酸基、カルボン酸基を持つ置換基が存在しない場合、

一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体に不活性溶媒中、五硫化二磷あるいはローソン試薬 (2, 4-ビス (4-メトキシフェニル) -1, 3-ジチア-2, 4-ジホスフェタン-2, 4-ジスルフィド) を零下  $30^{\circ}\text{C}$  から  $150^{\circ}\text{C}$ 、必

要であれば不活性溶媒中、0℃から120℃で反応させることにより、チオアミド型スルホンアミド誘導体(I)が得られる。不活性な溶媒の例としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、ジオキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒、ならびにこれらの混合溶媒があげられる。

得られたチオアミド型スルホンアミド誘導体を、ヒドロキシルアミン、置換基を有していてもよいアルコキシアミン、ヒドラジンあるいは置換基を有していてもよいヒドラジンまたはこれらの塩を、必要であれば塩化水銀(II)等の水銀触媒の存在下、零下30℃から150℃、必要であれば適当な溶媒中、0℃から120℃で反応させることにより一般式(I)で示されるスルホンアミド誘導体を得られる。溶媒としてはエタノール等のアルコール系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、ジオキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒、およびこれらの混合溶媒があげられる。

また、一般式(I)で示されるスルホニル誘導体に、オキシ塩化磷、五塩化磷などのハロゲン化剤、あるいはメアーバイン試薬などのアルキル化剤を、零下30℃から140℃、必要であれば例えば、クロロホルムなどの不活性溶媒であるハロゲン系溶媒中、0℃から80℃で反応させ、イミノクロリドあるいはイミノエーテルとし、このイミノクロリドあるいはイミノエーテルに不活性溶媒中、0℃から80℃、好ましくは20℃から60℃で、必要ならば塩基触媒存在下、ヒドロキシルアミンあるいは置換基を有してもよいアルコキシアミンまたはこれらの塩を反応させることにより、一般式(I)で示されるスルホニル誘導体を得られる。

不活性な溶媒としては、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒、テトラヒドロフラン、1,2-ジメトキシエタン、ジ

オキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒を挙げることができる、特にハロゲン化アルキル系溶媒が好ましい。塩基としては、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、ナトリウムエトキシド、カリウムブトキシド、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水素化ナトリウム、水素化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、アルコキシド、水酸化物または水素化物、またはn-ブチルリチウムのようなアルキルリチウム、リチウムジイソプロピルアミドのようなジアルキルアミノリチウムに代表される有機金属塩基、リチウムビス(トリメチルシリル)アミドのようなビスシリルアミンの有機金属塩基、またはピリジン、2,6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデカ-7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げることができる。

#### [製造方法-10]

##### N-オキシド化

一般式(I)で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$ あるいはこれらに置換し得る置換基上に、窒素原子を含む複素環式芳香環、脂肪族の3級アミンがある場合、一般式(I)で表されるスルホニル誘導体を水、酢酸などの溶媒、ベンゼン、トルエン、キシレンなどのベンゼン系溶媒、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタンなどのエーテル系溶媒、あるいはジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒中で過酸化水素、メタクロロ過安息香酸、あるいは第三ブチルヒドロペルオキシドなどの過酸化物を、零下40℃から60℃で、0.5時間から120時間、好ましくは零下20℃から20℃で反応させることで、N-オキシド誘導体の一般式(I)で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。

#### [製造方法-11]

##### 窒素原子の4級化



一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に窒素原子を含む複素環式芳香環、脂肪族の3級アミンがある場合、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体に、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド、N, N-ジメチルアセトアミド、N-メチルピロリジン-2-オンなどのアミド系溶媒、ジメチルスルホキシド、スルホランなどのスルホキシド系溶媒中で、沃化メチル、沃化エチルなどのハロゲン化アルキルを、零下10℃から150℃、好ましくは0℃から80℃で反応させることで、4級アミノ体の一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得る。

#### [製造方法-12]

##### スルホキシド化およびスルホン化

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に、硫黄原子を含む複素環、脂肪族のチオエーテルがある場合、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体を水、酢酸などの溶媒、ベンゼン、トルエン、キシレンなどのベンゼン系溶媒、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタンなどのエーテル系溶媒、あるいはジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒中で、過酸化水素、メタクロロ過安息香酸、あるいは第三ブチルヒドロペルオキシドなどの過酸化物を、零下40℃から60℃で、0.5時間から120時間、好ましくは零下20℃から20℃で反応させることで、スルホキシドあるいはスルホンの一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。

#### [製造方法-13]

##### アミノ化-1

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に、ニトリル基がある場合、通常用い

られる一般的方法により、これをアミノ基に変換できる。例えば、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体を、必要ならば、ジエチルエーテル等の脂肪族エーテル系溶媒、クロロホルム、ジクロロメタン等のハロゲン化アルキル系溶媒、ベンゼン等の非プロトン性溶媒又はこれらの混合溶媒中、塩化水素、臭化水素等のハロゲン化水素の存在下、等量～大過剰のメタノール、エタノール、プロパノール等の炭素数 1～4 のアルコールを、零下 10℃～60℃で、3 時間～120 時間作用させ、イミノエーテル体とし、得られたイミノエーテル体をエタノール、プロパノール等の炭素数 1～4 のアルコール類、ジエチルエーテル等の脂肪族エーテル系溶媒、クロロホルム等のハロゲン化アルキル系溶媒、ベンゼン等の非プロトン性溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド、ジメチルスルホキシド等の溶媒中あるいはこれらの混合溶媒中、アンモニウム、置換基を有してもよいモノアルキルアミンまたは置換基を有してもよいジアルキルアミンあるいはこれらの炭酸塩、酢酸塩を、零下 10℃から 140℃で、0.5 時間から 200 時間、好ましくはエタノール中、零下 8℃から 30℃で、10 時間から 96 時間反応させることにより、アミノ基を持った一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。

#### [製造方法-14]

##### アミノ化-2

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に、1 級あるいは 2 級アミノ基のある場合、通常用いられる一般的方法によりこれを置換アミノ基に変換できる。

例えば、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体をジエチルエーテル等の脂肪族エーテル系溶媒、クロロホルム、ジクロロメタン等のハロゲン化アルキル系溶媒、ベンゼン等の非プロトン性溶媒又はこれらの混合溶媒中、必要ならば塩基触媒存在下、アミド化合物あるいはニトリル化合物より合成したイミノエーテル、イミノクロリドまたはそれらの塩と零下 10℃から 140℃で、0.5 時間から

200時間、好ましくは0℃から80℃で、10時間から96時間反応させることにより、アミジノ基を持った一般式(I)で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。塩基としては、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2,6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(DBU)のような有機塩基が挙げることができる。

#### [製造方法-15]

##### N-ニトリル化

一般式(I)で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^A$ 、 $T^1$ あるいはこれらに置換し得る置換基上に、一級あるいは二級のアミンのある場合、通常用いられる一般的方法によりこれをシアノ化できる。

例えば、一般式(I)で表されるスルホニル誘導体を、メタノール、エタノール、プロパノール等のアルコール系溶媒中、酢酸ナトリウム等の塩および塩基存在下、零下10℃から110℃、好ましくは0℃から60℃で、臭化シアンを反応させることにより、窒素原子上にニトリル基を有する一般式(I)で表されるスルホニル誘導体を得ることができる。塩基としては、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2,6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビスクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(DBU)のような有機塩基を挙げることができる。

#### [製造方法-16]

##### アミドキシム化、カルボキサミド- $\alpha$ -アルキルオキシム化

一般式(I)で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^A$ 、

T<sup>1</sup> あるいはこれらに置換し得る置換基上に、ニトリル基がある場合、通常用いられる一般的方法によりこれをアミドキシム基、カルボキサミドーOーアルキルオキシム基に変換できる。

例えば、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体を、メタノール、エタノール、プロパノール等のアルコール系溶媒、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒、クロロホルム、ジクロロメタン等のハロゲン化炭化水素類、トルエン等の非プロトン性溶媒、N, N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系溶媒、ジメチルスルホキシドなどの溶媒又はこれらの混合溶媒中、零下10℃から110℃、好ましくは0℃から60℃で、必要ならば塩基触媒存在下、ヒドロキシルアミンあるいは置換基を有してもよいアルコキシアミンまたはこれらの塩を反応させることにより、アミドキシム基またはカルボキサミドーOーアルキルオキシム基を有する一般式 (I) で示されるスルホニル誘導体を得ることができる。塩基としては、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ [5, 4, 0] ウンデクー7-エン (DBU) のような有機塩基を挙げることができる。

#### [製造法-17]

##### グアニジノ化

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、Q<sup>1</sup>、Q<sup>2</sup>、Q<sup>3</sup>、Q<sup>4</sup>、T<sup>1</sup> あるいはこれらに置換し得る置換基上に、1級あるいは2級アミノ基のある場合、通常用いられる一般的方法によりこれを置換もしくは非置換グアニジノ基に変換できる。

例えば、1級あるいは2級アミノ基を持つ一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体をジエチルエーテル等の脂肪族エーテル系溶媒、クロロホルム、ジクロロ

メタン等のハロゲン化炭化水素類、ベンゼン等の非プロトン性溶媒又はこれらの混合溶媒中、必要ならば塩基触媒存在下、N, N' -ジ第三ブトキシカルボニルチオウレアとN, N' -ジシクロヘキシルカルボジイミドを縮合剤として、零下10℃から140℃で、0.5時間から200時間、好ましくは0℃から80℃で、10時間から96時間反応させた後、通常行われる第三級ブトキシカルボニル基の除去を行い、グアニジノ化合物である一般式(I)で表されるスルホニル誘導体を合成できる。塩基としては、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムのようなアルカリ金属もしくはアルカリ土類金属の炭酸塩、水酸化物、またはピリジン、2, 6-ルチジン、コリジン、4-ジメチルアミノピリジン、トリエチルアミン、N-メチルモルホリン、ジイソプロピルエチルアミン、ジアザビシクロ[5. 4. 0]ウンデカ-7-エン(DBU)のような有機塩基などを挙げるができる。

#### [製造方法-18]

##### 窒素原子の保護基の除去

一般式(I)で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$ あるいはこれらに置換し得る置換基上に、アシルアミノ基、アルコキシカルボニルアミノ基のある場合、水、低級アルコールあるいはテトラヒドロフランあるいはこれらの溶媒の混液中、水酸化リチウム、水酸化ナトリウムもしくは水酸化カリウムのような水酸化アルカリ金属を塩基として、0℃から80℃で加水分解し、アミノ体を得ることができる。また、第三級ブトキシカルボニル基もしくはパラメトキシベンジルオキシカルボニル基のようなアシル型保護基の結合する窒素原子は、水、メタノール等のアルコール系溶媒、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒、テトラヒドロフラン、1, 2-ジメトキシエタン、ジオキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒中、適当な酸、例えば酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合

わせにより、0℃から80℃で窒素原子よりアシル型保護基の除去を行い、窒素－水素結合に変換できる。

また、ベンジルオキシカルボニル基、パラメトキシベンジルオキシカルボニル基、パラ（オルト）ニトロベンジルオキシカルボニル基のようなアリールメトキシカルボニル基の結合する窒素原子は水、メタノール、エタノールなどのアルコール系溶媒、酢酸エチル等のエステル系溶媒、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒、酢酸、N，N－ジメチルホルムアミドなどの溶媒またはこれらの混合溶媒中、パラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により、窒素原子よりこれらのアリールメトキシカルボニル基の除去を行い、窒素－水素結合に変換できる。トリメチルシリル基、第三ブチルジメチルシリル基等のシリル系保護基の結合する窒素原子はジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素などのハロゲン化アルキル系溶媒、テトラヒドロフラン、1，2－ジメトキシエタン、ジオキサンなどのエーテル系溶媒、ベンゼン、トルエンなどの芳香族系溶媒中、0℃から80℃で塩酸、テトラブチルアンモニウムフルオリド等の弗化水素酸塩を反応させることにより、窒素原子よりシリル基の除去を行い窒素－水素結合に変換できる。ベンジル基の結合する窒素原子では、エタノール、テトラヒドロフラン、酢酸等の溶媒中、0℃から80℃で、パラジウム炭素触媒等を用いる接触還元、あるいは液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元によりベンジル基の除去を行い、窒素－水素結合に変換できる。トリフェニルメチル基の結合する窒素原子では、エタノール、テトラヒドロフラン、酢酸等の溶媒中、0℃から80℃で、パラジウム炭素触媒等を用いる接触還元、あるいは液体アンモニア中、金属ナトリウムを用いるバーチ還元によりトリフェニルメチル基の除去を行い、窒素－水素結合に変換できる。また0℃から80℃で、適当な酸、例えばギ酸、酢酸、塩酸、臭化水素酸、硫酸、磷酸、トリフルオロ酢酸、トリフルオロメタンスルホン酸あるいはこれらの酸の組み合わせにより、トリフェニルメチル基の除去を行い、窒素－水素結合に変換できる。

## 〔製造方法－１９〕

## エステル加水分解

一般式（Ｉ）で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$ あるいはこれらに置換し得る置換基上に、アルコキシカルボニル基のある場合、メチル、エチルエステルなどでは水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムなどの水酸化アルカリ金属などの適当な塩基で加水分解し、カルボン酸に変換できる。また、第三級ブチルエステルではトリフルオロ酢酸あるいは塩酸で処理することにより第三級ブチル基を除去でき、ベンジル基などのアリールメチル基型エステルではパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解によりアリールメチル基を除去してカルボン酸を得ることができる。エステル基のカルボン酸残基への変換はポタシウムトリメチルシラノラートを用いても行える。

## 〔製造方法－２０〕

一般式（Ｉ）で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$ あるいはこれらに置換し得る置換基上に、アシルオキシ基、アリールメチルオキシ基、シリルエーテル基、メトキシメチル基、テトラヒドロピラニル基がある場合、アルカノイル基およびアロイル基などのアシル基は水酸化リチウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウムなどの水酸化アルカリ金属などの適当な塩基で加水分解することにより、あるいはアンモニア、メチルアミンなどの有機塩基を反応させることによっても除去することができる。アリールメチル型保護基はパラジウム炭素触媒を用いる加水素分解により除去することができ、第三級ブチルジメチルシリル基などのシリルエーテル基は、テトラブチルアンモニウムフルオリド等の弗化水素酸塩により除去できる。また、メトキシメチル基、テトラヒドロピラニル基などは酢酸、塩酸などにより除去できる。

## 〔製造方法－２１〕

一般式（Ｉ）で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$ あるいはこれらに置換し得る置換基上に、アミノ基がある場合、通常用いら

れるアシルハロゲン化物、カルボン酸の活性化物を用いる方法でアシル化することができ、還元的アルキル化などの方法によりアルキル化することができる。また、スルホン酸クロリドによりスルホニル化、イソシアナートあるいはカルボン酸より誘導したイソシアナートを反応させることにより、尿素誘導体となる一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体を製造できる。

#### [製造方法- 2 2]

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に、カルボキシル基がある場合、カルボキシル基を、通常用いられる活性エステル法、混合酸無水物法などによりカルバモイル基、アルキルカルバモイル基、ジアルキルカルバモイル基に変換でき、還元により水酸基、アルデヒド基に変換できる。変換された水酸基あるいはアルデヒド基は通常の有機化学的方法を適用することでさらにエーテル結合形成、アミノ基への変換、アルキルアミノ基への変換など官能基変換を行うことができる。また、カルボキシル基を直接または通常の方法によりエステルに変換後、あるいは混合酸無水物とした後還元し、アルコールに変換することもできる。

#### [製造方法- 2 3]

##### フェノールの形成

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^4$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に、アリール基に置換したメトキシ基のある場合には、ジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化アルキル系溶媒、トルエン等のベンゼン系溶媒中、零下 7 8 °C から 1 1 0 °C で塩化アルミニウム、三臭化リン、三臭化硼素のようなルイス酸、あるいはハロゲン化アルキル系溶媒、あるいはエーテル系溶媒中、零下 7 8 °C から 1 1 0 °C でトリメチルシリルイオダイドによりメチル基を除去し、水酸基に変換できる。

#### [製造方法- 2 4]

##### ハロゲン原子のアルキニル基への変換



一般式 (I) で示される化合物、一般式 (V I I I a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 b) で示される化合物、(V I I I a - 1 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 d) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 e) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 3 a) で示される化合物、あるいは一般式 (V I I I a - 3 b) で示される化合物の芳香環に塩素、臭素、沃素が置換している場合、シリルアセチレン化合物と遷移金属触媒存在下反応させることにより、アセチレン基に変換することができる。

反応は芳香環に塩素、臭素、沃素が置換している一般式 (I) で示される化合物、一般式 (V I I I a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 d) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 e) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 3 a) で示される化合物、あるいは一般式 (V I I I a - 3 b) で示される化合物とトリメチルシリルアセチレン等のシリルアセチレンを必要ならばトリエチルアミン、ピリジン等の適当な塩基存在下、トルエン等のベンゼン系溶媒、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系、またはこれらの混合溶媒中、酢酸パラジウム、トリフェニルフォスフィンを用いて、零下20℃から150℃の範囲で0.5から120時間反応させることにより塩素、臭素、沃素をシリルアセチレン基に変換できる。

得られたシリルアセチレン化合物を、メタノール等のアルコール系溶媒、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒、水、あるいはこれらの混合溶媒中、炭酸カリウム、炭酸水素カリウム、水酸化ナトリウム等の塩基で0℃～80℃で処理す

ることにより、シリル基の除去ができる。

[製造方法－25]

ハロゲン原子のニトリル基への変換

一般式(I)で示される化合物、一般式(VII Ia)で示される化合物、一般式(VII Ia-1b)で示される化合物、一般式(VII Ia-1c)で示される化合物、一般式(VII Ia-2a)で示される化合物、一般式(VII Ia-2b)で示される化合物、一般式(VII Ia-2c)で示される化合物、一般式(VII Ia-2d)で示される化合物、一般式(VII Ia-2e)で示される化合物、一般式(VII Ia-3a)で示される化合物、あるいは一般式(VII Ia-3b)で示される化合物の芳香環に塩素、臭素、沃素が置換している場合、遷移金属触媒存在下シアン化亜鉛と反応させることにより、ニトリル基に変換することができる。反応は芳香環に塩素、臭素、沃素が置換している一般式(I)で示される化合物、一般式(VII Ia)で示される化合物、一般式(VII Ia-1b)で示される化合物、一般式(VII Ia-1c)で示される化合物、一般式(VII Ia-2a)で示される化合物、一般式(VII Ia-2b)で示される化合物、一般式(VII Ia-2c)で示される化合物、一般式(VII Ia-2d)で示される化合物、一般式(VII Ia-2e)で示される化合物、一般式(VII Ia-3a)で示される化合物、あるいは一般式(VII Ia-3b)で示される化合物とシアン化亜鉛を必要ならばトリエチルアミン、ピリジン等の適当な塩基存在下、トルエン等のベンゼン系溶媒、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒、N,N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系、またはこれらの混合溶媒中、テトラキス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(0)などの遷移金属触媒を用いて、零下20℃から150℃の範囲で0.5から120時間反応させることにより塩素、臭素、沃素をニトリル基に変換できる。

[製造方法－26]

### ハロゲン原子のトリフルオロメチル基への変換

一般式 (I) で示される化合物、一般式 (V I I I a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 d) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 e) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 3 a) で示される化合物、あるいは一般式 (V I I I a - 3 b) で示される化合物で示される化合物に塩素、臭素、沃素が置換している場合、金属触媒存在下トリフルオロメチル化試薬を反応させることにより塩素、臭素、沃素をニトリル基に変換できる。塩素、臭素、沃素が置換している一般式 (I) で示される化合物、一般式 (V I I I a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 1 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 a) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 b) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 c) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 d) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 2 e) で示される化合物、一般式 (V I I I a - 3 a) で示される化合物、あるいは一般式 (V I I I a - 3 b) で示される化合物とメチル 2, 2-ジフルオロ-2-(フルオロスルホニル) アセタートなどのトリフルオロメチル化試薬を沃化銅などの金属触媒存在下、トルエン等のベンゼン系溶媒、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミドなどのアミド系、またはこれらの混合溶媒中、0℃から150℃の範囲で0.5から120時間反応させることにより塩素、臭素、沃素をトリフルオロメチル基に変換できる。

### [製造方法-27]

#### ニトリル基のテトラゾール基への変換

一般式 (I) で示される化合物にニトリル基が置換している場合、ベンゼン、

トルエン等のベンゼン系溶媒中、トリメチルアルミニウムまたはジ $n$ -ブチルチンオキシドの存在下、一般式 (I) で示される化合物に、アジ化ナトリウムまたはトリメチルシリルアジドを、0℃から170℃で反応させることにより、テトラゾール基を持つ一般式 (I) で示される化合物を得ることができる。

#### [製造方法-28]

##### アミノ基のアルコキシカルボニルアミノ基への変換

一般式 (I) で示される化合物にアミノ基が存在する場合、ジクロロメタン、クロロホルム等のハロゲン化アルキル系溶媒、N, N-ジメチルホルムアミド等のアミド系溶媒、テトラヒドロフラン等のエーテル系溶媒中、零下78℃から100℃で、クロロ炭酸アルキル等の酸クロリドまたは $p$ -ニトロベンジル炭酸アルキル等の試薬を塩基存在下、反応させることにより、アルコキシカルボニルアミノ基を持つ、一般式 (I) で示される化合物を得ることができる。

塩基としては、炭酸ナトリウム、炭酸カリウム、またはピリジン、2, 6-ルチジン、4-ジメチルアミノピリジン、ジアザビスクロ [5. 4. 0] ウンデク-7-エン (DBU) などを挙げることができる。

#### [製造方法-29]

一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体において、 $Q^1$ 、 $Q^2$ 、 $Q^3$ 、 $Q^A$ 、 $T^1$  あるいはこれらに置換し得る置換基上に一級あるいは二級アミンのある場合、通常用いられる方法によりヒドロキシ化できる。

例えば、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体を、ベンゼン、トルエン、キシレン等のベンゼン系溶媒、テトラヒドロフラン、ジメトキシエタン等のエーテル系溶媒、あるいはジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化アルキル系溶媒中でメタクロ過安息香酸等の過酸化物を、零下60℃から80℃で、0.5時間から120時間、好ましくは零下20℃から40℃で反応させることで、窒素原子の水酸化されたスルホニル誘導体を得ることができる。

また、例えば、一般式 (I) で表されるスルホニル誘導体を、ベンゼン、トル

エン、キシレン等のベンゼン系溶媒、ジメトキシエタン等のエーテル系溶媒、あるいはジクロロメタン、クロロホルム、四塩化炭素等のハロゲン化アルキル系溶媒中で、過酸化ベンゾイル等の過酸化物を零下60℃から80℃で、0.5時間から120時間、好ましくは零下20℃から40℃で反応させることで、窒素原子のベンゾイルオキシ化されたスルホニル誘導体を得ることができ、窒素原子のベンゾイルオキシ化されたスルホニル誘導体は、[製造方法-19]で述べた方法により加水分解を行って、窒素原子の水酸化されたスルホニル誘導体を得ることができる。

本発明の一般式(I)で表されるスルホニル誘導体、その塩およびそれらの溶媒和物は、特異的かつ優れたFXa阻害作用を有し、血液凝固抑制剤、血栓・塞栓の予防および／または治療剤として有用である。

従って、本発明のスルホニル誘導体は何ら血小板には作用することなく、血栓並びに塞栓によって引き起こされる各種疾病、例えば脳梗塞、脳塞栓、心筋梗塞、肺梗塞、肺塞栓、バージャー病、深部静脈血栓症、汎発性血管内凝固症候群、人工弁置換後の血栓形成、血行再建後の再閉塞、体外循環時の血栓形成、採血時の血液凝固などを治療又は予防することができる。

本発明のスルホニル誘導体は、経口投与でも効果を発揮するため、経口、非経口のいずれでも投与することができる。投与にあたっては、スルホニル誘導体及び薬学的に許容される担体を含有する医薬組成物とすることができる。本発明のスルホニル誘導体の投与量は患者の症状、年齢、体重等により適宜増減してもよい。一般的には経口投与の場合は、成人1人当たり1～1000mg/日、好ましくは5～300mg/日を投与すればよい。投与剤型としては、特に限定されないが、例えば、錠剤、カプセル剤、散剤、顆粒剤、懸濁剤、シロップ剤およびドライシロップ剤等を挙げることができる。これらは通常の賦形剤、滑沢剤、結合剤等の添加物と共に、公知の製剤技術により製造できる。

また、非経口投与の場合、投与剤形としては、特に限定されず、例えば、軟膏

剤、硬膏剤、注射剤、坐剤等を挙げることができる。なお、注射剤として投与する場合には、成人1人当たり0.1～100mg/日、好ましくは0.5～30mg/日を皮下、静脈内注入、点滴静脈内注入すればよい。

#### 実施例

以下に、本発明のスルホニル誘導体を参考例、実施例および試験例を挙げて、さらに詳細に説明するが、本発明はこれらのみに限定されるものではない。

なお、本発明のスルホニル誘導体の原料化合物には、新規な化合物も含まれており、これらの化合物およびその製造方法を参考例として説明する。

なお、化合物の製造にあたり、シリカゲルカラムクロマトグラフィーは、担体としてメルクシリカゲル60、或いは山善中圧液体クロマトグラフィー用シリカゲルを用いた。

また、核磁気共鳴スペクトル（NMR）は、テトラメチルシランを内部標準として用いた。

## 参考例 1

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩およびトリフル  
オロ酢酸塩

*tert*-ブチル 1-ピペラジincarボキシレート (856 mg) をジクロロメタン (20 ml) に溶解し、トリエチルアミン (0.77 ml)、6-クロロ-2-ナフチルスルホニルクロライド (WO 96/10022) (1.20 g) を加え、室温で5時間攪拌させた。反応液を減圧下濃縮し、残さに酢酸エチルを加え、1規定塩酸で洗浄した。抽出した有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、溶媒を減圧下留去した。得られた残さを飽和塩酸エタノール (10 ml) に溶解し、減圧下濃縮し、残さを酢酸エチルで洗浄して、標題化合物の塩酸塩 (1.62 g, quant.) を無色固体として得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  3.1-3.4 (8H, m), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.86 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 8.22 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.26-8.32 (2H, m), 8.56 (1H, s), 8.63 (2H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  311 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ], 313 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ].

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_{15}\text{ClN}_2\text{O}_2\text{S} \cdot \text{HCl} \cdot 0.1\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 48.17; H, 4.68; Cl, 20.31; N, 8.03; S, 9.19.

分析値: C, 47.91; H, 4.68; Cl, 20.41; N, 7.80; S, 9.21.

また、飽和塩酸エタノールのかわりに、トリフルオロ酢酸で処理して、トリフルオロ酢酸塩を得た。

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_{15}\text{ClN}_2\text{O}_2\text{S} \cdot \text{CF}_3\text{CO}_2\text{H}$ として

計算値: C, 45.24; H, 3.80; Cl, 8.35; F, 13.42; N, 6.59; S, 7.55.

分析値: C, 44.84; H, 3.80; Cl, 8.27; F, 13.72; N, 6.29; S, 7.50.

## 参考例 2

4-(4-ピリジル)安息香酸 塩酸塩

室温下、4-ブロモピリジン 塩酸塩 (11.7 g) と4-カルボキシフェニルボロン酸

(10.0 g) をトルエン (250 ml) と水 (250 ml) に溶解させ、テトラキス (トリフェニルフォスフィン) パラジウム (0) (5.00 g) と無水炭酸ナトリウム (25.4 g) を順次加えて、120℃で19時間加熱還流した。室温まで冷却した後、酢酸エチルと水を加えて水層を分取した。さらに、有機層から水で2回抽出した。得られた水層を全て合わせた後、この溶液に濃塩酸を加えて酸性にして再び酢酸エチルで洗浄した。水層を100 mlまで溶媒留去すると無色固体が析出し、これを濾取して減圧下乾燥して標題化合物 (8.37 g, 59%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  8.11 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.14 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.35 (2H, d,  $J = 6.6$  Hz), 8.97 (2H, d,  $J = 6.6$  Hz).

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_9\text{NO}_2 \cdot \text{HCl} \cdot 0.3\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 59.79; H, 4.43; N, 5.81.

分析値: C, 59.87; H, 4.35; N, 5.53.

MS (FAB)  $m/z$  200 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

### 参考例 3

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[4-(4-ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン

4-(4-ピリジル)安息香酸 塩酸塩 (654 mg) および *tert*-ブチル 1-ピペラジンカルボキシレート (569 mg) を *N,N*-ジメチルホルムアミド (40 ml) に懸濁させ、1-ヒドロキシベンゾトリアゾール (374 mg)、*N*-メチルモルホリン (336  $\mu\text{l}$ ) を加えて氷冷し、1-(3-ジメチルアミノプロピル-3-エチルカルボジイミド 塩酸塩 (796 mg) を加えた。室温に7時間攪拌後、溶媒を留去し、残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (2% メタノール - ジクロロメタン) で精製した。さらに、ヘキサンで洗浄して標題化合物 (905 mg, 89%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.48 (9H, s), 3.40-3.91 (8H, m), 7.51 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 7.53 (2H, d,  $J = 8.1$  Hz), 7.69 (2H, d,  $J = 8.1$  Hz), 8.69 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz).

元素分析:  $\text{C}_{21}\text{H}_{25}\text{N}_3\text{O}_3$ として



計算値 : C, 68.64; H, 6.86; N, 11.44.

分析値 : C, 68.48; H, 6.84; N, 11.17.

#### 参考例 4

1-[4-(4-ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン ニトリフルオロ酢酸塩

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[4-(4-ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン (944 mg) をジクロロメタン (30 ml) に溶解させ、氷冷下トリフルオロ酢酸 (30 ml) を加え、室温にて1時間攪拌した。溶媒を留去し、テトラヒドロフランを加えて固化させ、無色アモルファス状固体として標題化合物 (1.28 g, 100%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO-*d*<sub>6</sub>)  $\delta$  3.1-3.3 (4H, br s), 3.5-4.0 (4H, m), 7.65 (2H, d, *J* = 7.8 Hz),

7.95-8.05 (4H, m), 8.79 (2H, d, *J* = 5.4 Hz), 8.95-9.10 (1H, br s).

#### 参考例 5

4-*tert*-ブトキシカルボニル-2-エトキシカルボニル-1-[4-(4-ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン

1,2-ジブロモプロピオン酸 (58.0 g) をトルエン (150 ml) に溶解し、氷冷下、*N,N'*-ジベンジルエチレンジアミン (53.5 g) およびトリエチルアミン (53 ml) のトルエン溶液 (トルエン 50 ml) を滴下した。この反応液にトルエン (100 ml) を追加し、室温で14時間攪拌し、再びトルエン (100 ml) を加え60-80 °Cで4時間攪拌した。不溶物を濾去し、濾液を水洗し、無水炭酸カリウムで乾燥した。溶媒を減圧下留去して得られた残さを酢酸 (200 ml) に溶解し、10% パラジウム炭素 (約50% 水分含有、40 g) を加え、4気圧下接触還元を室温にて4時間行った。触媒を濾去し、ろ液を減圧留去して得られた残渣にジクロロメタンおよび飽和炭酸カリウム水溶液を加えて有機層を分取し、無水炭酸カリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去して得られた残さをジクロロメタン (350 ml) に溶解し、氷冷下、2-

(*tert*-ブトキシカルボニルオキシイミノ)-2-フェニルアセトニトリル (46.5 g) を加え、徐々に室温まで昇温し14時間攪拌した。溶媒を減圧留去し、残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ 2% メタノール - ジクロロメタン) で精製し、1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-エトキシカルボニルピペラジン (5.82 g, 10%) を得た。

これと4-(4-ピリジル)安息香酸 塩酸塩を原料として、参考例3と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.2-1.4 (3H, m), 1.46 (9H, s), 2.7-5.4 (7H, m), 7.51 (2H, d,  $J = 5.2$  Hz), 7.59 (2H, d,  $J = 7.6$  Hz), 7.69 (2H, d,  $J = 7.6$  Hz), 8.69 (2H, d,  $J = 5.2$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  440 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例6

##### 6-(4-ピリジル)ニコチン酸 塩酸塩

6-クロロニコチン酸 (535 mg) および ジエチル(4-ピリジル)ボラン (Chem. Pharm. Bull., 33, 4755, 1985) (500 mg) をテトラヒドロフラン (20 ml) に溶かし、アルゴン雰囲気下、テトラブチルアンモニウム ブロマイド (546 mg)、水酸化カリウム (570 mg)、テトラキス(トリフェニルフォスフィン)パラジウム (0) (392 mg)、水 (0.5 ml) を加えて6時間加熱還流した。反応液に希塩酸を加えて酸性にし、水および 酢酸エチルを注いで抽出し、水層を減圧下留去した。残渣を合成吸着剤クロマトグラフィー (ダイヤイオン® HP-20, 水 ~ 50% アセトニトリル - 水) にて精製し、得られた画分に希塩酸を加えて酸性にして溶媒留去し、テトラヒドロフランを加えて析出物を濾取し、標題化合物 (269 mg, 32%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  8.45-8.55 (2H, m), 8.65 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 9.03 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 9.27 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  201 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$

## 参考例 7

## 4-(3-ピリジル)安息香酸メチル

4-ブロモ安息香酸メチル (5.04 g) およびジエチル-3-ピリジルボラン (Chem. Pharm. Bull., 33, 4755, 1985) (2.30 g) を テトラヒドロフラン (100 ml) に溶かし、アルゴン雰囲気下、テトラブチルアンモニウム ブロマイド (2.51 g)、水酸化カリウム (2.63 g)、テトラキス(トリフェニルフォスフィン) パラジウム(0) (1.8 g)、水 (1 ml) を加えて2時間加熱還流した。反応液を氷冷したのち、塩化アンモニウム水溶液と酢酸エチルを加えて、有機層を分取し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 1 : 1) で精製した。溶媒を留去し、残さにメタノールおよびエタノール性1規定塩酸を加えて再び溶媒を留去し、テトラヒドロフランを加えて、析出してきた固体を濾取、乾燥して無色固体として標題化合物 (1.76 g, 45%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  3.91 (3H, s), 8.0-8.1 (3H, m), 8.1-8.15 (2H, m), 8.75-8.85 (1H, m), 8.85-8.95 (1H, m), 9.25-9.3 (1H, m).

## 参考例 8

## 4-(3-ピリジル)安息香酸 塩酸塩

室温下、4-(3-ピリジル)安息香酸メチル (1.76 g) を1規定塩酸 (50 ml) とジオキサン (50 ml) の混合溶媒に溶解させ、4時間加熱還流後、溶媒を減圧留去した。残さにテトラヒドロフランを加えて洗浄し、無色固体として標題化合物 (1.55 g, 93%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  7.95-8.0 (3H, m), 8.10 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.65-8.75 (1H, m), 8.8-8.9 (1H, m), 9.22 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

## 参考例 9

## 4-(2-アミノピリジン-5-イル)安息香酸メチル

参考例 2 と同様の反応により 5-ブロモ-2-アミノピリジン、4-カルボキシフェニル硼酸を原料として、4-(2-アミノピリジン-5-イル)安息香酸を得た。

得られた 4-(2-アミノピリジン-5-イル)安息香酸 (684 mg) を室温下メタノール (50 ml) に溶解させ、濃硫酸 (1 ml) を加えて 2 時間加熱還流後、炭酸水素ナトリウム水溶液で弱アルカリ性にした。水と酢酸エチルを加えて有機層を分取し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後溶媒を留去した。残さにヘキサンを加えて結晶化させ、標題化合物 (243 mg, 23%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.94 (3H, s), 4.57 (2H, br s), 6.60 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.58 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.72 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.4$  Hz), 8.09 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.38 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  229 ( $M + H$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{13}\text{H}_{12}\text{N}_2\text{O}_2$  として

計算値: C, 68.41; H, 5.30; N, 12.27.

分析値: C, 68.78; H, 5.45; N, 12.09.

## 参考例 10

4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)ピリジン-5-イル]安息香酸メチル

室温下、4-(2-アミノピリジン-5-イル)安息香酸メチル (200 mg) を *tert*-ブタノール (20 ml) に懸濁させ、ジ-*tert*-ブチル ジカーボネイト (286 mg) を加えて 24 時間攪拌した。溶媒を留去した後、残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (1% メタノール - ジクロロメタン) により精製し、無色固体として標題化合物 (155 mg, 54%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.55 (9H, s), 3.95 (3H, s), 7.63 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.92 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.4$  Hz), 8.07 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.09 (1H, br s), 8.12

(2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.55 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  329 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析:  $C_{18}H_{20}N_2O_4$ として

計算値: C, 65.84; H, 6.14; N, 8.53.

分析値: C, 65.67; H, 6.02; N, 8.40.

#### 参考例 1 1

##### 4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)ピリジン-5-イル]安息香酸

室温下、4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)ピリジン-5-イル]安息香酸メチル (250 mg) をテトラヒドロフラン (10 ml) とメタノール (10 ml) の混合溶媒に懸濁させ、1規定水酸化ナトリウム水溶液 (8 ml) を加えて5時間攪拌した。クエン酸水溶液を加え反応液を弱酸性にして、飽和食塩水と $n$ -ブタノールを加え、有機層を分取して無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を留去し粗精製物として、標題化合物 (120 mg, 49%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  1.49 (9H, s), 7.83 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.91 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.02 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.13 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.4$  Hz), 8.65 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz), 9.95 (1H, s), 12.99 (1H, br s).

#### 参考例 1 2

##### 1-[4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)ピリジン-5-イル]ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニル)アミノ]ピリジン-5-イル]安息香酸 (74 mg) および1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン トリフルオロ酢酸塩 (110 mg) をジクロロメタン (20 ml) と $N,N$ -ジメチルホルムアミド (1 ml) の混合溶媒に懸濁させ、1-ヒドロキシベンゾトリアゾール (35 mg)、 $N$ -メチルモルホリン (34  $\mu$ l) を加えて、氷冷下、1-(3-ジメチルアミノプロピル)-3-エチル

カルボジイミド 塩酸塩 (68 mg) を加えた。室温にて6時間攪拌後、溶媒を留去し、残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (1% メタノール - ジクロロメタン) にて精製した。溶媒を留去して標題化合物 (128 mg, 90%) 得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.54 (9H, s), 3.00-3.30 (4H, m), 3.50-4.10 (4H, m), 7.39 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.54 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.60 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.71 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.84 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.4$  Hz), 7.88 (1H, br s), 7.9-8.0 (3H, m), 8.03 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.31 (1H, s), 8.46 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz).

#### 参考例 1 3

##### 4-(4-アミノフェニル)安息香酸 塩酸塩

参考例 2 と同様の反応により、原料として 4-ブロモアニリン、4-カルボキシフェニルボロン酸を用いて、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  7.31 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 7.75-7.85 (4H, m), 8.09 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  228 ( $\text{M} + \text{H}$ )<sup>+</sup>.

元素分析:  $\text{C}_{13}\text{H}_{11}\text{NO}_2 \cdot \text{HCl}$ として

計算値: C, 62.53; H, 4.84; N, 5.61; Cl, 14.20.

分析値: C, 62.33; H, 4.83; N, 5.50; Cl, 14.14.

#### 参考例 1 4

##### 4-[4-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)フェニル]安息香酸メチル

参考例 9 と参考例 10 と同様の反応により、4-(4-アミノフェニル)安息香酸 塩酸塩を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.54 (9H, s), 3.94 (3H, s), 6.56 (1H, br s), 7.46 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.57 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.63 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.08 (2H,

d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  328 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析:  $C_{19}H_{21}NO_4$ として

計算値: C, 69.71; H, 6.47; N, 4.28.

分析値: C, 69.49; H, 6.44; N, 4.42.

#### 参考例 15

##### 4-[4-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)フェニル]安息香酸

参考例 11 と同様の反応により、4-[4-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)フェニル]安息香酸メチル (501 mg) を原料として、標題化合物 (426 mg, 89%) を得た。

$^1H$  NMR ( $CDCl_3$ )  $\delta$  1.54 (9H, s), 6.57 (1H, br s), 7.47 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.66 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.13 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  314 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析:  $C_{18}H_{19}NO_4$ として

計算値: C, 68.99; H, 6.11; N, 4.47.

分析値: C, 68.91; H, 6.27; N, 4.24.

#### 参考例 16

##### 1-[4-[4-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)フェニル]ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 12 と同様の反応により、4-[4-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)フェニル]安息香酸 (150 mg) および 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン トリフルオロ酢酸塩 (203 mg) を原料として、標題化合物 (303 mg, 100%) を得た。

$^1H$  NMR ( $CDCl_3$ )  $\delta$  1.53 (9H, s), 2.90-3.30 (4H, m), 3.50-4.10 (4H, m), 6.56

(1H, s), 7.35 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.44 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.49 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.54 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.76 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.90–7.95 (3H, m), 8.30 (1H, br s).

#### 参考例 17

##### 4-アセチル安息香酸メチル

室温で 4-アセチル安息香酸メチル (3.28 g) を テトラヒドロフラン (100 ml) とメタノール (7 ml) の混合溶媒に溶解させ、氷冷下、トリメチルシリルジアゾメタン (2.0 M ヘキサン溶液, 12 ml) をゆっくり滴下した。室温まで昇温し 30 分間攪拌した後、溶媒を留去した。残さに炭酸水素ナトリウム水溶液及びエーテルを加えて有機層を分取し、無水硫酸マグネシウムで乾燥した。溶媒を留去後、ヘキサンで結晶化させ標題化合物 (2.90 g, 82%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.65 (3H, s), 3.96 (3H, s), 8.01 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.13 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  178  $M^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_{10}\text{O}_3$  として

計算値: C, 67.41; H, 5.66.

分析値: C, 67.28; H, 5.53.

#### 参考例 18

##### 4-ブロモアセチル安息香酸メチル

15 °C で 4-アセチル安息香酸メチル (2.23 g) を臭化水素酸酢酸溶液 (30%, 10 ml) に溶解させた。この反応液に、15 °C を保つように臭素をゆっくり滴下した。10 分間攪拌した後、反応液を 4 °C まで冷却し メタノール (50 ml) と水 (50 ml) の混合溶媒を加えて結晶化させ、ヘキサンで洗浄した。濾取して無色固体として標題化合物 (2.29 g, 71%) を得た。



$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.96 (3H, s), 4.47 (2H, s), 8.05 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.16 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  257  $[(M + H)^+, ^{79}\text{Br}]$ , 259  $[(M + H)^+, ^{81}\text{Br}]$ .

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_9\text{BrO}_3$ として

計算値: C, 46.72; H, 3.53.

分析値: C, 46.36; H, 3.63.

#### 参考例 19

##### 4-(2-アミノチアゾール-4-イル)安息香酸メチル

室温で 4-ブロモアセチル安息香酸メチル (1.00 g) とチオ尿素 (296 mg) をイソプロパノール (100 ml) に溶解させ、15分間加熱還流した。同温攪拌下、この反応液に無水炭酸ナトリウム (206 mg) を加えて20分間加熱還流した。反応終了後、氷冷下、水 (50 ml) を加えて析出してきた固体を濾取した。これを水とジクロロメタンに溶解して有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を留去し、析出してきた淡黄色固体をエーテル洗浄して標題化合物 (634 mg, 70%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.93 (3H, s), 4.96 (2H, br s), 6.88 (1H, s), 7.85 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.05 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  235  $(M + H)^+$ .

#### 参考例 20

##### 4-(2-アミノチアゾール-4-イル)安息香酸

室温下、4-(2-アミノチアゾール-4-イル)安息香酸メチル (300 mg) をテトラヒドロフラン (5 ml) とメタノール (5 ml) の混合溶媒に懸濁させた。この反応液に1規定水酸化ナトリウム水溶液 (10 ml) を加えて1時間攪拌した。さらに *N,N*-ジメチルホルムアミド (5 ml) を加えて6時間加熱還流した。反応終了後溶媒を

留去し、水および1規定塩酸を順次加え析出してきた淡黄色固体を濾取、淡黄色固体として標題化合物 (229 mg, 69%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  7.30 (1H, br s), 7.87 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.95–8.00 (2H, m).

MS (FAB)  $m/z$  221 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_8\text{N}_2\text{O}_2\text{S} \cdot 0.75\text{HCl} \cdot 0.6\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 46.48; H, 3.88; N, 10.84; Cl, 10.29; S, 12.41.

分析値: C, 46.36; H, 4.12; N, 10.64; Cl, 10.05; S, 12.33.

#### 参考例 2 1

##### 4-(イミダゾール-4-イル)安息香酸メチル

室温で 4-ブromoアセチル安息香酸メチル (2 g) をホルムアミド (100 ml) に溶解させ、180 °Cで90分間攪拌した。反応終了後、反応液を氷冷し、水と1規定塩酸に溶解して、合成吸着剤クロマトグラフィー (ダイヤイオン® HP-20, 水 ~ 50% アセトニトリル - 水) にて精製した。さらに、得られた粗生成物をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (5% メタノール-ジクロロメタン) で精製し、淡黄色固体として標題化合物 (844 mg, 54%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.93 (3H, s), 7.46 (1H, s), 7.75 (1H, s), 7.86 (2H, m), 8.07 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  203 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例 2 2

##### 4-[1-トリフェニルメチルイミダゾール-4(5)-イル]安息香酸メチル

4-(イミダゾール-4-イル)安息香酸メチル (828 mg) をジクロロメタン (50 ml) に溶解させ、氷冷下 ジイソプロピルエチルアミン (856  $\mu\text{l}$ ) および塩化トリフェニルメチル (1.37 g) を加え、室温にて16時間攪拌した。溶媒を留去し、残さ

をシリカゲルカラムクロマトグラフィー（ジクロロメタン）で精製し、無色ガラス状固体として標題化合物（1.08 g, 59%）を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.90 (3H, s), 7.15-7.22 (6H, m), 7.23 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 7.30-7.40 (15H, m), 7.52 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 7.79 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.01 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  445 ( $M + H$ ) $^+$ .

### 参考例 2 3

#### 4-[1-トリフェニルメチルイミダゾール-4(5)-イル]安息香酸

室温で、4-[1-トリフェニルメチルイミダゾール-4(5)-イル]安息香酸メチル（1.04 g）をテトラヒドロフラン（10 ml）とメタノール（10 ml）の混合溶媒に溶解させ、3規定水酸化ナトリウム水溶液（6 ml）を加えて5時間攪拌した。テトラヒドロフランとメタノールを減圧下溶媒留去し、クエン酸水溶液を加え反応液を弱酸性にし、水とジクロロメタンを加えて有機層を分取した。飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を留去し無色ガラス状固体として粗精製物の標題化合物（1.13 g, quant.）を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.15-7.22 (6H, m), 7.23 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 7.30-7.40 (9H, m), 7.69 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 7.81 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.10 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

### 参考例 2 4

#### 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-4-[4-[1-トリフェニルメチルイミダゾール-4(5)-イル]ベンゾイル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-[1-トリフェニルメチルイミダゾール-4(5)-イル]安息香酸（371 mg）および 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩（300 mg）を原料として、無色ガラス状固体として標題化合物

(560 mg, 90%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.90–3.30 (4H, m), 3.50–4.10 (4H, m), 7.15–7.20 (6H, m), 7.28 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.30–7.40 (9H, m), 7.49 (1H, d,  $J = 1.0$  Hz), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.71 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.90–7.95 (3H, m), 8.29 (1H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  723 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例 2 5

##### 4-[2-アミノイミダゾール-4-イル]安息香酸 塩酸塩

室温で 4-ブロモアセチル安息香酸メチル (1.37 g) および アセチルゲアニジン (1.62 g) をアセトニトリルに懸濁させ、16時間加熱還流した。溶媒を減圧留去して水を加えて析出してきた不溶物を濾取し、エタノールで洗浄して、4-[2-アミノイミダゾール-4-イル]安息香酸メチルを得た。これをジオキサン (10 ml) と 1規定塩酸 (10 ml) の混合溶媒に溶解させ、8時間加熱還流した。溶媒を留去して残さにテトラヒドロフランを加えて固化させ、濾取して標題化合物 (500 mg, 39%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  7.55–7.65 (3H, m), 7.80 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.98 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 12.20–13.30 (3H, m).

MS (FAB)  $m/z$  204 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_9\text{N}_3\text{O}_2 \cdot \text{HCl} \cdot 0.5\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 48.30; H, 4.46; N, 16.90; Cl, 14.26.

分析値: C, 48.03; H, 4.10; N, 16.49; Cl, 14.12.

#### 参考例 2 6

1-[4-ブロモ-2-(*tert*-ブトキシカルボニル)ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

4-ブロモフタル酸無水物 (1.96 g) と 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩 (3.00 g) を氷冷下ジクロロメタン (200 ml) に懸濁させ、ジイソプロピルエチルアミン (3.76 ml) を加えて20分間攪拌した。希塩酸とジクロロメタンを加えて有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を200 mlになるまで濃縮後、氷冷下 *N,N*-ジイソプロピル-*O*-*tert*-ブチルイソ尿素 (2.6 g) を加えて、室温で3日間攪拌した。希塩酸とジクロロメタンを加えて有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 3 : 1 ~ 1 : 1) により精製して無色固体の標題化合物 (1.78 g, 35%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.30 (9H, s), 2.90-3.40 (6H, m), 3.80-4.00 (2H, m), 7.01 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.0$  Hz), 7.61 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.0$  Hz), 7.76 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.85-7.95 (3H, m), 8.00 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 8.29 (1H, br s).

#### 参考例 27

1-[2-*tert*-ブトキシカルボニル-4-(ピリジン-4-イル) ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩

参考例7と同様の反応により 1-[4-ブロモ-2-(*tert*-ブトキシカルボニル) ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジンおよびジエチル(4-ピリジル) ボラン (Chem. Pharm. Bull., 33, 4755, 1985) を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.37 (9H, s), 2.80-3.50 (6H, m), 3.80-4.00 (2H, m), 7.40 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.60 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.77 (1H, dd,  $J = 8.3, 1.5$  Hz), 7.87 (1H, dd,  $J = 7.8, 2.0$  Hz), 7.90-7.95 (3H, m), 8.10 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 8.25 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 8.31 (1H, br s), 8.90 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  592 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析:  $C_{31}H_{30}ClN_3O_5S \cdot HCl \cdot 0.2H_2O \cdot THF$ として

計算値: C, 59.69; H, 5.64; N, 5.97; Cl, 10.07; S, 4.55.

分析値: C, 59.55; H, 5.45; N, 5.87; Cl, 9.97; S, 4.68.

#### 参考例 28

##### 5-(4-ピリジル)チオフエン-2-カルボン酸 塩酸塩

参考例6と同様の反応により、5-ブロモチオフエン-2-カルボン酸、ジエチル(4-ピリジル)ボラン (Chem. Pharm. Bull., 33, 4755, 1985) を原料として、標題化合物を得た。

$^1H$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  7.87 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 8.17 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 8.29 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 8.88 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  206 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析:  $C_{10}H_7NO_2S \cdot HCl \cdot 0.8H_2O$ として

計算値: C, 46.90; H, 3.78; N, 5.47; Cl, 13.84; S, 12.52.

分析値: C, 46.77; H, 3.76; N, 5.27; Cl, 13.83; S, 12.56.

#### 参考例 29

##### 5-(4-ピリジル)フラン-2-カルボン酸 塩酸塩

参考例6と同様の反応により、5-ブロモフラン-2-カルボン酸およびジエチル(4-ピリジル)ボラン (Chem. Pharm. Bull., 33, 4755, 1985) を原料として、標題化合物を得た。

$^1H$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  7.49 (1H, d,  $J = 3.4$  Hz), 7.80-7.90 (1H, m), 8.20-8.30 (2H, m), 8.85-8.95 (2H, m).

#### 参考例 30

## 4-(2-ピリジル)安息香酸 塩酸塩

2-(*p*-トリル)ピリジン (17.2 g) を水 (200 ml) に加え、過マンガン酸カリウム (21.0 g) を加え、18時間加熱還流した。沈殿物を濾去後、濾液にジクロロメタンを加えて水層を分取し、2規定塩酸で酸性にした。酸性の水溶液を濃縮し、析出物を濾取し、水、酢酸エチルで洗浄して、白色固体の標題化合物 (7.07 g, 35%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  7.60 (1H, t,  $J = 5.9$  Hz), 8.08 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 8.17 (2H, m), 8.21 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 8.78 (1H, d,  $J = 4.9$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  199  $M^+$ .

## 参考例 3 1

1-[(*E*)-4-クロロスチリルスルホニル]ピペラジン 塩酸塩

参考例 1 と同様の反応により、*tert*-ブチル 1-ピペラジincarボキシレート、(*E*)-4-クロロスチリルスルホニルクロライド (WO 96/10022) を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  3.20 (4H, br s), 3.33-3.38 (4H, m), 7.47 (2H, s), 7.53 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.82 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{15}\text{ClN}_2\text{O}_2\text{S} \cdot \text{HCl}$  として

計算値: C, 44.59; H, 4.99; Cl, 21.94; N, 8.67; S, 9.92.

分析値: C, 44.42; H, 4.78; Cl, 21.83; N, 8.68; S, 9.87.

## 参考例 3 2

## 4-(2,4-ジアミノ-6-ピリミジル)安息香酸 塩酸塩

6-クロロ-2,4-ジアミノピリミジン (434 mg) をトルエン (9 ml) に溶解し、4-カルボキシフェニルボロン酸 (667 mg)、エタノール (2.5 ml)、炭酸ナトリウム (635 mg)、水 (3.0 ml)、ビス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(II)ジ

クロライド (65 mg) を加え、アルゴンガス雰囲気下 2 4 時間加熱還流した。酢酸エチルと水を加えて水層を分取し、2 規定塩酸を加え、酸性にして不溶物を濾取し、水、テトラヒドロフランで洗浄、乾燥させて標題化合物 (371 mg, 54%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  6.43 (1H, s), 7.30–7.80 (2H, br), 7.96 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 8.12 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 8.27 (2H, br s), 12.77 (1H, br), 13.33 (1H, br).

MS (EI)  $m/z$  230  $\text{M}^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{11}\text{H}_{10}\text{N}_4\text{O}_2\text{S} \cdot 0.95\text{HCl} \cdot 1.9\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 44.17; H, 4.97; Cl, 11.26; N, 18.73.

分析値: C, 44.33; H, 4.97; Cl, 11.32; N, 18.65.

### 参考例 3 3

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[4-(2-ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン

参考例 3 と同様の反応により、参考例 3 0 で得られた 4-(2-ピリジル)安息香酸塩酸塩、*tert*-ブチル 1-ピペラジincarボキシレート为原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 3.43 (4H, br), 3.51 (2H, br), 3.76 (2H, br), 7.28 (1H, d,  $J = 5.9$  Hz), 7.52 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.76 (1H, m), 7.79 (1H, m), 8.05 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 8.71 (1H, d,  $J = 4.9$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  368 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{21}\text{H}_{25}\text{N}_3\text{O}_3 \cdot 0.1\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 68.31; H, 6.88; N, 11.38.

分析値: C, 68.26; H, 6.86; N, 11.42.

### 参考例 3 4



2-[4-[[4-(*tert*-ブトキシカルボニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン *N*-オキシド

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[4-(2-ピリジル) ベンゾイル] ピペラジン (517 mg) のジクロロメタン溶液 (ジクロロメタン 8 ml) を -10 °C でメタクロロ過安息香酸 (789 mg) を加え、24時間攪拌した。ジクロロメタンで希釈し、少量のチオ硫酸ナトリウム水溶液および飽和食塩水を加えて有機層を分取し、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、飽和食塩水で洗浄した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン : メタノール = 20 : 1) で精製し、標題化合物 (415 mg, 77%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ 1.48 (9H, s), 3.47 (6H, br), 3.76 (2H, br), 7.29 (1H, m), 7.34 (1H, t, *J* = 7.8 Hz), 7.44 (1H, dd, *J* = 7.8, 2.0 Hz), 7.52 (2H, d, *J* = 7.8 Hz), 7.90 (2H, d, *J* = 7.8 Hz), 8.35 (1H, d, *J* = 5.9 Hz).

MS (FAB) *m/z* 384 (M + H)<sup>+</sup>.

### 参考例 3 5

2-[4-[(1-ピペラジニル) カルボニル] フェニル] ピリジン *N*-オキシド 塩酸塩

2-[4-[[4-(*tert*-ブトキシカルボニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル] ピリジン *N*-オキシドをジクロロメタン (2.5 ml) に溶解し、飽和塩酸エタノール溶液 (2.5 ml) を加え、室温で1時間攪拌した。溶媒を減圧留去後、水を加えて水溶液とした。この水溶液にアセトン溶液が白濁するまで加え、析出物を濾取し、アセトンで洗浄して標題化合物 (274 mg, 81%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO-*d*<sub>6</sub>) δ 3.17 (4H, br s), 3.50-3.95 (4H, br), 7.43 (1H, d, *J* = 3.9 Hz), 7.44 (1H, d, *J* = 3.9 Hz), 7.57 (2H, d, *J* = 8.8 Hz), 7.66 (1H, t, *J* = 3.9 Hz), 7.92 (2H, d, *J* = 8.8 Hz), 8.36 (1H, t, *J* = 3.9 Hz), 9.21 (2H, br).

MS (FAB)  $m/z$  284 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

### 参考例 3 6

1-(*tert*-ブトキシカルボニル)-4-[4-(3-ピリジル) ベンゾイル] ピペラジン

参考例 3 と同様の反応により、参考例 8 で得られた 4-(3-ピリジル) 安息香酸 塩酸塩、*tert*-ブチル 1-ピペラジンカルボキシレート为原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.47 (9H, s), 3.35-3.85 (8H, br), 7.38 (1H, dd,  $J = 7.8, 4.9$  Hz), 7.52 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.63 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.88 (1H, m), 8.62 (1H, dd,  $J = 1.5, 4.9$  Hz), 8.84 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

### 参考例 3 7

3-[4-[4-(*tert*-ブトキシカルボニル) ピペラジン-1-イル] カルボニル] フェニル  
ピリジン *N*-オキシド

参考例 3 4 と同様の反応により、1-(*tert*-ブトキシカルボニル)-4-[4-(3-ピリジル) ベンゾイル] ピペラジンを原料として、無色固体の標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.48 (9H, s), 3.35-4.83 (8H, br), 7.38 (1H, m), 7.47 (1H, m), 7.49-7.65 (4H, m), 8.23 (1H, dd,  $J = 6.4, 1.5$  Hz), 8.47 (1H, t,  $J = 1.5$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  384 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析: C<sub>21</sub>H<sub>25</sub>N<sub>3</sub>O<sub>4</sub> · 0.25H<sub>2</sub>Oとして

計算値: C, 65.02; H, 6.63; N, 10.83.

分析値: C, 65.30; H, 6.65; N, 10.43.

### 参考例 3 8

2-ヒドロキシ-4-(4-ピリジル) 安息香酸

4-アミノ-2-ヒドロキシ安息香酸 (5.04 g) を水 (22.5 ml) および47% 臭化水素酸水溶液 (22.5 ml) に溶解した。反応液を5℃以下に保ちながら、亜硝酸ナトリウム (2.26 g) の水溶液 (水 15.0 ml) を滴下し、氷冷中で30分間攪拌した。この反応液を、臭化第一銅 (5.63 g) を47% 臭化水素酸水溶液 (15 ml) に溶解した溶液中に、氷冷下徐々に加え、室温で150分間攪拌した。反応液に酢酸エチルを加えて抽出し、有機層を水で洗浄して無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ 10% メタノール - ジクロロメタン) にて精製し、4-ブロモ-2-ヒドロキシ安息香酸の粗精製物 (5.51 g) を得た。

この粗精製物 (298 mg) を用いて、参考例6と同様の反応により標題化合物 (70 mg, 21%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  7.30-7.40 (2H, m), 7.78 (2H, d,  $J = 4.4$  Hz), 7.92 (1H, d,  $J = 6.3$  Hz), 8.69 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  216 ( $M + H$ ) $^+$ .

### 参考例 39

#### 4-ブロモ-3-ヒドロキシ安息香酸

3-ヒドロキシ安息香酸 (5.00 g) を酢酸 (24.5 ml) に懸濁させ、氷冷下臭素 (1.9 ml) の酢酸溶液 (酢酸 5 ml) を滴下し、室温で33時間攪拌した。反応液を氷冷し、析出晶をろ取し、酢酸で洗浄して 標題化合物 (1.68 g, 21%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  7.28 (1H, dd,  $J = 7.8, 2.0$  Hz), 7.51 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 7.59 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 10.54 (1H, br s), 12.84 (1H, br).

### 参考例 40

#### 4-ブロモ-3-メトキシ安息香酸メチル

参考例17と同様の反応により、4-ブロモ-3-ヒドロキシ安息香酸を原料とし

て、標題化合物を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.92 (3H, s), 3.96 (3H, s), 7.51 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.0$  Hz), 7.55 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 7.61 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

#### 参考例 4 1

##### 3-メトキシ-4-(4-ピリジル)安息香酸

4-ブロモ-3-メトキシ安息香酸メチル、ジエチル(4-ピリジル)ボラン (Chem. Pharm. Bull., 33, 4755, 1985) を用いて参考例 7 と同様の反応を行った。得られた粗生成物を用いて参考例 8 と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.93 (3H, s), 7.65-7.75 (3H, m), 8.20 (2H, d,  $J = 5.4$  Hz), 8.94 (2H, d,  $J = 6.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  230 ( $M + H$ ) $^+$ .

#### 参考例 4 2

##### 4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]-2-エトキシカルボニルピペラジン

氷冷下、1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-エトキシカルボニルピペラジン (517 mg)、6-クロロ-2-ナフチルスルホニルクロライド (WO 96/10022) (588 mg) をジクロロメタン (18 ml) に溶解し、ジイソプロピルエチルアミン (0.59 ml) を加え、室温で63時間攪拌した。溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 3 : 1) にて精製し、標題化合物 (688 mg, 71%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.05 (3H, t,  $J = 7.1$  Hz), 1.38 (9H, s), 2.80-4.70 (9H, m), 7.55 (1H, dd,  $J = 8.6, 2.2$  Hz), 7.77 (1H, dd,  $J = 8.6, 1.7$  Hz), 7.85-7.90 (3H, m), 8.33 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  483 [ $(M + H)^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 485 [ $(M + H)^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

## 参考例 4 3

4-*tert*-ブトキシカルボニル-2-エトキシカルボニル-1-[4-(3-ピリジル)ベンゾイル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-(3-ピリジル)安息香酸、1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-エトキシカルボニルピペラジンを原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.20-1.40 (3H, m), 1.46 (9H, s), 2.70-4.80 (8H, m), 5.35 (1H, br), 7.35-7.70 (5H, m), 7.85-7.95 (1H, m), 8.64 (2H, dd,  $J = 4.6, 1.7$  Hz), 8.86 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  440 ( $M + H$ ) $^+$ .

## 参考例 4 4

*N*-*tert*-ブトキシカルボニルトラネキサム酸メチル

氷冷下メタノール (20 ml) に塩化チオニル (1 ml) を滴下したのちトラネキサム酸 (2.04 g) を加え、3時間加熱還流した。反応液を減圧留去して得られた残さをエーテル中にて粉碎して濾取し、無色結晶 (2.31 g) を得た。

得られた結晶 (2.10 g) をジクロロメタン (40 ml) に溶解し、*N*-メチルモルホリン (1.2 ml) を加えた。氷冷下ジ-*tert*-ブチルジカーボネイト (2.51 g) のジクロロメタン溶液 (ジクロロメタン 3 ml) を加えて、室温にて18時間攪拌した。反応液をジクロロメタンで希釈した後に水洗し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 10 : 1 ~ 3 : 1) で精製した。さらにヘキサンと酢酸エチルの混合溶媒から再結晶して、無色結晶 (2.09 g, 65%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.90-1.10 (2H, m), 1.40-1.60 (12H, m), 1.80-1.90 (2H, m), 2.00-2.10 (2H, m), 2.24 (1H, m), 2.98 (2H, m), 3.66 (3H, s), 4.58 (1H, br).

元素分析 :  $\text{C}_{14}\text{H}_{25}\text{NO}_4$  として

計算値 : C, 61.97; H, 9.29; N, 5.16.

分析値 : C, 62.15; H, 9.42; N, 5.12.

#### 参考例 4 5

*trans*-4-(*N*-*tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルメタノール

*N*-*tert*-ブトキシカルボニルトラネキサム酸メチル (1.00 g) をテトラヒドロフラン (10 ml) とメタノール (2 ml) の混合溶液に溶解し、氷冷下水素化ホウ素ナトリウム (0.44 g) を加えて室温にて24時間攪拌した。反応液を、水を加えた後に減圧濃縮し、酢酸エチルと希塩酸を加えて有機層を分取した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (1回目; ジクロロメタン ~ ジクロロメタン : メタノール = 20 : 1, 2回目; ヘキサン : 酢酸エチル = 3 : 1) で繰り返し精製して、無色結晶 (0.74 g, 82%) を得た。なお一部をヘキサンと酢酸エチルの混合溶媒から再結晶して、無色結晶を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.90-1.10 (4H, m), 1.30-1.60 (12H, m), 1.80-2.00 (4H, m), 2.98 (2H, m), 3.45 (2H, d,  $J = 6.4$  Hz), 4.59 (1H, br).

元素分析 :  $\text{C}_{13}\text{H}_{25}\text{NO}_3$ として

計算値 : C, 64.17; H, 10.35; N, 5.76.

分析値 : C, 64.31; H, 10.03; N, 5.74.

#### 参考例 4 6

*trans*-4-(*N*-*tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキサンカルボキサルデヒド

*trans*-4-(*N*-*tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルメタノール (0.20 g) をジクロロメタン (5 ml) に溶解し、ピリジニウムクロクロメイト (0.23 g) を加えて室温にて3時間攪拌後、反応液をシリカゲルカラムクロマ

トグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 3 : 1) で精製して、標題化合物 (0.15 g, 76%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.00 (2H, m), 1.27 (2H, m), 1.40-1.60 (1H, m), 1.44 (9H, s), 1.88 (2H, m), 2.02 (2H, m), 2.18 (1H, m), 3.00 (2H, t,  $J = 6.4$  Hz), 4.61 (1H, br), 9.62 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  242 ( $M + H$ ) $^+$ .

#### 参考例 4 7

1-[*trans*-4-(*N*-*tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルメチル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

*trans*-4-(*N*-*tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキサンカルボキサルデヒド (0.13 g) をジクロロメタン (7 ml) に溶解し、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン トリフルオロ酢酸塩 (0.24 g)、トリエチルアミン (78  $\mu$ l)、水素化トリアセトキシホウ素ナトリウム (0.17 g) を加えてアルゴンガス雰囲気下室温にて11時間攪拌した。反応液に炭酸水素ナトリウム水溶液を加え、ジクロロメタンで希釈して有機層を分取した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 2 : 1) で精製して、標題化合物 (0.29 g, 100%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.70-0.90 (4H, m), 1.30-1.50 (2H, m), 1.42 (9H, s), 1.70-1.80 (4H, m), 2.09 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 2.46 (4H, m), 2.92 (2H, m), 3.08 (4H, m), 4.53 (1H, br), 7.56 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.78 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.80-8.00 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  536 [ $(M + H)^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 538 [ $(M + H)^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

#### 参考例 4 8

1-[*trans*-4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 11、参考例 12 と同様の反応により、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ 0.80-1.00 (2H, m), 1.40-1.60 (3H, m), 1.42 (9H, s), 1.60-1.70 (2H, m), 1.70-1.90 (2H, m), 2.30 (1H, m), 2.95 (2H, m), 3.07 (4H, m), 3.58 (2H, br), 3.70 (2H, br), 4.57 (1H, m), 7.58 (1H, dd, *J* = 8.8, 2.0 Hz), 7.75 (1H, dd, *J* = 8.8, 1.5 Hz), 7.90-8.00 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FD) *m/z* 549 (M<sup>+</sup>, C1<sup>35</sup>), 551 (M<sup>+</sup>, C1<sup>37</sup>).

#### 参考例 49

*N*-[*trans*-4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボニル]グリシン ベンジル エステル

参考例 11、参考例 12 と同様の反応により、*N-tert*-ブトキシカルボニルトラネキサム酸メチルおよびグリシン ベンジル エステルを原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ 0.96 (2H, m), 1.44 (9H, s), 1.40-1.60 (3H, m), 1.80-1.90 (2H, m), 1.90-2.00 (2H, m), 2.10 (1H, m), 2.98 (2H, m), 4.08 (2H, d, *J* = 4.9 Hz), 4.57 (1H, br), 5.19 (2H, s), 5.97 (1H, m), 7.30-7.40 (5H, m).

元素分析: C<sub>22</sub>H<sub>32</sub>N<sub>2</sub>O<sub>5</sub>として

計算値: C, 65.32; H, 7.97; N, 6.93.

分析値: C, 65.05; H, 7.89; N, 7.16.

#### 参考例 50

1-[*N*-[*trans*-4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボニル]グリシル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

*N*-[*trans*-4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボ



ニル]グリシン ベンジル エステル (0.22 g) をテトラヒドロフラン (11 ml) に懸濁させ、10% パラジウム炭素 (約50% 水分含有, 50 mg) を加えて、室温にて14時間常圧接触還元を行った。触媒を濾去後、溶媒を減圧留去した。得られた残さを用いて参考例12と同様の反応により、標題化合物 (0.32 g, 98%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.80–1.00 (2H, m), 1.30–1.50 (3H, m), 1.43 (9H, s), 1.80–2.00 (4H, m), 2.06 (1H, m), 2.95 (2H, m), 3.10–3.20 (4H, m), 3.52 (2H, m), 3.74 (2H, m), 3.94 (2H, d,  $J = 4.4$  Hz), 4.54 (1H, m), 6.40 (1H, m), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.74 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.80–8.00 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  607  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35}]$ , 609  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{37}]$ .

#### 参考例 5 1

##### 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ホモピペラジン 塩酸塩

室温でホモピペラジン (5 g) をテトラヒドロフラン (100 ml) に溶解し、2-(*tert*-ブトキシカルボニルオキシイミノ)-2-フェニルアセトニトリル (12.3 g) をゆっくり加え3時間攪拌した。反応終了後、溶媒を留去し残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (10~20% メタノール - ジクロロメタン) にて精製して、エタノール性1規定塩酸を加えて、溶媒を溜去してエーテルを加えて固化させ、粉末 (7.46 g) を得た。

これを用いて、参考例1と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  2.00 (2H, br s), 3.10–3.30 (4H, m), 3.30–3.50 (2H, m), 3.55–3.65 (2H, m), 7.72 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.89 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.17 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.22–8.28 (2H, m), 8.56 (1H, s), 9.29 (2H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  325  $(M + H)^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{15}\text{H}_{17}\text{ClN}_2\text{O}_2\text{S} \cdot \text{HCl}$ として

計算値: C, 49.89; H, 5.02; N, 7.75; Cl, 19.63.

分析値 : C, 49.94; H, 5.05; N, 7.47; Cl, 19.65.

#### 参考例 5 2

1-[*trans*-4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)シクロヘキシルカルボニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ホモピペラジン

参考例 4 8 と同様の反応により、*N-tert*-ブトキシカルボニルトラネキサム酸メチル、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ホモピペラジン 塩酸塩を用いて、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.80-1.00 (2H, m), 1.40-1.60 (3H, m), 1.43 (9H, s), 1.60-1.90 (4H, m), 1.90-2.10 (2H, m), 2.30-2.40 (1H, m), 2.97 (2H, m), 3.30-3.50 (4H, m), 3.60-3.80 (4H, m), 4.64 (1H, br), 7.50-7.60 (1H, m), 7.70-7.80 (1H, m), 7.80-8.00 (3H, m), 8.33 and 8.35 (1H, each s).

MS (FAB)  $m/z$  564 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 566 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

#### 参考例 5 3

4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)安息香酸メチル

参考例 4 4 と同様に、4-アミノメチル安息香酸を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 3.91 (3H, s), 4.37 (2H, d,  $J = 5.4$  Hz), 4.92 (1H, br), 7.35 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.00 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

元素分析 :  $\text{C}_{14}\text{H}_{19}\text{NO}_4$ として

計算値 : C, 63.38; H, 7.22; N, 5.28.

分析値 : C, 63.20; H, 7.02; N, 5.58.

#### 参考例 5 4

1-[4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル)ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフ

タレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 48 と同様に、4-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル) 安息香酸メチル、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩を用いて標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 (9H, s), 3.00-3.30 (4H, br), 3.40-4.00 (4H, br), 4.31 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 4.90 (1H, br), 7.27 (4H, m), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.75 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.90-8.00 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  544 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}1^{35}$ ], 546 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}1^{37}$ ].

#### 参考例 55

3-(*N-tert*-ブトキシカルボニルアミノメチル) 安息香酸メチル

3-メチル安息香酸メチル (1.00 g) を四塩化炭素 (10 ml) に溶解し、*N*-ブromoこはく酸イミド (1.22 g)、2,2-アゾビスイソブチロニトリル (触媒量) を加えて、水銀灯照射下1時間加熱還流した。不溶物を濾去後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 20 : 1) で精製して、無色油状物 (1.34 g) を得た。

得られた無色油状物 (0.62 g) を *N,N*-ジメチルホルムアミド (10 ml) に溶解し、アジ化ナトリウム (0.38 g) を加えて室温にて20時間攪拌した。反応液を減圧濃縮後、酢酸エチルで希釈し、水洗して無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去して得られた残さをテトラヒドロフラン (15 ml) に溶解し、トリフェニルホスフィン (0.75 g) を加えて外温約50℃にて5時間攪拌した。この反応液に約28% アンモニア水 (7 ml) を加えてさらに2時間攪拌後、反応液を減圧濃縮してエーテルで抽出し、希塩酸を加えて酸性として水層を分取した。これに希水酸化ナトリウム水溶液を加えてアルカリ性としてジクロロメタンで抽出した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをジクロロメタン (7 ml) に溶解し、氷冷下ジ-*tert*-ブチル ジカーボネイト (0.45 g) を加え

て室温にて3日間攪拌した後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー（ヘキサン：酢酸エチル = 5：1）で精製して、標題化合物（0.29 g, 35%）を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.46 (9H, s), 3.91 (3H, s), 4.36 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 4.97 (1H, br), 7.40 (1H, t,  $J = 7.8$  Hz), 7.49 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.90–8.00 (2H, m).

MS (FAB)  $m/z$  266 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例 56

##### 4-シアノメチル安息香酸メチル

4-ヒドロキシメチル安息香酸メチル（1.00 g）をジクロロメタン（20 ml）に溶解して、トリエチルアミン（0.9 ml）を加えたのち、氷冷下メタンスルホンクロライド（0.70 g）のジクロロメタン溶液（ジクロロメタン5 ml）を加えた。室温にて15時間攪拌後、反応液をジクロロメタンで希釈し、水洗した。無水硫酸ナトリウムで乾燥し、溶媒を減圧留去して得られた残さをアセトニトリル（12 ml）に溶解し、シアン化カリウム（0.80 g）、18-クラウン-6（0.16 g）を加えて室温にて40時間攪拌した。反応液を減圧濃縮後、ジクロロメタンで希釈して水洗した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー（ジクロロメタン）で精製し、無色結晶（0.91 g, 86%）を得た。一部をヘキサンと酢酸エチルの混合溶媒より再結晶して、無色結晶を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.82 (2H, s), 3.93 (3H, s), 7.42 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.06 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

元素分析： $\text{C}_{10}\text{H}_9\text{NO}_2$ として

計算値：C, 68.56; H, 5.18; N, 8.00.

分析値：C, 68.39; H, 5.29; N, 8.08.

## 参考例 5 7

4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)エチル]安息香酸メチル

4-シアノメチル安息香酸メチル (0.20 g) をメタノール (15 ml)、クロロホルム (0.4 ml) の混合溶液に溶解し、二酸化白金 (33 mg) を加えて室温にて 3 時間 3 気圧下接触還元を行った。触媒をセライト濾過により除去して溶媒を減圧留去した。得られた残さをジクロロメタン (5 ml) に懸濁させ、トリエチルアミン (160  $\mu$ l) を加え、氷冷下ジ-*tert*-ブチル ジカーボネイト (0.29 g) のジクロロメタン溶液 (ジクロロメタン 2 ml) を加えて室温にて 13 時間攪拌した。反応液をジクロロメタンで希釈し、水洗後、無水硫酸ナトリウムで乾燥して溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 10 : 1 ~ 5 : 1) で精製して、標題化合物 (0.28 g, 88%) を得た。  
 $^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.43 (9H, s), 2.86 (2H, t,  $J = 6.8$  Hz), 3.39 (2H, m), 3.91 (3H, s), 4.53 (1H, br), 7.27 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.98 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).  
元素分析:  $\text{C}_{15}\text{H}_{21}\text{NO}_4$ として

計算値: C, 64.50; H, 7.58; N, 5.01.

分析値: C, 64.43; H, 7.35; N, 4.97.

## 参考例 5 8

1-[4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)エチル]ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 4 8 と同様に、4-[2-(*tert*-ブトキシカルボニルアミノ)エチル]安息香酸メチル、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩を用いて標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.42 (9H, s), 2.79 (2H, t,  $J = 6.8$  Hz), 3.10 (4H, br), 3.35 (2H, m), 3.40-4.00 (4H, br), 4.50 (1H, br), 7.18 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.24

(2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.90–8.00 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  558  $[(M + H)^+, C_{13}^{35}]$ , 560  $[(M + H)^+, C_{13}^{37}]$ .

#### 参考例 59

4-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチル  
4-ヒドロキシ安息香酸メチル (1.01 g), (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジノール (1.36 g), トリフェニルホスフィン (1.73 g) をテトラヒドロフラン (50 ml) に溶解した。この溶液に、氷冷下、40% アゾジカルボン酸ジエチル トルエン溶液 (2.87 ml) を滴下し、室温にて20時間攪拌した。反応液に酢酸エチルと 10% 炭酸カリウム水溶液を加えて有機層を分取し、さらに 10% 炭酸カリウム水溶液、水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥して溶媒を減圧留去した。残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 2 : 1) で精製し、標題化合物 (1.60 g, 76%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.46 (9H, s), 2.00–2.20 (2H, m), 3.40–3.70 (4H, m), 3.89 (3H, s), 4.96 (1H, br s), 6.88 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.90–8.00 (2H, m).

#### 参考例 60

4-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸

参考例 11 と同様の反応により、4-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチルを原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CD}_3\text{OD}$ )  $\delta$  1.45 and 1.47 (9H, each s), 2.10–2.20 (2H, m), 3.40–3.70 (4H, m), 5.00–5.10 (1H, m), 6.98 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.97 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz).

#### 参考例 61

1-[4-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル] オキシ] ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸および 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩を原料として標題化合物と得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ 1.46 (9H, s), 2.00-2.20 (2H, m), 3.00-3.20 (4H, m), 3.40-3.80 (8H, m), 4.88 (1H, br s), 6.82 (2H, d, *J* = 8.3 Hz), 7.20-7.30 (2H, m), 7.60 (1H, dd, *J* = 8.7, 1.9 Hz), 7.76 (1H, dd, *J* = 8.5, 1.7 Hz), 7.90-7.95 (3H, m), 8.30 (1H, s).

元素分析: C<sub>30</sub>H<sub>34</sub>ClN<sub>3</sub>O<sub>6</sub>Sとして

計算値: C, 60.04; H, 5.71; N, 7.00.

分析値: C, 60.05; H, 5.69; N, 6.80.

#### 参考例 6 2

3-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチル

参考例 5 9 と同様に、3-ヒドロキシ安息香酸メチルを原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>) δ 1.45 and 1.47 (9H, each s), 2.05-2.25 (2H, m), 3.40-3.70 (4H, m), 3.92 (3H, s), 4.96 (1H, br s), 7.07 (1H, d, *J* = 7.8 Hz), 7.30-7.40 (1H, m), 7.53 (1H, d, *J* = 2.0 Hz), 7.65 (1H, m).

MS (FAB) *m/z* 322 (M + H)<sup>+</sup>.

#### 参考例 6 3

3-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸

参考例 1 1 と同様に、3-[[ (3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチルを原料として、標的化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CD}_3\text{OD}$ )  $\delta$  1.45 and 1.47 (9H, each s), 2.05–2.25 (2H, m), 3.35–3.65 (4H, m), 5.04 (1H, br s), 7.05–7.15 (1H, m), 7.30–7.40 (1H, m), 7.53 (1H, s), 7.62 (1H, d,  $J = 7.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  308 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例 6 4

1-[3-[[ $(3S)$ -1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル] オキシ] ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 2 と同様に、3-[[ $(3S)$ -1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 and 1.46 (9H, each s), 2.00–2.20 (2H, m), 2.95–3.25 (4H, m), 3.40–3.90 (8H, m), 4.84 (1H, br s), 6.80–6.90 (3H, m), 7.20–7.30 (1H, m), 7.60 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.76 (1H, dd,  $J = 8.5, 1.7$  Hz), 7.90–7.95 (3H, m), 8.30–8.35 (1H, m).

MS (FAB)  $m/z$  600 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 602 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

#### 参考例 6 5

4-[[ $(3R)$ -1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチル

参考例 5 9 と同様に、4-ヒドロキシ安息香酸メチル、 $(3S)$ -1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジノールを原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 2.05–2.25 (2H, m), 3.4–3.7 (4H, m), 3.89 (3H, s), 4.96 (1H, br s), 6.88 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.90–8.00 (2H, m).

MS (FAB)  $m/z$  322 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例 6 6

4-[[ $(3R)$ -1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸



参考例 1 1 と同様に、4-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチルを原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CD}_3\text{OD}$ )  $\delta$  1.47, 1.48 (9H, each s), 2.10-2.25 (2H, m), 3.40-3.70 (4H, m), 4.98 (1H, br s), 6.91 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.00-8.10 (2H, m).

MS (FAB)  $m/z$  308 ( $\text{M} + \text{H}^+$ ).

#### 参考例 6 7

1-[4-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル] オキシ] ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 2 と同様に、4-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.46 (9H, s), 2.00-2.20 (2H, m), 3.00-3.20 (4H, m), 3.40-3.80 (8H, m), 4.89 (1H, br s), 6.82 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.20-7.30 (2H, m), 7.58 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.74 (1H, dd,  $J = 8.5, 1.7$  Hz), 7.90-7.95 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  600 [ $\text{M} + \text{H}^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ], 602 [ $\text{M} + \text{H}^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ].

#### 参考例 6 8

3-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチル

参考例 5 9 と同様に、3-ヒドロキシ安息香酸メチル、(3*S*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジノールを原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 2.05-2.25 (2H, m), 3.40-3.70 (4H, m), 3.92 (3H, s), 4.95 (1H, br s), 7.07 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.30-7.40 (1H, m), 7.50-7.55 (1H, m), 7.60-7.70 (1H, m).

MS (FAB)  $m/z$  322 ( $\text{M} + \text{H}^+$ ).

## 参考例 69

3-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸

参考例 11 と同様に、3-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸メチルを原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CD}_3\text{OD}$ )  $\delta$  1.48 (9H, s), 2.05-2.25 (2H, m), 3.45-3.70 (4H, m), 4.97 (1H, br s), 7.10-7.15 (1H, m), 7.35-7.45 (1H, m), 7.58 (1H, s), 7.70-7.75 (1H, m).

MS (FAB)  $m/z$  308 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

## 参考例 70

1-[3-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル] オキシ] ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 12 と同様に、3-[[ (3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-ピロリジニル] オキシ] 安息香酸を原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 and 1.46 (9H, each s), 2.00-2.20 (2H, m), 2.95-3.25 (4H, m), 3.40-3.90 (8H, m), 4.84 (1H, br s), 6.80-6.90 (3H, m), 7.20-7.30 (1H, m), 7.60 (1H, dd,  $J = 8.5, 1.7$  Hz), 7.76 (1H, dd,  $J = 8.5, 2.0$  Hz), 7.90-7.95 (3H, m), 8.30-8.35 (1H, m).

MS (FAB)  $m/z$  600 [ $\text{M} + \text{H}$ ] $^+$ ,  $\text{C}1^{35}$ ], 602 [ $\text{M} + \text{H}$ ] $^+$ ,  $\text{C}1^{37}$ ].

## 参考例 71

4-(2-アミノ-5-ピリミジル) 安息香酸

参考例 2 と同様の反応により、2-アミノ-5-ブロモピリミジンを原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  7.81 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.00 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.84 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  216 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

#### 参考例 7 2

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(メトキシカルボニル) メチレン] ピペリジン

ジメチルホスホノ酢酸メチル (1.8 ml) をテトラヒドロフラン (40 ml) に溶解し、氷冷下 60% 油性水素化ナトリウム (450 mg) を加えてそのまま攪拌した。1-(*tert*-ブトキシカルボニル)-4-ピペリドン (2.0 g) のテトラヒドロフラン溶液 (テトラヒドロフラン 10 ml) を加えて室温にて30分間攪拌後、酢酸エチルで希釈し、2規定塩酸を加えた。有機層を分取して飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、飽和食塩水溶液で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン: 酢酸エチル = 6 : 1) で精製し、標題化合物 (2.35 g, 92%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.47 (9H, s), 2.28 (2H, t,  $J = 5.9$  Hz), 2.94 (2H, t,  $J = 5.9$  Hz), 3.48 (2H, t,  $J = 5.9$  Hz), 3.50 (2H, t,  $J = 5.9$  Hz), 3.70 (3H, s), 5.72 (1H, s).

元素分析: C<sub>13</sub>H<sub>21</sub>NO<sub>4</sub>として

計算値: C, 61.16; H, 8.29; N, 5.49.

分析値: C, 61.14; H, 8.34; N, 5.20.

#### 参考例 7 3

(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) 酢酸メチル

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(メトキシカルボニル) メチレン] ピペリジン (875 mg) をエタノール (10 ml) に溶解し、10% パラジウム炭素 (約50% 水分含有, 730 mg) を加えて、室温にて3日間常圧接触還元を行った。触媒を濾去後、溶媒を減圧留去して、標題化合物 (871 mg, 99%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.16 (2H, m), 1.45 (9H, s), 1.65 (2H, m), 1.93 (1H, m),

2.25 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 2.72 (2H, br), 3.68 (3H, s), 4.08 (2H, br).  
MS (FAB)  $m/z$  258 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

#### 参考例 7 4

(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) 酢酸

参考例 1 1 と同様に、(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) 酢酸メチルを原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.18 (2H, m), 1.45 (9H, s), 1.73 (2H, m), 1.94 (1H, m), 2.29 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 2.72 (2H, m), 4.10 (2H, br).

MS (EI)  $m/z$  243 M<sup>+</sup>.

#### 参考例 7 5

1-[(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) アセチル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) 酢酸、

1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩を原料として標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.05 (2H, m), 1.43 (9H, s), 1.63 (2H, m), 1.91 (1H, m), 2.14 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 2.66 (2H, m), 3.07 (4H, br s), 3.56 (2H, br s), 3.67 (2H, br s), 4.02 (2H, br), 7.58 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.75 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.91 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.93 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.92 (1H, s), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  536 [ $(M + H)$ ]<sup>+</sup>, C1<sup>35</sup>], 538 [ $(M + H)$ ]<sup>+</sup>, C1<sup>37</sup>].

#### 参考例 7 6

3-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル)プロピオン酸

1-*tert*-ブトキシカルボニルイソニコチン酸エチルを原料として、水素化ジイソブチルアルミニウムを用いてアルデヒド体を得た後、参考例 7 2、参考例 7 3、参考例 7 4 と同様にして、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.10 (2H, m), 1.41 (1H, m), 1.45 (9H, s), 1.60 (2H, q,  $J = 7.8$  Hz), 1.66 (2H, m), 2.39 (2H, t,  $J = 7.8$  Hz), 2.67 (2H, m), 4.09 (2H, br).

MS (FAB)  $m/z$  258 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

## 参考例 7 7

1-[3-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル)プロピオニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、3-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル)プロピオン酸、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩を原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.04 (2H, m), 1.35 (1H, m), 1.44 (9H, s), 1.47 (2H, q,  $J = 7.8$  Hz), 1.57 (2H, m), 2.24 (2H, t,  $J = 7.8$  Hz), 2.61 (2H, m), 3.07 (4H, br s), 3.56 (2H, br s), 3.71 (2H, br s), 4.04 (2H, br), 7.58 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.90 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.91 (1H, s), 7.92 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  550 [ $\text{M} + \text{H}$ ] $^+$ ,  $\text{C1}^{35}$ , 552 [ $\text{M} + \text{H}$ ] $^+$ ,  $\text{C1}^{37}$ .

## 参考例 7 8

## (E)-3-(4-ピリジル)アクリル酸

イソニコチンアルデヒドを原料として、参考例 7 2、参考例 7 4 と同様に、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  6.79 (1H, d,  $J = 16.6$  Hz), 7.56 (1H, d,  $J = 16.6$  Hz), 7.66 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 8.62 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 12.72 (1H, br s).

MS (EI)  $m/z$  149  $\text{M}^+$ .

#### 参考例 79

##### 1-メトキシカルボニル-3-ピロリン

3-ピロリン (1.1 ml) をジクロロメタン (20 ml) に溶解し、氷冷下トリエチルアミン (2.6 ml)、クロロギ酸メチル (1.2 ml) を加えて、室温にて 17 時間攪拌した。反応液を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 4 : 1) で精製し、標題化合物 (0.95 g, 52%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.73 (3H, s), 4.00-4.20 (4H, m), 5.70-5.90 (2H, m).

#### 参考例 80

##### 4-トリフルオロメタンスルホンオキシ安息香酸メチル

4-ヒドロキシ安息香酸メチル (1.99 g) をジクロロメタン (20 ml) に溶解し、氷冷下ピリジン (2.4 ml)、無水トリフルオロメタンスルホン酸 (3.0 ml) を加えた。室温で6時間攪拌後、さらにピリジン (1.5 ml)、無水トリフルオロメタンスルホン酸 (1.0 ml) を加えて 5時間攪拌した。ジクロロメタン、炭酸水素ナトリウム水溶液を加えて有機層を分取し、10%クエン酸水溶液、飽和食塩水で洗浄して無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムカラムクロマトグラフィー (5% 酢酸エチル - ヘキサン) にて精製して標題化合物 (3.22 g, 86%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.95 (3H, s), 7.36 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.15 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  285 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

## 参考例 8 1

## 4-(1-メトキシカルボニルピロリジン-3-イル)安息香酸メチル

4-トリフルオロメタンスルホニルオキシ安息香酸メチル (1.05 g)、1-メトキシカルボニル-3-ピロリン (1.0 g)、塩化リチウム (0.51 g)、酢酸パラジウム(II) (53 mg)、トリ(2-フリル)ホスフィン (100 mg) を *N,N*-ジメチルホルムアミド (25 ml) に溶解し、ジイソプロピルエチルアミン (2.8 ml) を加え、アルゴンガス雰囲気下、90 °C で 11 時間、さらに 100 °C で 7 時間攪拌した。溶媒を減圧下留去して得られた残さに、ジクロロメタンと水を加えて有機層を分取し、水洗後、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、溶媒を減圧留去した。残さをシルカゲルカラムカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 9 : 1 ~ 5 : 1) で精製した。これをメタノール (30 ml) に溶解し、10% パラジウム炭素 (約 50% 水分含有, 186 mg)、ギ酸アンモニウム (197 mg) を加え、2 時間加熱還流した。触媒を濾去後、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシルカゲルカラムカラムクロマトグラフィー (10% 酢酸エチル - トルエン) で精製し、標題化合物 (241 mg, 25%) を得た。  
 $^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.95-2.10 (1H, m), 2.25-2.35 (1H, m), 3.30-3.35 (4H, m), 3.55-3.75 (1H, m), 3.72 and 3.73 (3H, each s), 3.80-3.90 (1H, m), 3.91 (3H, s), 7.30 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.00 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).  
MS (FAB)  $m/z$  264 ( $M + H$ ) $^+$ .

## 参考例 8 2

4-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル)安息香酸

4-(1-メトキシカルボニルピロリジン-3-イル)安息香酸メチル (0.24 g) をメタノール (10 ml) に溶解し、8 規定塩酸 (30 ml) を加えて 40 時間加熱還流した。溶媒を減圧留去して得られた残さを *N,N*-ジメチルホルムアミド (30 ml) に溶解し、2-(*tert*-ブトキシカルボニルオキシイミノ)-2-フェニルアセトニトリル

(0.30 g) を加え、さらにジイソプロピルエチルアミン (0.40 ml) を加え、室温で 15 時間攪拌した。溶媒を減圧留去して得られた残さを酢酸エチル、10%クエン酸水溶液に分配し、有機層を分取後、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥して溶媒を減圧下留去した。残さをシルカゲルカラムカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ 10% メタノール - ジクロロメタン) で精製し、標題化合物 (234 mg) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.48 (9H, m), 1.90-2.00 (1H, m), 2.20-2.30 (1H, m), 3.20-3.90 (5H, m), 7.20-7.30 (2H, m), 8.00-8.10 (2H, m).

MS (EI)  $m/z$  291  $\text{M}^+$ .

### 参考例 8 3

1-[4-[(3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル]ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン-3-イル)安息香酸、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩を原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 and 1.60 (9H, each s), 1.8-2.0 (1H, m), 2.1-2.2 (1H, m), 3.0-4.0 (13H, m), 7.10-7.30 (4H, m), 7.55-7.65 (1H, m), 7.7-7.8 (1H, m), 7.85-8.00 (3H, m), 8.30 (1H, s).

### 参考例 8 4

(3*S*)-3-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン

参考例 5 5 と同様の反応により、(3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-メタンスルホニルオキシピロリジン (1.50 g) を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.46 (9H, s) 1.98-2.11 (2H, m) 2.95-3.10 (1H, m), 3.26-3.60 (4H, m).



MS (FAB)  $m/z$  187 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

#### 参考例 8 5

(3,5)-3-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホンアミド]ピロリジン トリフルオロ酢酸塩

参考例 1 と同様の反応により、(3,5)-3-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジンを原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO-*d*<sub>6</sub>)  $\delta$  1.69-1.80 (1H, m), 1.88-1.99 (1H, m), 2.95-3.28 (4H, m), 3.75-3.84 (1H, m), 7.71 (1H, m), 7.91 (1H, m), 8.10-8.30 (4H, m), 8.53 (1H, s), 8.91 (1H, br s), 9.06 (1H, br s).

#### 参考例 8 6

(3,5)-3-アミノ-1-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピロリジン

(3,5)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-メタンスルホニルオキシピロリジンをトリフルオロ酢酸に溶解したのち減圧下濃縮し、ジエチルエーテルを加えて上澄を除去した。得られた残さを用いて参考例 1 と同様の反応によりスルホンアミド体の粗生成物を得、参考例 5 5 と同様に、アジド化、還元反応により、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO-*d*<sub>6</sub>)  $\delta$  1.38-1.53 (3H, m), 1.72-1.83 (1H, m), 2.81-2.89 (1H, m), 3.20-3.39 (4H, m), 7.69 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.9$  Hz), 7.87 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.12 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.21 (1H, s), 8.26 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.39 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  311 [ $(M + H)^+$ , C1<sup>35</sup>], 313 [ $(M + H)^+$ , C1<sup>37</sup>].

#### 参考例 8 7

4-ベンジルアミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-ピペリドン (7.00 g) をジクロロメタン (500 ml) に溶解させ、ベンジルアミン (4.03 ml)、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム (11.91 g) を加えて室温で一晩攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残さを酢酸エチルに溶解し、水、飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 1 : 1) により精製し、標題化合物 (7.46 g, 76%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.24-1.37 (2H, m), 1.45 (9H, s), 1.80-1.90 (2H, m), 2.62-2.70 (1H, m), 2.75-2.85 (1H, m), 2.98-3.07 (1H, m), 3.78-3.90 (3H, m), 3.95-4.10 (1H, m), 7.21-7.34 (5H, m).

MS (FD)  $m/z$  290  $\text{M}^+$ .

#### 参考例 88

##### 4-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン 酢酸塩

4-ベンジルアミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン (4.04 g) をメタノール (2 ml)、酢酸 (30 ml) に溶解し、10% パラジウム炭素 (約 50% 水分含有、3.06 g) を加え中圧 (3気圧) にて接触還元を一晩行なった。触媒を濾去後、濾液を減圧留去し、得られた残さを酢酸エチル中固化し、標題化合物 (2.23 g, 57%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  1.10-1.23 (2H, m), 1.39 (9H, s), 1.69-1.77 (2H, m), 1.80 (3H, s), 2.50 (2H, s), 2.67-2.88 (2H, m), 3.80-3.90 (1H, m).

MS (FAB)  $m/z$  201 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_{20}\text{N}_2\text{O}_2 \cdot \text{CH}_3\text{CO}_2\text{H}$ として

計算値: C, 53.16; H, 9.37; N, 10.33.

分析値: C, 53.51; H, 9.10; N, 9.93.

## 参考例 89

4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホンアミド]ピペリジン トリフルオロ酢酸塩

参考例 1 と同様に、4-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン 酢酸塩、6-クロロ-2-ナフチルスルホンクロライドを原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  1.47-1.60 (2H, m), 1.68-1.78 (2H, m), 2.81-2.95 (2H, m), 3.10-3.20 (2H, m), 3.29-3.40 (1H, m), 7.70 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.91 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 8.11-8.15 (2H, m), 8.21 (1H, s), 8.31 (1H, br s), 8.50 (1H, s), 8.55 (1H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  325  $[(M + H)^+, \text{C1}^{35}]$ , 327  $[(M + H)^+, \text{C1}^{37}]$ .

## 参考例 90

(1*RS*)-4-トリフルオロメタンスルホンルオキシ-3-シクロヘキセンカルボン酸エチル

ジイソプロピルアミン (0.99 ml) をテトラヒドロフラン (50 ml) に溶解し、 $-78^\circ\text{C}$  にて *n*-ブチルリチウム (1.59 M ヘキサン溶液, 3.70 ml) を滴下した。テトラヒドロフラン (5 ml) に溶解させた 4-オキシシクロヘキサンカルボン酸エチル (1.00 g) を滴下して 15 分間攪拌後、テトラヒドロフラン (5 ml) に溶解させた *N*-フェニルトリフルオロメタンスルホンイミド (2.10 g) を滴下し、 $0^\circ\text{C}$  まで昇温させたのち 1 時間攪拌した。反応液を減圧濃縮し、残さを中性アルミナカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 9 : 1) により精製して標題化合物 (838 mg, 47%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.27 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 1.88-1.99 (1H, m), 2.10-2.18 (1H, m), 2.38-2.50 (4H, m), 2.55-2.64 (1H, m), 4.16 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 5.77 (1H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  303  $(M + H)^+$ .

## 参考例 9 1

(1*RS*)-4-(4-ピリジル)-3-シクロヘキセンカルボン酸エチル

参考例 7 と同様の反応により、(1*RS*)-4-トリフルオロメタンスルホニルオキシ-3-シクロヘキセンカルボン酸エチルを原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.28 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 1.80-1.91 (1H, m), 2.19-2.25 (1H, m), 2.40-2.57 (4H, m), 2.59-2.67 (1H, m), 4.17 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 6.36 (1H, br s), 7.26 (2H, dd,  $J = 4.9, 1.5$  Hz), 8.53 (2H, dd,  $J = 4.9, 1.5$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  232 (M + H)<sup>+</sup>.

## 参考例 9 2

(1*RS*)-4-(4-ピリジル)-3-シクロヘキセンカルボン酸

参考例 8 と同様に、(1*RS*)-4-(4-ピリジル)-3-シクロヘキセンカルボン酸エチルを原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO-*d*<sub>6</sub>)  $\delta$  1.70-1.82 (1H, m), 2.10-2.19 (1H, m), 2.42-2.65 (5H, m), 6.99 (1H, br s), 8.02 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz), 8.80 (2H, d,  $J = 6.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  204 (M + H)<sup>+</sup>.

## 参考例 9 3

*cis*-, *trans*-4-(4-ピリジル)シクロヘキサンカルボン酸

参考例 7 3 と同様に、(1*RS*)-4-(4-ピリジル)-3-シクロヘキセンカルボン酸を原料として、標題化合物を得た。

MS (FAB)  $m/z$  206 (M + H)<sup>+</sup>.

## 参考例 9 4

4-(1-*tert*-ブトキシカルボニル-1, 2, 3, 6-テトラヒドロピリジン-4-イル)安息香

## 酸

4-(1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-トリフルオロメタンスルホニルオキシ-1,2,3,6-テトラヒドロピリジン (Synthesis, 993, 1991) (3.59 g) を 1,2-ジメトキシエタン (30 ml) に溶解し、4-カルボキシフェニルホウ酸 (3.60 g)、塩化リチウム (1.38 g)、テトラキストリフェニルホスフィンパラジウム (0.62 g)、炭酸ナトリウム水溶液 (2 M, 16.3 ml) を加え、アルゴンガス雰囲気下、2 時間加熱還流させた。反応液に 1 規定塩酸を加え、酢酸エチルで抽出した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ ジクロロメタン : メタノール = 100 : 1) により精製し、ヘキサンと酢酸エチルの混合溶媒 (ヘキサン : 酢酸エチル = 5 : 1) 中粉碎洗浄して、標題化合物 (462 mg, 14%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.50 (9H, s), 2.56 (2H, br s), 3.66 (2H, m), 4.12 (2H, br s), 6.19 (1H, br s), 7.47 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.07 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).  
MS (FAB)  $m/z$  304 ( $M + H$ ) $^+$ .

## 参考例 9 5

4-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル)安息香酸

参考例 7 3 と同様に、4-(1-*tert*-ブトキシカルボニル-1,2,3,6-テトラヒドロピリジン-4-イル)安息香酸を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.48 (9H, s), 1.60-1.71 (2H, m), 1.80-1.89 (2H, m), 2.69-2.90 (3H, m), 4.20-4.35 (2H, m), 7.31 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.05 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  306 ( $M + H$ ) $^+$ .

## 参考例 9 6

1-[4-(1-*tert*-ブトキシカルボニル-1,2,3,6-テトラヒドロピリジン-4-イル)ベン

ゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-(1-*tert*-ブトキシカルボニル-1, 2, 3, 6-テトラヒドロピリジン-4-イル) 安息香酸、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩を原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.49 (9H, s), 2.48 (2H, br s), 3.10 (4H, br), 3.62 (2H, t,  $J = 5.9$  Hz), 3.70 (4H, br), 4.08 (2H, br s), 6.05 (1H, br s), 7.25 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.34 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.90-7.96 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  596 [(M + H)<sup>+</sup>, C1<sup>35</sup>], 598 [(M + H)<sup>+</sup>, C1<sup>37</sup>].

#### 参考例 9 7

1-[4-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) ベンゾイル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-(1-*tert*-ブトキシカルボニルピペリジン-4-イル) 安息香酸、1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩を原料として、標題化合物を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.47 (9H, s), 1.49-1.63 (2H, m), 1.72-1.80 (2H, m), 2.59-2.68 (1H, m), 2.71-2.86 (2H, m), 2.92-3.30 (4H, m), 3.45-4.95 (4H, m), 4.16-4.31 (2H, m), 7.18 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.24 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.90-7.94 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  598 [(M + H)<sup>+</sup>, C1<sup>35</sup>], 600 [(M + H)<sup>+</sup>, C1<sup>37</sup>].

#### 参考例 9 8

(3*R*)-3-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン

氷冷下、3-アミノピロリジン (0.54 g) をメタノール (30 ml) に溶解し、ジ

イソプロピルエチルアミン (720  $\mu$ l)、2-(*tert*-ブトキシカルボニルオキシイミノ)-2-フェニルアセトニトリル (0.84 g)を加え、徐々に室温まで昇温し11時間攪拌した。溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ 5% メタノール - ジクロロメタン) で精製し、標題化合物 (0.59 g, 94%)を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 (9H, s), 2.0-2.3 (2H, m), 3.1-4.0 (5H, m).

#### 参考例 99

(3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホンアミド]ピロリジン

参考例1と同様に、(3*R*)-3-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジンを原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.37 (9H, s), 1.60-2.10 (2H, m), 3.00-3.50 (4H, m), 3.88 (1H, br), 4.96 (1H, br), 7.50-7.60 (1H, m), 7.80-7.90 (4H, m), 8.43 (1H, s).  
MS (FAB)  $m/z$  411 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C1}^{35}$ ], 413 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C1}^{37}$ ].

#### 参考例 100

(3*R*)-1-*tert*-ブトキシカルボニル-3-[4-(4-ピリジル)ベンツアミド]ピロリジン

参考例12と同様に、(3*R*)-3-アミノ-1-*tert*-ブトキシカルボニルピロリジン、4-(4-ピリジル)安息香酸を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.48 (9H, s), 1.90-2.10 (1H, m), 2.20-2.30 (1H, m), 3.30-3.40 (1H, m), 3.40-3.60 (2H, m), 3.70-3.80 (1H, m), 4.65-4.75 (1H, m), 6.25-6.35 (1H, m), 7.52 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 7.71 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.88 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.70 (2H, d,  $J = 5.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  368 ( $\text{M} + \text{H})^+$ .

## 参考例 101

## 6-クロロ-N-メトキシ-N-メチルニコチンアミド

氷冷下、6-クロロニコチン酸 (5.00 g) をジクロロメタン (150 ml) に懸濁させ、触媒量の *N,N*-ジメチルホルムアミド、およびオギザリルクロリド (5.30 ml) を加えた後、室温にて23時間攪拌した。反応液を濃縮して得られた残渣をジクロロメタン (100 ml) に溶解し、氷冷下、*N,O*-ジメチルヒドロキシルアミン 塩酸塩 (6.18 g)、およびトリエチルアミン (13.3 ml) を加えた。室温にて6時間攪拌後、ジクロロメタン (150 ml) で希釈し、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、水、飽和食塩水で洗浄した。無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 2 : 1) で精製し、標題化合物 (6.08 g, 96%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.39 (3H, s), 3.56 (3H, s), 7.39 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.03 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.4$  Hz), 8.78 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz).

## 参考例 102

## 6-クロロニコチンアルデヒド

6-クロロ-N-メトキシ-N-メチルニコチンアミド (500 mg) をテトラヒドロフラン (8 ml) に溶解し、アルゴン雰囲気下、 $-78^\circ\text{C}$  で水素化ジイソブチルアルミニウム (0.95 Mヘキサン溶液、2.88 ml) を滴下し、3時間攪拌し、次いで室温で2時間攪拌した。反応液を  $-20^\circ\text{C}$  に冷却し、飽和食塩水 (2 ml) を加えて30分間攪拌後、不溶物を濾去して酢酸エチルで洗浄した。濾液および洗浄液をあわせて飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥して溶媒を減圧留去して、標題化合物 (346 mg, 98%) を粗生成物として得、精製することなく次の反応に用いた。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.52 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.14 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.2$  Hz), 8.87 (1H, d,  $J = 2.2$  Hz), 10.10 (1H, s).



## 参考例 103

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-メタンスルホニルピペラジン

*N-tert*-ブトキシカルボニルピペラジン (2.00 g) をジクロロメタン (40 ml) に溶解し、トリエチルアミン (1.78 ml) を加えた後、氷冷下、メタンスルホニルクロライド (0.91 ml) を滴下した。氷冷下1時間攪拌後ジクロロメタン (20 ml) で希釈し、5%クエン酸水溶液、水、飽和食塩水で洗浄した。無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残渣を酢酸エチルとヘキサンの混合溶媒から再結晶して、標題化合物 (2.58 g, 91%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 2.79 (3H, s), 3.19 (4H, t,  $J = 5.1$  Hz), 3.55 (4H, t,  $J = 5.1$  Hz).

## 参考例 104

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[[ (2*RS*)-2-(6-クロロピリジン-3-イル)-2-ヒドロキシエチル]スルホニル]ピペラジン

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-メタンスルホニルピペラジン (838 mg) をテトラヒドロフラン (8 ml) に溶解し、アルゴン雰囲気下、-78 °Cにて*tert*-ブチルリチウム (1.7 Mペンタン溶液、1.72 ml) を加えた後、2時間攪拌した。6-クロロニコチンアルデヒド (346 mg) のテトラヒドロフラン溶液 (テトラヒドロフラン 4 ml) を滴下し、-78 °Cにて3時間攪拌後、イソプロパノール (1 ml) を加え、室温まで昇温して酢酸エチルで希釈した。水、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残渣を酢酸エチルより再結晶し、標題化合物 (532 mg, 54%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.46 (9H, s), 3.11 (1H, dd,  $J = 14.1, 2.2$  Hz), 3.21 (1H, dd,  $J = 14.1, 9.8$  Hz), 3.23-3.33 (4H, m), 3.52-3.57 (4H, m), 3.70 (1H, br s), 5.37 (1H, br), 7.36 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.72 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.4$  Hz),

8.41 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  405 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

#### 参考例 105

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[[*(E)*-2-(6-クロロピリジン-3-イル)エチレン]スルホニル]ピペラジン

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[[*(2RS)*-2-(6-クロロピリジン-3-イル)-2-ヒドロキシエチル]スルホニル]ピペラジン (465 mg) をジクロロメタン (10 ml) に溶解し、*N*-メチルモルホリン (0.152 ml)、および *N,N*-ジメチル-4-アミノピリジン (14.1 mg) を加え、アルゴン雰囲気下、氷冷下にて *p*-トルエンスルホニルクロリド (263 mg) を加えた。室温で2時間攪拌後、さらに *N,N*-ジメチル-4-アミノピリジン (141 mg) を加えて室温で3時間攪拌した。ジクロロメタン (20 ml) で希釈後、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液、水、および飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン : メタノール = 100 : 1) で精製して標題化合物 (414 mg, 93%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.45 (9H, s), 3.19 (4H, br), 3.55 (4H, br), 6.73 (1H, d,  $J = 15.6$  Hz), 7.40 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.43 (1H, d,  $J = 15.6$  Hz), 7.76 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.5$  Hz), 8.50 (1H, d,  $J = 2.5$  Hz).

元素分析: C<sub>16</sub>H<sub>22</sub>ClN<sub>3</sub>O<sub>3</sub>Sとして

計算値: C, 49.54; H, 5.72; N, 10.83; Cl, 9.14; S, 8.27.

分析値: C, 49.54; H, 5.73; N, 10.63; Cl, 9.44; S, 8.15.

#### 参考例 106

1-(4-ブromo-2-メチルベンゾイル)-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、4-ブロモ-2-メチル安息香酸および1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩を原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.13 (3H, s), 2.80-4.10 (8H, m), 6.89 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.30 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.0$  Hz), 7.35 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 7.60 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.74 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.90-7.95 (3H, m), 8.30 (1H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  507  $[(M + H)^+, \text{Br}^{79}]$ , 509  $[(M + H)^+, \text{Br}^{81}]$ .

#### 参考例 1 0 7

##### 3-メチル-4-(4-ピリジル) 安息香酸 塩酸塩

参考例 6 と同様の反応により、4-ブロモ-3-メチル安息香酸を原料として、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  2.36 (3H, s), 7.50 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.92 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.97 (1H, s), 8.08 (2H, d,  $J = 6.4$  Hz), 8.99 (2H, d,  $J = 6.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  214  $(M + H)^+$ .

#### 参考例 1 0 8

##### 4-(2-メチル-4-ピリジル) 安息香酸 塩酸塩

参考例 2 と同様の反応により、4-ブロモ-2-メチルピリジンを原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  2.81 (3H, s), 8.10-8.16 (4H, m), 8.23 (1H, dd,  $J = 6.4, 1.5$  Hz), 8.36 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 8.85 (1H, d,  $J = 6.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  214  $(M + H)^+$ .

#### 参考例 1 0 9

## 1, 4-ジベンジル-2-メトキシカルボニルメチルピペラジン

*N, N'*-ジベンジリエチレンジアミン (12 ml) およびトリエチルアミン (12 ml) をトルエン (250 ml) に溶解し、氷冷下3-ブロモクロトン酸メチル (7.0 ml) を滴下し、室温で24時間攪拌した。さらにトリエチルアミン (2.0 ml) 加えて室温で71時間攪拌後、不溶物を濾去し、濾液を減圧留去した。得られた残渣に10% 塩酸 (300 ml) を加え、析出品を濾去した。濾液に酢酸エチルを加えて水層を分取し、炭酸カリウムを加えてアルカリ性にした。これに酢酸エチルを加えて有機層を分取し、飽和食塩水で洗浄後、無水炭酸カリウムで乾燥して溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 4 : 1) で精製し、標題化合物 (10.7 g, 62%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.30-2.70 (8H, m), 3.11 (1H, br s), 3.40-3.80 (4H, m), 3.60 (3H, s), 7.20-7.40 (10H, m).

MS (FAB)  $m/z$  339 ( $M + H$ ) $^+$ .

## 参考例 110

## 1-[(6-クロロナフタレン-2-イル) スルホニル]-3-メトキシカルボニルメチルピペラジン

1, 4-ジベンジル-2-メトキシカルボニルメチルピペラジン (2.04 g) を酢酸 (40 ml) に溶解し、10% パラジウム炭素 (約50% 水分含有, 2.00 g) を加え、室温にて4気圧下4時間接触還元を行なった。触媒を濾去し、濾液を減圧留去して得られた残さにジクロロメタンと飽和炭酸カリウム水溶液を加えて析出してきた不溶物を濾去した後に、有機層を分取した。飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥して溶媒を減圧留去した。得られた残渣をジクロロメタン (30 ml) に溶解し、6-クロロ-2-ナフチルスルホニルクロライド (782 mg) を加えて、0 °Cで2時間攪拌し、トリエチルアミン (410  $\mu$ l) を加えて0 °Cでさらに3時間攪拌した。溶媒を減圧留去し、残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタ

ン ～ 3% メタノール - ジクロロメタン) で精製して標題化合物 (759 mg, 33%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.71 (1H, br s), 2.15-2.55 (4H, m), 2.90-3.05 (2H, m), 3.15-3.25 (1H, m), 3.60-3.70 (5H, m), 7.55-7.60 (1H, m), 7.75-7.80 (1H, m), 7.85-7.95 (3H, m), 8.30 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  383  $[(\text{M} + \text{H})^+, \text{Cl}^{35}]$ , 385  $[(\text{M} + \text{H})^+, \text{Cl}^{37}]$ .

#### 参考例 1 1 1

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(3-クロロ-1-プロピル) スルホニル] ピペラジン  
アルゴン雰囲気下、氷冷下1-*tert*-ブトキシカルボニルピペラジン (3.00 g) と  
トリエチルアミン (2.24 ml) をジクロロメタン (40 ml) に溶解し、3-クロロ-1-  
プロパンスルホン酸クロリド (1.96 g) を加え、氷冷下20分間、さらに室温で10  
分間攪拌した。反応液をジクロロメタンで希釈し、水、飽和食塩水で洗浄後、無  
水硫酸ナトリウムで乾燥して溶媒を減圧留去した。得られた残渣を酢酸エチルと  
ヘキサンの混合溶媒より再結晶し、標題化合物 (4.36 g, 83%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.41 (9H, s), 2.27-2.33 (2H, m), 3.08 (2H, t,  $J = 7.3$  Hz),  
3.26 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.53 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.69 (2H, t,  $J = 6.1$   
Hz).

MS (FAB)  $m/z$  327  $(\text{M} + \text{H})^+$

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{23}\text{ClN}_2\text{O}_4\text{S}$ として

計算値: C, 44.10; H, 7.09; Cl, 10.85; N, 8.57; S, 9.81.

分析値: C, 44.18; H, 7.11; Cl, 10.69; N, 8.23, S, 9.76.

#### 参考例 1 1 2

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(3-ヒドロキシ-1-プロピル) スルホニル] ピペラ  
ジン

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(3-クロロ-1-プロピル) スルホニル] ピペラジン (1.18 g) を *N,N*-ジメチルホルムアミド (10 ml) に溶解し、酢酸カリウム (1.06 g) を加えて室温にて2時間攪拌後、100 °Cで3時間加熱攪拌した。酢酸エチルで希釈し、水および飽和炭酸水素ナトリウム水溶液を加えて攪拌したのち、有機層を分取し、5% クエン酸水溶液、水、および飽和食塩水で洗浄した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをテトラヒドロフラン (20 ml) に溶解し、水 (5 ml) および水酸化リチウム一水和物 (221 mg) を加え、18時間室温にて攪拌した。酢酸エチルおよび飽和食塩水を加え、有機層を分取後、水層から酢酸エチルで抽出した。有機層をあわせて飽和食塩水で洗浄後、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、溶媒を減圧留去した。得られた残渣を酢酸エチルとヘキサンの混合溶媒より再結晶して、標題化合物 (944 mg, 84%) を得た。

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 2.04-2.11 (2H, m), 3.06 (2H, t,  $J = 7.6$  Hz), 3.25 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.53 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.80 (2H, q,  $J = 5.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  309 ( $M + H$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{24}\text{N}_2\text{O}_5\text{S}$ として

計算値: C, 46.74; H, 7.84; N, 9.08; S, 10.40.

分析値: C, 46.80; H, 7.92; N, 9.05, S, 10.59.

### 参考例 113

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(3-メトキシメチルオキシ-1-プロピル) スルホニル] ピペラジン

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(3-ヒドロキシ-1-プロピル) スルホニル] ピペラジン (3.00 g) をジクロロメタン (60 ml) に溶解し、ジイソプロピルエチルアミン (2.72 ml) を加え、氷冷下メトキシメチルクロライド (1.11 ml) を加えた。室温にて15時間攪拌した後、ジクロロメタンで希釈し、水、5% クエン酸水溶液、および飽和食塩水で洗浄して無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留

去した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー（ヘキサン：酢酸エチル = 2 : 1）で精製し、標題化合物（3.32 g, 97%）を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 2.06-2.13 (2H, m), 3.03 (2H, m), 3.25 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.36 (3H, s), 3.52 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.63 (2H, t,  $J = 5.4$  Hz), 4.61 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  353 ( $M + H$ )<sup>+</sup>.

元素分析： $\text{C}_{14}\text{H}_{28}\text{N}_2\text{O}_6\text{S}$ として

計算値：C, 47.71; H, 8.01; N, 7.95; S, 9.10.

分析値：C, 47.77; H, 8.18; N, 7.97, S, 9.16.

#### 参考例 1 1 4

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(*E*)-4-クロロ- $\beta$ -[2-(メトキシメチルオキシ)エチル]- $\beta$ -スチリルスルホニル]ピペラジン と

4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(*Z*)-4-クロロ- $\beta$ -[2-(メトキシメチルオキシ)エチル]- $\beta$ -スチリルスルホニル]ピペラジン

アルゴン雰囲気下、4-*tert*-ブトキシカルボニル-1-[(3-メトキシメチルオキシ-1-プロピル)スルホニル]ピペラジン（800 mg）をテトラヒドロフラン（10 ml）に溶解し、 $-78^\circ\text{C}$ にて*tert*-ブチルリチウム（1.7 M ヘキサン溶液、1.47 ml）を滴下し、 $-78^\circ\text{C}$ で1時間攪拌した。トリメチルシリルクロライド（0.317 ml）を加え、 $-78^\circ\text{C}$ で90分間攪拌後、*tert*-ブチルリチウム（1.7 M ヘキサン溶液、1.47 ml）を滴下し、 $-78^\circ\text{C}$ で90分間攪拌した。 $-78^\circ\text{C}$ にて

-クロロベンズアルデヒド（352 mg）のテトラヒドロフラン溶液（テトラヒドロフラン 8 ml）を滴下し、2時間攪拌後、15時間かけて室温に戻して6時間攪拌した。氷冷下、5% クエン酸溶液（20 ml）、酢酸エチル（150 ml）を加えて有機層を分取し、水、および飽和食塩水で洗浄した。無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー（ヘキサン：酢酸エチル = 3 : 1 ~ 2 : 1）で

精製し、標題化合物 *E*体 (307 mg, 28%)、*Z*体 (751 mg, 70%) を得た。

*E*-form

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.42 (9H, s), 2.87 (2H, t,  $J = 7.3$  Hz), 3.21–3.28 (4H, m), 3.35 (3H, s), 3.46–3.56 (4H, m), 3.80 (2H, t,  $J = 7.3$  Hz), 4.60 (2H, s), 7.40 (2H, d,  $J = 8.5$  Hz), 7.46 (2H, d,  $J = 8.5$  Hz), 7.54 (1H, s).

*Z*-form

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.43 (9H, s), 2.77 (2H, dt,  $J = 6.4, 1.0$  Hz), 2.91–2.98 (4H, m), 3.19–3.25 (4H, m), 3.38 (3H, s), 3.82 (2H, t,  $J = 6.4$  Hz), 4.66 (2H, s), 7.07 (1H, s), 7.32 (2H, d,  $J = 8.6$  Hz), 7.35 (2H, d,  $J = 8.6$  Hz).

参考例 115

6-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール

6-クロロインドール (777 mg) のテトラヒドロフラン (25 ml) 溶液に $-78^\circ\text{C}$ にて $n$ -ブチルリチウム (1.61 M ヘキサン溶液, 3.34 ml) を加え、1時間で $-40^\circ\text{C}$ まで昇温した。反応液を再び $-78^\circ\text{C}$ に冷却し、塩化ベンゼンスルホニル (867  $\mu\text{l}$ ) を加え、3時間で室温まで昇温した。反応混液に水を加え、ジクロロメタンで抽出した。有機層を合わせて無水硫酸ナトリウムで乾燥後、減圧下濃縮し、得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (シリカゲル 40 g、ヘキサン：酢酸エチル = 5：7) で精製し、得られた白色固体をエタノールから再結晶して白色固体として表記化合物 (826 mg, 55%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  6.64 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 7.21 (1H, dd,  $J = 8.3, 1.2$  Hz), 7.42–7.60 (5H, m), 7.88 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 8.03 (1H, s).

元素分析： $\text{C}_{14}\text{H}_{10}\text{ClNO}_2\text{S}$ として

計算値：C, 57.63; H, 3.45; Cl, 12.15; N, 4.80; S, 10.99.

分析値：C, 57.48; H, 3.75; Cl, 12.34; N, 4.87; S, 10.87.



参考例 1 1 5 と同様に参考例 1 1 6 ～参考例 1 1 7 に示す化合物を合成した。

参考例 1 1 6

5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  6.61 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 7.26 (1H, dd,  $J = 8.3, 2.0$  Hz), 7.45 (2H, t,  $J = 7.3$  Hz), 7.50 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 7.56 (1H, m), 7.59 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 7.86 (2H, m), 7.92 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz).

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_{10}\text{ClNO}_2\text{S}$ として

計算値: C, 57.63; H, 3.45; Cl, 12.15; N, 4.80; S, 10.99.

分析値: C, 57.82; H, 3.58; Cl, 11.91; N, 4.79; S, 10.92.

参考例 1 1 7

5-ブromo-1-フェニルスルホニルインドール

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  6.60 (1H, d,  $J = 3.7$  Hz), 7.42 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.45 (2H, t,  $J = 8.8$  Hz), 7.55 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.57 (1H, d,  $J = 3.7$  Hz), 7.73 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 7.86 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.87 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_{10}\text{BrNO}_2\text{S}$ として

計算値: C, 50.01; H, 3.00; N, 4.17; Br, 23.77; S, 9.54.

分析値: C, 49.96; H, 2.97; N, 4.02; Br, 23.90; S, 9.53.

参考例 1 1 8

1-フェニルスルホニル-5-トリメチルシリルエチルインドール

5-ブromo-1-フェニルスルホニルインドール (1.50 g)、トリフェニルホスフィン (351 mg) をテトラヒドロフラン (7.00 ml) に溶解し、室温にてトリエチルアミン (2.00 ml)、*N,N*-ジメチルホルムアミド (7.00 ml)、トリメチルシリルアセチレン (945  $\mu\text{l}$ )、及び酢酸パラジウム (100 mg) を加えて5時間加熱還流した。室温まで放冷後、反応液に酢酸エチルと水を加えて有機層を分取し、無水硫

酸ナトリウムで乾燥後、減圧下溶媒を留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー（ヘキサン：酢酸エチル＝20：1～10：1）で精製し、白色固体として標題化合物（935 mg, 59 %）を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.24 (9H, s), 6.62 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 7.42 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.44 (2H, t,  $J = 7.8$  Hz), 7.52 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.56 (1H, d,  $J = 3.9$  Hz), 7.66 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 7.85 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.92 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  354 ( $M + H^+$ ).

#### 参考例 1 1 9

##### 5-クロロ-1-エチルインドール

5-クロロインドール（1.52 g）をベンゼン（10 ml）に溶解し、50% 水酸化ナトリウム水溶液（10 ml）、テトラブチルアンモニウム ブロミド（161 mg）、ブromoエタン（1.64 g）を加えて室温で40時間攪拌した。反応液に飽和塩化アンモニウム水溶液を加えた後、水とジクロロメタンを加えて有機層を分取した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー（酢酸エチル：ヘキサン＝1：20）で精製し、標題化合物（1.68 g, 93%）を無色結晶として得た。

$^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.46 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 4.16 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 6.43 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz), 7.14 (1H, d,  $J = 2.4$  Hz), 7.15 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.26 (1H,  $J = 8.3$  Hz), 7.59 (1H, s).

MS (EI)  $m/z$  179 ( $M^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ), 181 ( $M^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ).

#### 参考例 1 2 0

##### 塩化 6-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-スルホニル

6-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール（777 mg）のエーテル（12 ml）溶

液に  $-78^{\circ}\text{C}$  にて *tert*-ブチルリチウム (1.56 M ペンタン溶液, 1.78 ml) を滴下後、30分で  $0^{\circ}\text{C}$  まで昇温した。1時間攪拌後、反応混液を再び  $-78^{\circ}\text{C}$  に冷却して亜硫酸ガスを導入し、1時間で室温まで昇温後、1時間攪拌した。反応液を減圧濃縮した後、ヘキサンを加えて再び減圧濃縮した。得られた残渣をジクロロメタンに溶解し、 $0^{\circ}\text{C}$  にて *N*-クロロスクシンイミド (390 mg) を加え、1時間で室温まで昇温して30分間攪拌した。反応液にジクロロメタンと水を加え、有機層を分取して無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残渣をメタノールから再結晶し、白色固体として表記化合物 (857 mg, 79%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.39 (1H, dd,  $J = 8.3, 1.6$  Hz), 7.48-7.67 (4H, m), 7.68 (1H, s), 8.08 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 8.35 (1H, s).

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_9\text{ClNO}_4\text{S}_2$  として

計算値: C, 43.09; H, 2.32; Cl, 18.17; N, 3.59; S, 16.43.

分析値: C, 43.32; H, 2.67; Cl, 18.25; N, 3.64; S, 16.22.

参考例 120 と同様に参考例 121 ~ 128 に示す化合物を合成した。

#### 参考例 121

塩化 1-フェニルスルホニルインドール-2-スルホニル

$^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.40 (1H, t,  $J = 7.6$  Hz), 7.45-7.53 (2H, m), 7.57-7.67 (2H, m), 7.69 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.73 (1H, s), 8.08 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 8.31 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  355  $\text{M}^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_{10}\text{ClNO}_4\text{S}_2$  として

計算値: C, 47.26; H, 2.83; Cl, 9.96; N, 3.94; S, 18.02.

分析値: C, 47.33; H, 3.08; Cl, 10.04; N, 3.98; S, 18.18.

#### 参考例 122

塩化 5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-スルホニル

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.46-7.54 (2H, m), 7.58 (1H, dd,  $J = 9.3, 2.0$  Hz), 7.63 (1H, t,  $J = 7.3$  Hz), 7.64 (1H, s), 7.67 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 8.06 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 8.26 (1H, d,  $J = 9.3$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  291 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{C1}^{35}$ ), 293 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{C1}^{37}$ ).

元素分析:  $\text{C}_{14}\text{H}_9\text{Cl}_2\text{NO}_4\text{S}_2$ として

計算値: C, 43.09; H, 2.32; Cl, 18.27; N, 3.59; S, 16.43.

分析値: C, 42.98; H, 2.51; Cl, 18.36; N, 3.59; S, 16.47.

### 参考例 1 2 3

塩化 5-クロロ-1-エチルインドール-2-スルホニル

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.52 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 4.59 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 7.36 (1H, s), 7.39 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.45 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.73 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  277 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{C1}^{35}$ ), 279 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{C1}^{37}$ ).

### 参考例 1 2 4

塩化 1-フェニルスルホニル-5-トリメチルシリルエチニルインドール-2-スルホニル

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  0.26 (9H, s), 7.48 (2H, t,  $J = 7.8$  Hz), 6.61 (1H, t,  $J = 7.8$  Hz), 7.65 (1H, s), 7.69 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.79 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 8.04 (2H, d,  $J = 7.8$  Hz), 8.24 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  452 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C1}^{35}$ ], 454 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C1}^{37}$ ].

### 参考例 1 2 5

塩化 5-クロロベンゾ [b] フラン-2-スルホニル

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.57 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.59 (1H, s), 7.61 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.76 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  250 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ), 252 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ).

元素分析:  $\text{C}_8\text{H}_4\text{Cl}_2\text{O}_3\text{S}$ として

計算値: C, 38.27; H, 1.61; Cl, 28.24; S, 12.77.

分析値: C, 38.33; H, 1.71; Cl, 28.16; S, 12.57.

#### 参考例 1 2 6

塩化 6-クロロベンゾ[b]フラン-2-スルホニル

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.43 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.62 (1H, s), 7.69 (1H, s), 7.70 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  250 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ), 252 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ).

元素分析:  $\text{C}_8\text{H}_4\text{Cl}_2\text{O}_3\text{S}$ として

計算値: C, 38.27; H, 1.61; Cl, 28.24; S, 12.77.

分析値: C, 38.31; H, 1.60; Cl, 28.34; S, 12.60.

#### 参考例 1 2 7

塩化 5-クロロベンゾ[b]チオフェン-2-スルホニル

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.57 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.85 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.96 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 8.08 (1H, s).

MS (FD)  $m/z$  266 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ), 268 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ).

#### 参考例 1 2 8

塩化 6-クロロベンゾ[b]チオフェン-2-スルホニル

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  7.51 (1H, dd,  $J = 8.3, 1.5$  Hz), 7.90 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.92 (1H, s), 8.11 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  266  $[(M + H)^+, C_{13}^{35}]$ , 268  $[(M + H)^+, C_{13}^{37}]$ .

#### 参考例 1 2 9

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

塩化 5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-スルホニル (4.41 g) のジクロロメタン溶液 (75 ml) に、氷冷下 *tert*-ブチル 1-ピペラジンカルボキシレート (2.21 g)、トリエチルアミン (1.65 ml) を加えて室温で3時間攪拌した。反応終了後、水とジクロロメタンを加え、有機層を分取して無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (酢酸エチル : ヘキサン = 1 : 20) で精製し、標題化合物 (3.63 g, 60%) を無色結晶として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 (9H, s), 3.35-3.42 (4H, br), 3.50-3.55 (4H, br), 7.40-7.48 (4H, m), 7.53-7.58 (2H, m), 8.00-8.05 (2H, m), 8.23 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

参考例 1 2 9 と同様に参考例 1 3 0 ~ 1 3 3 に示す化合物を合成した。

#### 参考例 1 3 0

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(1-フェニルスルホニルインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 (9H, s), 3.34-3.44 (4H, br), 3.48-3.56 (4H, br), 7.33 (1H, t,  $J = 7.3$  Hz), 7.36-7.45 (2H, m), 7.47-7.61 (4H, m), 8.04 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 8.29 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  505  $M^+$ .

#### 参考例 1 3 1

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロ-1-エチルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.41 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 1.43 (9H, s), 3.16-3.23 (4H, m), 3.48-3.55 (4H, m), 4.45 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 7.03 (1H, s), 7.32-7.34 (2H, m), 7.66 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  427 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ), 429 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ).

### 参考例 1 3 2

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル) スルホニル] ホモピペラジン

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.47 (9H, s), 1.98-2.17 (2H, m), 3.42-3.57 (8H, m), 7.28 (1H, s), 7.41-7.46 (3H, m), 7.53-7.57 (2H, m), 8.05 (2H, d,  $J = 7.3$  Hz), 8.20 (1H, d,  $J = 9.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  554 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 556 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

### 参考例 1 3 3

*cis*-1-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル) スルホニル]-3, 5-ジメチルピペラジン

$^1\text{H NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.07 (6H, d,  $J = 6.4$  Hz), 2.45-2.55 (2H, m), 2.95-3.05 (2H, m), 3.75-3.80 (2H, m), 7.35-7.50 (4H, m), 7.50-7.60 (2H, m), 8.00-8.05 (2H, m), 8.22 (1H, d,  $J = 9.3$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  468 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 470 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

### 参考例 1 3 4

1-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル) スルホニル]-3-(エトキシカルボニル) ピペラジン

*tert*-ブチル 1-(3-エトキシカルボニル) ピペラジンカルボキシレート (3.97 g) に飽和塩酸エタノール溶液を加えて30分間攪拌した。溶媒を減圧留去後、ジクロロメタン (200 ml) に懸濁させ、塩化 5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-スルホニル (6.00 g) とトリエチルアミン (6.40 ml) を加えて室温で3時間攪拌した。水とジクロロメタンを加えて有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (メタノール : ジクロロメタン = 1 : 20) で精製し、標題化合物 (4.44 g, 56%) を無色結晶として得た。

<sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.24 (3H, t,  $J$  = 6.8 Hz), 2.87-2.95 (1H, m), 3.11-3.28 (3H, m), 3.57-3.66 (2H, m), 3.91-3.98 (1H, m), 4.17 (2H, q,  $J$  = 6.8 Hz), 7.38-7.48 (4H, m), 7.55-7.59 (2H, m), 8.03 (2H, d,  $J$  = 7.8 Hz), 8.21 (1H, d,  $J$  = 9.3 Hz).

MS (EI)  $m/z$  511 ( $M^+$ , C1<sup>35</sup>), 513 ( $M^+$ , C1<sup>37</sup>)<sup>+</sup>.

### 参考例 135

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン (4.84 g) に、0.5 N水酸化ナトリウムメタノール溶液 (20 ml) を加え室温で1時間攪拌した。氷冷下飽和塩化アンモニウム水溶液を加えた後、水とジクロロメタンを加えて有機層を分取した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (メタノール : ジクロロメタン = 1 : 20) で精製し、標題化合物 (3.33 g, 93%) を無色粉末として得た。

<sup>1</sup>H-NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  1.40 (9H, s), 3.05-3.14 (4H, m), 3.48-3.57 (4H, m), 6.96 (1H, d,  $J$  = 2.0 Hz), 7.33 (1H, dd,  $J$  = 8.8, 2.0 Hz), 7.38 (1H, d,  $J$  = 8.8



Hz), 7.67 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 8.78 (1H, br).

MS (FAB)  $m/z$  400  $[(M + H)^+, C^{135}]$ , 402  $[(M + H)^+, C^{137}]$ .

#### 参考例 1 3 6

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-3-メトキシカルボニルピペラジン

参考例 1 3 5 と同様に標題化合物を得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.70-2.82 (1H, m), 2.84-2.97 (2H, m), 3.06-3.16 (1H, m), 3.37-3.46 (1H, m), 3.61 (1H, dd,  $J = 8.3, 3.4$  Hz), 3.69-3.80 (1H, m), 3.75 (3H, s), 6.98 (1H, s), 7.32 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.38 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.67 (1H, s), 8.80 (1H, s).

MS (EI)  $m/z$  357 ( $M^+$ ,  $C^{135}$ ), 359 ( $M^+$ ,  $C^{137}$ ).

#### 参考例 1 3 7

3-(*N*-メチルカルバモイル)-1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]-3-メトキシカルボニルピペラジン (480 mg) をテトラヒドロフラン (25 ml) に溶解し、0.2 N水酸化ナトリウムメタノール溶液 (7 ml)、水 (2 ml) を加えて室温で1時間攪拌した後に、溶媒を減圧留去した。得られた黄色アモルファス (520 mg) を*N,N*-ジメチルホルムアミド (60 ml) に溶解し、室温で1-ヒドロキシベンゾトリアゾール (18.1 mg)、1-(3-ジメチルアミノプロピル)-3-エチルカルボジイミド 塩酸塩 (334 mg)、メチルアミン 塩酸塩 (90.5 mg) および*N*-メチルモルホリン (271 mg) を加えて室温で12時間攪拌した。溶媒を減圧留去し、水と酢酸エチルを加えて有機層を分取したのち、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (メタノール : ジクロロメタン = 1 : 50) で精製して、標題化合物 (140 mg, 29%) を褐色非晶質固体として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-}d_6$ )  $\delta$  2.39-2.52 (2H, m), 2.64 (3H, d,  $J = 3.9$  Hz), 2.18-2.30 (1H, m), 2.94-3.00 (1H, m), 3.20-3.37 (2H, m), 3.57-3.66 (1H, m), 6.90-6.95 (1H, br), 7.22-7.27 (1H, br), 7.44-7.49 (1H, m), 7.66-7.78 (2H, m), 8.04-8.17 (3H, m), 12.24 (1H, m).

### 参考例 138

#### 1-[(5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン (3.63 g) をメタノール (100 ml) に溶解し、氷冷下 0.2 N 水酸化ナトリウムメタノール溶液 (100 ml) を加え室温で 12 時間攪拌した。氷冷下飽和塩化アンモニウム水溶液を加えた後、水とジクロロメタンを加えて有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮して析出した固体をろ取し、飽和塩酸エタノールに溶解して 30 分間攪拌した。溶媒を減圧留去し、減圧乾燥することにより、標題化合物 (1.25 g, 54%) を無色粉末として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO-}d_6$ )  $\delta$  3.25-3.43 (8H, br), 7.46 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.64 (1H, d,  $J = 8.8$ ), 7.93 (1H, s), 9.33 (1H, br), 12.70 (1H, br).

MS (EI)  $m/z$  298 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ), 300 ( $\text{M}^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ).

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{14}\text{ClN}_3\text{O}_2\text{S} \cdot \text{HCl} \cdot 0.5\text{H}_2\text{O}$  として

計算値: C, 41.75; H, 4.67; Cl, 20.54; N, 12.17; S, 9.29.

分析値: C, 41.78; H, 4.98; Cl, 20.40; N, 11.88; S, 9.34.

### 参考例 139

#### 1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロ-1-メチルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

水素化ナトリウム (油性約 60%, 50.3 mg) を石油エーテルで 2 回洗浄し、テ

トラヒドロフラン (10 ml) に懸濁させ、氷冷下 1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[ (5-クロロインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン (457 mg) のテトラヒドロフラン溶液 (テトラヒドロフラン 10 ml) を加えて 30 分間攪拌した。氷冷下、ヨードメタン (179 mg) を加えた後、室温に昇温して 85 時間攪拌した。水とジエチルエーテルを加えて有機層を分取し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (メタノール : ジクロロメタン = 1 : 50) で精製し、標題化合物 (270 mg, 57%) を無色粉末として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.42 (9H, s), 3.14-3.21 (4H, m), 3.48-3.55 (4H, m), 3.96 (3H, s), 7.06 (1H, s), 7.31 (1H, d,  $J = 9.3$  Hz), 7.36 (1H, dd,  $J = 9.3, 2.0$  Hz), 7.66 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  413 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ], 415 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ].

#### 参考例 140

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[ (5-クロロ-1-エトキシカルボニルメチルインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 139 と同様に標題化合物を得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.27 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 1.43 (9H, s), 3.10-3.19 (4H, m), 3.45-3.53 (4H, m), 4.22 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 5.15 (2H, s), 7.15 (1H, s), 7.17 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.26 (1H, s), 7.36 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.68 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  485 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ], 487 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ].

#### 参考例 141

*cis*-1-(4-ブロモベンゾイル)-4-[ (5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル) スルホニル] -2,6-ジメチルピペラジン

*cis*-1-[(5-クロロ-1-フェニルスルホニルインドール-2-イル)スルホニル]-3,5-ジメチルピペラジン (1.30 g) をジクロロメタン (40 ml) に溶解し、氷冷下ジイソプロピルエチルアミン (645  $\mu$ l) を加えた後、塩化 4-ブロモベンゾイル (0.74 g) のジクロロメタン溶液 (ジクロロメタン 5 ml) を滴下して室温で3時間攪拌した。飽和炭酸水素ナトリウム水溶液を加えて有機層を分取し、0.5N 塩酸、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧下留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン : 酢酸エチル = 2 : 1 ~ 1 : 1) で精製し、標題化合物 (1.8 g, 97%) を淡黄色アモルファスとして得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 (6H, d,  $J = 6.8$  Hz), 3.05-3.15 (2H, m), 3.74 (2H, m), 4.40 (2H, br), 7.23 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.40-7.50 (4H, m), 7.50-7.60 (4H, m), 8.00-8.05 (2H, m), 8.24 (1H, d,  $J = 9.3$  Hz).

MS (EI)  $m/z$  649  $[(M + H)^+, \text{C}1^{35}]$ , 651  $[(M + H)^+, \text{C}1^{37}]$ .

#### 参考例 1 4 2

##### エチル-2-(4-ピリジル)-5-ピリミジンカルボン酸

室温でナトリウムエトキシド (590 mg) を無水エタノール (50 ml) に溶解させ、4-アミノピリジン 塩酸塩 (1.31 g) を加え、エチル 2,2-ジホルミル酢酸 (1.20 g) の無水エタノール溶液 (エタノール 50 ml) を滴下した後に6時間加熱還流した。溶媒を減圧留去して得られた残さにジクロロメタンと水を加え、有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥した。溶媒を減圧濃縮した後、残さをエタノール中結晶化させ、標題化合物 (279 mg, 15%) を無色結晶として得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  1.46 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 4.48 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 8.35 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 8.82 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 9.38 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  230  $(M + H)^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{11}\text{N}_3\text{O}_2$  として

計算値 : C, 62.87; H, 4.84; N, 18.33.

分析値 : C, 62.80; H, 4.78; N, 18.25.

#### 参考例 1 4 3

##### 2-(4-ピリジル)-5-ピリミジンカルボン酸

参考例 1 1 と同様の反応により、エチル2-(4-ピリジル)-5-ピリミジンカルボン酸を原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  8.32 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 8.82 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 9.38 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  201 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

元素分析 :  $\text{C}_{10}\text{H}_7\text{N}_3\text{O}_2 \cdot 0.1\text{H}_2\text{O}$ として

計算値 : C, 59.17; H, 3.58; N, 20.70.

分析値 : C, 59.09; H, 3.49; N, 20.69.

#### 参考例 1 4 4

##### 1-[(5-ブロモピリミジン-2-イル)カルボニル]-4-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、5-ブロモ-2-ピリミジンカルボン酸、1-[(5-クロロインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン塩酸塩を原料として、標題化合物を無色固体として得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.14-3.17 (2H, m), 3.25-3.29 (2H, m), 3.52-3.55 (2H, m), 3.92-3.95 (2H, m), 7.97 (1H, s), 7.32-7.40 (2H, m), 7.69 (1H, s), 8.79 (1H, br s), 8.84 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  484 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$  and  $\text{Br}^{79}$ ], 486 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$  and  $\text{Br}^{81}$ ,  $\text{Cl}^{37}$  and  $\text{Br}^{79}$ ], 488 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$  and  $\text{Br}^{81}$ ]

## 参考例 1 4 5

## 6-クロロ-2-メルカプトベンゾチアゾール

氷冷下、二塩化二硫黄 (25.0 ml) に *p*-クロロアニリン (5.70 g) の酢酸溶液 (酢酸 7 ml) を30分間で滴下した後、室温で3時間、約80℃で3時間攪拌した。反応液にベンゼン (50 ml) を加えて緑色結晶を濾取し、ベンゼンで洗浄した。このものを氷水 (500 ml) に溶解させ1時間攪拌した後、6N水酸化ナトリウム水溶液でアルカリ性にし、さらに炭酸水素ナトリウム (6 g) を加えて100℃で1時間攪拌した。反応液に活性炭を加えてセライト濾過し、濾液に二硫化炭素

(2.70 ml) を加えて約50℃で昇温し1.5時間攪拌した。室温まで冷却した後、1 N塩酸で酸性にして析出した無色粉末を濾取、乾燥して標題化合物 (1.30 g, 14%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (DMSO-*d*<sub>6</sub>) δ 7.28 (1H, d, *J* = 8.3 Hz), 7.45 (1H, dd, *J* = 8.3, 2.0 Hz), 7.86 (1H, d, *J* = 2.0 Hz).

MS (FAB) *m/z* 202 [(M + H)<sup>+</sup>, C1<sup>35</sup>], 204 [(M + H)<sup>+</sup>, C1<sup>37</sup>].

元素分析: C<sub>7</sub>H<sub>4</sub>ClNS<sub>2</sub>として

計算値: C, 41.68; H, 2.00; Cl, 17.58; N, 6.94; S, 31.80.

分析値: C, 41.64; H, 2.13; Cl, 17.83; N, 6.94; S, 31.70.

## 参考例 1 4 6

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルフェニル] ピペラジン

室温で *tert*-ブチル 1-ピペラジincarボキシレート (5.58 g)、5-クロロ-2-メルカプトベンゾチアゾール (1.21 g) および水酸化ナトリウム (0.48 g) を水 (25 ml) に溶解させ、よう素 (1.53 g) およびよう化カリウム (1.65 g) を含む水溶液 (25 ml) をゆっくり滴下した。析出してきた無色結晶を濾取し、水で洗浄後、減圧下乾燥して標題化合物 (1.1 g, 48%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.48 (9H, s), 3.24 (4H, br s), 3.58 (4H, br s), 7.26 (1H, m), 7.70 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.81 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  386  $[(M + H)^+, \text{C1}^{35}]$ , 388  $[(M + H)^+, \text{C1}^{37}]$ .

#### 参考例 1 4 7

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(6-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルフェニル] ピペラジン

参考例 1 4 6 と同様に標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.48 (9H, s), 3.24 (4H, br s), 3.58 (4H, br s), 7.37 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.73 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.77 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  386  $[(M + H)^+, \text{C1}^{35}]$ , 388  $[(M + H)^+, \text{C1}^{37}]$ .

#### 参考例 1 4 8

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

室温で 1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(5-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルフェニル] ピペラジン (1.10 g)、炭酸カリウム (1.30 g) をエタノール (30 ml) と水 (10 ml) の混合溶媒に懸濁させ、0℃で3-クロロ過安息香酸 (2.11 g) のエタノール (25 ml) を滴下後、室温まで昇温し24時間攪拌した。チオ硫酸ナトリウムと酢酸エチルを加えて有機層を分取後、無水硫酸マグネシウムで乾燥し、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ 2% メタノール-ジクロロメタン) で精製して標題化合物 (293 mg, 25%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.43 (9H, s), 3.35-3.43 (4H, m), 3.51-3.58 (4H, m), 7.55 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.90 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.18 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  418  $[(M + H)^+, C1^{35}]$ , 420  $[(M + H)^+, C1^{37}]$ .

#### 参考例 1 4 9

1-*tert*-ブトキシカルボニル-4-[(6-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 1 4 8 と同様に標題化合物を得た。

$^1H$  NMR ( $CDCl_3$ )  $\delta$  1.43 (9H, s), 3.35-3.43 (4H, m), 3.50-3.58 (4H, m), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.97 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 8.10 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  418  $[(M + H)^+, C1^{35}]$ , 420  $[(M + H)^+, C1^{37}]$ .

参考例 3 5 と同様に参考例 1 5 0 ~ 参考例 1 5 1 に示す化合物を合成した。

#### 参考例 1 5 0

1-[(5-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩

$^1H$  NMR ( $DMSO-d_6$ )  $\delta$  3.23 (4H, br s), 3.56 (4H, br s), 7.78 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 8.39-8.43 (2H, m).

MS (FAB)  $m/z$  318  $[(M + H)^+, C1^{35}]$ , 320  $[(M + H)^+, C1^{37}]$ .

#### 参考例 1 5 1

1-[(6-クロロベンゾチアゾール-2-イル) スルホニル] ピペラジン 塩酸塩

$^1H$  NMR ( $DMSO-d_6$ )  $\delta$  3.21-3.27 (4H, m), 3.52-3.57 (4H, m), 7.79 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 8.28 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.53 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  318  $[(M + H)^+, C1^{35}]$ , 320  $[(M + H)^+, C1^{37}]$ .

元素分析:  $C_{11}H_{12}ClN_3O_2S_2 \cdot 1.05HCl \cdot 0.5H_2O$  として

計算値: C, 36.19; H, 3.88; Cl, 19.91; N, 11.51; S, 17.57.

分析値: C, 36.19; H, 4.10; Cl, 20.08; N, 11.50; S, 17.19.



参考例 1 と同様に参考例 1 5 2 ～参考例 1 5 5 に示す化合物を合成した。

参考例 1 5 2

1-[(5-クロロベンゾ[b]フラン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  3.20 (4H, br), 3.45 (4H, br), 7.62 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.76 (1H, s), 7.85 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.96 (1H, s), 9.41 (1H, br).

MS (FAB)  $m/z$  301  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35}]$ , 303  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{37}]$ .

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{13}\text{ClN}_2\text{O}_3\text{S} \cdot \text{HCl} \cdot 0.1\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 42.51; H, 4.22; Cl, 20.91; N, 8.26; S, 9.46.

分析値: C, 42.38; H, 4.33; Cl, 20.92; N, 8.18; S, 9.58.

参考例 1 5 3

1-[(6-クロロベンゾ[b]フラン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  3.20 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.42 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 7.51 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 7.82 (1H, s), 7.89 (1H, d,  $J = 7.8$  Hz), 9.18 (1H, br).

MS (FAB)  $m/z$  301  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35}]$ , 303  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{37}]$ .

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{13}\text{ClN}_2\text{O}_3\text{S} \cdot \text{HCl} \cdot 0.5\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 41.63; H, 4.37; Cl, 20.48; N, 8.09; S, 9.26.

分析値: C, 41.54; H, 4.32; Cl, 20.49; N, 7.90; S, 9.07.

参考例 1 5 4

1-[(5-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  3.20-3.50 (8H, m), 7.64 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 8.12 (1H, s), 8.20 (1H, s), 8.23 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 9.22 (2H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  317  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35}]$ , 319  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{37}]$ .

元素分析:  $\text{C}_{12}\text{H}_{13}\text{ClN}_2\text{O}_2\text{S}_2 \cdot \text{HCl} \cdot 1.6 \text{H}_2\text{O}$ として

計算値 : C, 37.72; H, 4.54; Cl, 18.56; N, 7.33; S, 16.78.

分析値 : C, 37.56; H, 4.67; Cl, 18.72; N, 7.17; S, 16.56.

#### 参考例 1 5 5

1-[(6-クロロベンゾ[b]チエン-2-イル)スルホニル]ピペラジン 塩酸塩

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  3.20-3.38 (8H, m), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 8.10 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.16 (1H, s), 8.36 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 9.29 (2H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  317  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35}]$ , 319  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{37}]$ .

元素分析 :  $\text{C}_{12}\text{H}_{13}\text{ClN}_2\text{O}_2\text{S}_2 \cdot \text{HCl}$ として

計算値 : C, 40.80; H, 3.99; Cl, 20.07; N, 7.93; S, 18.15.

分析値 : C, 40.64; H, 4.04; Cl, 20.06; N, 7.90; S, 17.91.

#### 参考例 1 5 6

1-[(5-ブロモピリミジン-2-イル)カルボニル]-4-[(6-クロロナフタレン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様に標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.10-3.13 (2H, m), 3.22-3.25 (2H, m), 3.49-3.53 (2H, m), 3.90-3.94 (2H, m), 7.59 (1H, dd,  $J = 8.8, 2.0$  Hz), 7.75 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.91-7.95 (3H, m), 8.30 (1H, br s), 8.82 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  495  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35} \text{ and } \text{Br}^{79}]$ , 497  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{35} \text{ and } \text{Br}^{81}, \text{Cl}^{37} \text{ and } \text{Br}^{79}]$ , 499  $[(M + H)^+, \text{Cl}^{37} \text{ and } \text{Br}^{81}]$ .

#### 参考例 1 5 7

1-[(5-ブロモピリミジン-2-イル)カルボニル]-4-[(6-クロロベンゾチオフェン-2-イル)スルホニル]ピペラジン

参考例 1 2 と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.19-3.23 (2H, m), 3.29-3.33 (2H, m), 3.53-3.56 (2H, m), 3.93-3.97 (2H, m), 7.46 (1H, dd,  $J = 8.8, 1.5$  Hz), 7.77 (1H, s), 7.83 (1H, d,  $J = 8.8$  Hz), 7.88 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 8.84 (2H, s).

MS (FAB)  $m/z$  501 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$  and  $\text{Br}^{79}$ ], 503 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$  and  $\text{Br}^{81}$ ,  $\text{Cl}^{37}$  and  $\text{Br}^{79}$ ], 505 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$  and  $\text{Br}^{81}$ ]

元素分析:  $\text{C}_{17}\text{H}_{14}\text{BrClN}_4\text{O}_3\text{S}_2$ として

計算値: C, 40.69; H, 2.81; N, 11.17; S, 12.78.

分析値: C, 40.90; H, 2.87; N, 10.92; S, 12.87.

#### 参考例 1 5 8

##### 1-ベンジル-4-*tert*-ブトキシカルボニルピペラジン

*tert*-ブチル1-ピペラジンカルボキシラート (2.50 g) をアセトニトリル (80 ml) に溶解し、氷冷下臭化ベンジル (1.59 ml) 及びトリエチルアミン (1.87 ml) を滴下し、室温にて90分間攪拌した。溶媒を減圧留去した後、蒸留水、ジクロロメタンを加えて有機層を分取し、飽和食塩水で洗浄した。無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (酢酸エチル : ヘキサン = 1 : 20 ~ 1 : 5) で精製し、標題化合物 (3.12 g, 84%) を無色粉末として得た。

$^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  1.45 (9H, s), 2.38 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.42 (4H, t,  $J = 4.8$  Hz), 3.51 (2H, s), 7.25-7.29 (1H, m), 7.30-7.33 (4H, m).

MS (EI)  $m/z$  276  $\text{M}^+$ .

#### 参考例 1 5 9

##### 1-ベンジルピペラジン 塩酸塩

1-ベンジル-4-*tert*-ブトキシカルボニルピペラジン (3.12 g) に飽和塩酸エタ

ノールを加え、室温で90分間攪拌し、溶媒を減圧留去及び乾燥して標題化合物 (2.73 g, 97%) を白色粉末として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  3.05–3.67 (9H, m), 4.38 (2H, br), 7.35–7.70 (5H, m), 9.61 (1H, br).

MS (EI)  $m/z$  176  $\text{M}^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{11}\text{H}_{16}\text{N}_2 \cdot 2\text{HCl} \cdot 0.2\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 52.27; H, 7.34; Cl, 28.05; N, 11.27.

分析値: C, 52.04; H, 7.36; Cl, 27.89; N, 11.24.

#### 参考例 160

##### 1-ベンジル-4-スルファモイルピペラジン

クロロスルホニルイソシアナート (0.35 ml) をジクロロメタン (5 ml) に溶解し、氷冷下 *tert*-ブタノール (0.21 ml) を滴下し、30分間攪拌した。これを、氷冷下1-ベンジルピペラジン 2 塩酸塩 (0.25 g) のジクロロメタン溶液 (ジクロロメタン 20 ml) に滴下したのち、トリエチルアミン (0.28 ml) を加えて氷冷下30分間攪拌し、更に室温で1時間攪拌した。蒸留水、ジクロロメタンを加えて有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (メタノール : ジクロロメタン = 1 : 50 ~ 1 : 25) で精製し、1-ベンジル-[4-(*N-tert*-ブトキシカルボニル)スルファモイル]ピペラジンを無色粉末として得た。これに飽和塩酸エタノールを加え、室温で1時間攪拌し、溶媒を減圧留去した後に、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液とジクロロメタンを加え、有機層を分取し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、溶媒を減圧留去し、標題化合物 (0.26 g, quant.) を無色粉末として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.58 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.22 (4H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.56 (2H, s), 4.33 (2H, br), 7.27–7.36 (5H, m).

MS (EI)  $m/z$  255  $M^+$ .

#### 参考例 1 6 1

##### 3, 4-ビス(ブromoメチル)-1-クロロベンゼン

1-クロロ-3, 4-ジメチルベンゼン (20.0 ml) をアセトニトリル (500 ml) に溶解し、*N*-ブromosクシンイミド (53.0 g) とアゾイソブチロニトリル (1.20 g) を加え、1 時間加熱還流した。冷却後、溶媒を減圧留去して得られた残さにジクロロメタンを加え、析出物を濾去し、濾液を減圧濃縮した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ヘキサン) に付し、標題化合物 (41.5 g, 93%) を無色油状物として得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  4.59 (2H, s), 4.61 (2H, s), 7.27-7.36 (3H, m).

MS (EI)  $m/z$  295  $M^+$ .

#### 参考例 1 6 2

##### 1-ベンジル-4-[(5-クロロイソインドール-2-イル)スルホニル]ピペラジン

1-ベンジル-4-スルファモイルピペラジン (251 mg) をエタノール (5 ml) に溶解し、3, 4-ビス(ブromoメチル)-1-クロロベンゼン (293 mg) と炭酸カリウム (204 mg) を加え、3 時間半加熱還流した。冷却後、析出物を濾去し、濾液を減圧留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (ジクロロメタン ~ エタノール : ジクロロメタン = 1 : 100) で精製し、標題化合物 (222 mg, 58%) を得た。

$^1\text{H-NMR}$  ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.37-2.58 (4H, m), 3.24-3.41 (4H, m), 3.53 (2H, s), 4.64 (4H, m), 7.13-7.34 (8H, m).

MS (FAB)  $m/z$  392 [ $(M + H)^+$ ,  $\text{Cl}^{35}$ ], 394 [ $(M + H)^+$ ,  $\text{Cl}^{37}$ ].

#### 参考例 1 6 3

## 1-[ (5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

1-ベンジル-4-[ (5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン (222 mg) の 1、2-ジクロロエタン溶液 (20 ml) に、氷冷下クロロギ酸 1-クロロエチル (81 mg) を加えて 15 分間攪拌し、更に 1 時間加熱還流した。冷却後、溶媒を減圧留去して得られた残さに乾燥メタノールを加え、1 時間加熱還流した。冷却後、減圧下溶媒留去して得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー (エタノール : ジクロロメタン = 1 : 50 ~ 1 : 10) で精製し、標題化合物 (120 mg, 70%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.96 (4H, t,  $J = 4.4$  Hz), 3.09-3.22 (1H, br), 3.30 (4H, t,  $J = 4.4$  Hz), 4.65 (4H, m), 7.14-7.35 (3H, m).

MS (FAB)  $m/z$  302 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{135}$ ], 304 [ $(\text{M} + \text{H})^+$ ,  $\text{C}^{137}$ ].

## 参考例 164

## 1-[ (5-ブロモピリミジン-2-イル) カルボニル] -4-[ (5-クロロイソインドール-2-イル) スルホニル] ピペラジン

参考例 12 と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$ -NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  3.35 (2H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.44 (2H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.49 (2H, t,  $J = 4.9$  Hz), 3.91 (2H, t,  $J = 4.9$  Hz), 4.65-4.68 (4H, m), 7.17 (1H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.23 (1H, s), 7.28 (1H, m), 8.88 (2H, s).

MS (EI)  $m/z$  486  $\text{M}^+$ .

## 参考例 165

## 2-(フラン-2-イル) -5-(ピリジン-4-イル) ピラジン

室温で 2-クロロ-5-(フラン-2-イル) ピラジン (N. Sato, *J. Heterocyclic Chem.*, 19, 407 (1982)) (1.00 g) と (ピリジン-4-イル) ボロン酸 (1.09 g) をジメトキシエタン (50 ml) とメタノール (50 ml) の混合溶媒に懸濁させ、この反応液に

テトラキス（トリフェニルホスフィン）パラジウム(0) (640 mg) とフッ化セシウム (5.55 g) を順次加えて16時間加熱還流した。冷却後濃縮し、ジクロロメタンと水を加えて有機層を分取した。無水硫酸ナトリウムで乾燥させ、活性炭で処理し、セライト濾過した後、約5 mlまで濃縮し、石油エーテル (50 ml) を加えて析出してきた黄色結晶性粉末を濾取、乾燥して標題化合物 (716 mg, 58%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  6.62 (1H, dd,  $J = 3.4, 2.0$  Hz), 7.23 (1H, d,  $J = 3.4$  Hz), 7.65 (1H, d,  $J = 2.0$  Hz), 7.94 (2H, d,  $J = 6.4$  Hz), 8.77 (2H, d,  $J = 6.4$  Hz), 9.03 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 9.07 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  224 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

#### 参考例 166

##### 5-(ピリジン-4-イル)ピラジン-2-カルボン酸

室温で過マンガン酸カリウム (700 mg)、塩化 トリオクチルメチルアンモニウム (1滴) を水 (20 ml) とベンゼン (20 ml) の混合溶媒に溶解させ、2-(フラン-2-イル)-5-(ピリジン-4-イル)ピラジン (700 mg) を少しずつ加えて室温で17時間攪拌した。エタノールを加えて過剰の過マンガン酸カリウムを分解した後溶媒を留去し、得られた残さに水 (100 ml) を加えてセライト濾過し、濾液に1規定塩酸を加えてpH6にした。無色結晶が析出するまで溶媒を留去し、無色結晶を濾取乾燥して標題化合物 (491 mg, 79%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$  with one drop of TFA)  $\delta$  8.61 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 9.04 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 9.37 (1H, s), 9.66 (1H, s).

MS (FAB)  $m/z$  202 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$ .

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_7\text{N}_3\text{O}_2 \cdot 0.4\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 57.64; H, 3.77; N, 20.16.

分析値: C, 57.77; H, 3.79; N, 20.33.

## 参考例 1 6 7

## 4-(3-メチルピリジン-4-イル)安息香酸

参考例 2 と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  2.41 (3H, s), 7.68 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.93 (1H, d,  $J = 5.9$  Hz), 8.12 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.85 (1H, d,  $J = 5.9$  Hz), 8.95 (1H, s).

## 参考例 1 6 8

## 4-アミジノ安息香酸 塩酸塩

4-シアノ安息香酸 (10 g) をエタノール (250 ml) に懸濁させ、氷冷下、塩酸ガスを4時間導入し、室温まで昇温し密栓して18時間放置した。減圧下で濃縮乾固し、得られた残さを再びエタノール (250 ml) に懸濁させ、氷冷下アンモニアガスを4時間導入して飽和させた。室温まで昇温した後、密栓して3日間放置した。減圧下溶媒を留去して得られた残さに希塩酸を加えて酸性にして再び濃縮し、合成吸着剤クロマトグラフィー (ダイヤイオン® HP-20, 水 ~ 20% アセトニトリル - 水) にて精製した。得られた粗精製物を20% メタノール-ジクロロメタンに溶解し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー (20% メタノール-ジクロロメタン) で精製し、得られた画分にエタノール性塩酸を加えて濃縮し、無色結晶性粉末を濾取乾燥して粗精製物の4-アミジノ安息香酸 エチル エステル 塩酸塩 (5.25g) を得た。

4-アミジノ安息香酸 エチル エステル 塩酸塩 (3.00 g) を室温で1規定塩酸 (100 ml) に溶解させ、2時間加熱還流した。減圧下溶媒を留去し、析出してきた無色結晶性粉末を濾取し少量のテトラヒドロフランで洗浄して標題化合物 (2.69 g, 94%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{DMSO}-d_6$ )  $\delta$  7.91 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.12 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 9.21 (2H, br s), 9.49 (2H, br s), 13.50 (1H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  165 ( $\text{M} + \text{H}$ ) $^+$



元素分析： $C_8H_8N_2O_2 \cdot HCl \cdot H_2O$ として

計算値：C, 43.95; H, 5.07; Cl, 16.22; N, 12.81.

分析値：C, 44.08; H, 5.02; Cl, 16.00; N, 12.71.

#### 参考例 169

4-(4,5-ジヒドロイミダゾール-2-イル)安息香酸 エチル エステル 塩酸塩

4-シアノ安息香酸 塩酸塩 (5.00 g) をエタノール (250 ml) に懸濁させ、氷冷下、塩酸ガスを4時間吹き込んだ後、室温まで昇温し密栓して18時間放置した。減圧下で濃縮乾固し、得られた残さにジエチルエーテルを加えて無色結晶を濾取乾燥して4-[1-(エトキシ)イミノメチル]安息香酸 エチル エステル 塩酸塩 (5.80 g, 66%) を得た。

4-[1-(エトキシ)イミノメチル]安息香酸 エチル エステル 塩酸塩 (2.00 g) をエタノール (30 ml) に溶解し、氷冷下 エチレンジアミン (0.52 ml) を加えて室温まで昇温した後、一晚攪拌した。減圧下溶媒を留去して得られた残さに希塩酸を加えて酸性にして再び濃縮し、合成吸着剤クロマトグラフィー (ダイヤイオン® HP-20, 水 ~ 50% アセトニトリル - 水) にて精製した。得られた画分にエタノール性塩酸を加えて濃縮し、テトラヒドロフランを加えて析出してきた無色結晶性粉末を濾取乾燥して標題化合物 (1.63g, 19%) を得た。

$^1H$  NMR ( $DMSO-d_6$ )  $\delta$  1.35 (3H, t,  $J = 7.3$  Hz), 4.02 (4H, s), 4.37 (2H, q,  $J = 7.3$  Hz), 8.17 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 8.21 (2H, d,  $J = 8.8$  Hz), 11.08 (2H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  219 ( $M + H$ )<sup>+</sup>

元素分析： $C_{12}H_{14}N_2O_2 \cdot HCl \cdot 0.2H_2O$ として

計算値：C, 55.80; H, 6.01; Cl, 13.72; N, 10.84.

分析値：C, 55.81; H, 5.99; Cl, 13.93; N, 11.00.

## 参考例 170

4-(4,5-ジヒドロイミダゾール-2-イル)安息香酸 塩酸塩

参考例 8 と同様に、4-(4,5-ジヒドロイミダゾール-2-イル)安息香酸 エチル エステルを原料として標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR (DMSO- $d_6$ )  $\delta$  4.03 (4H, s), 8.15 (4H, s), 10.99 (2H, br s).

MS (FAB)  $m/z$  191 ( $M + H$ ) $^+$

元素分析:  $\text{C}_{10}\text{H}_{10}\text{N}_2\text{O}_2 \cdot \text{HCl} \cdot 1.2\text{H}_2\text{O}$ として

計算値: C, 48.38; H, 5.44; Cl, 14.28; N, 11.28.

分析値: C, 48.37; H, 5.29; Cl, 14.64; N, 11.12.

## 参考例 171

4-(4-メチルフェニル)ピリジン

参考例 2 と同様の反応により、標題化合物を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.42 (3H, s), 7.30 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.51 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz), 7.55 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 8.64 (2H, d,  $J = 5.9$  Hz).

## 参考例 172

2-アミノ-4-(4-メチルフェニル)ピリジン

アルゴン下、4-(4-メチルフェニル)ピリジン (2.74 g) を *N,N*-ジメチルアニリン (10 ml) に溶解し、室温で ナトリウム アミド (1.40 g) を加えた。110°C で2日間攪拌したのち室温まで冷却し、水を加えて析出してきた茶色粉末を濾取した。このものをさらにシリカゲルカラムクロマトグラフィー (酢酸エチル: トルエン=1:1) で精製した。得られた画分を濃縮した後、ヘキサンを加えて析出した粉末を濾取乾燥して標題化合物 (1.40 g, 47%) を得た。

$^1\text{H}$  NMR ( $\text{CDCl}_3$ )  $\delta$  2.40 (3H, s), 4.45 (2H, br s), 6.69 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 6.88 (1H, dd,  $J = 5.4, 1.5$  Hz), 7.26 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.49 (2H, d,  $J =$

8.3 Hz), 8.11 (1H, d,  $J = 5.4$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  185 ( $M + H$ )<sup>+</sup>

### 参考例 173

#### 2-ジアセチルアミノ-4-(4-メチルフェニル)ピリジン

2-アミノ-4-(4-メチルフェニル)ピリジン (1.27 g) をジクロロメタン (50 ml) に溶解し、氷冷下、*N,N*-ジイソプロピルエチルアミン (1.80 ml) および塩化アセチル (735  $\mu$ l) を順次滴下した。室温まで昇温し、再び *N,N*-ジイソプロピルエチルアミン (0.90 ml) および塩化アセチル (800  $\mu$ l) を加えて18時間攪拌した。メタノールを加えたのち、溶媒を減圧留去して得られた残さに希塩酸と酢酸エチルを加えて有機層分取し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後濾液を濃縮した。残さをメタノールに溶解し、水を加えて析出してきた結晶を濾取乾燥して標題化合物 (1.39 g, 75%) を得た。

<sup>1</sup>H NMR (CDCl<sub>3</sub>)  $\delta$  2.33 (6H, s), 2.42 (3H, s), 7.31 (2H, d,  $J = 8.3$  Hz), 7.43 (1H, d,  $J = 1.5$  Hz), 7.53-7.59 (3H, m), 8.61 (1H, d,  $J = 4.9$  Hz).

MS (FAB)  $m/z$  269 ( $M + H$ )<sup>+</sup>

元素分析: C<sub>16</sub>H<sub>16</sub>N<sub>2</sub>O<sub>2</sub>として

計算値: C, 71.62; H, 6.01; N, 10.44.

分析値: C, 71.28; H, 5.98; N, 10.19.

### 参考例 174

#### 4-(2-アセチルアミノピリジン-4-イル)安息香酸

水 (4 ml) に無水硫酸マグネシウム (161 mg) を溶解し、2-ジアセチルアミノ-4-(4-メチルフェニル)ピリジン (108 mg) を懸濁させ、過マンガン酸カリウム (223 mg) を加えて2時間加熱還流した。二酸化マンガンを濾去後、濾液に希塩酸とジクロロメタンを加えて水層を分取し、20 ml位まで濃縮して析出してきた結